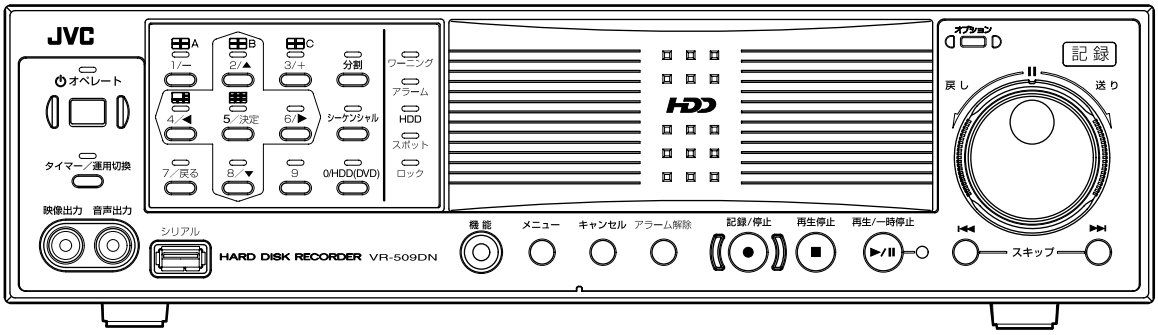
JVC

ハードディスクレコーダー

型名 VR-509DN

取扱説明書



お買い上げありがとうございます。
ご使用の前にこの「取扱説明書」と別冊の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときお読みください。
製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

取り扱い上のご注意：

- 本機は精密機器であるハードディスクを搭載しております。振動や衝撃を与えないよう取り扱いには十分ご注意願います。
- 特に通電中やハードディスクへのアクセス中に振動や衝撃を与えると、故障の原因となりますので十分ご注意願います。
- 本機を移動する場合は、電源を抜いて約 1 分間経過してから行なってください。
- 記録・再生の動作中やハードディスクへのアクセス中に、背面の電源スイッチを切ることや電源コードを抜くことをしないでください。故障の原因となります。

LST0729-001C

もくじ

はじめに

特長 4
オペレーションロック 5
正しくお使いいただくためのご注意 8
各部の名称とはたらき 10

準備

縦置きスタンドに取り付ける 15
システム接続例 16
電源を入れる 17
オペレート ON/OFF の切り換え 17
メニュー画面の操作 18
時刻を設定する 19
基本設定をする 20

カメラのライブ映像を見る

表示画面の切り換え 22
分割画面の配置を変更する 24
モニター出力の設定をする 25
シーケンシャルの時間を設定する 26
分割シーケンシャル出力選択 26
表示設定 27
スポット出力でライブ映像を見る 28
非表示カメラの設定 29
非表示カメラ (Web) の設定 29
外部信号入力端子でモニター・スポットの表示を
切り換える 30

カメラ映像を記録する

記録の種類について 31
通常記録をする 32
外部記録 / モード入力端子で通常記録をする 32
外部記録 / モード入力端子で記録運用モードを
切り換える 32
記録状態を通知する 32
記録詳細設定をする 33
記録運用設定をする 34
動作設定をする
（停電復帰動作、記録表示灯動作、ループ記録） 36
アラーム記録をする 37
アラーム入力端子設定をする 38
アラーム記録設定をする 39
アラーム記録を停止する 39
動き検出機能を使う 40
週間タイマー記録 43
日付指定タイマー記録 44

記録した画像を再生する

画像を再生する 45
記録中に再生する（記録同時再生モード） 45
再生画面の切り換え 46
アラーム検索をする 47
日時検索をする 48
再生スピードを変える（ジョグ・シャトル再生） 48
記録画像をスキップして見る 49
再生動き検出機能を使う 50
再生画像を明るくする 51
記録画像を拡大して見る 52
音声出力設定 52

便利な機能

オンスクリーン表示の位置を変える 53
カメラタイトル設定 54
カメラ映像を調整する（設置時） 55
オペレーションロックの設定をする 56
ブザー設定 57
信号入出力端子設定 58
ハードディスクのメンテナンス 58
ハードディスクをミラーリング設定する
（内蔵 HDD 増設時のみ） 60
アラームリストを消去する 62
パスコード設定 62
停電時間リストやログを表示させる 63
システムを再起動する 64
ハードディスク異常時システム復旧機能 64

外部機器を使う

静止画を USB フラッシュメモリーに
キャプチャーする 65
キャプチャーした静止画をパソコン上で
改ざん検出および閲覧する 66
設定データを USB フラッシュメモリーに保存する 68
設定データを USB フラッシュメモリーから読み込む ... 68
UPS を接続する 69

パソコンと接続する

こんなことができます 70
接続可能なパソコンの仕様 70
LAN ケーブルで接続する 71
本機のネットワーク設定をする 72
パソコンのネットワーク設定をする 73
ネットワーク接続（ログイン）する 75

パソコンでライブ画を見る

ライブ画表示画面 76

パソコンで記録予約する

週間タイマーを追加する 78
週間タイマーを変更／削除する 78
日付指定タイマーを追加する 79
日付指定タイマーを削除する 79
タイマーモード 80

パソコンで再生画を見る

アラーム検索 81
日時検索 82
再生画表示画面 82

パソコンを使った便利な機能

カメラタイトルを入力する 84
ライブ画／再生画表示画面の非表示カメラ設定をする . 84
アラーム入力時にメールを発報する 85
NTP サーバーで時刻を合わせる 86
本体の設定値を本機からダウンロードする 86
本体の設定値を本機にアップロードする 87
保守 88
操作ログ 88
記録ログ 88
オープンソース 88
ステータス 89

ネットワークの設定を変更する

ネットワークのアドレス設定をする 90
NAT 設定をする 90
アクセスユーザーを登録する 91
アクセスユーザーを確認する 91

パソコンで本体の設定を変更する

パソコンで本体の設定を変更する 92

VR-509DN のメニュー

メニューの流れ 96
メニュー設定値一覧 100

解説

トラブル時の対応 107
トラブル時の対応（Web ブラウザ） 110
Web ブラウザ用語解説 112
イベントについて 113
通常記録のしくみ 113
プリアラーム記録のしくみ 114
ループ記録のしくみ 115
スキップジャンプについて 116
ActiveX コントロールとプラグインを有効にする 117
NTP サーバー機能を利用する場合 118
NAT 設定について 120
HDD 記録時間について 122

DVD ドライブキット **SA-K53**（別売）を使う

DVD ドライブを装着する 124
HDD/DVD 操作モードを切り換える 125
DVD を入れる／取り出す 125
DVD に記録画像を書き込む（エクスポート） 126
DVD にエクスポートした画像を再生する 128
DVD-Video 形式メニューと再生について 130
DVD に関するトラブル時の対応 131
DVD 記録時間 132
DVD エクスポートに要する時間 133

ハードディスクの増設

ハードディスクを増設する 134

RS-232C インターフェース

電気仕様 136
RS-232C コマンド一覧 137
コマンド詳細 138

その他

保証とアフターサービスについて 147
仕様 148
索引 150

特長

大容量ハードディスク内蔵 (500GB)

内蔵ハードディスク（別売）1 台増設可能

500GB の内蔵ハードディスク（別売）1 台増設可能です。

増設ハードディスク（別売）1 台増設可能

500GB、1TB、2TB の増設ハードディスク（別売）をいずれか 1 台増設可能です。

9 チャンネル同時 120 イメージ記録

120 イメージ／ 秒の記録が可能です。

記録同時再生モード

記録中であっても再生やジョグ・シャトル再生、スキップ再生が可能です。

ダイレクト画面サーチ

呼び出したい日時・アラーム位置を、すばやく検索できます。

停電復帰記録

記録中に停電が発生した場合、停電復帰後に停電前の記録モードで自動的に記録を開始します。

タイマー記録機能

毎日、毎週のタイマー記録を 8 プログラムまで設定できます。

アラーム記録機能

記録中にアラーム信号が入ると、メニューで設定したアラーム記録モードへ自動で切り換わります。

9 チャンネル非同期カメラ入力対応

非同期の 9 台のカメラ映像を同時に、記録・再生が可能です。

ネットワーク対応

LAN 接続したパーソナルコンピュータ（パソコン）で、記録画像を見ることができます。またパソコンでのタイトル設定、タイマープログラム設定も可能です。

動き検出機能

設定したエリア内映像の " 動き " を自動検出し、アラーム記録を開始させることができます。

アラームメール発報機能

アラーム入力時に、任意のパソコンへメールを発報することができます。

保存期間指定ループ記録

指定した保存期間の記録がハードディスクに保存されます。

DVD ドライブキット SA-K53（別売）装着可能

DVD に記録画像をエクスポートできます。

再生動き検出機能

再生画に対して動き検出したいエリアを任意に設定し、エリア内で“動き”があった場面を検索できます。

改ざん検出ツール

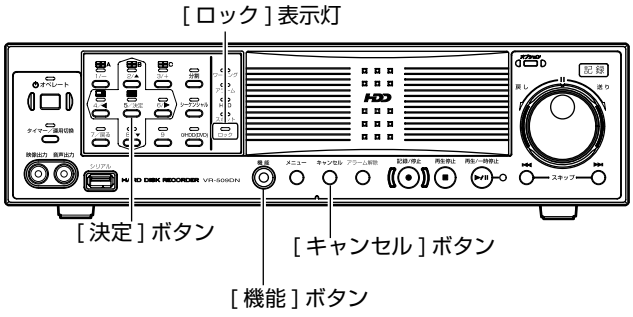
USB フラッシュメモリーに静止画キャプチャー時、改ざん検出ツールをコピーします。パソコン上で改ざん検出および JPEG 閲覧できます。改ざん検出は、本機でキャプチャーした静止画にのみ有効です。

外部信号入力によるコントロール対応

背面の外部信号入力端子への入力により、モニターの表示切り換えや記録運用モードの切り換えが可能です。

オペレーションロック

本機は、誤って電源を切ってしまったり、いたずらにより記録されてしまうなどを、未然に防止するシークレットオペレーションロックを採用しています。



オペレーションロックする

1 設定をする (☞ 56 ページ)

- オペレーションロックの内容や解除方法を設定します。

ご注意 :

- 設定メニュー表示中や再生中は、オペレーションロックしたり、解除することはできません。
- オペレーションロック解除方法で [パスコード（モード 2）] を選択した場合は、すべてのボタン操作を禁止します。[簡易] または [パスコード（モード 1）] を選択した場合は、[オペレーションロック] 項目で選択したボタン操作を禁止します。(☞ 56 ページ)

2 [機能] を押しながら [決定] を押す

- オペレーションがロックされます。
- オペレーションロックモード時、[ロック] 表示灯が点灯します。

オペレーションロックを解除する

1 [機能] を押しながら [キャンセル] を押す

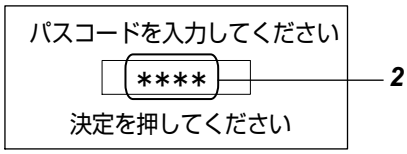
- 解除方法に “ 簡易 ” を選んだとき
  ⇨ オペレーションロックが解除されます。
- 解除方法に “ パスコード(モード 1)” または “ パスコード（モード 2）” を選んだとき
  ⇨ パスコード入力画面が表示されます。

メモ :

- [パスコード（モード 1）] の場合は、パスコード入力のみ有効です。
- [パスコード（モード 2）] の場合は、パスコードまたはサブパスコードを入力します。
- パスコード入力時は、数字の代わりに “ ＊ ” が表示されます。

2 テンキーでパスコードを入力し、[決定] を押す

- サブパスコード入力時は、任意のオペレーションロックのみ解除されます。(☞ 56 ページ)
- サブパスコードによる解除時は、[ロック] 表示灯は点灯したままです。
- パスコード入力時は、全てのオペレーションロックが解除されます。



メモ :

- [キャンセル] を押すと、それまでの入力がキャンセルされ、はじめから入力のやり直しができます。
- (☞ 33 ページ [パスコード不適合検出記録])
- (☞ 62 ページ [パスコード設定])

このページのオペレーションロック／解除に関する部分は、防犯上、切り取って保管されることをおすすめします。

この取扱説明書の見かた

■ 本文中の記号の見かた

ご注意　：操作上の注意が書かれています。

メモ　　：機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。

☞　　：参考ページや参照項目を示しています。

■ 本書記載内容について

- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では™、®、© などのマークは省略してあります。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。

正しくお使いいただくためのご注意

ハードディスクドライブについて

- ハードディスクドライブ（以下 HDD）のデータを読み書きするヘッドとディスクの距離はわずか 0.02μm 程度です。HDD に振動や衝撃が与えられた場合、ヘッドがディスクに衝突し、ディスクの表面に打痕やディスクのかけらが発生することになります。これにより、データが読み出せなくなるばかりか、使用しつづけますとヘッドクラッシュ（損傷）に陥る原因になりますので、取り扱いには十分ご注意ください。
- 設置時および設置場所の移動について
  - 通電中や電源を切った直後（約 1 分間）は、移動や設置作業は絶対に行わないでください（電源を切っても、HDD はしばらくの間は惰性で回転しているため、この間振動や衝撃を与えると HDD 故障の原因になることがあります）。
  - 衝撃を与えないように緩衝材などで包んで移動させてください。
- 取り扱いについて
  - 本機に振動や衝撃を与えないようていねいにお取り扱いください。
  - 記録・再生の動作中や HDD へのアクセス中に、電源プラグを抜かないでください。
  - HDD は消耗品です。使用環境により異なりますが、周囲温度 25 ℃でご使用した場合、18000 時間を目安に交換することをお勧めします。（ただし、この時間は目安であり、HDD の寿命を保証するものではありません。）メンテナンスの計画、費用などのご相談は、ご購入先の販売店、または別紙のサービス窓口案内をご覧になり最寄のビクターサービスセンターへお願いします。
- 外付けハードディスクを増設される場合は、システムの安定動作のため、UPS（無停電電源装置）のご使用をおすすめします。(☞ 69 ページ)
- ハードディスクのフォーマット、切断処理、ミラーリング設定、ミラーリングの解除などの処理をしているときに停電が発生すると、UPS を接続している場合でも、その後の運用に支障が生じることがあります。
- 万一本機およびハードディスクドライブなどの不具合により、正常に記録できなかったり、再生できなかった場合、その内容の補償についてはご容赦ください。
- ハードディスクを交換した場合は、記録された画像が消去されます。また、本機のソフトウェアのバージョンアップによって、記録画像が消去されることがありますので、ご注意ください。

保管および使用場所

- 次のような場所に置かない

  誤動作や故障の原因となります。
  - 許容動作温度（5 ℃ ～ 40 ℃ ）範囲外の暑いところや寒いところ
  - 許容動作湿度（30%RH ～ 80%RH）範囲外の湿気の多いところ（結露なきこと）
  - 変圧器やモーターなど強い磁気を発生するところ
  - トランシーバーや携帯電話など電波を発生する機器の近く
  - ほこりや砂の多いところ
  - 振動の激しいところ
  - 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ
  - 厨房など蒸気や油分の多いところ
  - 放射線や X 線、および腐食性ガスの発生するところ
- 本機および本機に接続したケーブルが強い電波や磁気の発生するところ（例、ラジオ、テレビ、変圧器、モニターなどの近く）で使用された場合、画像にノイズが入ったり、色彩が変わることがあります。
- 振動する場所、たばこの煙やヤニ、塵やほこりの多いところでの使用や保管は避けてください。

取り扱いについて

- 本機の放熱が不十分になると故障の原因となります。本機周辺の通風を妨げないようにしてください。
- 機器内部の温度上昇を防ぐため、機器を重ねて使用したりファンの通気孔をふさいだりしないでください。
- 本機の上に水の入ったもの（花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など）を置かないでください。機器の内部に水が入ると、火災や感電の原因となります。
- 内部に物を入れない

  通風孔などから、金属類や燃えやすいものなどが入れると火災や感電の原因となります。
- 本機の上にモニターテレビなどの重いものをのせない

  動作不良をおこす恐れがあります。

  また、本機を重ねて置かないでください。

移動について

- 移動するときは接続コード類を外す

  移動するときは、電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

電源コードについて

- 付属の電源コードは、本機以外の機器で使用しないでください。誤って使用すると、発熱し、火災、やけどの原因となることがあります。
- 電源コードは、本機に付属のものを必ずお使いください。耐圧の異なるコードや、傷ついたコードを使用すると、火災や感電の原因になります。
- 電源コードが傷んだら販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用したり、指定以外のものを使用すると、火災・感電の原因となります。

その他

- 落雷などにより電源電圧が変動した場合、システム保護のため電源電圧が安定するまで操作できないことがあります。
- 機器設置等で入出力端子に触れる際にはあらかじめ静電気を除去した後、作業を行なってください。
- 静電気により誤動作をする場合がありますので、動作中は本機のリアパネルに触れないでください。
- 本機はオープンソースのソフトウェアを一部使用しています。

  これらは本機のご使用には影響はありません。ソフトウェアライセンスに関する情報の表示については (☞ 88 ページ [オープンソース]) をご覧ください。
- 短いアラーム記録などで本機に記録されたデータの数が多くなると、検索やバックアップ動作に時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。
- テレビ放送や録画（録音）物などから、記録したものは、個人として楽しむほかは、著作権上権利者に無断で使用できません。
- 分割画面のとき、映像の境目（黒く見える部分）の幅が、入力信号によって異なって見えます。これはカメラ入力信号の特性であり、故障ではありません。本機の調整により改善することができます。

お手入れについて

- お手入れは、電源を切ってから行なってください。
- 本機は柔らかい布でふいてください。シンナーやベンジンでふくと、表面がとけたり、くもったりします。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を布につけてふき、あとでからぶきしてください。

省エネについて

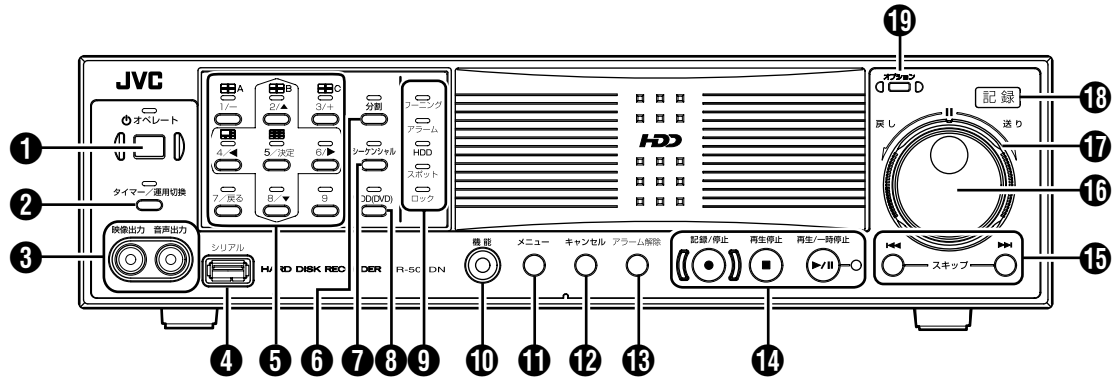
- 長時間使用しないときは、安全および節電のため、システムの電源を切ってください。

著作権について

- 本機で録画・録音したものを営利目的、または公衆に試聴することを目的として放映することは、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。
- 録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権上、権利者に無断で使用できません。

各部の名称とはたらき

前面



❶ [オペレート] オペレートボタン・表示灯

オペレート ON ／ OFF を切り換えます。
オペレート ON 時表示灯が点灯します。(☞ 17 ページ)
電源スイッチではありません。電源を切る前に必ずオペレート OFF にしてください。

❷ [タイマー / 運用切換] タイマー／運用切換ボタン

[記録詳細設定] メニューの [運用切換ボタン操作] で設定した動作をします。(☞ 33 ページ)

- **[運用切換ボタン操作] が " プログラムタイマー " のとき**
  1 秒以上長押しすると、タイマー運用になります。タイマー運用時、もう一度 1 秒以上長押しすると、タイマー運用を解除します。タイマー運用時、表示灯が点灯します。(☞ 31 ページ)
- **[運用切換ボタン操作] が " プログラムタイマー " 以外のとき**
  運用を変更します。1 秒以上長押しすると、" 標準記録運用 " ⇔ " 記録運用 1 ～ 9" を切り換えます。" 記録運用 1 ～ 9" のとき、表示灯が点灯します。(☞ 31 ページ)

メモ :

- メニュー画面表示中、[タイマー/ 運用切換] ボタンは利用できません。

❸ [映像出力] 端子／ [音声出力] 端子

ライブ画表示のときは、ライブ映像、およびライブ音声を出力します。
再生中は、記録されている映像及び音声を出力します。
ただし、次のような場合は音声が出力されません。

- 静止画再生時や、×1 以外のサーチ時、コマ送り再生時。
- メニュー[記録詳細設定]画面の[通常音声記録]／[アラーム音声記録] を " 切 " で記録して再生した場合。
- 再生時にメニューまたは検索メニューを表示している場合。

❹ [シリアル] 端子（USB A-TYPE メス）

USB フラッシュメモリー（別売）、増設用ハードディスクドライブ（別売）、または UPS（別売）の通信制御端子と接続します。
(☞ 134 ページ [ハードディスクを増設する])

❺ テンキー・カメラ入力・その他操作ボタンおよび表示灯

- **[1]～[9] テンキー 1 ～ 9**
  ライブ画を見たり、記録画像を再生するときに、表示するカメラ入力を選びます。選んだカメラ入力に対応する表示灯が点灯します。また、数値入力時のテンキーとして使用します。
- **[－ / ＋] ボタン**
  メニューで、設定値を変更します。
- **[▲/▼/◀/▶] カーソル移動ボタン**
  メニューや再生メニューで、カーソルを移動します。
- **[5/ 決定] 決定ボタン**
  メニューで、次の画面に進んだり、設定値を確定します。ハードディスクのスキャンディスクやフォーマットなどを実行します。
- **[7/ 戻る] 戻るボタン**
  本機のメニューで、一つ前の画面に戻ります。

❻ [分割] 分割ボタン・表示灯

ライブ画や、記録画像の再生画で分割画面と単画面の切換をします。分割表示のとき、表示灯が点灯します。

❼ [シーケンシャル] シーケンシャルボタン・表示灯

ライブ画を単画面シーケンシャル、4 分割画面シーケンシャルで表示するときに 1 秒以上長押しします。シーケンシャル表示のとき、表示灯が点灯します。

❽ [0/HDD(DVD)] テンキー 0/HDD・DVD 切換ボタンおよび表示灯

- 数字の 0 を入力します。
- 操作対象をDVD またはHDD に切り換えます。DVD 操作時、表示灯が点灯します。

❾ 状態表示灯

● [ワーニング] ワーニング表示灯
ワーニングが発生すると、赤色に点灯します。

● [アラーム] アラーム表示灯
アラーム記録中に、赤色に点灯します。アラーム記録が終了すると、赤色の点滅に変わります。

● [HDD]HDD 表示灯
内蔵 HDD のアクセス中に、点灯します。

● [スポット] スポット表示灯
スポット出力の操作中に、点灯します。

● [ロック] ロック表示灯
オペレーションロック中に、点灯します。

❿ [機能] 機能ボタン

- ユーザーガイダンスを表示します。(☞ 18 ページ)
- [機能] ボタンを押しながら [再生停止] を押すと、時計の " 秒 " を "0" に合わせられます。(☞ 19 ページ)

⓫ [メニュー] メニューボタン

メニュー画面を表示します。

- 本機のメニュー画面表示中に押すと、通常画面に戻ります。(☞ 18 ページ)

⓬ [キャンセル] キャンセルボタン

- ワーニング表示の取り消しやワーニングブザーの解除を行います。
- 停電履歴更新メッセージを取り消します。
- タイマー設定で、記録予約を取り消します。(☞ 43、44 ページ)

⓭ [アラーム解除] アラーム解除ボタン

アラームが発生したときに、アラーム記録やアラームブザーの停止をします。[アラーム] 表示灯は消灯します。

⓮ 操作ボタン

● [記録 / 停止] 記録 / 停止ボタン
記録を開始／停止します。停止するときは、約 2 秒間長押しをします。(☞ 32 ページ)

● [再生停止] 再生停止ボタン
再生や静止画再生を停止します。また、記録同時再生のときは、記録を継続したまま再生を停止します。

● [再生 / 一時停止] 再生／一時停止ボタン・表示灯
ライブ画表示や記録中に、再生メニューを表示します。
再生中に押すと、一時停止にします。
一時停止中に押すと、再生を開始します。(☞ 45 ページ)

⓯ [スキップ] スキップサーチボタン

再生メニュー表示中に押すと、ハードディスク先頭の記録開始点か記録終了点にジャンプします。
再生中に押すと、再生メニューで設定したスキップ機能を開始します。(☞ 49 ページ)
再生動き検出モード時、このボタンを押すと、動き検出された付近の画像にジャンプします。(☞ 50 ページ)

⓰ シャトルダイヤル

再生や一時停止のときに、再生スピードを変更します。(☞ 48 ページ)

⓱ ジョグダイヤル

再生や一時停止のときに、コマ送り再生やコマ戻し再生します。(☞ 48 ページ)

⓲ [記録] 記録表示灯

記録中に、点灯します。アラーム記録中は点滅します。(☞ 32 ページ)

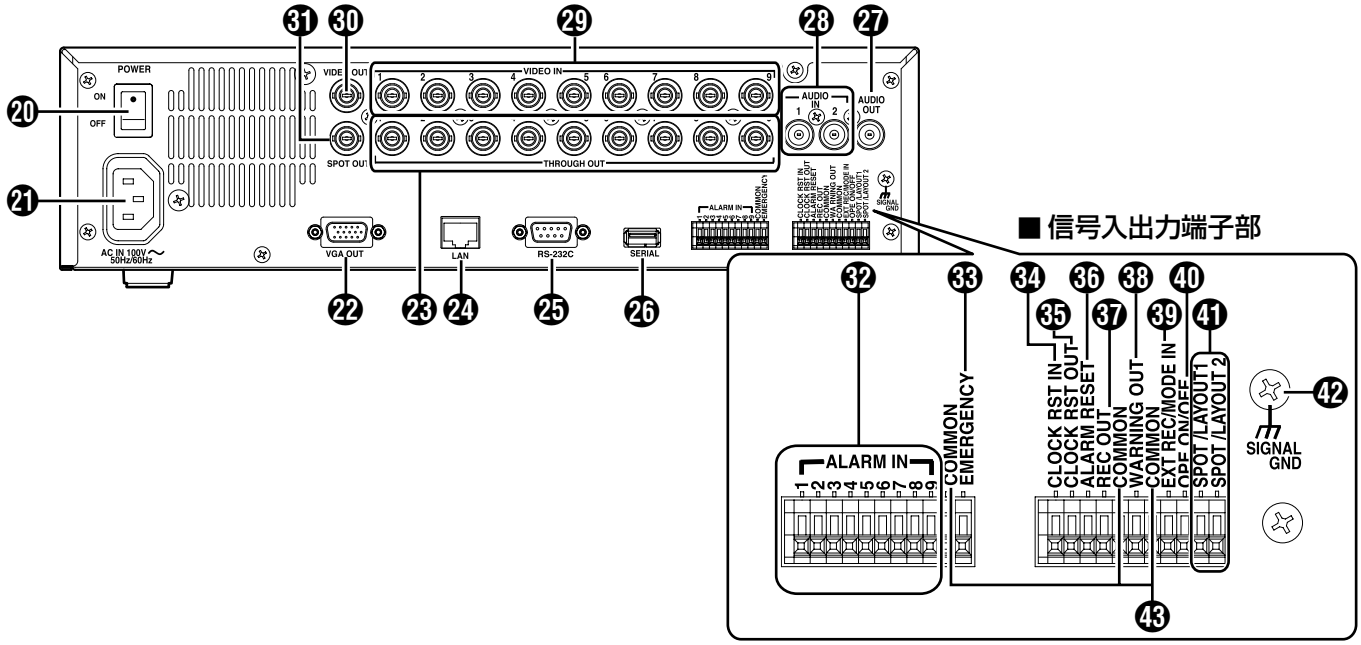
⓳ [オプション] オプションボタン

DVD ドライブキット SA-K53 (別売）を装着時、使用します。

- DVD トレーを開／閉します。

各部の名称とはたらき (つづき)

背面 / 信号入出力端子



■ 背面

⑳ 電源スイッチ

電源を入／切します。電源を入れると、自動的にオペレート ON になります。(☞ 17 ページ)

メモ :

- 電源を切る場合は、必ずオペレート OFF 状態にしてください。

㉑ [AC IN 100V∿] 電源入力端子

付属の電源コードで AC100 V のコンセントに接続します。(☞ 17 ページ)

㉒ [VGA OUT]VGA 出力端子（D-Sub 15 ピン）

パソコン用のモニターにライブ映像、再生画像やメニュー画面を出力します。[VIDEO OUT] 端子 ㉚ と同じ内容を出力します。
[VIDEO OUT] 端子 ㉚ との同時出力が可能です。
(☞ 25 ページ)

㉓ [THROUGH OUT] カメラ映像出力端子（BNC）

各 [VIDEO IN] 端子 ㉙ に対応したカメラの映像信号を出力します。モニターテレビなどに接続します。

㉔ [LAN]LAN 接続端子（100 Base-T）

LAN ケーブルでイントラネットなどのネットワークに接続します。(☞ 71 ページ)

㉕ [RS-232C] リモート端子（D-sub 9 ピン）

パソコンなどと接続して、本機を外部からコントロールできます。

メモ :

- RS-232C インターフェースについては、(☞ 137 ページ [RS-232C コマンド一覧]) をご覧ください。

㉖ [SERIAL] シリアル端子（USB A-TYPE メス）

USB フラッシュメモリー（別売）、増設用ハードディスク（別売）、または UPS（別売）の通信制御端子と接続します。前面のシリアル端子と同じ機能の端子です。

メモ :

- (☞ 134 ページ [ハードディスクを増設する])

㉗ [AUDIO OUT] 音声出力端子（RCA）

前面の [音声出力] 端子 ❸ と同じ機能の端子です。

㉘ [AUDIO IN 1/AUDIO IN 2] 音声入力端子 1・2（RCA）

音声記録したい機器のオーディオ出力端子と接続します。

㉙ [VIDEO IN] カメラ映像信号入力端子（BNC）

ビデオカメラ（別売）の映像出力端子と接続します。

㉚ [VIDEO OUT] 映像出力端子（BNC）

前面の [映像出力] 端子 ❸ と同じ機能の端子です。

㉛ [SPOT OUT] スポット出力端子（BNC）

ライブ映像を出力します。[VIDEO OUT] 端子 ㉚ と別の内容を出力することができます。(☞ 28 ページ)

■ 信号入出力端子

外部アラームの信号や、外部機器からの信号を受け本機を動作させたり、また信号を出力することにより外部機器を動作させたりします。

メモ：

- 適合線径 0.3mm～ø0.8mm（AWG22 ～ 28）
- バラ線の場合は、撚って半田あげしてください。）

㉜ [ALARM IN1 ～ 9] アラーム入力端子 1 ～ 9

- [アラーム入力端子設定] メニューの [アラーム端子] 設定が " アラーム記録 " のとき

  信号がこの端子に入力されるタイミングでアラーム記録を開始します。(☞ 37 ページ)

- [アラーム入力端子設定] メニューの [アラーム端子] 設定が " モニター切換 " のとき

  信号がこの端子に入力されると、モニターの表示画面を各端子に対応したカメラの単画面表示にします。

- [アラーム入力端子設定] メニューの [アラーム端子] 設定が " スポット切換 " のとき

  信号がこの端子に入力されると、スポットの表示画面を各端子に対応したカメラの単画面表示にします。

- [アラーム入力端子設定] メニューの [アラーム端子] 設定が " モニター・スポット切換 " のとき

  信号がこの端子に入力されると、モニターとスポット両方の表示画面を各端子に対応したカメラの単画面表示にします。

㉝ [EMERGENCY] エマージェンシー入力端子

信号がこの端子に入力されるタイミングでエマージェンシー記録を開始させます。(☞ 37 ページ)

㉞ [CLOCK RST IN] クロックリセット入力端子

時計合わせのための端子です。信号が入力されると、本機の時計の秒の単位がリセットされます。(☞ 19 ページ)

㉟ [CLOCK RST OUT] クロックリセット出力端子

信時計合わせのための端子です。定期的にクロックリセット信号を出力します。(☞ 19 ページ)

㊱ [ALARM RESET] アラームリセット入力端子

アラーム記録中に信号が入力されたとき、アラーム記録を停止させます。アラーム記録停止中に入力があると、アラーム表示灯が消灯します。

㊲ [REC OUT] 記録状態出力端子

本機の記録状態を出力します。(☞ 58 ページ)

㊳ [WARNING OUT] ワーニング出力端子

ハードディスクの動作異常など、エラーが起きたときに信号を出力します。(☞ 107 ページ)

㊴ [EXT REC/MODE IN] 外部記録 / モード入力端子

[信号入出力端子設定] メニューの [外部記録入力端子] 設定が " トリガ " または " マニュアル " の場合、外部からの信号で記録を始めます。(☞ 32 ページ)
[信号入出力端子設定] メニューの [外部記録入力端子] 設定が " タイマー / 運用切換 " の場合、外部からの信号で通常記録の記録運用モードを切り換えます。（タイマー記録モードまたは通常記録モード（記録運用 1 ～ 9 または標準記録運用）(☞ 32 ページ)

㊵ [OPE ON/OFF] オペレート ON/OFF 端子

信号が入力されると、オペレート ON/OFF が切り換わります。(☞ 17 ページ)

㊶ [SPOT/LAYOUT1]、[SPOT/LAYOUT2] スポット / レイアウト 1、スポット / レイアウト 2 端子

- [スポット / レイアウト端子設定] メニュー [スポット / レイアウト端子] の設定が " スポット制御 " のとき

  入力される信号により、[SPOT OUT] 端子から出力する映像を変更します。(☞ 28 ページ)

- [スポット / レイアウト端子設定] メニュー [スポット / レイアウト端子] の設定が " レイアウト制御 " のとき

  [スポット / レイアウト端子設定] メニューの [レイアウト端子 1] 設定、[レイアウト端子 2] 設定に従って、モニター / スポットの表示画面を任意の表示状態にします。(☞ 28 ページ)

  [SPOT/LAYOUT1] 端子は [レイアウト端子 1] 設定で選択し、[SPOT/LAYOUT2] 端子は [レイアウト端子 2] 設定で選択します。(☞ 30 ページ)

㊷ [SIGNAL] 信号グランド端子

共通のグランド端子です。接続機器の信号グランド端子と接続します。
[COMMON] 端子 ㊸ が足りなくなった場合に使用してください。

ご注意：

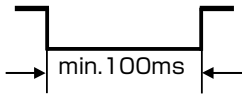
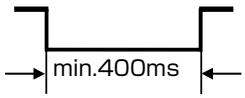
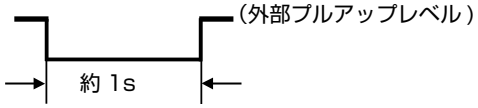
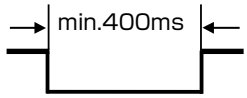
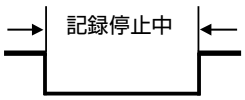
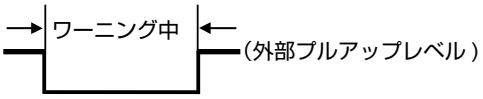
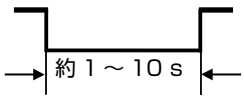
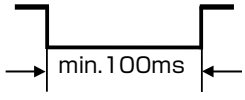
- 安全アースとして使用しないでください。

㊸ [COMMON] 共通グランド端子

共通のグランド端子です。接続機器の信号グランド端子とつなぎます。

各部の名称とはたらき (つづき)

信号入出力端子

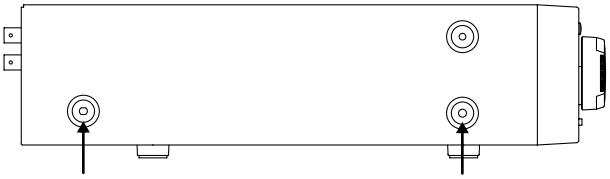
端子	信号レベル	備考
[ALARM IN] アラーム入力	 ※出力側のインピーダンスは 10kΩ 以下にしてください。	メイク接点入力
[EMERGENCY] エマージェンシー入力 [EXT REC/MODE IN] 外部記録 / モード入力 [CLOCK RST IN] クロックリセット入力	 ※出力側のインピーダンスは 10kΩ 以下にしてください。	メイク接点入力
[CLOCK RST OUT] クロックリセット出力		オープンコレクタ出力 (DC15V、10mA 以下)
[ALARM RESET] アラームリセット入力	 ※出力側のインピーダンスは 10kΩ 以下にしてください。	メイク接点入力
[REC OUT] 記録状態出力		オープンコレクタ出力 (DC15V、10mA 以下)
[WARNING OUT] ワーニング出力		オープンコレクタ出力 (DC15V、10mA 以下)
[OPE ON/OFF] オペレート ON/OFF	 ※オペレート ON 時は “OFF” に移行します。 ※オペレート OFF 時は “ON” に移行します。	メイク接点入力
[SPOT/LAYOUT1] スポットレイアウト 1 入力 [SPOT/LAYOUT2] スポットレイアウト 2 入力	 ※出力側のインピーダンスは 10kΩ 以下にしてください。	メイク接点入力

縦置きスタンドに取り付ける

添付の縦置きスタンドを使用することで、縦置きに設置できます。

1 本体左側のねじを外す

本体左側のねじ（2 か所）をはずします。

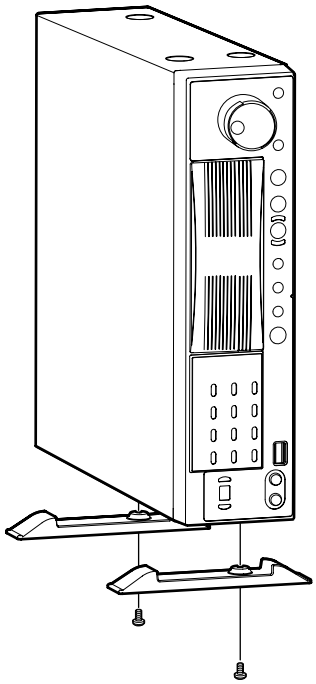


ご注意：

- 縦置きスタンドは、必ず本体の左側面に取り付けてください。本体右側面に取り付けると、重心が高くなり、転倒の原因となります。

2 縦置きスタンドの出っ張り部分をねじをはずした場所に合わせる

3 手順 *1* ではずしたねじを使い、スタンドを本体に取り付ける



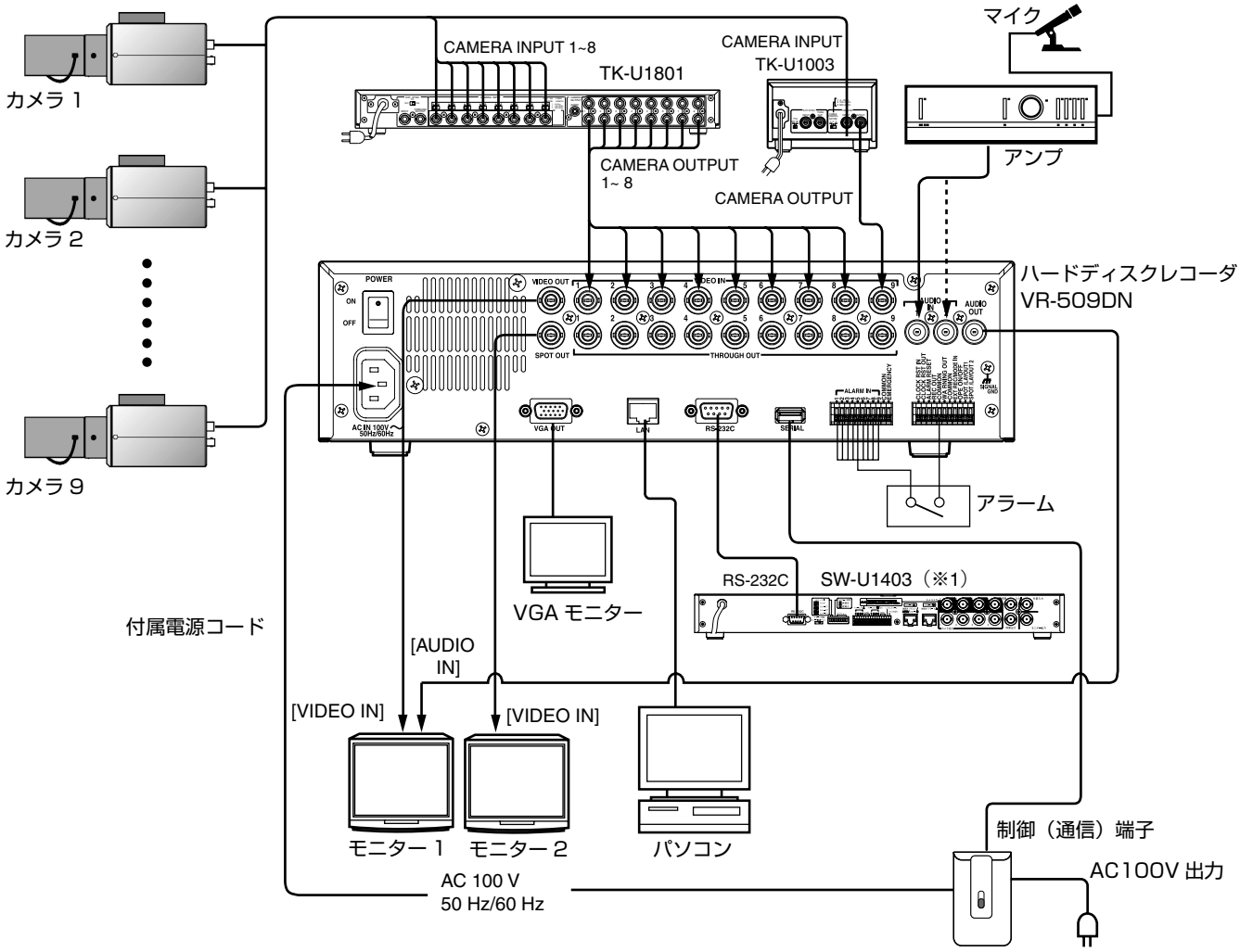
ご注意：

- 取り付けには、必ず手順 *1* ではずしたねじを使用してください。他のねじを使用すると、故障の原因となります。

システム接続例

9 台のカメラをつなぐ

本機のスイッチャー機能を使用し、カメラを 9 台まで接続することができます。



ご注意：

- CCUの[CAMERA INPUT]端子と本機の[VIDEO IN]端子は絶対に接続しないでください。CCUの[CAMERA INPUT]端子には、カメラ用の電源が供給されているため、本機の入力回路が破損します。
- TV 映像信号のカメラ以外の映像信号を入力した場合、ライブ映像表示や記録再生が正常に行われないことがあります。
- 映像信号の入力に異常があると [VIDEO IN ＊＊入力なし（E-03）] がオンスクリーン表示されます。（＊＊にはカメラ番号が表示されます）この状態で記録を続けると異常発生カメラ、正常カメラともに正しく記録できない場合があります。異常が発生した入力の記録を無効にするか、すみやかに異常の原因を取り除いてください。(☞ 20 ページ [基本設定 -1])
- 接続はすべての機器の電源を OFF にしてから行なってください。
- カメラを接続しない入力はメニューで“なし”に設定してください。(☞ 20 ページ [基本設定 -1])
- [THROUGH OUT] 端子に BNC コネクターを接続したとき、内蔵の 75Ω 終端が OPEN になります。最終段の機器で必ず 75Ω を終端にしてください。
- 本機と SW-U1403 システムコントロールユニットは、市販の RS-232C クロスケーブルで接続してください。
- 接続可能な SW-U1403 は、(A) バージョン以降の商品です。SW-U1403 ネームプレート機種名表示部の（バージョン表記）を確認してください。（※ 1）
- 本機以外の使用機器につきましては、それぞれの機器 [取扱説明書] をお読みのうえ接続してください。
- パソコンとの接続は [パソコンと接続する] (☞70 ページ) をご覧ください。

電源を入れる

電源を入れる

1 電源コードをつなぐ

付属の電源コードで AC100 V（ 50 Hz/60 Hz）のコンセントにつなぎます。

2 背面の電源スイッチを [ON] にする

- 電源が入り、システムチェックが始まります。
- オペレート表示灯が点滅します。
- その後、オペレート表示灯が点灯に変わり、オペレート ON 状態になります。オンスクリーン画面に記録／停止マークが表示された後、操作が可能になります。

ご注意：

- システムチェック中は、電源コードを絶対に抜かないでください。故障の原因となります。

電源を切る

1 [オペレート]を約2秒間長押ししてオペレートOFFにする

しばらく待つとオペレート表示灯が消灯します。

2 背面の電源スイッチを切る

ご注意：

- 電源を切った後、1 分間は本機を動かさないでください。衝撃により内蔵ハードディスクが故障することがあります。

オペレート ON/OFF の切り換え

操作可能状態（オペレート ON）と休止状態（オペレート OFF）の切り換えを行います。
切り換え方法は 2 通りあります。

前面ボタンで切り換える

■ オペレート ON にする

1 (オペレート OFF 状態で)[オペレート] ボタンを押す

- オペレート表示灯が点滅します。
- オペレート ON 状態になります。オンスクリーン画面に時刻が表示された後、操作が可能になります。
- オペレート表示灯が点灯します。

メモ：

- 背面の電源スイッチを入れると、自動的にオペレート ON 状態まで立ち上がります。

■ オペレート OFF にする

1 (オペレートON状態で)[オペレート] ボタンを約2秒長押しする

- オペレート表示灯が点滅します。
- 画面に [しばらくお待ちください･･･] と表示されます。
- 画面の表示が消え、オペレート OFF 状態になり、オペレート表示灯が消灯します。

メモ：

- 電源は、オペレート OFF 状態にしてから切ってください。
- 外付けハードディスクの電源を切る場合は、先に本機の電源を切ってください。

信号入出力端子で切り換える

■ オペレート ON にする

1 (オペレートOFF状態で)オペレートON/OFF端子を 1 秒以上 Low（OV）にする

- システムチェックが始まります。
- オペレート ON 状態になります。オンスクリーン画面に時刻が表示された後、操作が可能になります。

■ オペレート OFF にする

1 (オペレート ON 状態で)オペレート ON/OFF 端子を 1 秒以上 Low(OV) にする

- 画面に [しばらくお待ちください･･･] と表示されます。
- 画面の表示が消え、オペレート OFF 状態になり、オペレート表示灯が消灯します。

メモ：

- 電源は、オペレート OFF 状態にしてから切ってください。
- エマージェンシー記録中やスキャンディスク実行中は機能しません。

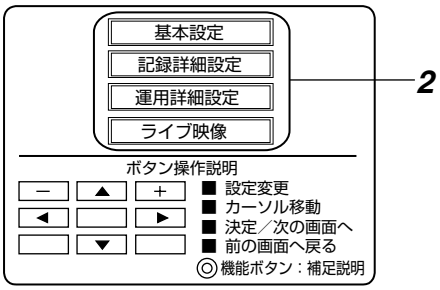
- 停電などにそなえて、UPS（無停電電源装置）をご使用されることを推奨します。
(☞ 16 ページ [システム接続例])
(☞ 69 ページ [UPS を接続する])

メニュー画面の操作

■ メニュー画面を開く

1 [メニュー] を約 1 秒間長押しする

- メニュー画面が開きます。



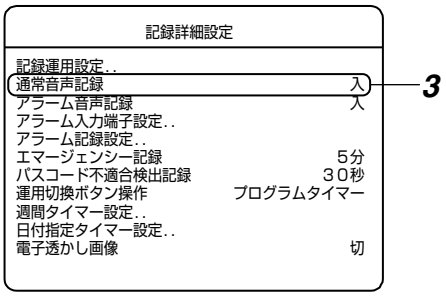
メモ :

- [メニュー] を再度約 1 秒間長押しすると、メニュー画面を閉じます。
- 以下のモード中は、メニュー画面を表示できません。
- 記録中およびタイマーモード運用中は、一部の設定変更が禁止されます。
- メニュー操作中は、動き検出やアラーム入力信号による記録はできません。

■ メニュー画面を進む

1 [▲/▼] で項目を選び、[決定] を押す

- 設定画面が開きます。



メモ :

- [戻る] を押すと、1 つ前の画面に戻ります。
- 上図は [記録詳細設定] の例です。

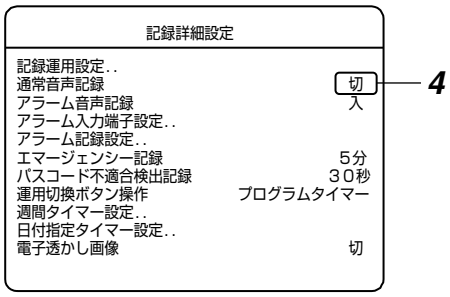
2 [▲/▼] で項目を選ぶ

- 選択した項目の右に設定値があるときは、設定値の変更が可能です。
- 選択した項目の右に設定値がないときは、さらにメニューを進めてください。希望の設定項目が表示されるまで、手順 ***1*** の操作を繰り返してください。

■ 設定値を変更する

1 [－ / ＋] で設定値を変更する

- [－ / ＋] を押すと、画面上で設定値が変わります。

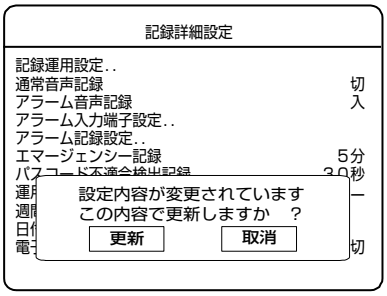


メモ :

- 上図は [記録詳細設定] の例です。

2 [決定] を押す

- 確認画面が表示されます。



3 [◀/▶] ボタンで [更新] を選び、[決定] を押す

- 設定内容が保存されます。

メモ :

- [取消] を選び、[決定] を押すと、確認画面が消え、設定内容は保存されません。
- 記録中は、更新・保存できない項目があります。
- タイマーモード中は、変更できない項目があります。

■ ユーザーガイダンスを表示させる

- メニュー画面で [機能] を押すと、ユーザーガイダンスが表示されます。

■ メニュー画面を閉じる

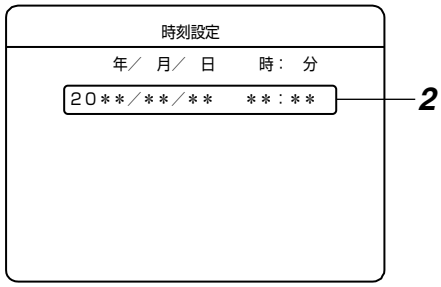
- [戻る] を押すか、[メニュー] を約 1 秒間長押しするとメニュー画面が閉じます。

時刻を設定する

メニューで時刻を設定する

1 **[メニュー] を押す**

[メニュー画面の操作] (☞18 ページ) に従い、[メニュー]⇨[運用詳細設定]⇨[時刻設定] の順に開きます。



メモ :

- 本機が記録中、DVD エクスポート中もしくはタイマーモード運用中の場合は時刻設定できません。
- また、Web ブラウザの NTP サーバーとの同期設定が有効な場合も時刻設定できません。(☞ 86 ページ)
- ハードディスク内に記録データがある状態での日時変更はご注意ください。記録日時が重複や逆転すると再生動作やスキップジャンプ、検索などが正しく行われない場合があります。

2 **[◀/▶] ボタンで設定項目を選び、[− / ＋] ボタンで数値を変更する**

- “年”、“月”、“日”、“時”、“分” に現在の日付と時刻を設定します。

3 **[決定] を押す**

- 確認画面が表示されます。

4 **[◀/▶] ボタンで設定 [更新] を選び、[決定] を押す**

- 時刻が設定されます。
- 設定した時刻の 00 秒から時計が動き始めます。

ボタン操作で秒数を合わせる

1 **[機能] を押しながら [再生停止] を押す**

- 時計の “秒” を合わせられます。
- 秒の値が 29 秒以下のとき、分の値はそのままで秒の値が 00 秒にリセットされます。
- 秒の値が 30 秒以上のとき、分の値が繰り上がり秒の値が 00 秒にリセットされます。

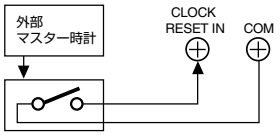
メモ :

- 記録中はリセットできません。

信号入出力端子で秒数を合わせる

■ クロックリセット入力端子

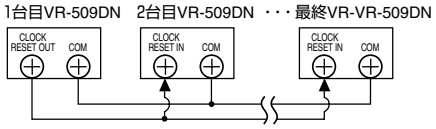
- 信号が入力されると、本機の時計がリセットされます。リセットされる内容は、[ボタン操作で秒数を合わせる] と同じです。
- 信号を受け、マスター時計や他機器の時計に合わせることができます。



■ クロックリセット出力端子

クロックリセット信号を次のタイミングで出力します。

- 2 台以上の VR-509DN の時計を秒単位で合わせることができます。
- 本機内部の時計が 00:00 または、12:00 のとき。



メモ :

- [CLOCK RESET OUT/IN] 端子を接続すると 1 日に 2 回、昼と夜の 12 時に 2 台以上の VR-509DN の時間を同じ時刻になるように合わせます。

ご注意 :

- 接続は使用機器の電源を切ってから行なってください。
- クロックリセット出力端子を複数の機器に並列接続する場合は、同一機種に揃えてください。入力機器側の電圧が合っていないと誤動作する場合があります。また、入力側の機器によっては、1 台の電源が切れた場合、他の入力機器の時計がリセットされる場合がありますのでご注意ください。

NTP サーバーで時刻を合わせる

NTP サーバーに接続して時刻を合わせることが可能です。詳細につきましては [NTP サーバーで時刻を合わせる] (☞86 ページ) をご覧ください。

メモ :

- 本機の時刻精度は月差 15 秒程度 (周囲温度 25 ℃時) です。より高い精度が必要な場合は、NTP サーバーなどを利用してください。
- [NTPサーバー機能を利用する場合] (☞118ページ)を参考にしてください。

ご注意 :

- 記録中にクロックリセット入力あるいはNTPサーバーで時刻を合わせる場合、時刻が進んだ状態で合わせると、記録時間の重複が発生します。この部分を再生すると、検索や音声再生が正常に動作しません。

● 正確な時刻表示を行うため、月に 1 回程度で時刻設定することをおすすめします。

基本設定をする

[基本設定] メニューでは、運用開始前に以下の基本的な記録設定を行います。

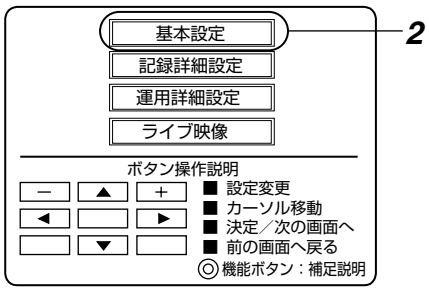
- カメラ入力：あり / なし
- 記録画像モード：滑らか / 高精細
- 音声記録：切 / 入
- ループ記録設定
- 標準記録運用モード、記録運用 1 ～ 9 の記録設定

メモ：

- 記録コマ数、画質は設定条件に従い自動で設定され、表示されます。
- [基本設定] 終了後の設定内容の確認および記録コマ数、画質の変更は、[記録詳細設定] メニューで行なってください。(☞ 22 ページ)

1 [メニュー] を押す

- トップメニュー画面が開きます。



2 [基本設定] を開く

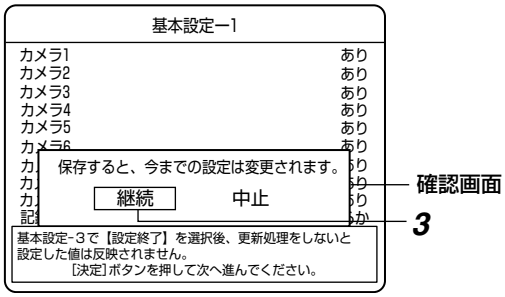
- [メニュー画面の操作] (☞18 ページ) に従い、[メニュー]⇨[基本設定] の順に開きます。
- [基本設定- 1] 画面と確認画面が開きます。

メモ：

- 記録中は、設定変更できません。

3 [◀/▶] ボタンで確認画面の [継続] を選び、[決定] を押す

- 確認画面が閉じます。

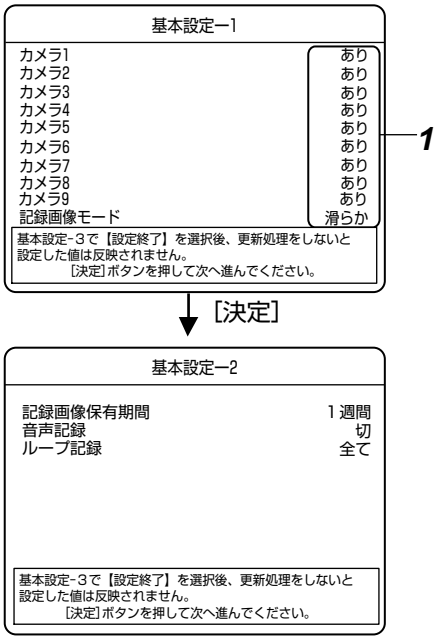


メモ：

- [中止] を選び [決定] を押すと、トップメニューに戻ます。

基本設定 -1

1 [◀/▶] ボタンで項目を選び、[－ / ＋] で設定値を変更する



■ 設定内容

● カメラ 1 ～ 9

設定値	内容
あり なし	接続対象とするカメラ入力は“あり”に、それ以外のカメラ入力は“なし”に設定します。

● 記録画像モード

設定値	内容
滑らか	記録コマ数の合計を 120 イメージ／秒、画像サイズを 352×240 ピクセルに設定して記録します。
高精細	記録コマ数の合計が 60 イメージ／秒、画像サイズを 720×240 ピクセルに設定して記録します。

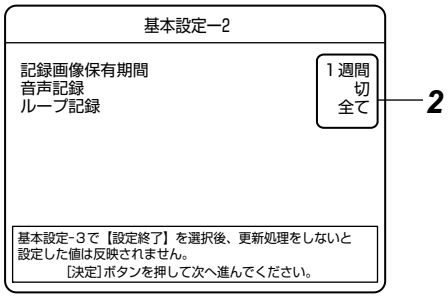
ご注意：

- カメラの台数運用設定は基本設定 -1 でのみ変更可能です。後からカメラ台数を変更する場合は、標準記録運用設定、記録運用 1 ～ 9 で使用している記録運用設定データ（通常記録、アラーム記録時の各コマ数、画質、動き検出）の設定をやり直さなければなりません。(☞ 34 ページ [記録運用設定をする])

基本設定 -2

1 [基本設定- 1] 画面表示中に、[決定] を押す

- [基本設定- 2] 画面が開きます。



2 [▲/▼] ボタンで設定項目を選び、[− / ＋] ボタンで数値を変更する

■ 設定内容

● 記録画像保有期間

設定値	内容
1 日 3 日 5 日 1 週間 2 週間 3 週間 1ヶ月 2ヶ月 3ヶ月	設定した記録画像モードと接続したカメラ台数を元に、記録画像をハードディスク上に保有したい期間を設定します。 ご注意 : ● この保有期間は目安のため、基本設定 -3 でコマ数、画質などを変更した場合、記録画像保有期間が変動することがあります。(記録画像保有期間については [HDD 記録時間について] (☞122 ページ) をご覧ください。

● 音声記録

設定値	内容
入 切	通常記録、およびアラーム記録のときに、音声記録するかどうかを設定します。

● ループ記録

ハードディスクの残容量がなくなったときの動作の設定をします。1 週間／ 2 週間／ 1ヶ月のいずれかを設定した場合、保存期間指定ループ記録を設定したことになります。(☞ 115 ページ [ループ記録のしくみ])

設定値	内容
切	記録を停止します。
アラーム ロック	古い記録から上書きして記録を継続します。ただし、アラーム記録には上書きしません。
全て	古い記録から上書きして記録を継続します。
1 週間	保存期間指定ループ記録の保存期間を 1 週間に設定します。
2 週間	保存期間指定ループ記録の保存期間を 2 週間に設定します。
1ヶ月	保存期間指定ループ記録の保存期間を 1ヶ月（31 日間）に設定します。

保存期間指定ループ記録 :

- 指定した保存期間（1 週間、2 週間または 1ヶ月）の記録がハードディスクに保存されます。
- 保存期間よりも古い記録は、アラーム記録、通常記録の区別なく自動的に削除されます。
- 保存期間に達する前にハードディスクが一杯になった場合、アラーム記録、通常記録の区別なく古い記録から削除されます。

メモ :

- 保存期間指定ループ記録の動作時間は、指定期間に対して最大 7 時間の誤差があります。

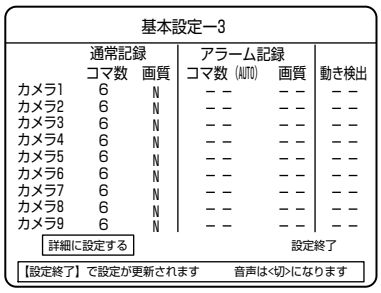
  (例) 保存期間を 1 週間（168 時間）に設定した場合
  - 現時点から 168 時間以内の記録は保存されます。ただし、ハードディスクの容量が十分ある場合に限ります。
  - 168 時間から 175 時間内の記録は、削除されているかどうかは不定です。
  - 175 時間以前の記録は、確実に削除されます。

3 [決定] を押します

- [基本設定- 1]、[基本設定- 2] の設定により、標準記録運用モードの記録設定（通常記録のコマ数、画質）が自動で設定され、[基本設定- 3] 画面に表示されます。

基本設定 -3

1 [▲/▼/◀/▶] ボタンで設定項目を選び、[決定] を押す


基本設定ー3
通常記録
アラーム記録
コマ数
画質
コマ数 (AUTO)
画質
動き検出
カメラ1 6 N − − − − − −
カメラ2 6 N − − − − − −
カメラ3 6 N − − − − − −
カメラ4 6 N − − − − − −
カメラ5 6 N − − − − − −
カメラ6 6 N − − − − − −
カメラ7 6 N − − − − − −
カメラ8 6 N − − − − − −
カメラ9 6 N − − − − − −
詳細に設定する
設定終了
【設定終了】で設定が更新されます
音声は<切>になります

メモ :

- [詳細に設定する] を選ぶと、標準記録運用モードの記録設定を変更できます。設定方法は [記録運用設定をする] (☞34 ページ) をご覧ください。

2 設定を終了する

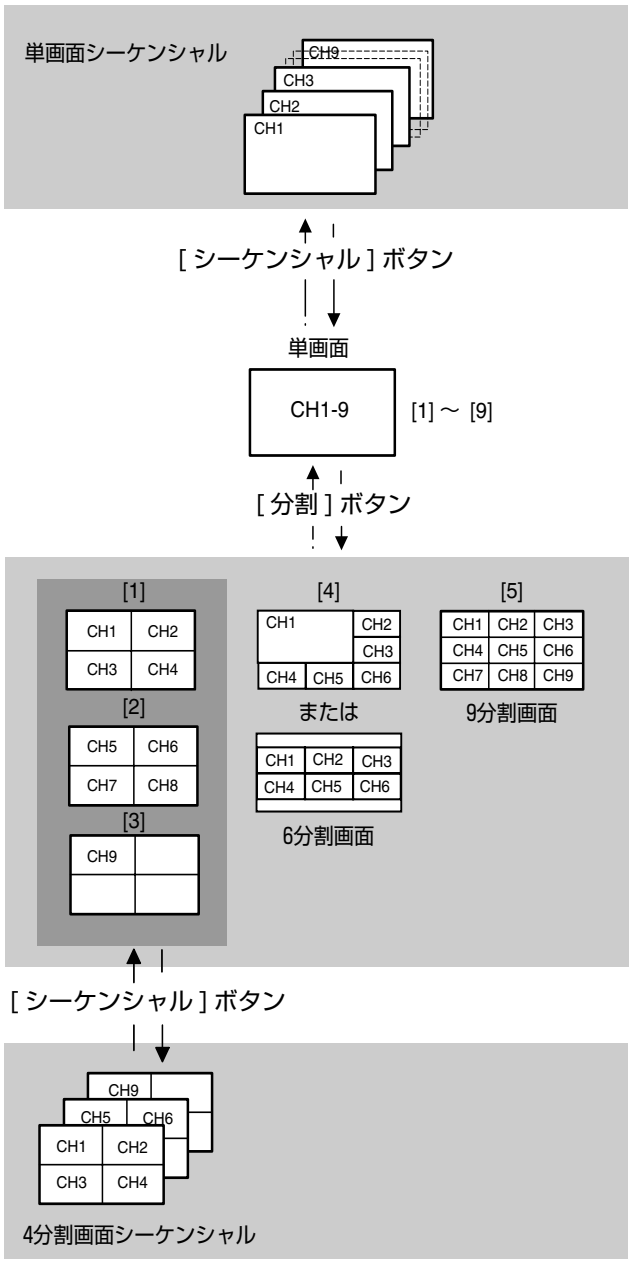
- [設定終了] を選ぶと、更新確認画面が表示されます。
- [更新] を選び [決定] を押すと設定内容が確定し、基本設定を終了します。

メモ :

- 変更後、設定更新すると、現在の記録運用設定が全て変更され、標準記録運用および記録運用 1 ～ 9 の全ての設定に反映されます。

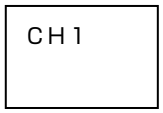
表示画面の切り換え

本機は、単画面、分割画面、シーケンシャル画面でライブ映像を見ることができます。
シーケンシャル表示はライブ映像でのみ可能です。



単画面表示

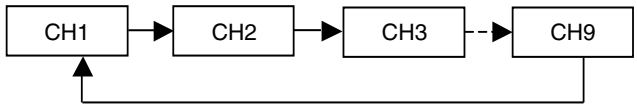
分割画面表示中に、[分割] を押すと分割表示灯が消灯し、単画面表示に切り換わります。もし、シーケンシャル表示中の場合は、まず、[シーケンシャル] を 1 秒以上長押しして、シーケンシャル表示を解除してください。単画面表示中は、選択された 1 つのカメラ映像をモニター上に表示します。



- テンキー [1]～[9] を押すと、対応するカメラ入力に切り換わります。
- [分割] を押すと前回設定した分割画面になります。
- [シーケンシャル] を 1 秒以上長押しすると、単画面シーケンシャルになります。

単画面シーケンシャル表示

単画面表示中に、[シーケンシャル] を 1 秒以上長押しすると、シーケンシャル表示灯が点灯し、単画面シーケンシャル表示になります。単画面シーケンシャル表示中は、各カメラの単画面映像を数秒ごとに切り換えて表示します。(☞ 26 ページ)



- [シーケンシャル] を押すと、固定単画面に戻ります。
- 単画面シーケンシャル表示中にテンキー [1]～[9] を押すとシーケンシャルを終了して単画面表示に戻ります。

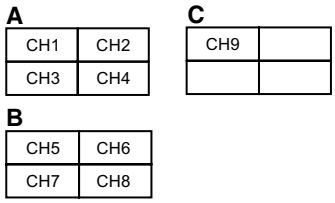
分割画面表示

単画面表示中に、[分割] を押すと [分割] 表示灯が点灯し、分割画面表示に切り換わります。もし、シーケンシャル画面表示中の場合は、まず、[シーケンシャル] を 1 秒以上長押しして、シーケンシャル表示を解除してください。分割画面表示中は、モニター上に複数のカメラ映像を同時に表示します。

- [分割]を押すと前回選択したカメラ入力の映像を単画面で表示します。

■ 4 分割画面表示

- 4分割画面の表示はテンキー[1]～[3]で下記のように切り換わります。
  - [1] を押すと 4 分割 -A 画面になります。
  - [2] を押すと 4 分割 -B 画面になります。
  - [3] を押すと 4 分割 -C 画面になります。

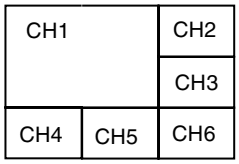


メモ :

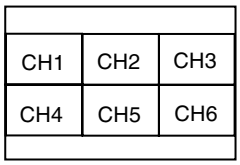
- 4分割画面表示中に、[シーケンシャル]を1秒以上長押しすると、4 分割画面シーケンシャルになります。
- 映像の調整は [カメラ映像を調整する（設置時）] (☞55 ページ) をご覧ください。

■ 6 分割画面表示

- [4] を押すと 6 分割画面の表示になります。
- 6 分割画面は、[モニター出力設定] メニューの [6 分割ライブ画面表示] 設定で、“ 全画面表示 ” または “ 中央表示 ” のいずれかを選択できます。(☞ 25 ページ)



全画面表示



中央表示

メモ :

- 6 分割画面からは、シーケンシャル表示にはなりません。

■ 9 分割画面表示

- [5] を押すと 9 分割 画面になります。

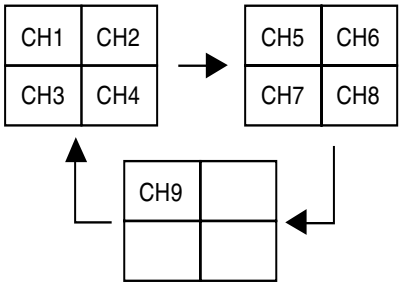
CH1	CH2	CH3
CH3	CH4	CH5
CH6	CH7	CH8

- 分割画面ごとの画面配置は、[ライブ映像] メニューで設定できます。(☞ 24 ページ)

4 分割画面シーケンシャル

4 分割画面が数秒ごとに切り換わりシーケンシャル表示されます。
4 分割画面表示中に [シーケンシャル] を 1 秒以上長押しします。

- [シーケンシャル] 表示灯が点灯し、4 分割画面シーケンシャル表示になります。4 分割画面シーケンシャル表示中は、4 分割画面を数秒ごとに切り換えて表示します。(☞ 26 ページ)



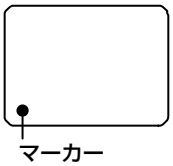
メモ :

- 再度 [シーケンシャル] を 1 秒以上長押しすると、固定4分割画面に戻ります。
- 4 分割画面シーケンシャル表示中にテンキー [1]~[5] を押すと、シーケンシャルを終了し、選択した分割画面表示に戻ります。

ご注意 :

- シーケンシャル表示中、[分割] ボタンによる操作は無効です。[分割] ボタンの操作を行う場合、一度 [シーケンシャル] を 1 秒以上長押しし、シーケンシャル表示を解除してから操作してください。

ライブ画面表示中、本機の動作状態を示すマーカーが画面の左下部に表示されます。(表示位置は変えられません。)



マーカーの色	本機の状態
青	記録していないとき
赤	通常記録中
黄	アラーム記録中
白	ビデオロス中

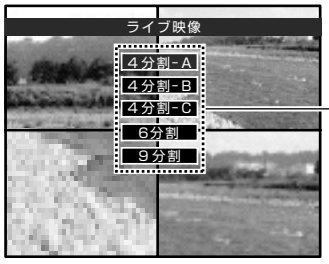
分割画面の配置を変更する

映像出力の分割画面の配置を設定します。

1 [メニュー] を押す

2 [ライブ映像] を開く

- [メニュー画面の操作] (☞18 ページ) に従い、[メニュー]⇨[ライブ映像] の順に開きます。



分割パターン選択画面

- 画面中央に設定する分割パターンが表示されます。
- はじめに、4 分割 -A の分割画面が表示されます。

メモ :

- 再生モード中、配置変更はできません。

3 [▲/▼] ボタンを押して設定する分割パターンを選択する

- 表示されるパターンが切り換わります。

4 [決定] を押す

- 青色枠が左上の子画面に表示されます。

5 テンキー [1] ～ [9] を押す

- 押した番号のカメラ入力が青色枠の子画面に配置されます。
- 青色枠が次の子画面に移動します。

メモ :

- 図は 4 分割画面の例です。
- [0/HDD(DVD)] を押すと、黒画面を選択できます。
- [シーケンシャル]を 1 秒以上長押しすると、青色枠が前の子画面に戻ります。

6 [分割] を押す

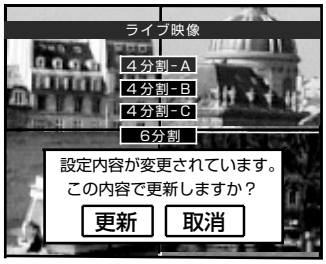
- 分割選択画面が表示されます。

メモ :

- 6 分割画面、9 分割画面など他の分割画面の配置を変える場合は、上記 ***3*** ～ ***5*** を繰り返してください。

7 [戻る] を押す

- 配置を変更していない場合、トップメニューに戻ります。
- 配置を変更した場合、確認画面が表示されます。



メモ :

- 上図は 4 分割画面の例です。

8 [◀/▶] ボタンで確認画面の [更新] を選び、[決定] を押す

- 分割画面の配置が変更されます。

メモ :

- [取消] を選択すると、トップメニュー画面に戻ります。

ご注意 :

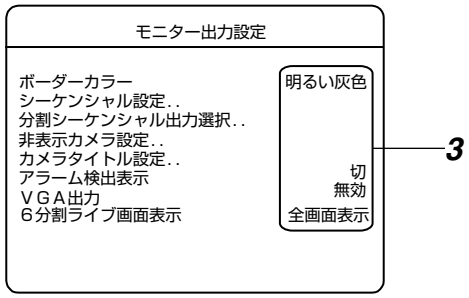
- 4 分割画面の配置設定において 4 分割 -A、4 分割 -B、4 分割 -C で同じ位置に同一のカメラを配置することはできません。

モニター出力の設定をする

1 [メニュー] を押す

2 [モニター出力設定] を開く

- [メニュー画面の操作] (☞18 ページ) に従い、[運用詳細設定]⇨[モニター出力設定] の順に開きます。



3 [▲/▼] ボタンで項目を選び、[− / ＋] ボタンで設定値を変更する

■ 設定内容

● ボーダーカラー

設定値	内容
黒色 暗い灰色 灰色 明るい灰色	分割画の境界線の明るさを設定します。 メモ : ● スポット出力の境界線の明るさも同時に変更されます。

● アラーム検出表示

アラーム検出されたときに表示するカメラ入力を設定します。

設定値	内容
切	表示を切り換えません。
固定	最後にアラーム記録を開始したカメラ入力の表示に切り換えます。同時に複数のカメラ入力がアラーム記録を開始したときは、1 秒間隔で順に切り換えて表示したあと、一番小さい番号のカメラ入力の表示に切り換えます。
シーケンシャル	アラーム記録中のカメラ入力を 1 秒間隔で切り換えて順に表示します。

メモ :

- アラーム検出表示が設定されると、アラーム記録中、対象カメラ入力の単画面表示に切り換わり、全てのアラーム記録が終了すると元の表示に戻ります。

● VGA 出力

設定値	内容
無効	VGA 出力から映像を出力しません。
有効	VGA 出力から映像を出力します。

● 6 分割ライブ画面表示 (☞ 23 ページ)

設定値	内容
全画面表示	6 分割ライブ画面を全画面表示します。
中央表示	6 分割ライブ画面を画面の中央に表示します。画面の上部および下部は黒画面になります。

4 [決定] を押す

- 確認画面が表示されます。

5 [◀/▶] ボタンで、[更新] を選び、[決定] を押す

メモ :

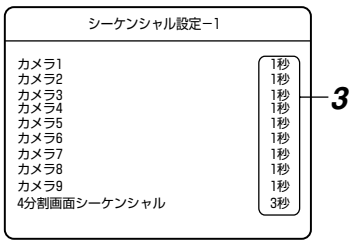
- 映像出力、スポット出力共にボーダーラインの表示を消すことはできません。
- モニター出力の設定を変更すると、[VIDEO OUT] の画像の特性が変わって見えることがあります。

シーケンシャルの時間を設定する

1 [メニュー] を押す

2 [シーケンシャル設定] を開く

- [メニュー画面の操作] (☞18 ページ) に従い、[運用詳細設定]⇨[モニター出力設定]⇨[シーケンシャル設定] の順に開きます。



3 [▲/▼] ボタンで項目を選び、[− / ＋] ボタンで設定値を変更する

■ 設定内容

● カメラ 1 ～ 9

単画面シーケンシャルの時間を設定します。

設定値	内容
1 秒 2 秒 3 秒 5 秒 10 秒	設定した時間で画面を切り換え、シーケンシャル表示します。
切	シーケンシャルで表示しません。

● 4 分割画面シーケンシャル

4 分割画面シーケンシャルの時間を設定します。

設定値	内容
1 秒 2 秒 3 秒 5 秒 10 秒	設定した時間で画面を切り換え、シーケンシャル表示します。

4 [決定] を押す

- 確認画面が表示されます。

5 [◀/▶] ボタンで、[更新] を選び、[決定] を押す

メモ :

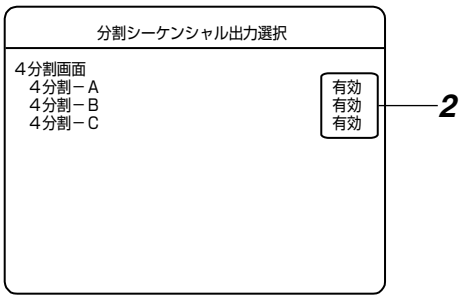
- 分割画面をシーケンシャル表示する場合、ご使用になるモニターによっては、画面の切り換え時に、一瞬モニター映像が乱れる場合があります。

分割シーケンシャル出力選択

4 分割画面シーケンシャルで各画面を表示するかどうかを設定します。

1 [メニュー] を押し、[分割シーケンシャル出力選択] を開く

- [メニュー画面の操作] (☞18 ページ) に従い、[運用詳細設定]⇨[モニター出力設定]⇨[分割シーケンシャル出力選択] の順に開きます。



2 [▲/▼] で項目を選び、[− / ＋] で設定値を変更する

■ 設定内容

● 4 分割 -A ～ 4 分割- C

設定値	内容
無効	スキップされ、シーケンシャル時に表示しません。
有効	表示します。

3 [決定] を押す

- 確認画面が表示されます。

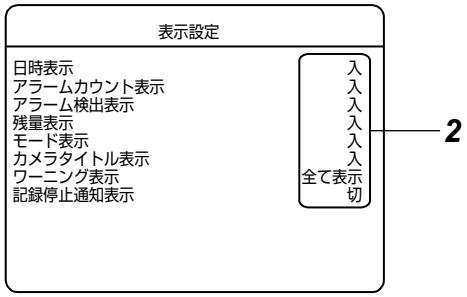
4 [◀/▶] ボタンで、[更新] を選び、[決定] を押す

表示設定

各項目をモニター画面にオンスクリーン表示するかどうかの設定をします。

1 [メニュー] を押し、[表示設定] を開く

- [メニュー画面の操作] (☞18 ページ) に従い、[運用詳細設定]⇨[表示 / 動作設定]⇨[表示設定] の順に開きます。



2 [▲/▼] で項目を選び、[－ / ＋] で設定値を変更する

■ 設定内容

項目	設定値	内容
日付表示	入 切	日付、時刻表示をするかどうか。
アラームカウント表示	入 切	アラーム番号の表示（AL- ＊＊と表示）をするかどうか。 ライブ映像の場合は、最後に記録されたアラーム番号を表示します。また、アラーム記録の映像を再生した場合は、再生中のアラーム番号を表示します。（停電が発生した前後のアラーム番号は不連続になります。）
アラーム検出表示	入 切	アラーム発生時に “-AL-” と赤色で表示するかどうか。
残量表示	入 切	[ループ記録] 設定が “ 切 ” の時、残量を表示（＊＊ % と表示）するかどうか。 [ループ記録] 設定が “ 切 ” 以外に設定されている場合、残量は表示されません。
モード表示	入 切	再生モード（▶ や ▶▶ など）および記録動作状態（青丸など）の表示をするかどうか。 メンテナンス中、“DB/” 表示 メンテナンス実行中は、再生音が途切れたり、画像が遅れることがありますが、記録には影響しません。このような場合は、“DB/” 表示が消えてから、再度、再生してください。
カメラタイトル表示	入 切	現在設定しているカメラタイトルを表示するかどうか。 記録後、“ 接続なし ” に変更したカメラの再生画には、カメラタイトルは表示されません。
ワーニング表示		ワーニング発生時、ワーニング情報をオンスクリーン表示するかどうか。 ワーニング情報は重要度に応じて 5 種類のレベルにランク分けしています。表示するレベルを選択します。レベルの数値が大きいほど、重要な障害となるワーニングです。 [エラーコードまたはオンスクリーン表示の出るトラブル] (☞107 ページ)
	切 全て表示 レベル 1 レベル 2 レベル 3 レベル 4	表示しません。 全ての内容を表示します。 レベル 1 以上の項目を表示。 レベル 2 以上の項目を表示。 レベル 3 以上の項目を表示。 レベル 4 の項目のみ表示。 **メモ：** ● レベルの詳細につきましては、[エラーコードまたはオンスクリーン表示の出るトラブル] (☞107 ページ) をご覧ください。
記録停止通知表示	入 切	“ 記録が停止しました。” のオンスクリーン表示、ワーニング表示灯の表示

3 [決定] を押す

- 確認画面が表示されます。

4 [◀/▶] ボタンで、[更新] を選び、[決定] を押す

スポット出力でライブ映像を見る

スポット出力でライブ映像を見ることができます。スポット出力の表示内容の変更方法は、以下の 2 通りです。

- 手動でスポット出力を変更する
- 背面端子の入力でスポット出力を変更する

手動でスポット出力を変更する

1 [シーケンシャル] を押しながら [分割] を押す

- スポット表示灯が点灯し、スポット出力選択モードになります。
- [1] ～ [9]、[シーケンシャル]、[分割] を押すと、モニター出力と同じ操作で、スポット出力の表示内容を切り換えられます。

■ モニター出力選択モードに戻るには・・

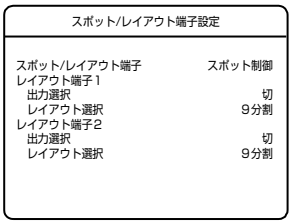
1 [シーケンシャル] を押しながら [分割] を押す

- スポット表示灯が消灯し、モニター出力選択モードになります。

背面端子の入力でスポット出力を変更する

1 [メニュー] を押し、[スポット / レイアウト端子設定] を開く

- [メニュー画面の操作] (☞18 ページ) に従い、[運用詳細設定]⇨[表示 / 動作設定]⇨[信号入出力端子設定]⇨[スポット / レイアウト端子設定] の順に開きます。



2 [▲/▼] ボタンで [スポット/レイアウト端子] 項目を選び、[－ / ＋] ボタンで “ スポット制御 ” に設定する

メモ :

- [スポット/レイアウト端子]を“レイアウト制御”に設定した場合、[レイアウト端子 1]、[レイアウト端子 2] の設定に従って画面表示を切り換えます。
  (☞ 30 ページ [外部信号入力端子でモニター･スポットの表示を切り換える])

3 本体背面の [SPOT/LAYOUT1]、[SPOT/LAYOUT2] 端子を 400ms 以上メイクする

- SPOT/LAYOUT1、SPOT/LAYOUT2 端子の入力により、SPOT 出力を切り換えることができます。

SPOT/LAYOUT1	SPOT/LAYOUT2	画面変更
メイク	オープン	次の画面を表示
オープン	メイク	前の画面を表示
メイク	メイク	レイアウト変更
オープン	オープン	何もしない

■ 次の画面を表示

- 単画面のとき
  1⇨2⇨3⇨…⇨9⇨1⇨…の順に切り換わります。
- 4 分割画面のとき
  4-A⇨4-B⇨4-C⇨4-A⇨…の順に切り換わります。
- 6 分割、9 分割画面のとき
  入力は無効です。

メモ :

- シーケンシャル動作中は、動作しません。
- 再生動き検出モード時は、スポット出力選択モード中でもスポット出力のシーケンシャル動作に関わらず [シーケンシャル] 表示灯が点滅します。
  (☞ 50 ページ [再生動き検出機能を使う])

■ 前の画面を表示

“次の画面を表示”と逆の順番で画面が切り換わります。

■ レイアウト変更

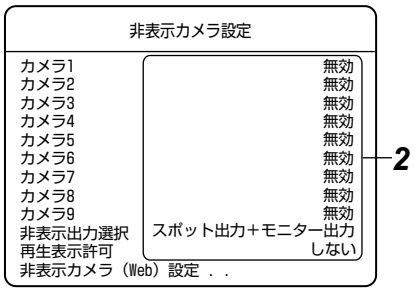
単画面 ⇨4 分割画面 ⇨6 分割画面 ⇨9 分割画面 ⇨ 単画面 ⇨…の順に切り換わります。

非表示カメラの設定

各カメラ入力を、モニター画面に表示させず、黒画面にするかどうかを設定します。

1 [メニュー] を押し、[カメラ制御システム] を開く

- [メニュー画面の操作] (☞18 ページ) に従い、[運用詳細設定]⇨[モニター出力設定]⇨[非表示カメラ設定] の順に開きます。



2 [▲/▼] ボタンで項目を選び、[－ / ＋] ボタンで設定値を変更する

■ 設定内容

● カメラ 1 ～ 9

設定値	内容
有効	非表示にします。 (黒画を表示します) メモ : ● 有効にしても、映像は記録されます。 ● カメラタイトルも表示されません。
無効	非表示にしません。

● 非表示出力選択

非表示カメラ設定を有効にする映像出力端子を選びます。

設定値	内容
切	非表示カメラ設定を無効にします。
スポット出力 モニター出力 スポット出力 + モニター出力	選んだ出力端子で設定が有効になります。

● 再生表示許可

非表示カメラ設定された入力の再生を許可するかどうかを設定します。

設定値	内容
しない	再生を禁止します。
する	再生を許可します。

3 [決定] を押す

- 確認画面が表示されます。

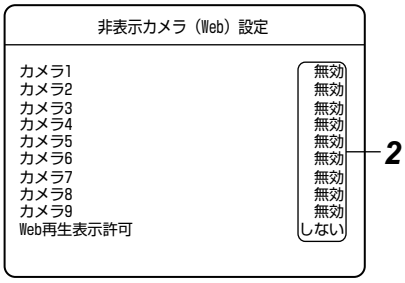
4 [◀/▶] ボタンで、[更新] を選び、[決定] を押す

非表示カメラ (Web) の設定

パソコンでライブ画を見るときに、各カメラ入力をモニター画面に表示させず、黒画にするかどうかを設定します。
(☞ 76 ページ [パソコンでライブ画を見る])
(☞ 82 ページ [再生画表示画面])

1 [メニュー] を押し、[非表示カメラ設定] を開く

- [メニュー画面の操作] (☞18 ページ) に従い、[運用詳細設定]⇨[モニター出力設定]⇨[非表示カメラ設定]⇨[非表示カメラ（Web) 設定] の順に開きます。



2 [▲/▼] ボタンで項目を選び、[－ / ＋] ボタンで設定値を変更する

■ 設定内容

● カメラ 1 ～ 9

設定値	内容
有効	非表示にします。 (黒画を表示します) メモ : ● 有効にしても、映像は記録されます。 ● カメラタイトルも表示されません。
無効	非表示にしません。

● Web 再生表示許可

記録された映像をパソコンで再生表示するかどうかを設定します。

設定値	内容
しない	再生を禁止します。
する	再生を許可します。

3 [決定] を押す

- 確認画面が表示されます。

4 [◀/▶] ボタンで、[更新] を選び、[決定] を押す

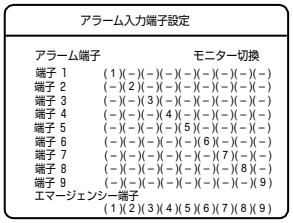
外部信号入力端子でモニター・スポットの表示を切り換える

[ALARM IN] 端子でモニター・スポットの表示画面を切り換える

1 [メニュー] を押し、[アラーム入力端子設定] を開く

- [メニュー画面の操作] (☞18 ページ) に従い、[記録詳細設定]⇨[アラーム入力端子設定] の順に開きます。

2 [▲/▼] ボタンで [アラーム端子] 項目を選び、[− / ＋] ボタンで " アラーム記録 " 以外を選択する



アラーム端子	
アラーム記録	入力信号検出すると、アラーム記録を開始します。(☞ 38 ページ) **メモ :** ● [ALARM IN] 端子でモニター・スポットの画面表示を切り換える場合には設定しないでください。
モニター切換	入力信号検出するとモニター画面の表示を [ALARM IN] 端子に対応したカメラの映像（単画面）に切り換えます。
スポット切換	入力信号検出するとスポット画面の表示を [ALARM IN] 端子に対応したカメラの映像（単画面）に切り換えます。
モニター・スポット切換	入力信号検出するとモニター画面・スポット画面それぞれの表示を [ALARM IN] 端子に対応したカメラの映像（単画面）に切り換えます。

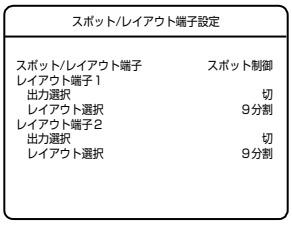
メモ :

- [アラーム端子] を " アラーム記録 " 以外に設定した場合、[端子 1]~[端子 9] 設定は無効となります。
- [アラーム端子] を " アラーム記録 " 以外に設定した場合、[ALARM IN] 端子によるアラーム記録は実行されません。
- 複数の[ALARM IN]端子に同時に信号が入力された場合、番号の小さいカメラ映像が優先されます。
- [ALARM IN] 端子によるモニター・スポットの表示切換機能は、ライブ映像表示モードでのみ有効となります。再生モード中の信号入力は無視されます。

[SPOT/LAYOUT1]、[SPOT/LAYOUT2] 端子でモニター・スポットの画面を任意のレイアウト表示に切り換える

1 [メニュー] を押し、[スポット / レイアウト端子設定] 画面を開く

- [メニュー画面の操作] (☞18 ページ) に従い、[運用詳細設定]⇨[表示 / 動作設定]⇨[信号入出力端子設定]⇨[スポット / レイアウト端子設定] の順に開きます。



2 [▲/▼] で [スポット / レイアウト端子] 項目を選び、[− / ＋] で " レイアウト制御 " を選択する

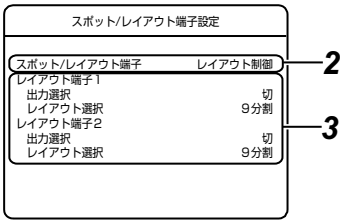
- [レイアウト端子 1]、[レイアウト端子 2] それぞれに [出力選択]、[レイアウト選択] 項目の設定が可能となります。

メモ :

- [スポット/レイアウト端子]項目を" スポット制御 "に設定した場合は、[SPOT/LAYOUT1]、[SPOT/LAYOUT2] 端子の入力によってスポット出力を切り換えます。(☞ 28 ページ [背面端子の入力でスポット出力を変更する])

3 [レイアウト端子 1] の [出力選択]、[レイアウト選択] を設定する

- [▲/▼]ボタンで[レイアウト端子1]の[出力選択]項目を選択し、[− / ＋] ボタンで " 切 " 以外を選択します。



出力選択	
切	入力信号検出しても無効となります。
モニター出力	入力信号検出するとモニター出力を切り換えます。
スポット出力	入力信号検出するとスポット出力を切り換えます。

- [▲/▼]ボタンで[レイアウト端子1]の[レイアウト選択]項目を選択し、[− / ＋] ボタンで任意のレイアウトまたは、カメラ映像を選択します。

4 [レイアウト端子 2] の [出力選択]、[レイアウト選択] を設定する

- [▲/▼]ボタンで[レイアウト端子2]の[出力選択]項目を選択し、[− / ＋] ボタンで " 切 " 以外を選択します。
- [▲/▼]ボタンで[レイアウト端子2]の[レイアウト選択]項目を選択し、[− / ＋] ボタンで任意のレイアウトまたは、カメラ映像を選択します。

メモ :

- ライブ映像表示モードでのみ有効となります。
- 各シーケンシャルモードを選択した場合、それぞれにシーケンシャルの実行条件を満たしてしなければ、シーケンシャル動作はできません。(☞ 26、26 ページ)

記録の種類について

通常記録

[記録詳細設定をする] (☞33 ページ) の [運用切換ボタン操作] の設定と、[タイマー / 運用切換] の ON/OFF によって、通常記録の記録運用モードは下表のようになります。

表 1：通常記録の記録運用モード

	運用切換ボタン操作の設定	
	プログラムタイマー	記録運用 1 ～ 9
タイマー / 運用切換 OFF（表示灯消灯）	標準記録運用モード	標準記録運用モード
タイマー / 運用切換 ON（表示灯点灯）	タイマー記録	記録運用 1 ～ 9 モード

記録運用モードを切り換える場合は [タイマー / 運用切換] ボタンを 1 秒以上長押ししてください。

メモ：

- 背面の[EXT REC/MODE IN]端子で記録運用モードを切り換えることもできます。
  [外部記録 / モード入力端子で記録運用モードを切り換える] (☞32 ページ)

■ 標準記録運用モード

- 標準記録運用モードの設定で記録をします。
- [記録 / 停止] ボタンで記録の開始／停止ができます。(☞ 32 ページ)
- [EXT REC/MODE IN] 端子で記録の開始／停止ができます。(☞ 32 ページ)

■ 記録運用 1 ～ 9 モード

- [運用切換ボタン操作] で設定した記録運用モードの設定で記録をします。
- [記録 / 停止] ボタンで記録の開始／停止ができます。(☞ 32 ページ)
- [EXT REC/MODE IN] 端子で記録の開始／停止ができます。(☞ 32 ページ)

タイマー記録

- 週間タイマー設定／日付指定タイマー設定で指定した通りに記録が開始・停止します。
  - 週間タイマー設定 (☞ 43 ページ)
  - 日付指定タイマー設定 (☞ 44 ページ)
- [記録/停止]ボタンや[EXT REC/MODE IN]端子で操作することはできません。

アラーム記録

停止中、および通常記録／タイマー記録中に、信号の入力や動きの検出がされたとき、アラーム記録が開始されます。アラーム記録には、以下の 4 種類があります。

■ エマージェンシー記録

- [EMERGENCY] 端子に信号が入力されたときに記録を開始します。(☞ 37 ページ)

■ パスコード不適合検出記録

- パスコードの入力結果が一致していないときに記録を開始します。(☞ 37 ページ)

■ アラーム記録（信号入力端子）

- [ALARM IN] 端子に信号が入力されたときに記録を開始します。(☞ 39 ページ)

■ アラーム記録（動き検出）

- 映像の動きを検出したときに記録を開始します。(☞ 42 ページ)

記録の優先順位

記録には優先順位があります。優先順位の高い記録は、優先順位の低い記録の途中からでも記録を開始します。

1 エマージェンシー記録

2 パスコード不適合検出記録

3 アラーム記録（信号入力端子、動き検出、カメラアラーム）

4 日付指定タイマー記録

5 週間タイマー記録

6 通常記録

通常記録をする

標準記録運用モード

1 記録詳細設定をする (☞ 33 ページ)

2 [標準記録運用モード] の通常記録項目を設定する (☞ 34 ページ)

3 [タイマー/ 運用切換] 表示灯が消灯しているのを確認する

■ [記録 / 停止] を押す

- 記録を開始します。

■ [記録 / 停止] を約 2 秒間、長押しする

- 記録を停止します。

記録運用 1 ～ 9

1 記録詳細設定をする (☞ 33 ページ)
[記録詳細設定] の [運用切換ボタン操作] 設定を希望の記録運用モードに設定します。(記録運用 1 ～ 9 より選択)

2 記録運用 1 ～ 9 の通常記録項目を設定する (34 ページ)

3 メニュー画面を終了し [タイマー/運用切換] を押す
- タイマー／運用切換　表示灯が点灯します。

■ [記録 / 停止] を押す

- 各モードの通常記録項目の設定内容で記録を開始します。

■ [記録 / 停止] を約 2 秒間、長押しする

- 記録を停止します。

メモ :

- 記録の開始から停止までの内容が 1 イベントとしてハードディスクに記録されます。
- [動作設定]の[記録表示灯動作]設定が“入”に設定時、記録中にフロントパネルの [記録] 表示灯が点灯します。
- [動作設定]の[ループ記録]設定で、ハードディスクおよびイベントの残容量がなくなったときの動作を設定できます。
  [ループ記録] を “ アラームロック ”、“ 全て ”、“ 1 週間 ”、“2 週間 ” や “ 1ヶ月 ” に設定時は、古い記録から上書きして記録を継続します。
  (☞ 36 ページ [動作設定をする （停電復帰動作、記録表示灯動作、ループ記録）])

外部記録 / モード入力端子で通常記録をする

[記録 / 停止] ボタンの代わりに、背面の [EXT REC/ MODE IN] 端子に信号を入力することで、記録の開始／停止を操作できます。

1 [外部記録入力端子]設定を“トリガ”または“マニュアル ” に設定する (☞ 58 ページ)

■ [外部記録入力端子] を “ トリガ ” に設定したとき

- [EXT REC/MODE IN] 端子をメイクすると通常記録を開始します。
  [EXT REC/MODE IN] 端子をオープンにしても記録を続けます。
- 記録を停止するには、[記録/停止]を約2秒間　長押しします。

■ [外部記録入力端子]を“マニュアル”に設定したとき

- [EXT REC/MODE IN] 端子をメイクすると通常記録を開始します。
- [EXT REC/MODE IN] 端子をオープンすると記録を停止します。

外部記録 / モード入力端子で記録運用モードを切り換える

[タイマー / 運用切換] ボタンの代わりに、背面の [EXT REC/MODE IN] 端子に信号を入力することで、通常記録の記録運用モードを切り換えることができます。

1 [外部記録入力端子]設定を“タイマー/運用切換”に設定する (☞ 58 ページ)

- [EXT REC/MODE IN] 端子に信号を入力すると、記録運用モードをタイマー記録モードまたは通常記録モード（記録運用 1 ～ 9 または標準記録運用）に切り換えます。

メモ :

- 入力信号レベル : (☞ 14 ページ [信号入出力端子])

記録状態を通知する

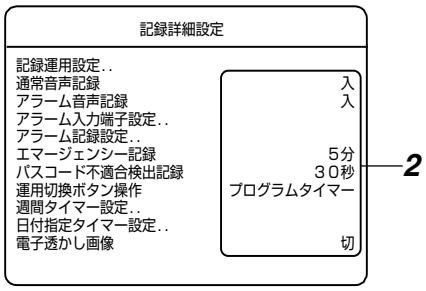
記録中は、[記録] 表示灯の点灯、および [REC OUT] 端子からの信号出力によって記録状態を知らせることができます。

- 記録表示灯の動作設定 (☞ 36 ページ)
- [外部記録入力端子] の設定 (☞ 58 ページ)

記録詳細設定をする

1 **[メニュー] を押す**

- [メニュー画面の操作] (☞18 ページ) に従い、[メニュー]⇨[記録詳細設定] の順に開きます。



2 **[▲/▼] で項目を選び、[− / ＋] で設定値を変更する**

■ 設定項目

設定値	内容
通常音声記録 (☞ 52 ページ [音声出力設定])	
切	音声を記録しません。
入	音声を記録します。 **ご注意：** ● 1 秒間の記録コマ数（イメージ数）が 1/5、1/10 の場合、音声は記録されません。(☞ 34 ページ)
アラーム音声記録 (☞ 52 ページ [音声出力設定])	
切	音声を記録しません。
入	音声を記録します。

設定値	内容
エマージェンシー記録	エマージェンシー記録端子に信号が入力されたときの記録時間を設定します。記録画質は、H(High)：高画質記録になります。
切	記録しません。
30 秒、1 分、5 分、10 分、20 分	設定した時間だけ記録します。
継続	[アラーム解除] ボタンを押すまで、記録を継続します。
マニュアル	信号が入力されている間、記録を継続します。

メモ：

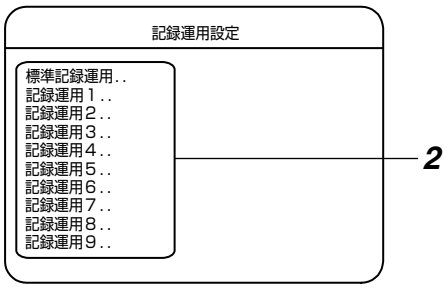
- エマージェンシー記録（パスコード不適合検出記録）の場合、記録コマ数は合計コマ数（記録画像モードが [滑らか] の場合は 120 コマ、[高精細] の場合は 60 コマ）をエマージェンシー記録に選択したカメラ入力数で均等割したコマ数となります。

パスコード不適合検出記録	誤ったパスコードを検出した場合、記録するかどうかを設定します。記録時間以外はエマージェンシー記録と同じ設定で記録を始めます。 ただし、[アラーム解除] を押す操作をしても、強制的に記録を停止することはできません。
切	誤ったパスコードが入力されても、記録を開始しません。
10 秒、20 秒、30 秒	誤ったパスコードが入力されたとき、設定時間だけ記録します。 (☞ 62 ページ [パスコード設定])
運用切換ボタン操作 （32 ページ　通常記録をする）	
プログラムタイマー	週間タイマー設定、および日付指定タイマー設定に従って記録します。
記録運用 1 ～ 9	各運用設定に従って記録します。
電子透かし画像	記録画像に改ざん検出信号を記録します。 (☞ 66 ページ [キャプチャーした静止画をパソコン上で改ざん検出および閲覧する])
切	電子透かし機能を OFF にします。
入	電子透かし機能を ON にします。

記録運用設定をする

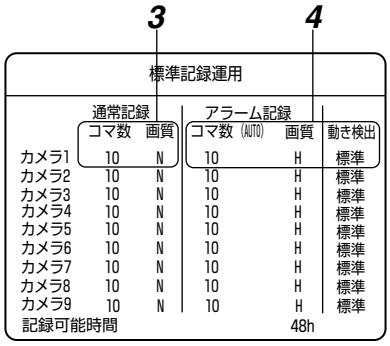
1 [メニュー] を押す

- [メニュー画面の操作] (☞18 ページ) に従い、[メニュー]⇨[記録詳細設定]⇨[記録運用設定] の順に開きます。



2 [▲/▼] で設定するモードを選び、[決定] を押す

- 各記録運用モードの [記録運用設定] 画面が開きます。



※ 上図は [標準記録運用] の例です。

メモ :

- 設定に応じた [記録可能時間] が最下行に表示されます。[ループ記録設定] が " 切 " の場合は、現在のハードディスク残量で記録可能な時間が表示されます。
- [ループ記録設定]が" 全て "、" アラームロック "、" 1 週間 "、" 2 週間 " または " 1ヶ月 " に設定されいる場合、ハードディスク総量に対する記録可能時間が表示されます。

3 [▲/▼/◀/▶] で [通常記録] 項目を選び、[− / ＋] でコマ数／画質を選ぶ

■ 設定項目

● コマ数

設定値	内容
1/10、1/5、1/2、1、2、3、6、10、15、30	1 秒間に記録するコマ数（イメージ数）を設定します。
---	記録しません。

● 画質

設定値	内容
H(High)	高画質記録
N(Normal)	標準画質記録
B(Basic)	中画質記録
L(Long)	長時間画質記録

4 [▲/▼/◀/▶] で [アラーム記録] 項目を選び、[− / ＋] でコマ数／画質／動き検出の設定をする

■ 設定項目

● コマ数

設定値	内容
1、2、3、6、10、15、30	1 秒間に記録するコマ数（イメージ数）を設定します。
---	記録しません。
(AUTO)	他の入力に影響を与えない範囲で、そのとき記録できる上限のコマ数で記録します。 上限のコマ数：均等割で記録可能な最大のコマ数 (AUTO) 表示の右側に、設定した全てのカメラ入力のアラーム記録を開始した場合、想定されるコマ数の目安が表示されます。

● 画質

設定値	内容
H(High)	高画質記録
N(Normal)	標準画質記録
B(Basic)	中画質記録
L(Long)	長時間画質記録

メモ :

- [コマ数] が " (AUTO)" に設定されている場合、複数のアラームが同時に発生すると、正常にプリアラーム記録ができないことがあります。プリアラーム記録を確実に動作させるためには、[アラーム記録] の [コマ数] 設定を " (AUTO)" 以外に設定してください。

● 動き検出
動き検出の感度を設定します。

設定値	内容
切	動き検出を無効にします。
標準	標準の感度で動き検出します。
ユーザー	感度を自由に設定できます。
出入口 高、 出入口 低、 通路 高、 通路 低、 レジ 高、 レジ 低、 ATM 高、 ATM 低、 ロビー 高、 ロビー 低、 通用門 高、 通用門 低、 駐車場 高、 駐車場 低、 低照度 高、 低照度 低、 エレベータ、 カウンタ	決められた感度で動き検出します。 メモ : ● 詳細は (☞ 40 ページ [決められた感度で動き検出する]) をご覧ください。

5 **[決定] を押す**
- 確認画面が表示されます。

6 **[◀/▶] で [更新] を選び、[決定] を押す**

コマ数設定の制限

- 下記 ①～③ の合計コマ数が 120 (または 60) を超えないように設定する必要があります。合計コマ数は、[基本設定- 1-2] の [記録画像モード]((☞ 20 ページ) で " 滑らか " に設定した場合は 120、" 高精細 " に設定した場合は 60 になります。

① 通常記録のコマ数の合計
② アラーム記録のコマ数の合計
③ 各カメラの、通常記録とアラーム記録の多い方のコマ数を合計したもの

メモ :
- アラーム記録のコマ数を "(AUTO)" に設定した場合は、アラーム記録のコマ数を 1 コマと見なして計算します。

カメラ台数を変更する場合の手順

1 **標準記録運用設定や記録運用 1 ～ 9 を使用している場合、記録運用設定データ (通常記録、アラーム記録時のコマ数、画質、動き検出) を全てメモする**

2 **[基本設定] でカメラの台数運用設定を変更する (☞ 20 ページ)**

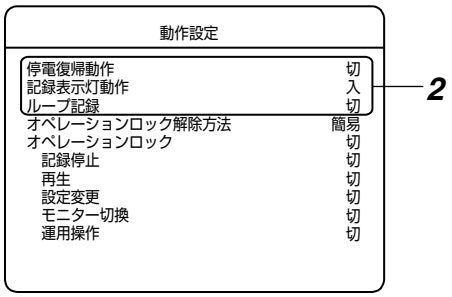
3 **手順 *2* の [基本設定] 完了後、手順 *1* でメモした記録運用設定データを元に設定する**

メモ :
- 一時的な設定変更の場合は、元のデータを USB メモリーなどにバックアップを取っておくことをおすすめします。[設定データを USB フラッシュメモリーに保存する] (☞68 ページ)

動作設定をする（停電復帰動作、記録表示灯動作、ループ記録）

1 [メニュー] を押す

- [メニュー画面の操作] (☞18 ページ) に従い、[メニュー]⇨[運用詳細設定]⇨[表示 / 動作設定]⇨[動作設定] の順に開きます。



2 [▲/▼] で項目を選び、[－ / ＋] で設定値を変更する

■ 設定項目

● 停電復帰動作

停電後の復帰で記録をするかどうかの設定をします。

設定値	内容
切	記録停止状態になります。
強制記録	通常記録を開始します。
停電前保存	停電前に記録中の場合のみ、停電前と同じ設定で記録を開始します。

メモ：

- タイマー動作中は、タイマー設定の内容に従って記録動作を行います。

● 記録表示灯動作

記録中に [記録] 表示灯を点灯させるかどうかを設定します。

設定値	内容
切	点灯しません。
入	点灯します。

● ループ記録

ハードディスクの残容量がなくなったときの動作の設定をします。1 週間／ 2 週間／ 1ヶ月のいずれかを設定した場合、保存期間指定ループ記録を設定したことになります。(☞ 115 ページ [ループ記録のしくみ])

メモ：

- 保存期間指定ループ記録とは：

  指定した保存期間（“1 週間 ”、“2 週間 ” または “1ヶ月 ”）の記録がハードディスクに保存されます。（ただし、ハードディスクの容量が十分ある場合に限ります。）
  保存期間よりも古い記録は、アラーム記録、通常記録の区別なく自動的に削除されます。保存期間に達する前にハードディスクが一杯になった場合、アラーム記録、通常記録の区別なく古い記録から削除されます。

設定値	内容
切	記録を停止します。
アラームロック	古い記録から上書きして記録を継続します。ただし、アラーム記録、エマージェンシー記録やパスコード不適合検出記録は上書きしません。
全て	古い記録から上書きして記録を継続します。
1 週間	保存期間指定ループ記録の保存期間を 1 週間に設定します。
2 週間	保存期間指定ループ記録の保存期間を 2 週間に設定します。
1ヶ月	保存期間指定ループ記録の保存期間を 1ヶ月（31 日間）に設定します。

メモ：

- 保存期間指定ループ記録の動作時間は、指定期間に対して最大 7 時間の誤差があります。
  （例）保存期間を 1 週間（168 時間）に設定した場合
  - 現時点から 168 時間以内の記録は保存されます。（ただし、ハードディスクの容量が十分ある場合に限ります。）
  - 168 時間から 175 時間内の記録は、削除されているかどうかは不定です。
  - 175 時間以前の記録は、確実に削除されます。

3 [決定] を押す

- 確認画面が表示されます。

4 [◀/▶] で [更新] を選び、[決定] を押す

アラーム記録をする

停止中、および通常記録／タイマー記録中に、アラーム端子の入力や動き検出がされたとき、アラーム記録が開始されます。

メモ：

- アラーム記録 1 件当り数件、イベントの数が増加します。イベント数の制限を越えた記録は古い順から強制的に消去されます。アラーム記録のみを頻繁に行う設定は避けてください。(☞ 113 ページ)

エマージェンシー記録

1 [EMERGENCY] 端子にアラーム機器を接続する

2 記録詳細設定をする (☞ 33 ページ)
- [エマージェンシー記録] を " 切 " 以外の設定にします。

3 アラーム端子設定をする (☞ 38 ページ)
- エマージェンシー入力でエマージェンシー記録を行うカメラを選択します。

● [EMERGENCY] 端子に信号が入力されたとき、記録が開始されます。

アラーム記録（信号入力端子）

1 [ALARM IN] 端子にアラーム機器を接続する

2 記録詳細設定をする (☞ 33 ページ)
- [アラーム音声記録] で音声記録の有無を設定します。

3 記録運用設定をする (☞ 34 ページ)
- [アラーム記録]の[コマ数]設定を" ---"以外の設定にします。

4 アラーム端子設定をする (☞ 38 ページ)
- [アラーム端子]項目を " アラーム記録 " に設定します。
- アラーム入力端子に対し、有効となるカメラを選択します。

5 アラーム記録設定をする (☞ 39 ページ)
- アラーム記録時間やプリアラーム記録の有無を設定します。

● [ALARM IN] 端子に信号が入力されたとき、記録が開始されます。

アラーム記録（動き検出）

1 記録詳細設定をする (☞ 33 ページ)
- [アラーム音声記録] で音声記録の有無を設定します。

2 記録運用設定をする (☞ 34 ページ)
- [アラーム記録]の[コマ数]設定を" ---"以外の設定にします。
- [動き検出] を " 切 " 以外の設定にします。

3 アラーム記録設定をする (☞ 39 ページ)
- アラーム記録時間やプリアラーム記録の有無を設定します。
- 動き検出レベルを設定します。（記録運用設定で動き検出の感度を " ユーザー " に設定した場合のみ）

4 動き検出エリア設定をする (☞ 42 ページ)

● 入力映像で動きが検出されたとき、記録が開始されます。

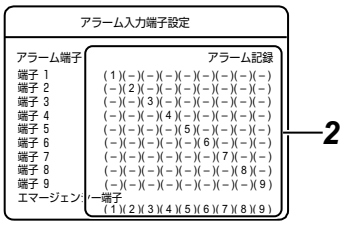
メモ：

- アラーム記録中やエマージェンシー記録中、フロントパネルの [アラーム] 表示灯が点灯します。
  記録を終了すると点滅します。
- [ブザー]設定の[アラームブザー]設定を" 入 " に設定した場合、アラーム／エマージェンシー記録（パスコード不適合検出記録）中にブザーがなります。(☞ 57 ページ)
- 設定メニュー画面が開いている場合は、アラーム記録は行われません。
- エマージェンシー記録（パスコード不適合検出記録）の場合、記録コマ数は、全コマ数（記録画像モードが [滑らか] の場合は 120 コマ、[高精細] の場合は 60 コマを選択したエマージェンシー入力数で均等割したコマ数となります。
- 記録できるイベント数は約 10 万件です。
  記録できるイベント数（イベント残量）が少なくなると、メッセージがオンスクリーン表示されます。
  (☞ 108 ページ)
- [アラーム記録] を以下のように設定すると、エマージェンシー記録（パスコード不適合検出記録）にプリアラーム記録を連動させることができます。この場合、プリアラーム記録の [コマ数]、[画質] は、[記録運用設定] にて設定されたコマ数、画質となります。（エマージェンシー記録のコマ数、画質とは異なります。）
  - [記録運用設定] の [アラーム記録] の [コマ数] 設定を " --- " 以外の設定にしてから、[画質] を設定する。
    (☞ 34 ページ)
  - [アラーム記録設定]の[プリアラーム設定]を" 切 " 以外に設定する。(☞ 39 ページ)

アラーム入力端子設定をする

1 **[メニュー] を押す**

- [メニュー画面の操作] (☞18 ページ) に従い、[メニュー]⇨[記録詳細設定]⇨[アラーム入力端子設定] の順に開きます。



- 縦軸にアラーム入力端子、横軸にカメラ入力を配列した表になっています。
- それぞれのアラーム入力端子に信号が入力されたとき、その右にカメラ入力を表す数字が表示されていれば有効、“ --- ” であれば無効であることを示しています。

メモ :

- エマージェンシー記録端子についても、アラーム入力端子と同じ扱いで対応カメラ入力を設定できます。

2 **[▲/▼/◀/▶] で設定したい項目を選び、[− / ＋] で有効／無効を設定する**

■ 設定項目

● アラーム端子

設定値	内容
アラーム記録	アラーム入力端子に信号の入力があったとき、アラーム記録を開始します。 [端子 1]~[端子 9] 設定が有効となります。
モニター切換	アラーム入力端子に信号の入力があったとき、モニターの表示画面を切り換えます。 [端子 1]~[端子 9] 設定は無効となります。 (☞ 30 ページ [[ALARM IN] 端子でモニター・スポットの表示画面を切り換える])
スポット切換	アラーム入力端子に信号の入力があったとき、スポットの表示画面を切り換えます。 [端子 1]~[端子 9] 設定は無効となります。 (☞ 30 ページ [[ALARM IN] 端子でモニター・スポットの表示画面を切り換える])
モニター・スポット切換	アラーム入力端子に信号の入力があったとき、モニターとスポット両方の表示画面を切り換えます。 [端子 1]~[端子 9] 設定は無効となります。 (☞ 30 ページ [[ALARM IN] 端子でモニター・スポットの表示画面を切り換える])

● 端子⇔対応カメラ入力

設定値	内容
1、2、3、4、5、6、7、8、9	端子に信号の入力があったとき、記録を開始します。
−	端子に信号の入力があっても、記録を開始しません。

3 **[決定] を押す**

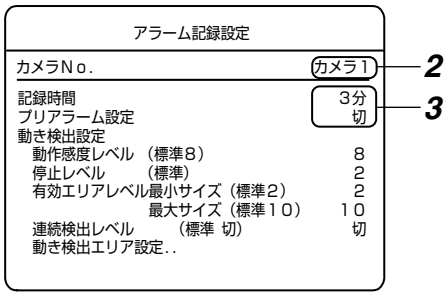
- 確認画面が表示されます。

4 **[◀/▶] で [更新] を選び、[決定] を押す**

アラーム記録設定をする

1 [メニュー] を押す

- [メニュー画面の操作] (☞18 ページ) に従い、[メニュー]⇨[記録詳細設定]⇨[アラーム記録設定] の順に開きます。



2 [◀/▶] で設定するカメラ入力を選ぶ

3 [▲/▼] で設定項目を選び、[− / +] で設定値を変更する

■ 設定項目

● 記録時間

設定値	内容
10 秒、15 秒、30 秒、1 分、3 分、5 分	設定した時間だけアラーム記録します。アラーム記録中に追加してアラーム検出すると、その時点からさらに設定した時間だけ記録を延長します。
マニュアル	信号が入力されている間、記録を継続します。

● プリアラーム設定

設定値	内容
切	プリアラーム記録をしません。
10 秒、30 秒、60 秒	設定した時間だけプリアラーム記録します。

4 [決定] を押す

- 確認画面が表示されます。

5 [◀/▶] で [更新] を選び、[決定] を押す

メモ：

- プリアラーム記録は、アラーム記録設定をしていて、記録をしていない状態のときのみ、アラーム検出に備えて記録をしています。
  [プリアラーム記録のしくみ] (☞114 ページ)
- 設定メニュー画面が開いている場合は、動き検出を含むアラーム記録に入りません。

アラーム記録を停止する

アラーム記録（信号入力端子、動き検出）中に、[アラーム解除] を押したり [ALARM RESET] 端子に信号を入力することで、アラーム記録を停止することができます。

メモ：

- アラーム記録を一度解除すると、15 秒間新規の動き検出によるアラーム記録を受け付けません。

前面ボタンでアラームを解除する

■ アラーム記録中に [アラーム解除] を押す

- アラーム記録が停止します。

信号入出力端子でアラームを解除する

■ アラーム記録中に [ALARM RESET] 端子に信号を入力する

- アラーム記録が停止します。

メモ：

- アラーム記録を行う場合は、[基本設定-3] あるいは [記録運用設定] においてアラーム記録のコマ数を [− −] 以外に設定してください。
  (☞ 22、34 ページ)
- アラーム件数が増大すると、再生時の検索に時間がかかることがあります。

動き検出機能を使う

動き検出には、決められた設定で検出を行う方法と、検出感度を自由に設定して検出を行う方法の２通りがあります。また、画面中の検出をする範囲を設定することができます。

メモ：

- メニュー操作中は、動き検出できません。

決められた感度で動き検出する

決められた設定値で動き検出するときは、[記録運用設定] の [動き検出] の設定値を “ 標準 ”、またはシーン名にします。各シーンの設定値は下表の通り。

- 表１：シーン別設定値

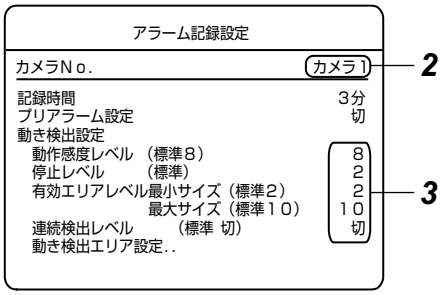
シーン	詳細設定				
	動作感度レベル	停止感度レベル	検出最小エリア	検出最大エリア	連続検出レベル
標準	8	2	2	10	切
ユーザー (初期値)	1～10 (8)	1～3 (2)	1～10 (2)	1～10 (10)	切、0.5秒～30秒 (切)
出入口 高	9	1	1	10	切
出入口 低	8	3	2	10	切
通路 高	9	1	1	10	切
通路 低	8	3	2	10	切
レジ 高	9	1	1	10	切
レジ 低	8	3	2	10	切
ATM 高	8	1	1	10	切
ATM 低	7	3	3	10	切
ロビー 高	10	1	1	10	切
ロビー 低	9	3	2	10	切
通用門 高	10	1	1	10	切
通用門 低	9	3	3	10	切
駐車場 高	10	1	1	10	切
駐車場 低	9	3	3	10	切
低照度 高	10	1	1	10	切
低照度 低	10	3	2	10	切
エレベータ	9	2	1	10	切
カウンタ	7	2	2	10	切

感度を自由に決めて動き検出する（“ ユーザー ” 設定）

標準、もしくは他のシーンでご希望の検出ができない場合は、[記録運用設定] の [動き検出] の設定値を “ ユーザー ” に設定してください。これによって [動作感度レベル][停止感度レベル][検出最小エリア][検出最大エリア][連続検出レベル] の５項目で感度の設定ができます。これらの設定は、“ ユーザー ” 以外を選んだときには無効になります。

1 [メニュー] を押す

- [メニュー画面の操作] (☞18 ページ) に従い、[メニュー]⇨[記録詳細設定]⇨[アラーム記録設定] の順に開きます。



2 [◀/▶] で設定するカメラ入力を選ぶ

3 [▲/▼] で設定項目を選び、[－ / ＋] で設定値を変更する

■ 設定項目

● 動作感度レベル
検出のレベル値で、大きいほど感度が高くなります。

設定範囲：1（低感度）～ 10（高感度）

● 停止感度レベル
動作感度レベルオフセット値で、大きいほどアラーム検出が途切れにくくなります。

設定範囲：1 ～ 3

● 検出最小エリア
検出する物体の大きさの最小サイズを設定します。設定値が大きいほど小さい物体の動きを検出しにくくなります。

- 表２：検出最小エリアと最小検出エリア数

検出最小エリア	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
検出最小エリア数	1	2	3	4	5	6	8	10	15	20

メモ：

- 検出最小エリアは [動き検出エリア設定をする] (☞42 ページ) で設定したエリアの数を超えないように表２の検出エリア数に該当する検出最小エリアを選択してください。

● 検出最大エリア
検出する物体の大きさの最大サイズを設定します。設定値を小さくすると、照明の変化など、画面全体が変化するような動きを検出しなくなります。

設定範囲：1（小さい）～ 10（大きい）

● 連続検出レベル
指定されたエリア内において、連続検出レベルに設定された期間以上連続して動き検出があった場合にアラーム記録を開始します。

設定値：切、0.5 秒、1 秒、2 秒、3 秒、5 秒、10 秒、30 秒

4 [決定] を押す

- 確認画面が表示されます。

5 [◀/▶] で [更新] を選び、[決定] を押す

■ [検出最小エリア]、[検出最大エリア] について

- “ 検出最小エリア ” では、有効エリア数の最小値を決めます。同時に動き検出したエリア数が設定値より少ない場合は、検出は無効となりアラーム記録にはなりません。
- “ 検出最大エリア ” は、有効エリア数の最大値を決めます。同時に動き検出したエリア数が設定値より大きい場合は、検出は無効となりアラーム記録にはなりません。
- “ 検出最大エリア ” の設定値が 10 のときは画面全体が変化しても検出が有効となります。
- それぞれの設定値は、エリア数そのものではなく、内部テーブルによりエリア数に変換されたものです。
- “ 検出最小エリア ” に加えて、“ 検出最大エリア ” を設定することで、照明や太陽光の変化などエリア全体で変化するものに対する検出をしにくくすることができます。

■ 連続検出レベルについて

- 通常は “ 切 ” でご使用ください。
- 映像内での連続した動きの変化を検知してアラーム記録を開始します。
- この機能を設定することにより、カメラ前を横切った場合などの瞬間的な動きについては検出を無効にすることができます。また、通路監視などにおいて、長時間の設定を行うことで、単なる通過による動き検出か何らかの作業によるもとかの区別が可能となります。
- “ 切 ” 以外に設定した場合、設定した時間だけ記録開始が遅れます（経過した時間後、記録開始される）のでご注意ください。ただし、プリアラームの設定を同時に行うことで、連続検出したアラームを動き出す最初から記録に残すこともできます。(☞ 39 ページ)
- “ 切 ” 以外に設定した場合、動き検出が断続的（数秒ごと）に発生する状況では、動きが連続して発生していると判断するため、連続検出レベルの設定にかかわらず、アラーム記録が継続します。

■ 検出最大エリア数について

検出最大エリア数は約 10% きざみで指定することができます。

● 検出最大エリア数の求め方

検出最大エリア数を出す計算式は下記になります。

検出最大エリア数＝検出最小エリア数＋
差分 (※1) × 検出最大エリア /10

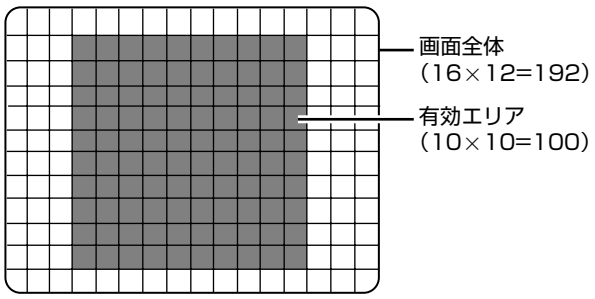
※1: 差分＝設定有効エリア数－検出最小エリア数

● 検出最大エリア数の計算例

● 動き検出の設定動作例

動き検出設定	設定値
シーン	ユーザー
動作感度レベル	8
停止感度レベル	2
検出最小エリア (エリア数)	8(10)
検出最大エリア	5
連続検出レベル	0.5 秒
動き検出エリア設定数	100(10×10)
アラーム記録コマ数設定	あり

● 図：動き検出エリア設定例



上記の動き検出設定で動き検出機能を使用した場合、検出最大エリア数は 55 エリアになります。
(検出最小エリアは 8 であるので、表 2 より検出最小エリア数は 10 エリアになります。)

差分 = 設定有効エリア数 [100] − 検出最小エリア数 [10] = [90]

検出最大エリア数 = 検出最小エリア数 [10] + 差分 [90]
× 検出最大エリア [5] ÷ [10] = [55]

上図の設定されたエリア数が 10 エリア以上 55 エリア以下の範囲内で、動作感度レベル以上の動きが 0.5 秒間 (連続検出レベル設定値) 以上検出された場合、動き検出ありと判断され、アラーム記録が開始されます。

メモ：

- 頻繁に動き検出するような設定にした場合、アラーム件数が増大することでイベント数の制限を受け、記録可能日数が短くなる場合があります。また、再生時の検索に時間がかかるようになりますのでご注意ください。
- 蛍光灯などの照明を使用した場合、フリッカーにより動き検出の誤動作が発生することがあります。この場合は、カメラをフリッカーレスに設定してください。
- カメラ映像に含まれるノイズ成分が多いと、誤検出することがあります。夜間などカメラの AGC が働いた場合でも誤検出しないように設定してください。
- 本機の動き検出機能は、明るさの変化を検知して動き検出を行なっています。そのため、照明の変化で動き検出したり、背景色と同色の物体は動き検出しない場合があります。また、非常にゆっくり動く物体についても検出しにくくなります。事前に運用条件を十分確認の上、誤動作や検出漏れがないように設定してください。

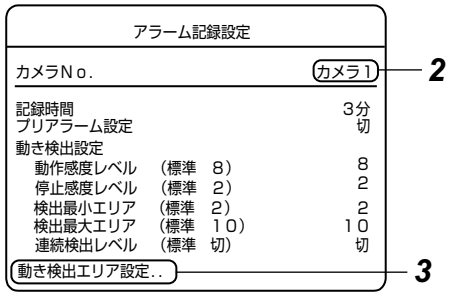
動き検出機能を使う（つづき）

動き検出エリア設定をする

動き検出をするエリアを設定します。
この設定は、感度に“ ユーザー ”を選んだとき、および“ ユーザー ”以外を選んだときの両方に適用されます。

1 [メニュー] を押す

- [メニュー画面の操作] (☞18 ページ) に従い、[メニュー]⇨[記録詳細設定]⇨[アラーム記録設定] の順に開きます。



2 [◀/▶] でエリア設定をしたいカメラ入力を選ぶ

3 [▲/▼] で [動き検出エリア設定] を選び、[決定] を押す

- [動き検出エリア設定] 画面が開きます。
  画面が 16× 12 = 192 エリアに分割されて表示されます。各エリアごとに検出の有効／無効の設定ができます。

※ 現在の有効なエリアは青色で表示されています。

4

4 [▲/▼/◀/▶] で領域を選択し、[－ / ＋] で有効／無効を切り換える

- [＋] を押すとエリアは有効となり、青色で表示されます。
  [－] を押すとそのエリアは無効となります。
- [機能] を押しながら [＋] を押すと全領域が有効になります。
  [機能] を押しながら [－] を押すと全領域が無効になります。

5 [決定] を押す

- ***4*** の操作で動き検出エリアを変えた場合は、確認画面が表示されますので、次の ***6*** の操作を行なってください。
- 動き検出エリアを変えなかった場合は、動き検出チェック画面が表示されます。(☞ 42 ページ [動き検出のチェックモード])

6 [◀/▶] で確認画面 の [更新] を選び、[決定] を押す

- 動き検出エリアの登録が完了します。

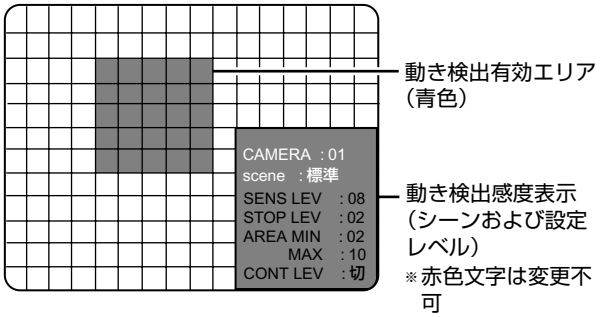
7 [戻る] を押す

- 前の画面に戻ります。

動き検出のチェックモード

[動き検出エリア設定] 画面表示時、[決定] を押すと、動き検出のチェックモードになります。

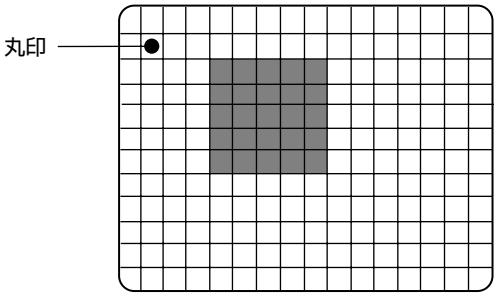
● **動き検出チェック画面**



1 [－ / ＋] を押し、動き検出感度を選択する

2 [決定] を押す

- 動き検出のチェックを始めます。
- 動き検出の有無により、チェック画面の左上部の丸印の色は下記の様になります。
  赤色 ：動き検出有り。
  グレー ：動き検出無し。



3 [戻る] を押すと、[動き検出エリア設定] 画面に戻ります。

メモ :

- 動き検出がうまくできなかった場合は、[決定] を押して [動き検出チェック] の画面を表示させ、再チェックを行うため、上記 ***1*** ～ ***3*** の操作を繰り返してください。

4 [戻る] を押す

- 前の画面に戻ります。

メモ :

- [動き検出設定]（シーンおよびレベル設定）は動き検出ができる設定に見直してください。
  (☞ 35 ページ [動き検出])
  (☞ 40 ページ [感度を自由に決めて動き検出する（“ ユーザー ”設定）])

ご注意 :

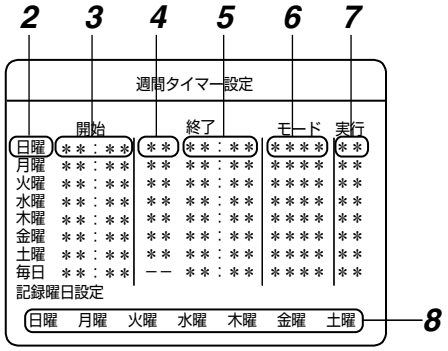
- 動き検出有効のエリア数 (☞ 41 ページ [検出最大エリア数を出す計算式は下記になります。]) が検出最小エリア数より小さい場合、動き検出は実行されません。

週間タイマー記録

毎日設定を含め 8 パターンのタイマー設定ができます。

1 [メニュー] を押す

- [メニュー画面の操作] (☞18 ページ) に従い、[メニュー]⇨[記録詳細設定]⇨[週間タイマー設定] の順に開きます。



2 開始曜日を設定する

3 開始時刻を設定する

4 終了曜日を設定する

5 終了時刻を設定する

6 モード（記録運用モード）を選択する

7 実行を選択する

8 [毎日] 設定時の記録曜日の設定をする

- 開始曜日に [毎日] を設定した場合､曜日ごとに記録する／しないを選択できます。

メモ :

- 設定内容を削除したい場合は、カーソルを削除したいタイマー設定に合わせ [キャンセル] を押してください。

2 ～ *8* で使用するボタン	
[▲/▼/◀/▶]	：項目の選択
[－ / ＋]	：設定値の変更

■ 設定項目

● 開始曜日

設定値	内容
日曜、月曜、火曜、水曜、木曜、金曜、土曜	記録を開始する曜日を設定します。
毎日	毎日記録するときに指定します。[記録曜日] の設定と組み合わせて、月～金や月水金など決まった曜日に記録をする設定もできます。

● 開始時刻

設定値	内容
00:00 ～ 23:59	記録を開始する時刻を設定します。

● 終了曜日

設定値	内容
日曜、月曜、火曜、水曜、木曜、金曜、土曜	記録を終了する曜日を設定します。開始曜日に“毎日”を選んだときは設定できません。

● 終了時刻

設定値	内容
00:00 ～ 23:59	記録を終了する時刻を設定します。

● モード

設定値	内容
標準記録運用 1 ～ 9	複数の記録運用設定の中から選択します。 (☞ 34 ページ [記録運用設定をする])

● 実行

設定値	内容
切	タイマーを実行しません。
入	1 回だけ実行したのち、[切] になります。
毎週	毎週、タイマーを実行します。

メモ :

- 開始曜日を[毎日]に設定した場合は[入]と[切]のみ選択できます。また [入] を選択した場合は、常に実行を継続します。

● 記録曜日

開始曜日に [毎日] を選んだときに、記録する曜日を設定します。開始曜日に [毎日] を選んだ全てのプログラムに適用されます。

メモ :

- [月曜] など、表示されている曜日は記録します。
- 記録しない曜日の場所には [－] が表示されます。

9 [決定] を押す

- 確認画面が表示されます。

10[◀/▶] で [決定] を選び、[決定] を押す

ご注意 :

- 設定内容が不正な場合、“ 設定に不備があります。正しく入力しなおしてください。” と表示され、カーソルの上下移動やメニュー画面から抜けることができなくなります。
  この場合は、[キャンセル] を押して設定をリセットするか、または該当する行の設定をやり直してください。

メモ :

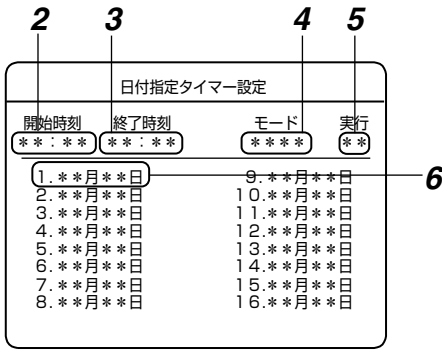
- 週間タイマーと日付指定タイマーの設定が重なっているときは、日付指定タイマーが優先されます。(☞ 31 ページ) プログラムタイマーが同時刻に起動する場合は、設定リストの上側の設定が優先されます。
- プログラムタイマーが重なった場合、先に開始したタイマーが優先され、タイマー記録が終了するまで設定が保持されます。
- ただし、記録終了後、2 つ以上のプログラムタイマーが登録されていた場合、開始時刻に関係なく、設定リストの上側の設定が優先されます。

タイマー記録を行うための操作やタイマー運用モードについては 44 ページをご覧ください。

日付指定タイマー記録

1 [メニュー] を押す

- [メニュー画面の操作] (☞18 ページ) に従い、[メニュー] ⇨[記録詳細設定]⇨[日付指定タイマー設定] の順に開きます。



2 開始時刻を設定する

3 終了時刻を設定する

4 モード（記録運用モード）を選択する

5 実行を選択する

6 記録日を設定する

2 ～ **6** で使用するボタン	
[▲/▼/◀/▶]	：項目の選択
[－ / ＋]	：設定値の変更

■ 設定項目

● 開始時刻

設定値	内容
00:00 ～ 23:59	記録を開始する時刻を設定します。

● 終了時刻

設定値	内容
00:00 ～ 23:59	記録を終了する時刻を設定します。

● モード

設定値	内容
標準記録運用 1 ～ 9	複数の記録運用設定の中から適切な設定を選択します。 [記録運用設定をする] (☞34 ページ)

● 実行

設定値	内容
切	タイマーを実行しません。
入	タイマーを実行します。

● 記録日

設定値	内容
1 月 1 日～ 12 月 31 日	記録する日付を設定します

7 [決定] を押す

- 確認画面が表示されます。

8 [◀/▶] で [更新] を選び、[決定] を押す

ご注意：

- 設定内容が不正な場合、“ 設定に不備があります。正しく入力しなおしてください。” と表示され、カーソルの上下移動やメニュー画面から抜けることができなくなります。
  この場合は、[キャンセル] を押して設定をリセットするか、または正しく入力しなおしてください。

タイマー記録モードにする

1 [記録詳細設定] の [運用切換ボタン操作] 設定を “ プログラムタイマー ” に設定する (☞ 33 ページ)

2 フロントパネルの [タイマー/運用切換] を 1 秒以上長押しし、タイマー／運用切換 表示灯を点灯させる

- タイマー運用モードになります。
  週間タイマー設定／日付指定タイマー設定で指定した通りに記録が開始・停止します。

● タイマー運用モード時、下記の操作はできません。

- オペレート OFF 操作
- 信号入力出力端子によるオペレート OFF 操作
- [記録/停止]ボタンや[EXT REC/MODE IN]端子による記録操作
- タイマープログラムの変更

上記の操作を行う場合は、[タイマー / 運用切換] を押し、タイマー運用モードを解除してください。(タイマー / 運用 表示灯を消灯させる。)

メモ：

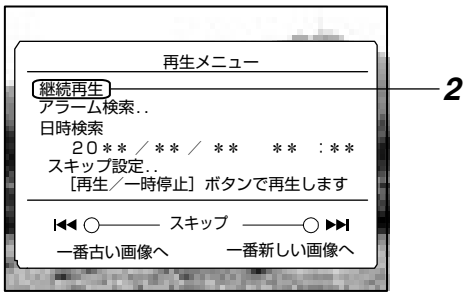
- 週間タイマー／日付指定タイマーを使用する場合、一度記録を停止してからタイマー運用モードにしてください。
- 記録状態のまま、直接タイマー運用モードにしても停止モードにはなりません。記録運用の設定により、記録を続行することがあります。
- タイマー運用モードであっても、週間タイマー設定 / 日付指定タイマー設定で指定した記録時間でない場合は、標準記録運用設定で動作します。

画像を再生する

記録した画像を再生します。
再生したい画像の検索方法として、見たい日付けの画像を探す、日時検索 (☞ 48 ページ) やアラーム記録の画像を探す、アラーム検索 (☞ 47 ページ) があります。
記録した画像をスポット出力で再生することはできません。

再生する

1 [再生 / 一時停止] を押す
- [再生メニュー] 画面が開きます。



2 [▲/▼] で [継続再生] を選び、[再生 / 一時停止] を押す
- 再生が始まります。

メモ :
- [再生メニュー] 画面表示中に、[スキップ] を押すと、一番古い画像／一番新しい画像を表示します。

再生を一時停止する

1 [再生 / 一時停止] を押す
- 再生を一時停止します。
- 再度、[再生 / 一時停止] を押すと再生を再開します。

再生をやめる

1 [再生停止] を押す
- 再生メニューに戻ります。

2 再度 [再生停止] を押す
- 再生メニューが閉じます。

記録中に再生する（記録同時再生モード）

記録中に記録した画像を見ることができます。
記録中の画像には影響しません。

1 記録中に [再生 / 一時停止] を押す
- 記録中であっても、通常と同じ操作で再生が可能です。

● 記録同時再生モードでは次の再生が可能です。
- 通常の再生
- アラーム検索（☞ 47 ページ）
- 日時検索（☞ 48 ページ）
- ジョグ・シャトル再生（☞ 48 ページ）
- スキップ再生（☞ 49 ページ）

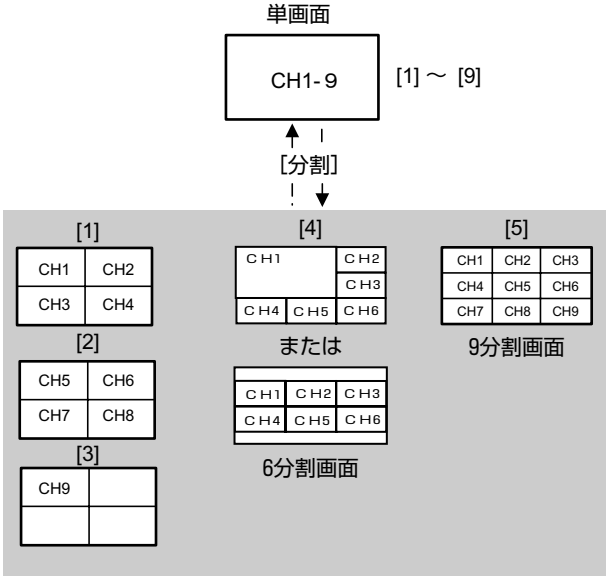
ご注意 :
- 記録と同時に再生すると、再生画が遅くなったり音声がとぎれる場合がありますが、この場合でも記録画像への影響はありません。
- 本機は、ハードディスクの状態を正常に保つため、自動で定期的にメンテナンスモードに入ります。メンテナンス実行中は、再生音が途切れたり画像が遅れることがあります。このような時はモニター画面のモード表示 (DB/) が消えてから、再度再生してください。また、記録中の画像には影響ありません。(☞ 27 ページ)
- 停電が発生した時刻付近の記録は正常に再生されない場合があります。
- 記録中に記録した画像を見る場合、最新の記録時刻に近い画像を再生できないことがあります。この場合は、一旦、再生を停止し、少し間をおいてから再生を開始してください。
- 本機は特殊な記録方式を採用しており、設定条件によっては、映像と音声が多少ずれる場合があります。
- ループ記録の設定を保存期間指定ループ記録以外（切／アラームロック／全て）から保存期間指定ループ記録（1 週間／ 2 週間／ 1ヶ月）に変更した場合、保存期間よりも古い記録削除に時間を要する場合があります。記録削除実行中は、モニター画面のモード表示に (DB/) が表示されます。再生中の画像が削除対象になった場合、黒画面になり再生が停止します。このような時はモニター画面のモード表示 (DB/) が消えてから、再度再生してください。

再生画面の切り換え

本機は、単画面、分割画面で画像を再生できます。

ご注意：

- 再生時、シーケンシャル表示はできません。



単画面

- 分割表示灯とシーケンシャル表示灯の両方が消灯します。

- [1] ～ [9] を押すと、対応するカメラ入力に切り換わります。
- [分割] を押すと分割画面になります。(以前の分割画面になります)

分割画面

分割表示灯は点灯、シーケンシャル表示灯は消灯します。

1 **[1] を押す**

- 4 分割 -A 画面になります。

CH1	CH2
CH3	CH4

2 **[2] を押す**

- 4 分割 -B 画面になります。

CH5	CH6
CH7	CH8

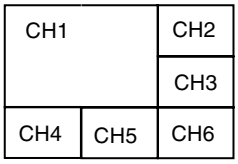
3 **[3] を押す**

- 4 分割 -C 画面になります。

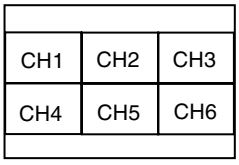
CH9	

4 **[4] を押す**

- 6 分割画面の表示になります。
- 6 分割画面は、[モニター出力設定] メニューの [6 分割ライブ画面表示] 設定で、" 全画面表示 " または " 中央表示 " のいずれかを選択できます。(☞ 25 ページ)



全画面表示



中央表示

5 **[5] を押す**

- 9 分割 画面になります。

CH1	CH2	CH3
CH4	CH5	CH6
CH7	CH8	CH9

メモ：

- 分割画面ごとの画面配置は、[ライブ映像] 画面で設定できます。(☞ 24 ページ)
- ライブ映像と再生画像では分割画面のボーダーの表示位置が多少違って表示されます。
- 記録中に最新の記録時刻に近い画像を再生すると、記録コマ数が少ないカメラ画像は再生されない場合があります。このときは、一度再生を停止し、少し間をおいてから再生を開始してください。

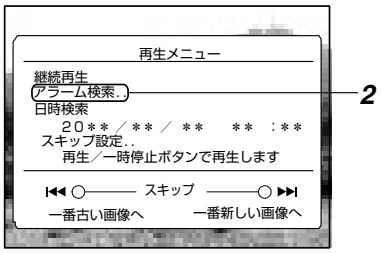
● [分割] を押すと単画面になります。

ご注意：

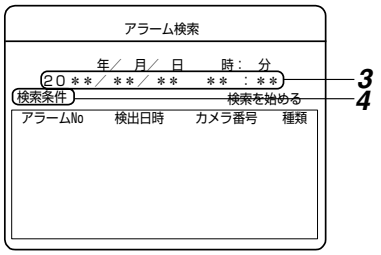
- 6 分割・9 分割画面再生時に、音声を出力するように設定されていると、以下の場合に再生される画像コマ数が制限されます。
- 音声出力設定の[リンク指定選択以外]を" 音声 1 "または" 音声 2" に設定した場合は、5 チャンネル以上の再生時に、1 秒間に再生されるコマ数が最大 2 コマまたは 3 コマになります。
- コマ数の制限をされたくない場合は、音声出力設定の [リンク指定選択以外] を " 切 " に設定変更してください。(☞ 52 ページ)

アラーム検索をする

1 [再生 / 一時停止] を押す
- [再生メニュー] 画面が開きます。

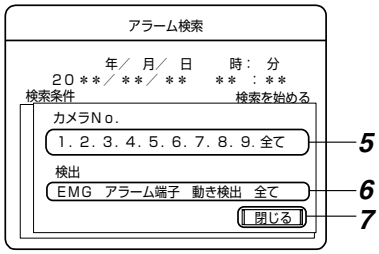


2 [▲/▼] で [アラーム検索] を選び、[決定] を押す
- [アラーム検索] 画面が開きます。



3 [◀/▶] で年 / 月 / 日　時:分を選び、[－ / ＋] で数値を変更する
- 検索条件を変更する場合は　h4 へ
- 検索条件を変更しない場合は　h8 へ

4 [▲/▼/◀/▶] で [検索条件] を選び、[決定] を押す
- 検索条件入力子画面が開きます。



5 [◀/▶] で検索するカメラ入力を選び、[決定] を押す
- 選択したカメラ番号（記録したカメラの番号）にマークが付きます。
- 再度 [決定] を押すと、マークは消えます。

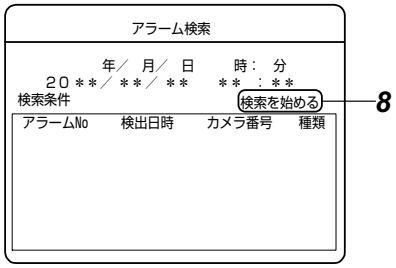
6 [▲/▼/◀/▶] で検索するアラーム種別を選び、[決定] を押す
- 選択したアラーム種別にマークが付きます。

■ アラーム種別

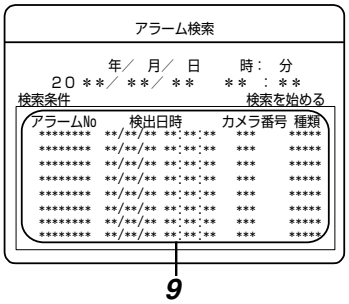
設定値	内容
EMG	エマージェンシー記録、パスコード不適合検出記録
アラーム端子	アラーム信号入力端子によるアラーム記録
動き検出	動き検出によるアラーム記録
全て	エマージェンシー記録、パスコード不適合検出記録および全てのアラーム記録

メモ :
- アラーム種別を選択しない場合は、[全て] のアラーム種別を検索します。

7 [▲/▼] で [閉じる] を選び、[決定] を押す
- 検索条件入力子画面が閉じます。



8 [▲/▼/◀/▶] で [検索を始める] を選び、[決定] を押す
- 検索結果の一覧が表示されます。



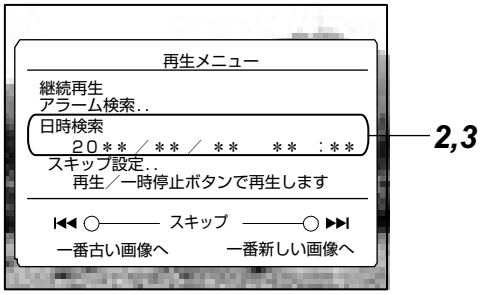
種類
- EMG :　エマージェンシー記録
- P.エラー :　パスコード不適合検出記録
- ＡＬ端子 :　アラーム入力端子によるアラーム記録
- 動き検出 :　動き検出によるアラーム記録

9 [▲/▼] で再生したい日時の記録画像を選び、[再生 / 一時停止] を押す
- 選んだアラーム画像の再生が始まります。

メモ :
- [－] を押すと、100 件分古い番号へジャンプします。残件数が 100 件未満の場合は、一番古いリストをセンターに表示します。
  [＋] を押すと、100 件分新しい番号へジャンプします。残件数が 100 件未満の場合は、一番新しいリストをセンターに表示します。
- [非表示カメラ設定] が有効になっているカメラは検索対象から除外されます。[非表示出力選択] を [モニター出力] を含まない設定にするか、または [再生表示許可] を [する] に設定して、再度検索を行なってください。
  (☞ 29 ページ [非表示カメラの設定])
- プリアラーム記録がある場合は、プリアラーム記録の開始位置にジャンプします。
- (☞ 114 ページ [プリアラーム記録のしくみ])
- 停電発生後または HDD 異常による自動再起動後は、アラーム No. が不連続になる場合があります。

日時検索をする

1 [再生 / 一時停止] を押す
- [再生メニュー] 画面が開きます。



2 [▲/▼] で [日時検索] を選ぶ

3 [◀/▶] で年 / 月 / 日　時:分を選び、[− / ＋] で数値を変更する

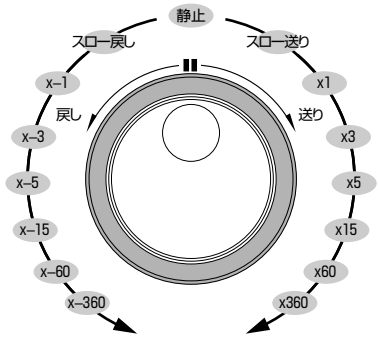
4 [再生 / 一時停止] を押す
- 検索日時から再生が始まります。
- 検索日時の記録画像がない場合は、その近くから再生が始まります。

再生スピードを変える（ジョグ・シャトル再生）

ジョグ・シャトルダイヤルを回すことにより、再生スピードを変えることができます。見たい画面を探すのに便利な機能です。

シャトルダイヤルを回す

- 再生中または一時停止中にシャトルダイヤルを回すと、早送り、早戻し、スロー再生が始まります。



メモ：
- シャトルダイヤルを回して早送りや早戻しを行う場合の再生スピード表示は目安です。再生のモード（分割画面、単画面）や記録のモード（アラーム記録、記録コマ数）などの条件によってスピードが変わる場合があります。
- シャトルダイヤルによるスロー戻し動作の目安は次のようになります。

高精細記録（30 コマ記録）の単画面時	1 コマ置きにスロー再生
上記以外の単画面時	全コマスロー再生
分割画面時	1 秒間に最大 2 コマまたは 3 コマ分だけをスロー再生

ジョグダイヤルを回す

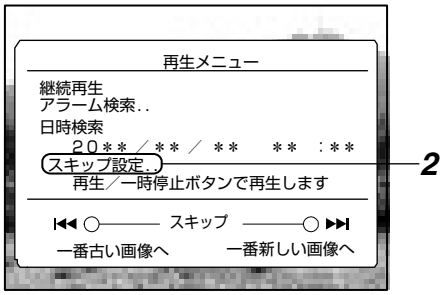
- 再生中にジョグダイヤルを回すと、コマ送り再生をします。
- 時計回りに回転させると、順方向のコマ送り再生をします。
- 反時計回りに回転させると、逆方向のコマ送り再生をします。
- 回転をやめると、一時停止になります。
  ただし、順方向／逆方向コマ送りを続けていると、回転をやめても多少動き続けることがあります。

ジョグ・シャトル再生をやめる

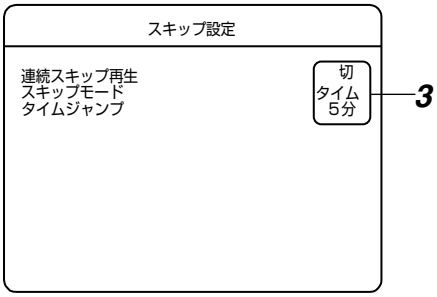
- [再生 / 一時停止] を押すと、(標準速の)再生になります。
- [再生停止] を押すと再生メニューに戻ります。

記録画像をスキップして見る

1 [再生 / 一時停止] を押す
- [再生メニュー] 画面が開きます。



2 [▲/▼] で [スキップ設定] を選び、[決定] を押す
- [スキップ設定] 画面が開きます。



3 [▲/▼] で設定項目を選び、[－ / ＋] で設定を変更する

■ 設定項目

● 連続スキップ再生

設定値	内容
切	連続スキップ再生は無効です。
1 秒、5 秒、10 秒	[スキップモード] で設定した条件でスキップ動作を繰り返し、その間設定した秒数で再生します。

メモ：
- 自動で検索 ⇨ 再生 ⇨ 検出 ⇨ 再生を繰り返す再生を、連続スキップ再生と呼びます。
- 再生動き検出モード中、[連続スキップ再生] の設定は無効となります。(☞ 51 ページ)

● スキップモード

設定値	内容
タイム	[タイムジャンプ] で設定した時間だけジャンプします。
イベント	記録開始位置（通常記録とアラーム記録の両方）にジャンプします。
アラーム	アラーム記録の開始位置にジャンプします。 プリアラーム記録がある場合は、プリアラーム記録の開始位置にジャンプします。 (☞ 114 ページ [プリアラーム記録のしくみ])

● タイムジャンプ

設定値	内容
1 分、5 分、10 分、30 分、1 時間、4 時間、1 日、1 週間	スキップモードに [タイム] を設定したときの、1 回にジャンプする時間です。

スキップ動作の詳細については、[スキップジャンプについて] (☞116 ページ) をご覧ください。

4 [決定] を押す
- 確認画面が表示されます。

5 [◀/▶] で [更新] を選び、[決定] を押す

6 [戻る] を押して、[再生メニュー] 画面に戻す

7 [継続再生] を選択し、再生モードにする

8 [スキップ] を押す
- 設定された [スキップモード] で前または、次の画像にジャンプします。

メモ：
- [再生メニュー] 画面表示時、[スキップ] を押すと、一番古い画像または一番新しい画像にジャンプします。
- ご使用になるモニターによっては、画面切り換え時、画像が一瞬乱れる場合があります。

再生動き検出機能を使う

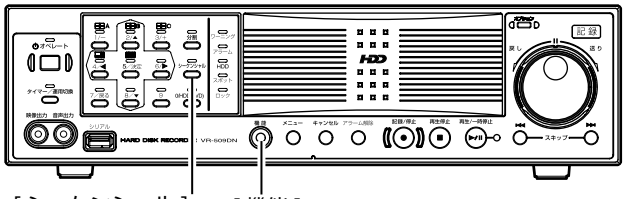
再生画面内で動き検出したいエリアを設定した後、[スキップ] ボタン操作で動き検出があった近傍の場面を検索します。

1 再生を開始する (☞ 45 ページ [画像を再生する])

2 [再生 / 一時停止] を押し、一時停止モードにする

3 再生画は単画面表示モードにする
(☞ 22 ページ [表示画面の切り換え])

再生動き検出エリアを設定する

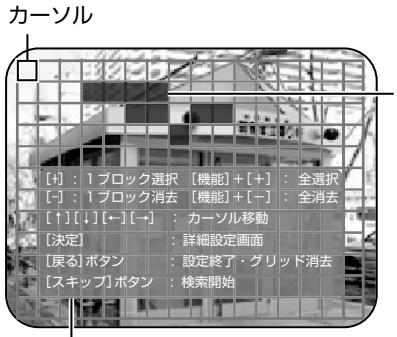


[シーケンシャル]　[機能]

4 [機能] を押しながら [シーケンシャル] を押す

再生動き検出エリア設定画面（グリッド画面）を表示し、エリア設定モードになります。

- [再生動き検出エリア設定] 画面が開きます。
- 画面が 16×12 = 192 エリアに分割されて表示されます。各エリアごとに検出の有効／無効の設定ができます。



※ 現在の有効なエリアは青色で表示されています。

5 [▲/▼/◀/▶] で領域を選択し、[− / ＋] で有効／無効を切り換える

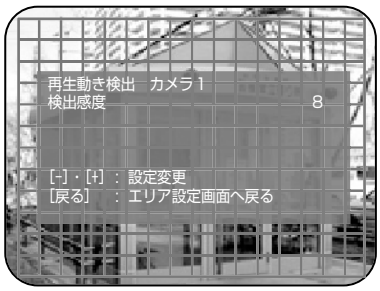
- [＋] を押すとエリアは有効となり、青色で表示されます。
  [−] を押すとそのエリアは無効となります。
- [機能]を押しながら[＋]を押すと全領域が有効になります。
  [機能] を押しながら [−] を押すと全領域が無効になります。

メモ :

- 有効で保存されていたエリアが、無効に変更された場合、赤色に表示されます。

6 有効エリアを選択し終わってから [決定] を押す

- [詳細設定] 設定画面が表示されます。



7 検出感度を設定する

- [− / ＋] ボタンで検出感度を設定します。

8 [7/ 戻る] を押す

- エリア設定画面へ戻ります。

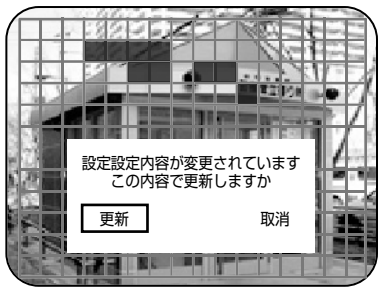
9 再度 [7/ 戻る] を押す

設定を変更していない場合

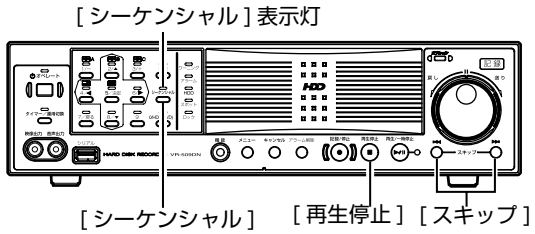
グリッド表示が消えて再生動き検出モードの再生画面が表示されます。

設定を変更した場合

更新確認画面が表示されます。更新を選択し、[5/ 決定] を押すと設定が更新されます。
取消を選択し、[5/ 決定] を押すと以前の設定に戻ります。再度 [7/ 戻る] を押すとグリッド表示が消えて再生動き検出モードの再生画面が表示されます。



再生動き検出画像を検索する



10[スキップ] を押す

- 動き検出された近傍の画像にジャンプし、一時停止モードになります。
  [►►I] を押すと新しい画像方向にジャンプします。
  [I◄◄] を押すと古い画像方向にジャンプします。

メモ :

- 検出処理中は、4 分割画面表示となります。
- 再生動き検出モード中は、連続スキップ再生の設定は無効となります。(☞ 49 ページ)
- 検出エリア未設定時に、[スキップ] ボタンを押すと、自動的に動き検出エリア設定画面（グリッド画面）を表示して設定モードになります。
- 再生動き検出モードが有効となっている状態では、本機の [シーケンシャル] 表示灯が点滅します。また、画面上の再生モードマークが緑色になります。(通常再生時は白色表示です。)
- 再生モードマークは、[表示設定]メニューの[モード表示]が " 入 " に設定されている場合に表示されます。(☞ 27 ページ [表示設定])

- スキップ動作中検索処理を中断したい場合は、[再生 / 一時停止] を押してください。再生動き検出モードは保持された状態で検索処理を中断します。

11再生動き検出モードを止める場合は、[シーケンシャル] を約 1 秒間押す

- 再生動き検出モードが解除され、通常再生モードに戻ります。

メモ :

- 再生メニュー表示中は、[シーケンシャル] ボタンによる解除はできません。
- 再生メニュー表示中に [再生停止] ボタンを押すと、再生モードから抜けると同時に、再生動き検出モードも自動的に解除されます。

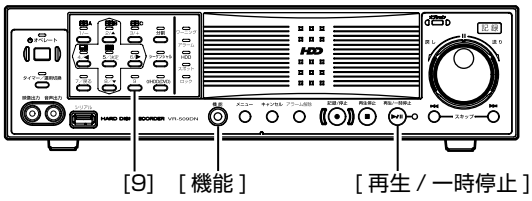
ご注意 :

- 再生動き検出機能は、ハードディスク上にある記録画像を間引いて検索するため、動きの早い画像（数秒以内）は、検出できない場合があります。
- 動きが連続的に続いている記録画像では正常に検出できない場合があります。

再生画像を明るくする

再生感度アップ機能により、再生画像の明るさを 3 段階変更できます。

1 再生を開始する (☞ 45 ページ [画像を再生する])



2 [機能] を押しながら [9] を押す

- 再生画像が明るくなります。(再生感度アップモード 1)
  感度アップモード 1 マークが表示されます。(下記メモをご覧ください。)

3 [機能] を押しながら [9] を押す

- 再生画像がさらに明るくなります。(再生感度アップモード 2)
  感度アップモード 2 マークが表示されます。(下記メモをご覧ください。)

4 [機能] を押しながら [9] を押す

- 再生画像の明るさが通常状態に戻ります。
  感度アップモードマーク表示が消えます。

メモ :

- [表示設定]メニューの[モード表示]設定が" 入 "の場合、再生画面上に感度アップモードマークが表示されます。感度アップモードマークは、再生モードマークの右側に表示されます (☞ 27 ページ [表示設定])

感度アップモード	表示マーク
1	☼
2	☼
OFF	無し

ご注意 :

- 再生感度アップは再生中の全てのチャンネルに対して行われます。
- 本体起動及びオペレート ON 直後の設定は、常に "OFF" となります。

記録画像を拡大して見る

記録画像を拡大して見ることができます。
再生時の単画面表示中のみ拡大できます。

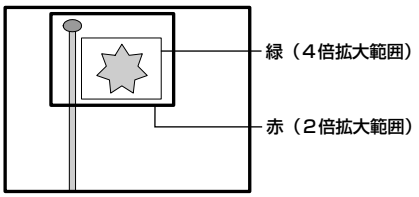
ご注意：

- 下記の場合は拡大表示できません。
  - ライブ映像を表示しているとき
  - 再生動き検出モードのとき
  - 非表示設定が有効となっているなど、再生画像が表示されない状態のとき

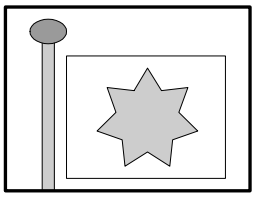
1 再生を開始する (☞ 45 ページ [画像を再生する])
2 [1]～[9] を押し、拡大したいカメラ入力を選ぶ
3 [再生 / 一時停止] を押す
- 一時停止になります。

■ 2 倍拡大表示

1 [1]～[9] (上記 **2** で押したボタン) を約 2 秒間長押しする
- 画面に拡大表示範囲が表示されます。

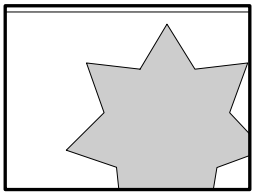


2 [▲/▼/◀/▶] で拡大表示範囲を動かし、[決定] を押す
- 選択範囲が 2 倍に拡大表示されます。
- [▲/▼/◀/▶] で表示位置を調整できます。



■ 4 倍拡大表示

3 [＋] を押す
- 4 倍拡大表示になります。
- [▲/▼/◀/▶] で表示位置を調整できます。
- [－] を押すと 2 倍拡大表示に戻ります。



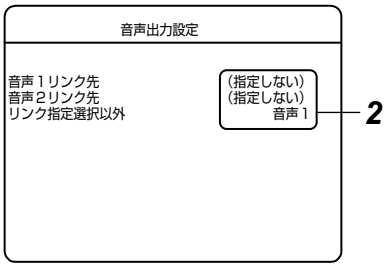
■ 拡大表示を終了する

4 [戻る] を押す
再生メニューまたは設定メニューを表示した場合、拡大表示は終了し、元の再生時の表示サイズに戻ります。

音声出力設定

音声 1、2 を特定のカメラ入力にリンクさせるかどうかを設定します。また、分割画面の時や音声 1、2 のリンク先に指定しなかったカメラ入力の音声を設定します。

1 [メニュー] を押す
- [メニュー画面の操作] (☞18 ページ) 従い、[メニュー]⇨[運用詳細設定]⇨[音声出力設定] の順に開きます。



2 [▲/▼] で項目を選び、[－ / ＋] で設定値を変更する

■ 設定項目

● 音声 1 リンク先

設定値	内容
(指定しない)	リンク先を指定しません。
カメラ 1、カメラ 2、カメラ 3、カメラ 4、カメラ 5、カメラ 6、カメラ 7、カメラ 8、カメラ 9	指定したカメラ入力の単画面表示時に、音声 1 が出力されます。

● 音声 2 リンク先

設定値	内容
(指定しない)	リンク先を指定しません。
カメラ 1、カメラ 2、カメラ 3、カメラ 4、カメラ 5、カメラ 6、カメラ 7、カメラ 8、カメラ 9	指定したカメラ入力の単画面表示時に、音声 2 が出力されます。

● リンク指定選択以外 （分割画面表示時）

設定値	内容
切	音声を出力しません。
音声 1	音声 1 を出力します。
音声 2	音声 2 を出力します。

3 [決定] を押す
- 確認画面が表示されます。

4 [◀/▶] で [更新] を選び、[決定] を押す

ご注意：

- 1 秒間に記録するコマ数が 1/5 または 1/10 に設定された場合は、音声は出力されません。(☞ 34 ページ)
- アラームが多く入った部分や分割画面の再生では音声が途切れる場合があります。

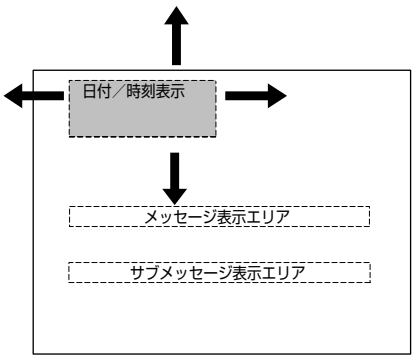
オンスクリーン表示の位置を変える

本機は、日付・時刻やカメラタイトルなどを下図のようにモニター画面にオンスクリーン表示させることができます。オンスクリーン表示位置は変えることができます。

■ 本機を単画面のライブ映像表示モードにする
- 日時・時刻表示は単画面、分割画面のどちらでも設定できます。
- カメラタイトルの表示位置の変更は、単画面のライブ映像表示時のみ可能です。
- カメラタイトルの表示位置は各カメラごとに変更できます。必要に応じて全てのカメラで変更ください。

日付／時刻表示

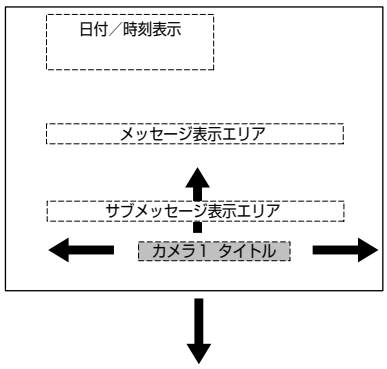
1 **[機能] を押しながら [メニュー] を押す**
- オンスクリーン表示位置調整モードになります。
- 日付／時刻表示部が青バックになります。



2 **[▲/▼/◀/▶] を押す**
- 日付／時刻表示部が同時に動きます。

メモ：
- “ メッセージ表示エリア ” に移動させないでください。ワーニングなどのメッセージと重なり見づらくなります。

カメラタイトル表示



1 **[機能] を押しながら [メニュー] を押す**
- オンスクリーン表示位置調整モードになります。
- 日付／時刻表示部が青バックになります。

2 **ライブ表示するカメラを選択する**
[機能] を押しながら [1] ～ [9] を押します。
- 選択したカメラのライブ画が表示されます。
- “ タイトル表示部 ” が青バックになり、表示位置調整モードになります。

3 **[▲/▼/◀/▶] を押す**
- カメラタイトル表示部を好きな位置に移動できます。
- “メッセージ表示エリア” に移動させないでください。ワーニングなどのメッセージと重なり見づらくなります。

メモ：
- [キャンセル] を押すと元の表示位置に戻ります。

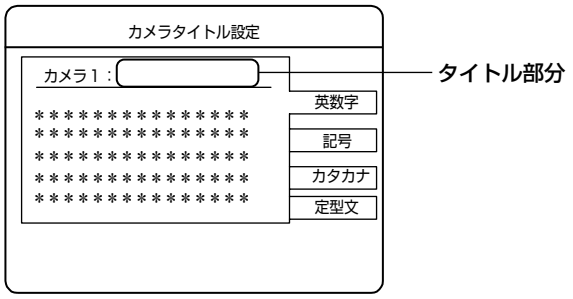
- **[メニュー] または [戻る] を押すと、再度、日付／時刻表示の位置設定に戻ります。**
- **再度、日付／時刻表示の位置設定の状態で [メニュー] または [戻る] を押すとオンスクリーン表示位置が確定され、通常画面に戻ります。**

※ ４分割画面での表示位置は単画面表示時の相対位置となります。カメラタイトルの文字の大きさは同じです。

メモ：
- 本機能の日付／時刻表示位置の移動を用いて、重なっているカメラタイトルを正常に表示することができます。

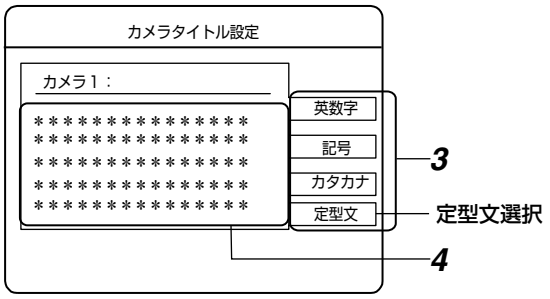
カメラタイトル設定

1 **[メニュー] を押す**
- [メニュー画面の操作] (☞18 ページ) に従い、[メニュー]⇨[運用詳細設定]⇨[モニター出力設定]⇨[カメラタイトル設定] の順に開きます。



2 **[シーケンシャル]を押して設定するカメラ入力を選ぶ**
- [シーケンシャル] を押すごとに、カメラ入力が変わります。

3 **[分割] を押して入力したい文字の種類を選ぶ**
- [分割] を押すごとに、文字の種類が切り換わります。



4 **[▲/▼/◀/▶] ボタンで文字を選び、[決定] を押す**
- カメラタイトルに 1 文字（1 単語）入力されます。

5 **手順 *3*、*4* の操作でカメラタイトルを最後まで入力する**
- [−] または [＋] を押すと、タイトル部分のカーソルが前または後ろへ移動します。

■ 入力可能文字数

半角文字（英数字、記号）最大 20 文字
全角文字（定型文、カタカナ）最大 10 文字

メモ：
- 文字数を最大にすると、4 分割表示状態でオンスクリーン表示の動作状態マーカーと重なりますのでご注意ください。その場合は、カメラタイトル表示位置を調節してお使いください。(☞ 53 ページ)

■ 文字を消したいとき

消したいタイトル文字にカーソルを合わせ、[キャンセル] を押すと、カーソル位置の 1 文字を消去できます。

6 **カメラタイトル入力後、[シーケンシャル] を押す**
- 確認画面が表示されます。

7 **[更新] を選び、[決定] を押すと、タイトルが確定する**
- 次のカメラのタイトルを設定してください。
- [取消] を選択すると、タイトル入力前の状態に戻ります。

● [戻る] を押すと、前のメニュー画面に戻ります。

定型文の選択

[カメラタイトル設定] 画面の [定型文] を選択し、[決定] を押すと、定型文選択画面が表示されます。

1 **[▲/▼/◀/▶] ボタンで定型文を選び、[決定] を押**
- 定型文がカメラタイトルに反映されます。

定型文の種類：
カメラ、エレベーター、エントランス、ホール、非常口、通路、廊下、倉庫、階、駐車場、出口、入口、風除室、東、西、南、北、レジ、待合室、荷捌室、事務所、券売機、両替機、計数機

ご注意：
- カメラの接続を “ なし ” に設定しなおすと、そのカメラタイトルは表示されなくなります。
  以前に記録された画像を再生する場合にも、カメラタイトルは表示されません。
- カメラタイトルを運用途中に変更した場合、変更前に記録した映像を再生した時のカメラタイトルも変更した後の表示となります。

6 分割・9 分割画面でのカメラタイトル表示について

6 分割と 9 分割画面でのカメラタイトル表示文字数は、下記のように制限されます。

6 分割画面　：半角 10 文字、全角 5 文字
9 分割画面　：半角 6 文字、全角 3 文字

メモ：
- 半角と全角文字が混在している場合は、5 ～ 10（3 ～ 6）文字の範囲で表示します。
- カメラタイトルの設定文字数が制限を超えている場合は、文字の右端に “..” が表示されます。

カメラ映像を調整する（設置時）

この調整は、設置時に行なってください。
複数カメラシステムで使用する場合、各カメラごとに表示位置調整や画質調整ができます。

通常は、設定変更する必要はありません。

調整内容

調整は、4 分割画面にオンスクリーン表示される V.DETAILS SETUP 画面で行います。4 分割画面には、4 個のカメラ映像が表示されます。

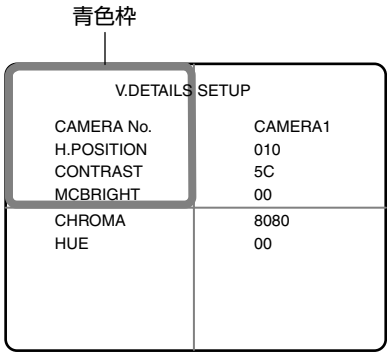
■ V.DETAILS SETUP

項目	内容および設定値　[ ] : 出荷時設定値
CAMERA No.	調整するカメラ番号を選択します。 CAMERA1～ CAMERA9、[CAMERA1]
H.POSITION	映像に対する同期信号の位置を可変します。画面枠に対して映像の水平方向の位置がずれている場合、調整します。 300～35A、001～06F、[010]
CONTRAST	コントラストを調整します。 00～FF、[5C]
MCBRIGHT	明るさを調整します。 80～FF、00～7F、[00]
CHROMA	色の濃さを調整します。 0000～ FFFF、[8080]
HUE	色相を調整します。 80～FF、00～7F、[00]

調整方法

1 通常画面表示時、[機能] と [分割] を同時に押す

- モニターに 4 分割画面が表示され、4 分割画面上に V.DETAILS SETUP メニューが表示されます。
  4 分割画面には、4 個のカメラ映像が表示されます。



2 V.DETAILS SETUP メニューを設定する

① 調整するカメラを選択します。
[◀] または [▶] を押すと、画面の青色枠が移動します。
調整したいカメラ画面枠を青色枠にします。

② [▲] または [▼] を押して調整する項目を選択します。

③ [－] または [＋] を押して設定値を変更します。

- 設定値を変えるごとに選択したカメラ映像が調整されます。

● 必要に応じ、上記操作を繰り返し行います。

3 設定を保存する

- [戻る] または [メニュー] を約 1 秒間長押しします。
- 設定更新／取消の確認画面が表示されます。

メモ :

- V.DETAILS SETUP メニューの設定値に変更がない場合、V.DETAILS SETUP が終了し、モニターは通常画面に戻ります。

4 設定値を更新する

- 本機メモリーの設定値を更新する場合は、[◀] または [▶] を押して [更新] を選択し、[決定] を押します。
- 本機メモリーの設定値を更新しない場合は、[◀] または [▶] を押して [取消] を選択し、[決定] を押します。

● もう一度 [戻る] または [メニュー] を約 1 秒間長押しすると、V.DETAILS SETUP が終了し、モニターは通常画面に戻ります。

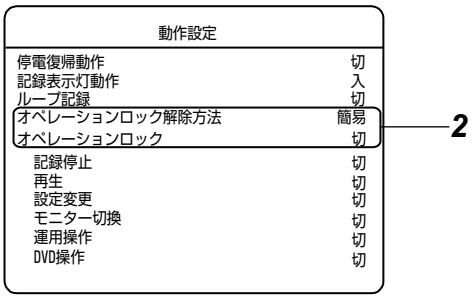
メモ :

- シーケンシャル表示している場合、V.DETAILS SETUP メニューは表示できません。

オペレーションロックの設定をする

1 [メニュー] を押す

- [メニュー画面の操作] (☞18 ページ) に従い、[メニュー]⇨[運用詳細設定]⇨[表示 / 動作設定]⇨[動作設定] の順に開きます。



2 [▲/▼] で項目を選び、[− / ＋] で設定値を変更する

■ 設定項目

● オペレーションロック解除方法

解除方法		
簡易		ボタン操作で解除できます。禁止したすべてのボタン操作が解除されます。
パスコード（モード 1）	パスコード入力	禁止したすべてのボタン操作が解除されます。 解除にパスコードの入力が必要です。(☞ 62 ページ [パスコード設定])
パスコード（モード 2）	サブパスコード	オペレーションロック項目で禁止していないボタン操作が解除されます。 解除にパスコードやサブパスコードの入力が必要です。

メモ :

- [簡易] および [パスコード（モード 1）] を選択した場合は、オペレーションロック項目で選択したボタン操作を禁止します。
- [パスコード（モード 2）] を選択した場合は、すべてのボタン操作を禁止します。
- パスコードが未設定時は、" 簡易 " のみ設定可能です。" パスコード " には設定できません。

● オペレーションロック

切 ：オペレーションロックは無効です。

記録停止禁止 ：一部のボタン操作を禁止します。（表 4 をご参照ください）

全て禁止 ：すべてのボタン操作を禁止します。（表 4 をご参照ください）

ユーザー設定 ：禁止するボタン操作をユーザーが任意に設定できます。（表 5 をご参照ください）

● 操作種別

記録停止、再生、設定変更、モニター切換、運用操作、DVD 操作（別売：SA-K53 DVD ドライブキット装着時に表示されます）

- 設定値：入、切

3 [決定] を押す

- 確認画面が表示されます。

4 [◀/▶] で [更新] を選び、[決定] を押す

メモ :

- [ユーザー設定]で[設定変更]が" 切 " に設定されている場合、オペレーションロックが有効でも設定メニューを操作できますが、オペレーションロックに関する設定変更はできません。オペレーションロックを解除してから、設定変更してください。

● 表 4：禁止するボタン操作（記録停止禁止、全て禁止）

操作種別	フロントボタン	記録停止禁止	全て禁止
記録停止	[記録 / 停止] [アラーム解除]	禁止（記録開始は許可）	禁止
再生	[停止] [再生 / 一時停止] [シャトルダイヤル] [ジョグダイヤル] [スキップ]	許可	禁止
設定変更	[メニュー]	禁止	禁止
	[機能]	許可	禁止
モニター切換	テンキー [1] ～ [9] [分割] [シーケンシャル]	許可	禁止
運用操作	[オペレート] [タイマー / 運用切換]	禁止	禁止
	[キャンセル]	許可	禁止
DVD 操作	[O/HDD(DVD)] [開 / 閉]（オプション）	禁止	禁止

● 表５：禁止するボタン操作（ユーザー設定）

フロントボタン	操作種別
[記録 / 停止] [アラーム解除]	記録停止 （記録開始は許可）
[停止] [再生 / 一時停止] [シャトルダイヤル] [ジョグダイヤル] [スキップ]	再生
[メニュー] [機能]	設定変更
テンキー [1] ～ [9] [分割] [シーケンシャル]	モニター切換
[オペレート] [タイマー / 運用切換] [キャンセル]	運用操作
[0/HDD(DVD)] [開 / 閉]（オプション）	DVD 操作

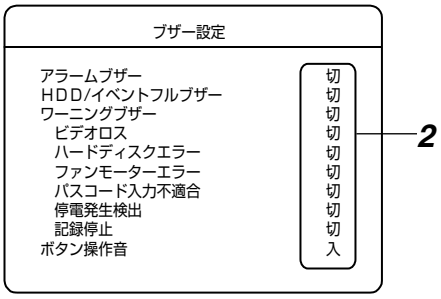
ご注意：

- 下記の場合、[キャンセル] ボタンが無効となります。
  - [パスコード（モード２）] を選択したとき
  - [オペレーションロック]項目を“全て禁止”に設定したとき
  - [オペレーションロック]項目を“ユーザー設定”に設定し、[運用操作] を禁止したとき
- [オペレーションロック]項目を“ユーザー設定”に設定し、[設定変更] を禁止した場合、再生メニュー画面における [アラーム検索] および [スキップ設定] は実行できません。

ブザー設定

1 **[メニュー] を押す**

- [メニュー画面の操作] (☞18 ページ) に従い、[メニュー]⇨[運用詳細設定]⇨[表示 / 動作設定]⇨[ブザー設定] の順に開きます。



2 **[▲/▼] で項目を選び、[－ / ＋] で設定値を変更する**

■ 設定項目

● アラームブザー
設定値：切、入

● HDD/ イベントフルブザー
設定値：切、入

● ワーニングブザー

切　：ブザーを鳴らしません。
全て　：どのワーニングが発生したときも、ブザーを鳴らします。
ユーザー設定　：ワーニングの種類によって、ブザーを鳴らすかどうかを選択できます。

ワーニングの種類：
ビデオロス、ハードディスクエラー、ファンモーターエラー、パスコード入力不適合、停電発生検出、記録停止

設定値　：切、入

メモ：

- ブザー音は、[キャンセル] ボタンを押すと停止します。ただし、[オペレーションロック] の設定によって [キャンセル] ボタンが禁止されている場合は停止できません。(☞ 56 ページ)
- [表示設定]メニューの[ワーニング表示]設定が“切”に設定されているときは、[ワーニングブザー] 設定を “入” に設定していてもブザー音は鳴りません。
- [表示設定] メニューの [記録停止通知表示] 設定が“切”に設定されている時は、[ワーニングブザー] 設定の [記録停止] を “ 入 ” に設定していてもブザー音は鳴りません。

● ボタン操作音
設定値：切、入

3 **[決定] を押す**

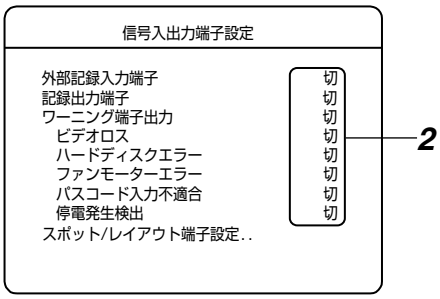
- 確認画面が表示されます。

4 **[◀/▶] で [更新] を選び、[決定] を押す**

信号入出力端子設定

1 [メニュー] を押す

- [メニュー画面の操作] (☞18 ページ) 従い、[メニュー]⇨[運用詳細設定]⇨[表示 / 動作設定]⇨[信号入出力端子設定] の順に開きます。



2 [▲/▼] で項目を選び、[－ / ＋] で設定値を変更する

■ 設定項目

● 外部記録入力端子 (☞ 32 ページ)
背面の [EXT REC/MODE IN] 端子への入力により記録の開始／停止を操作します。

● 記録出力端子

切	：信号を出力しません。
全て	：記録中に、信号を出力します。
アラーム記録	：アラーム記録中のみ、信号を出力します。
記録停止	：記録停止中に、信号を出力します。

● ワーニング端子出力

切	：信号を出力しません。
全て	：どのワーニングが発生したときも、信号を出力します。
ユーザー設定	：ワーニングの種類によって、信号を出力するかどうかを選択できます。 ワーニングの種類 ビデオロス、ハードディスクエラー、ファンモーターエラー、パスコード入力不適合、停電発生検出
設定値	：切、入

3 [決定] を押す

- 確認画面が表示されます。

4 [◀/▶] で [更新] を選び、[決定] を押す

ハードディスクのメンテナンス

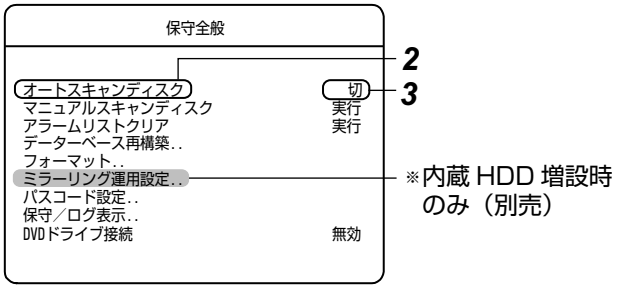
記録中やアラーム記録スタンバイ中に停電になったときや、ハードディスクの記録情報に障害が発生したときには、記録／再生が正常に行えなくなってしまいます。本機は、2 種類のスキャンディスクを備えハードディスクの障害を修復します。

オートスキャンディスク

電源を入れたときに自動でスキャンディスクを実行します。

1 [メニュー] を押す

- [メニュー画面の操作] (☞18 ページ) に従い、[メニュー]⇨[運用詳細設定]⇨[保守全般] の順に開きます。



2 [▲/▼] で [オートスキャンディスク] を選ぶ

3 [－ / ＋] で “入” を選ぶ

4 [決定] を押す

- 確認画面が表示されます。

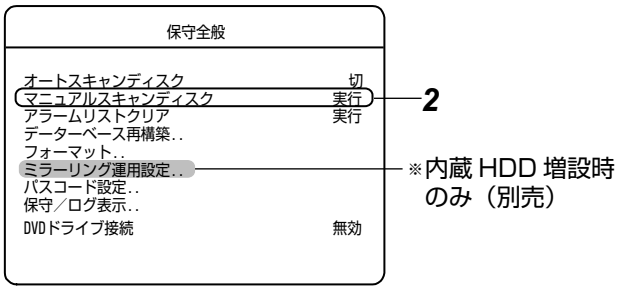
5 [◀/▶] で [更新] を選び、[決定] を押す

マニュアルスキャンディスク

手動でスキャンディスクを実行します。
メニューの [オートスキャンディスク] 項目を “ 切 ” で使っているときや、長時間電源を入れたまま使っているときは、定期的に（1 か月に 1 回程度）実行してください。

1 [メニュー] を押す

- [メニュー画面の操作] (☞18 ページ) に従い、[メニュー]⇨[運用詳細設定]⇨[保守全般] の順に開きます。



2 [▲/▼]で[マニュアルスキャンディスク]を選び、[決定] を押す
- スキャンディスクが始まります。

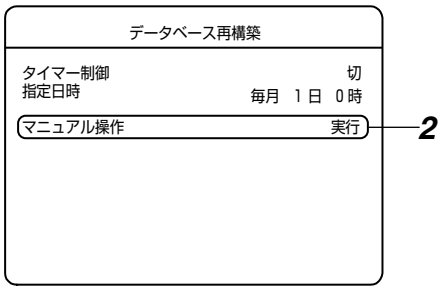
メモ：
- スキャンディスクを中断したいときは [キャンセル] を押してください。
- スキャンディスクを途中でやめると、その効果はありません。
- 記録イベントの容量が多かったり、件数が多いと、終了に時間がかかる場合があります。（数時間程度）
- スキャンディスク実行中は、記録・再生・検索などはできません。

ご注意：
- 以下の動作モード時、マニュアルスキャンディスクは実行できません。
  - 記録中
  - 記録した映像の再生中
  - タイマー運用時
  - DVD エクスポート中（別売 SA-K53 装着時）
  - ハードディスクの動作異常が発生した場合

データベースの再構築

ループ記録を “ 全て ” または “ アラームロック ” にしてアラーム記録を頻繁に行うと、ハードディスク内ではデータが不連続になっていきます。
データが不連続のまま使用を続けると、データベース内に削除された記録の情報エリアが残りデータベースが肥大化して検索動作が遅くなってきます。そこで、[データベース再構築] で、ハードディスクのメンテナンスが必要となってきます。

1 [メニュー] を押す
- [メニュー画面の操作] (☞18 ページ) に従い、[メニュー]⇨[運用詳細設定]⇨[保守全般]⇨[データベース再構築] の順に開きます。



2 [▲/▼] で [マニュアル操作] を選び、[決定] を押す
- データベース再構築確認画面が表示されます。

3 [はい] を選び、[決定] を押す
- データベースの再構築が開始されます。

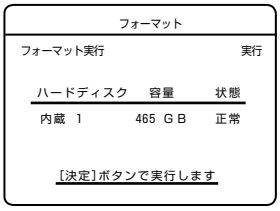
メモ：
- [タイマー制御]を“入”にして[指定日時]を設定することにより、毎月決まった指定日時になるとデータベースの再構築が自動的に開始されます。

ご注意：
- 記録中に自動実行の日時になった場合は、記録を中断して、データベースの再構築を実行します。データベースの再構築が終了すると、自動的に記録を再開します。
- アラーム記録中に自動実行の日時になった場合は、アラーム記録を終了して、データベースの再構築を実行します。データベースの再構築を終了しても、アラーム記録は再開しません。（新規のアラームは受け付けます。）
- データベースの再構築は、検索に時間がかかるようになったら実行してください。
- 以下の動作モード時、マニュアル操作によるデータベースの再構築は実行できません。
  - 記録中
  - 記録した映像の再生中
  - タイマー運用時
  - DVD エクスポート中（別売 SA-K53 装着時）
  - ハードディスクの動作異常が発生した場合

ハードディスクを初期化する（フォーマット）

ハードディスクの残容量がなくなると、記録ができなくなります。そのようなときはデータのバックアップをとり、ハードディスクをフォーマットして空き容量を確保してください。
データの断片化をできるだけ避けるためにも、定期的なハードディスクの [フォーマット実行]（初期化）作業をおすすめします。

1 [メニュー] を押す
- [メニュー画面の操作] (☞18 ページ) に従い、[メニュー]⇨[運用詳細設定]⇨[保守全般]⇨[フォーマット実行] の順に開きます。



2 [決定] を押す
- フォーマット確認画面が表示されます。

メモ：
- 内蔵ハードディスク（別売）を接続した場合、“ 内蔵 2” と表示されます。(1 台接続可能)
- 増設ハードディスク（別売）を接続した場合、“ 増設 1” と表示されます。(1 台接続可能)

3 [はい] を選び、[決定] を押す
- フォーマットが開始され、終了するとフォーマット成功画面が表示されます。その後、自動で運用可能状態になります。

メモ：
- 特定のハードディスクを指定してのフォーマットはできません。

ハードディスクのメンテナンス (つづき)

ハードディスク初期化についてのご注意

- 画面に表示されるハードディスクの容量は、1GB=$(1024)^3$ Byte で計算しているため、実際の容量よりも小さく表示されます。
- フォーマットを実行すると、記録されたイベントは全て消えてしまいます。大切なイベント記録は、必ずバックアップをとってください。

ご注意 :

- 以下の動作モード時、ハードディスクを初期化することはできません。
  - 記録中
  - 記録した映像の再生中
  - タイマー運用時
  - DVD エクスポート中（別売 SA-K53 装着時）
  - ハードディスクの動作異常が発生した場合

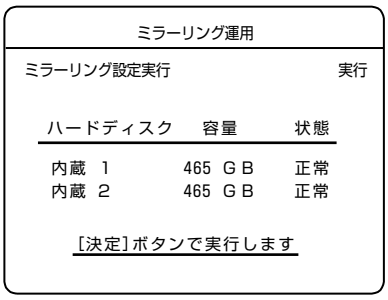
ハードディスクをミラーリング設定する（内蔵 HDD 増設時のみ）

ミラーリングとは 2 台の内蔵ハードディスクに、それぞれ同じデータを記録することをいいます。一方のハードディスクデータが破損しても、もう一方のハードディスクにより記録データの安全性を保持することができます。
(☞ 61 ページ [ミラーリング設定についてのご注意])

ミラーリングの設定

1 **[メニュー] を押す**

- [メニュー画面の操作] (☞18 ページ) に従い、[メニュー]⇨[運用詳細設定]⇨[保守全般]⇨[ミラーリング運用] の順に開きます。



2 **[決定] を押す**

- “ミラーリング運用を実行します” の確認画面が表示されます。

3 **[はい] を選び [決定] を押す**

- ミラーリング設定が終了するまでには約 5 時間 30 分かかります。

● ミラーリング設定が終了すると、自動で運用可能状態になります。

メモ :

- ミラーリング実行中は “ ミラーリング運用準備中 XX%” と進捗状況が表示されます。

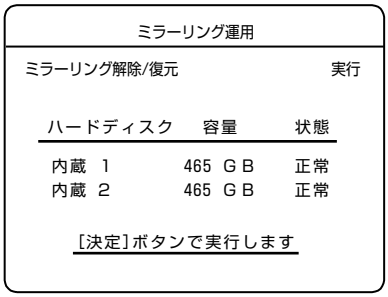
ご注意 :

- ミラーリング実行中に電源を切らないでください。
- 以下の動作モード時、ミラーリング設定は実行できません。
  - 記録中
  - 記録した映像の再生中
  - タイマー運用時
  - DVD エクスポート中（別売 SA-K53 装着時）
  - ハードディスクの動作異常が発生した場合

ミラーリングの解除

1 **[メニュー] を押す**

- [メニュー画面の操作] (☞18 ページ) に従い、[メニュー]⇨[運用詳細設定]⇨[保守全般]⇨[ミラーリング運用] の順に開きます。



2 **[決定] を押す**

- " ミラーリング解除 / 復元を実行します " の確認画面が表示されます。

3 **[解除] を選び、[決定] を押す**

- ミラーリングの運用を中止し、ミラーリングモードが解除されます。

● ミラーリング解除が完了すると、自動で運用可能状態になります。

ご注意 :

- ミラーリング解除の実行中に電源を切らないでください。

メモ :

- ミラーリング解除を実行中、" ミラーリング解除準備中 " とメッセージが表示されます。

ミラーリング設定についてのご注意

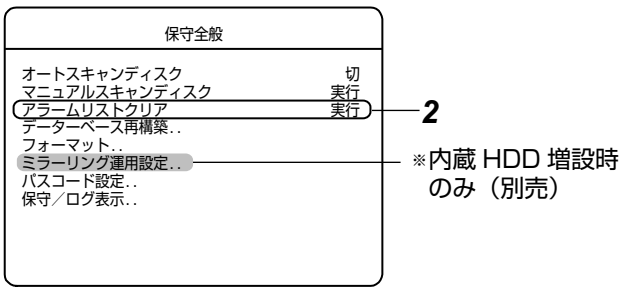
- ミラーリング設定すると、ハードディスクの記録容量は約半分になります。記録時間の設定にはご注意ください。
- ミラーリングの設定は、内蔵ハードディスクでのみ行えます。増設のハードディスクでは、ミラーリングの設定はできません。
- ミラーリング設定を行なっても、データの破損が起こらないことを保証することはできません。
- ミラーリング設定 / 解除を実行すると、内蔵ハードディスクおよび、増設ハードディスクに記録されたイベントは、すべて消えてしまいます。大切なイベント記録はかならず、バックアップをとってください。
- ミラーリング設定をすると、記録設定の条件や動作状態によっては、再生時に再生速度が遅くなったり、映像と音声にずれが生じる場合があります。記録動作には支障はありません。
- ミラーリング設定が有効な状態で停電すると、バックグラウンドで再複製処理が行われます。再複製処理が行われているあいだは、記録データの安全性は保持できません。
- ハードディスクの状態によっては、ミラーリングの設定が失敗することがあります。その場合は一度ミラーリングを解除して、再度設定をやり直してください。
- ミラーリングの設定処理中に、記録や再生などはできません。
- 画面に表示されるハードディスクの容量は、1GB= $(1024)^3$ Byte で計算しているため、実際の容量よりも小さく表示されます。
- 一方のハードディスクが故障している場合にはDVDへのエクスポート機能は動作しません。(別売 SA-K53 装着時)
- 本機のミラーリングは、ハードディスクが故障した場合に記録されているデータを保護することを目的としています。ハードディスクの故障の状態によっては、ミラーリング設定されていても運用の継続ができない場合があります。

アラームリストを消去する

アラーム記録画像を削除せずに、アラームリストのみを消去できます。

1 [メニュー] を押す

- [メニュー画面の操作] (☞18 ページ) に従い、[メニュー]⇨[運用詳細設定]⇨[保守全般] の順に開きます。



2 [▲/▼] で [アラームリストクリア] を選び、[決定] を押す

- 確認画面が表示されます。

3 [はい] を選び、[決定] を押す

- アラームリストの消去が始まります。

メモ :

- [いいえ] を選択すると、確認画面が閉じます。

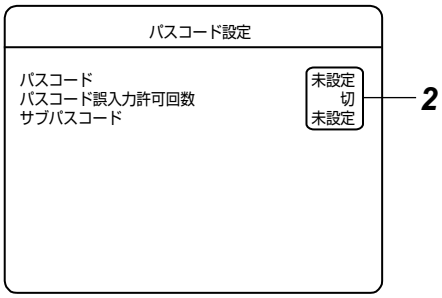
ご注意 :

- アラームリストクリアが行われた画像データは、通常記録イベントとして扱われます。
- アラームリストクリアを中断したいときは [キャンセル] を押してください。中断するまでにアラームリストの消去が行われた画像データは通常記録イベントになります。
- 以下の動作モード時、アラームリストクリアは実行できません。
  - 記録中
  - 記録した映像の再生中
  - タイマー運用時
  - DVD エクスポート中（別売 SA-K53 装着時）
  - ハードディスクの動作異常が発生した場合

パスコード設定

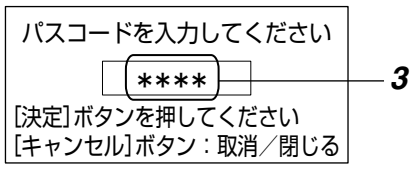
1 [メニュー] を押す

- [メニュー画面の操作] (☞18 ページ) に従い、[メニュー]⇨[運用詳細設定]⇨[保守全般]⇨[パスコード設定] の順に開きます。



2 パスコードを入力または変更する場合、[▲/▼] で [パスコード] を選び、[決定] を押す

- パスコード確認変更画面が表示されます。



メモ :

- 一度入力した場合は、パスコード確認画面が表示されます。

■ 表示項目

● パスコード

設定値	内容
未設定	[決定] を押すとパスコードを入力できます。
設定済み	[決定] を押すとパスコードを変更できます。

3 : テンキーでパスコードを入力し、[決定] を押す

パスコードは 2 回入力します。

- パスコードが設定／変更されます。

ご注意 :

- パスコードは 4 桁入力してください。

4 [▲/▼] で [パスコード誤入力許可回数] を選び、[− / +] で設定値を変更する

■ 設定項目

● パスコード誤入力許可回数

設定値	内容
切	誤入力があっても、ワーニング検出しません。
1 回、2 回、3 回：	設定した回数の（連続した）誤入力があった場合、ワーニング検出します。

5 サブパスコードを入力または変更する場合、[▲/▼] で [サブパスコード] を選び [決定] を押す

- サブパスコード入力画面が表示されます。

メモ：

- パスコードが未設定の場合は、設定できません。
- サブパスコードが入力されている場合は、サブパスコード確認画面が表示されます。

● サブパスコード

設定値	内容
未設定	[決定] を押すと、サブパスコードを入力できます。
設定済み	[決定] を押すと、サブパスコードを変更できます。

6 テンキーでサブパスコードを 4 桁で入力し、[決定] を押す

- サブパスコードが設定／変更されます。

7 [決定] を押す

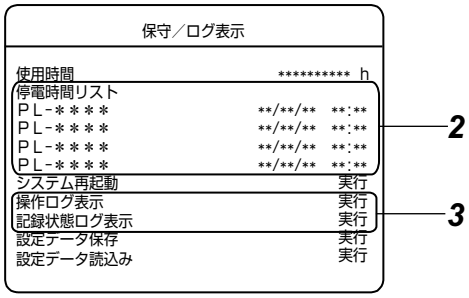
- 確認画面が表示されます。

8 [◀/▶] で [更新] を選び、[決定] を押す

停電時間リストやログを表示させる

1 [メニュー] を押す

- [メニュー画面の操作] (☞18 ページ) に従い、[メニュー]⇨[運用詳細設定]⇨[保守全般]⇨[保守 / ログ表示] の順に開きます。
- [使用時間]、[停電時間リスト] が表示されます。
- 停電時間リストには、最古 1 件と最新 3 件が表示されます。



■ 停電時間リストの消去

2 [▲/▼] で停電時間リスト項目を選び、[キャンセル] を押す

全てのリストが消去されます。

■ 操作ログ／記録状態ログの表示

3 [▲/▼] で項目を選び、[決定] を押す

■ 選択項目

● 操作ログ表示
操作ログが表示されます。

● 記録状態ログ表示
記録状態ログが表示されます。

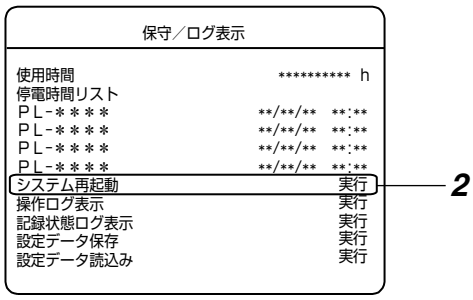
ご注意：

- 停電が発生した時刻付近の記録は、正常に再生されない場合があります。スキャンディスクを実行することで復旧できる場合があります。

システムを再起動する

1 **[メニュー] を押す**

- [メニュー画面の操作] (☞18 ページ) に従い、[メニュー]⇨[運用詳細設定]⇨[保守全般]⇨[保守 / ログ表示] の順に開きます。



2 **[▲/▼] で [システム再起動] を選び、[決定] を押す**

- 確認画面が表示されます。

メモ :

- タイマー運用中は、[システム再起動] は行えません。

3 **再度 [決定] を押す**

- システムが再起動します。

ハードディスク異常時システム復旧機能

本機は、ハードディスクに障害が発生した場合、自動再起動により機能を回復するようになっています。

- 自動再起動時にハードディスクを認識できない場合および同一ハードディスクで 3 回障害が発生した場合は、自動切断処理が行われます。
- 自動再起動時に障害のあるハードディスクを自動切断処理後、残ったハードディスクを使って動作を継続します。(増設ハードディスクに障害がある場合は、全ての増設ハードディスクが切断処理されることがあります。)
  自動再起動後は、モニター画面にワーニングメッセージが表示されます。
- 自動再起動により障害が回復した場合は、再起動前の動作状態に戻ります。その際、モニター画面に [HDD 確認のために再起動しました] のメッセージが表示されます。
- 再起動処理中の記録は行われません。
- 再起動できない致命的障害の場合は、自動復旧できません。

HDD 故障時の簡易操作モード

内蔵 HDD が故障し本機を通常起動できなくなった場合は、簡易操作モードで起動します。このモードでは以下の機能が動作します。

① **ライブ画面の表示（音声は非対応）**※
[表示画面の切り換え] (☞22 ページ)

② **カメラ映像のチャンネル選択切り換え**※
[表示画面の切り換え] (☞22 ページ)

③ **単画面、分割パターンの選択切り換え**※
[表示画面の切り換え] (☞22 ページ)

④ **単画面、4 分割画面のシーケンシャル表示**※
[表示画面の切り換え] (☞22 ページ)

⑤ **アラーム端子入力によるポップアップ表示**
([アラーム端子] 設定が " アラーム記録 " 以外のとき)
[アラーム入力端子設定をする] (☞38 ページ)

⑥ **[SPOT/LAYOUT1]、[SPOT/LAYOUT2] 端子入力による、メニューで設定された任意の画面レイアウトへ切り換え**※
[信号入出力端子設定] (☞58 ページ)

⑦ **モニター画面にワーニングメッセージ表示**

⑧ **背面の [WARNING OUT] 端子への出力（メニュー設定で有効になっている場合のみ）**
[信号入出力端子設定] (☞58 ページ)

⑨ **メニュー設定に従い、モニター画面にカメラ番号、現在時刻の表示、およびブザーを鳴らす**
[表示設定] (☞27 ページ)
[ブザー設定] (☞57 ページ)

※ **：①～④、⑥は、モニター出力、スポット出力の両方で可能な操作です。**

静止画を USB フラッシュメモリーにキャプチャーする

再生モード時、静止画を USB フラッシュメモリーにキャプチャーできます。

メモ :

- 静止画キャプチャー時、改ざん検出ツールが、USB フラッシュメモリーに保存されます。(☞ 66 ページ)

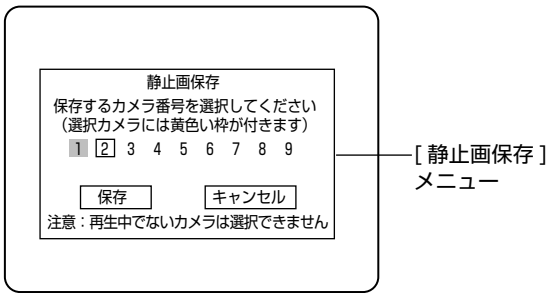
1 **前面 [シリアル] 端子または背面 [SERIAL] 端子に USB フラッシュメモリーを接続する**

2 **本機を再生モードにする (☞ 45 ページ)**

3 **キャプチャーしたい場面で [再生/一時停止] を押し、再生を一時停止させる**

4 **再生一時停止中、[機能] を押しながら [HDD (DVD)] を押す**

- 画面上に [静止画保存] メニューが表示されます。



5 **[◀/▶] を押して静止画保存したいカメラチャンネルを選択し、[決定] を押す**

ご注意 :

- 分割画面表示時、表示されていないカメラの番号は選べません。
- 非表示カメラ設定が有効になっている場合は選択できません。非表示出力選択を " モニター出力 " を含まない設定にするか、再生表示許可を " する " に設定してください。(☞ 29 ページ)
- 再生されていないカメラチャンネルは選択できません。

6 **[▲/▼] を押して [保存] を選択し、[決定] を押す**

- 画面上に [静止画保存中] と表示されます。

7 **静止画保存が成功すると [静止画保存成功 (完了)] と表示されますので、[決定] を押す**

- 保存が完了し、[静止画保存中] メニュー表示が消えます。
- 静止画ファイル名は自動で付けられます。
- 同名のファイルが USB フラッシュメモリー内に存在する時は、上書きされます。

8 **USB フラッシュメモリーを端子からはずす**

ご注意 :

- 静止画保存中、USB フラッシュメモリーは外さないでください。

■ USB フラッシュメモリーが認識されない場合

画面上に [USB フラッシュメモリが認識されません] と表示されます。

- 作業を続ける場合は、USB フラッシュメモリーの接続を確認し、画面上の [再試行] を選択し、[決定] を押してください。
- 作業をキャンセルする場合は、画面上の [キャンセル] を選択し、[決定] を押してください。

※ 下記のような場合に発生します。
USB フラッシュメモリーが接続されていない。
USB フラッシュメモリーのファイルシステムが異常。

■ 静止画保存に失敗した場合

画面上に [静止画保存失敗] と表示されます。

- この場合は、画面上の [閉じる] を選択し、[決定] を押してください。

メモ :

- エラーが発生する原因と対処方法は (☞ 107 ページ) をご覧ください。

静止画ファイル名

ファイル名は自動的に以下のように付けられます。

(例) カメラ6の通常映像記録で
2008年4月10日12時34分56秒012の映像

n06_20080410123456012.jpg

n : 映像モード
06 : カメラNo.
2008 : 年
04 : 月
10 : 日
12 : 時
34 : 分
56 : 秒
012 : ミリ秒
.jpg : 固定

映像モード
n : 通常記録 (Normal Rec)
t : タイマー記録 (Timer Rec)
p : プリアラーム記録 (Pre Alarm Rec)
a : アラーム記録 (Alarm Rec)
m : 動き検出アラーム記録 (Motion Alarm Rec)
e : エマージェンシー記録 (Emergency Rec)
c : パスコード不適合検出記録 (Passcode Error Rec)
l : Live Web 時のみ使用 (☞ 76 ページ)

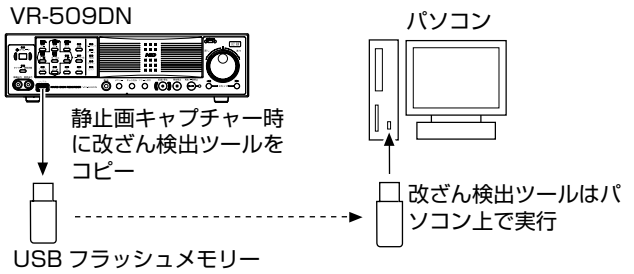
ご注意 :

- 静止画のファイル名を変更すると、改ざん検出ツールの表示が正常に行われなくなります。

- 一度使用した USB フラッシュメモリーは本機に自動登録されます。登録できる USB フラッシュメモリーは最大 10 個までです。本機の電源を切ると、登録は自動的に削除され、新しい USB フラッシュメモリーが使用できます。
- 静止画キャプチャー中、ネットワークへの画像配信は停止します。
- 停電が発生した時刻付近の記録は、正常に再生されない場合があり、静止画キャプチャーができないことがあります。
- 使用可能な USB フラッシュメモリーについては、お買い上げ販売店またはビクターサービス窓口にお問い合わせください。

キャプチャーした静止画をパソコン上で改ざん検出および閲覧する

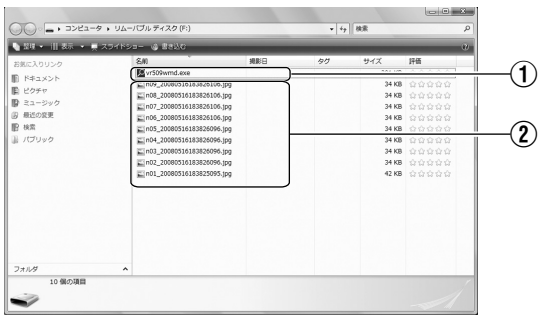
VR-509DN から静止画（JPEG）をキャプチャーしたとき、改ざん検出ツールは USB フラッシュメモリーにコピーされます。
改ざん検出ツールはパソコン上で実行します。VR-509DN からキャプチャーした静止画に対してのみ有効です。



■ 接続可能なパソコン仕様

OS	Windows XP Professional SP2(JP) / Windows XP Home Edition SP2(JP) / Windows Vista Ultimate SP1(JP) / Windows Vista Business SP1(JP) / Windows Vista Home Premium SP1(JP) / Windows Vista Home Basic SP1(JP)
CPU	Pentium3 1GHz 以上
メモリ	Windows XP を使用する場合 ● Home Edition：256MB 以上 ● Professional ：256MB 以上 Windows Vista を使用する場合 ● Home Basic ：512MB 以上 ● Home Basic 以外：1GB 以上
モニター	XGA（1024×768 ピクセル）以上必須 SXGA（1280×1024 ピクセル）推奨

静止画キャプチャー後の USB フラッシュメモリーのフォルダー内容

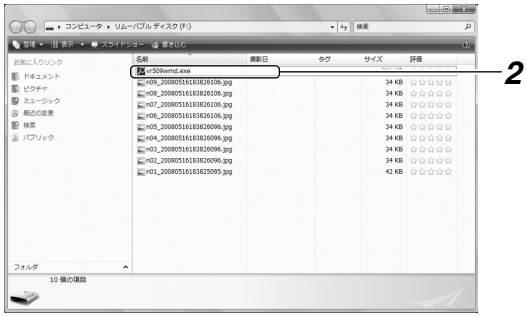


① vr509wmd.exe	改ざん検出・JPEG 閲覧ツールの実行ファイル（Windows アプリケーション）
② ****.jpg	キャプチャーした JPEG 画像ファイルファイル名は、[静止画ファイル名] (☞65 ページ) をご覧ください。

パソコン上で改ざん検出を行う

1 VR-509DN の静止画をキャプチャーした USB フラッシュメモリをパソコンに挿入し、USB フラッシュメモリを開く

- 下図のような改ざん検出ツール、JPEG 画像ファイルの一覧リストが表示されます。(USB フラッシュメモリフォルダー画面)



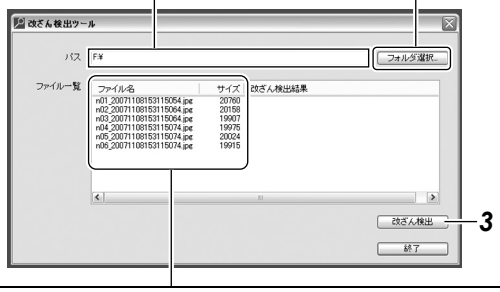
USB フラッシュメモリーフォルダー画面

2 [vr509wmd.exe] をダブルクリックする

- 下図のような改ざん検出・JPEG 閲覧ツール画面が表示されます。

[フォルダー選択 ...] フォルダー選択ダイアログを表示されます。フォルダー選択ダイアログで選択したフォルダーをパス名に設定できます。

パス名：本ツールを起動したフォルダーを初期値として表示します。



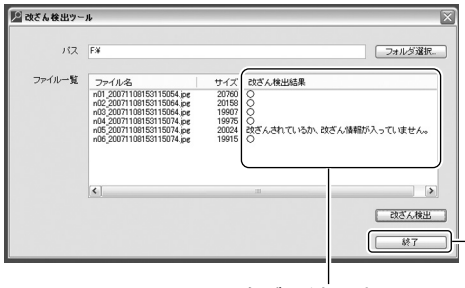
ファイル一覧：JPEG ファイルの [ファイル名] と [サイズ] を表示します。

3 [改ざん検出] ボタンをクリックする

- ファイル一覧に表示された JPEG ファイルの改ざん検出を開始します。
- 終了すると、下記のような検出結果が表示されます。

4 [OK] ボタンをクリックする

- ファイル一覧に改ざん検出結果が表示されます。



表示	改ざん結果
○	改ざんされていません。
改ざんされているか、改ざん情報が入っていません。	● 改ざんされている。 ● 静止画キャプチャー時に VR-509DN 本体の [記録詳細設定] メニューの [電子透かし画像] 項目が " 切 " に設定されていた。(☞ 33 ページ)
VR-509DN で作成した静止画ファイルではありません。	VR-509DN の JPEG ファイルでない。
ファイルオープンエラー	ファイルオープンエラー
改ざん検出エラー	エラー

メモ :

- [改ざん検出] ボタンは、指定されたパスに JPEG ファイルが存在するときのみ有効です。

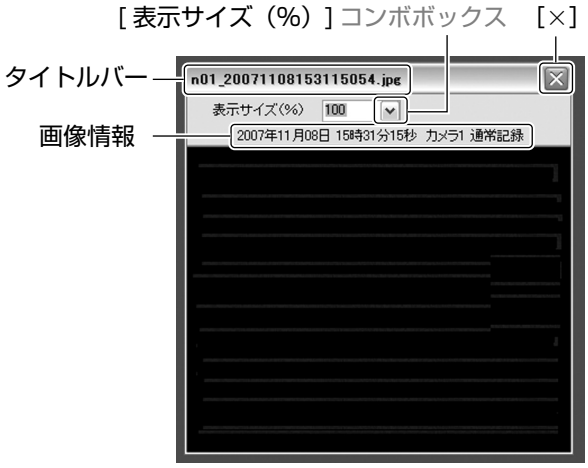
5 JPEG 画像ファイルを閲覧する場合は、次の手順 **6** に進む
改ざん検出・JPEG 閲覧ツール画面を終了する場合は、[終了] ボタンを押す

- USB フラッシュメモリーフォルダー画面に戻ります。

JPEG 画像を閲覧する

6 ファイル一覧から閲覧したい[ファイル名]の部分をダブルクリックする

- 指定したJPEGファイルの画像が[JPEG画像表示画面]に表示されます。



JPEG 画像表示画面

- 指定フォーマットのファイル名から復元した " 画像情報 " を画面の上部に表示します。
  (☞ 65 ページ [静止画ファイル名])
- 画面最上部のタイトルバーに " 静止画ファイル名 " を表示します。
- 表示サイズは、[表示サイズ（%）] コンボボックスで 7 段階（25%, 50%, 75%, 100%, 200%, 400%, 800%）から選択できます。表示サイズフィールドに選択したサイズが表示されます。

表示サイズ (%)	サイズ（pixel）横 x 縦	表示サイズ (%)	サイズ（pixel）横 x 縦
25	80×60	200	640×480
50	160×120	400	1280×960
75	240×180	800	2560×1920
100	320×240		

7 JPEG 表示画面を閉じる場合は、[閉じる] ボタンをクリックする

- 改ざん検出・JPEG 閲覧ツール画面に戻ります。

他の JPEG 画像を閲覧する場合は、**6** の操作を行なってください。

8 改ざん検出・JPEG 閲覧ツール画面を終了する場合は、[終了] ボタンを押す

- USB フラッシュメモリーフォルダー画面に戻ります。

9 パソコンから USB フラッシュメモリー取り出し操作を行う

ご注意 :

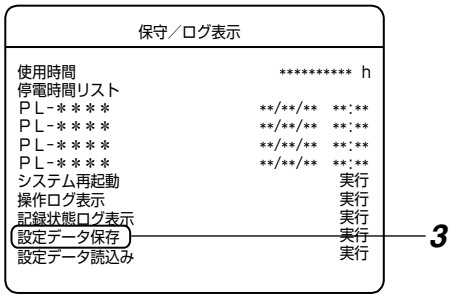
- 映像信号を入力しない状態で記録された画像に対しては改ざん検出を正常に行うことができません。記録時は、必ず映像信号を入力してから記録を行なってください。
- 静止画キャプチャー時に、VR-509DN 本体の [記録詳細設定] メニューの [電子透かし画像] の設定が " 入 " であった場合のみ、改ざん検出が有効となります。(☞ 33 ページ)

設定データを USB フラッシュメモリーに保存する

1 前面の[シリアル]端子または背面の[SERIAL]端子に USB フラッシュメモリーを接続する

2 [メニュー] を押す

- [メニュー画面の操作] (☞18 ページ) に従い、[メニュー]⇨[運用詳細設定]⇨[保守全般]⇨[保守 / ログ表示] の順に開きます。



3 [▲/▼] で [設定データ保存] を選び、[決定] を押す

- 画面上に [設定データ保存中　USB フラッシュメモリーを抜かないでください] と表示されます。

4 画面上の[設定データ保存中　USBフラッシュメモリーを抜かないでください] の表示が消えると、メニュー設定が USB フラッシュメモリーに保存される

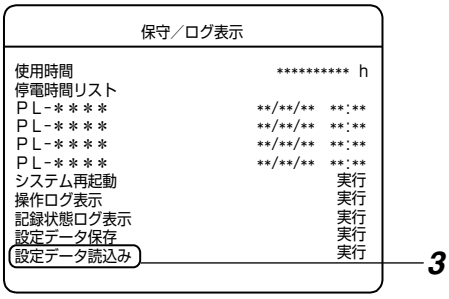
5 USB フラッシュメモリーを端子からはずす

設定データを USB フラッシュメモリーから読み込む

1 前面の[シリアル]端子または背面の[SERIAL]端子に USB フラッシュメモリーを接続する

2 [メニュー] を押す

- [メニュー画面の操作] (☞18 ページ) に従い、[メニュー]⇨[運用詳細設定]⇨[保守全般]⇨[保守 / ログ表示] の順に開きます。



3 [▲/▼] で [設定データ読込み] を選び、[決定] を押す

- 画面上に [設定データ確認中] と表示されます。
- 設定データを確認すると、画面上に [設定データを確認しました。読込みますか？] と表示されます。

4 インストール確認画面上の [実行] を選択し、[決定] を押す

- 画面上に [設定データ読込み中] と表示されます。
- 更新が終了すると、システムが再起動します。

5 USB フラッシュメモリーを端子からはずす

- システム再起動後、USB フラッシュメモリーを端子からはずしてください。

■ USB フラッシュメモリーが認識されない場合

画面上に [USB フラッシュメモリが認識されません] と表示されます。

- 作業続ける場合は、USB フラッシュメモリーの接続を確認し、画面上の [再試行] を選択し、[決定] を押してください。
- 作業をキャンセルする場合は、画面上の [キャンセル] を選択し、[決定] を押してください。

※ 下記のような場合に発生します。
USB フラッシュメモリーが接続されていなかった。
USB フラッシュメモリーのファイルシステムが異常

■ データ保存やデータ読込みに失敗した場合

画面上に [設定データ保存失敗] や [USB フラッシュメモリの設定データが認識されません] と表示されます。

- 画面上の [閉じる] を選択し、[決定] を押してください。

メモ :

- エラーが発生する原因と対処方法は(☞ 107ページ)をご覧ください。

- 一度使用した USB フラッシュメモリーは本機に自動登録されます。登録できる USB フラッシュメモリーは最大 10 個までです。本機の電源を切ると、登録は自動的に削除されます。
- データ保存やデータ読込み中、ネットワークへの画像配信は停止します。
- 使用可能な USB フラッシュメモリーについては、お買い上げ販売店またはビクターサービス窓口にお問い合わせください。

■ 設定データファイル名
- D01-00_080426165218.509
  VR-509DN ソフトバージョン _ 年月日時分秒 .509

■ 設定データ読込み時
拡張子 [509] が付いていたならば、ファイル名変更が可能です。(ただし、半角英数字のみ)

■ 設定データ読込み時
USB フラッシュメモリー内に設定データは 1 つのみとします。(ルートディレクトリにファイルをおく。)
ルートディレクトリに設定データが複数存在する場合は、最新の日付のデータが読み込まれます。

UPS を接続する

UPS とは、無停電電源装置 (Uninterruptible Power Supply) です。
UPS を接続することにより、停電発生時は自動的にオペレートオフしてから電源を切るため、ハードディスクの破損を防ぐことができます。

1 接続する

- 背面の [SERIAL] 端子または前面の [シリアル] 端子に UPS の通信ケーブルを接続します。
- 本機の電源コードを UPS の電源出力に接続します。

2 電源を入れる

- UPS の電源を入れます。
- 本機の電源を入れます。

- UPS の通信ケーブルは、本機の電源を入れる前に接続しておいてください。
- 運用中に通信ケーブルを外さないでください。
- 使用可能な UPS については、お買い上げ販売店またはビクターサービス窓口にお問い合せください。

USB ハブについて

UPS と 2 台の外付けハードディスクを同時に使用する場合は、USB ハブが必要です。
USB ハブは USB2.0 に対応したものを使用してください。
USB ハブによっては USB2.0 と USB1.1 の機器を同時に接続した場合に USB1.1 での動作になってしまうものがあります。このような USB ハブの使用は避けてください。

こんなことができます

■ パソコンでライブ画を見る (☞ 76 ページ)

■ パソコンで記録予約する (☞ 78 ページ)

■ パソコンで再生画を見る (☞ 81 ページ)

■ パソコンを使った便利な機能 (☞ 84 ページ)

- カメラタイトルを入力する (☞ 84 ページ)
- アラーム入力時にメールを発報する (☞ 85 ページ)
- NTP サーバーで時刻を合わせる (☞ 86 ページ)
- 本体の設定値を本機からダウンロードする (☞ 86 ページ)
- 本体の設定値を本機にアップロードする (☞ 87 ページ)

■ ネットワークの設定を変更する (☞ 90 ページ)

■ パソコンで本体の設定を変更する (☞ 92 ページ)

接続可能なパソコンの仕様

OS	Windows XP Professional SP2(JP) / Windows XP Home Edition SP2(JP) / Windows Vista Ultimate SP1(JP) / Windows Vista Business SP1(JP) / Windows Vista Home Premium SP1(JP) / Windows Vista Home Basic SP1(JP)
CPU	Pentium3 1GHz 以上
メモリー	Windows XP を使用する場合 ● Home Edition: 256MB 以上 ● Professional : 256MB 以上 Windows Vista を使用する場合 ● Home Basic : 512MB 以上 ● Home Basic 以外: 1GB 以上
モニター	XGA（1024×768 ピクセル）以上必須 SXGA（1280×1024 ピクセル）推奨

メモ :

- Internet Explorer は Ver.7.0、Ver.6.0 で動作確認を行なっています。なお、Internet Explorer の Ver.5.0 では動作しません。
  （Java Script と ActiveX コントロールは有効とし、ポップアップブロックは無効としてください。）
- ActiveX コントロールを有効にする手順は、[ActiveX コントロールとプラグインを有効にする] (☞117 ページ) をご覧ください。
- Internet Explorer Ver7.0 のタグブラウジング機能を使用すると正常に動作しない場合があります。

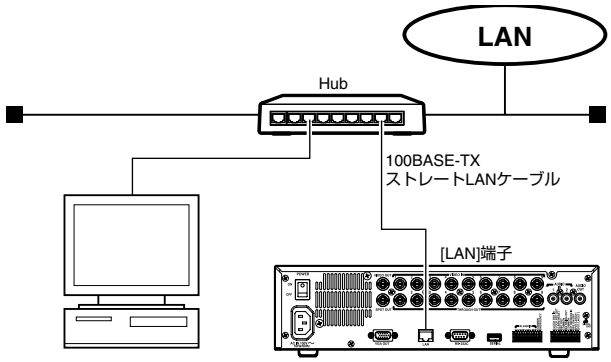
ご注意 :

- 上記パソコンの仕様は、アプリケーションソフトを快適にお使いいただくための目安であり、動作の保証をするものではありません。
  動作環境条件を満たしているパソコンをお使いの場合でも、お客様の使用状況によっては快適にお使いいただけない場合があります。
- VR-509DN はオートネゴシエーションのみのため、全二重固定の機器と接続する場合、正常に通信できないことがあります。ご注意ください。

LAN ケーブルで接続する

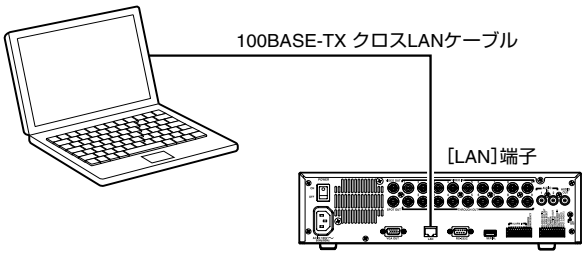
ネットワーク（LAN）につなぐ

- パソコンとハブ、および本機とハブをストレートの LAN ケーブルで接続します。



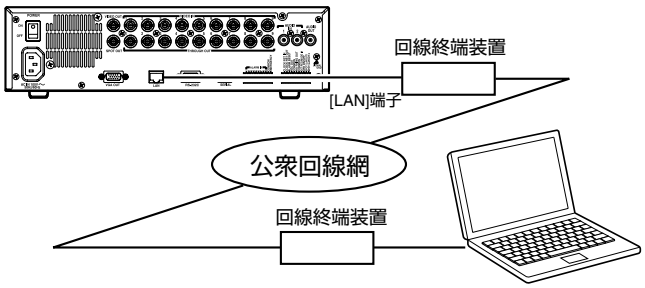
ピアツーピアでつなぐ

- パソコンと本機をクロスオーバーの LAN ケーブルで接続します。



公衆回線網につなぐ

- パソコンと回線終端装置（ルーターなど）および本機と回線終端装置をストレートの LAN ケーブルで接続します。



メモ：

- 回線終端装置の設定については、各機器の取扱説明書に基づき設定してください。

ご注意：

- LAN ケーブルは、エンハンスドカテゴリー 5 または、カテゴリー 6 規格のものを使用してください。
- 既存の LAN 回線に接続する場合には、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 本機は 1 台に対して、ライブ画は最大 32 画面まで見ることができます。
- 本機は 1 台に対して、再生は最大 1 画面見ることができます。
- 本機は、ライブ画表示と再生画表示を同時に見ることはできません。

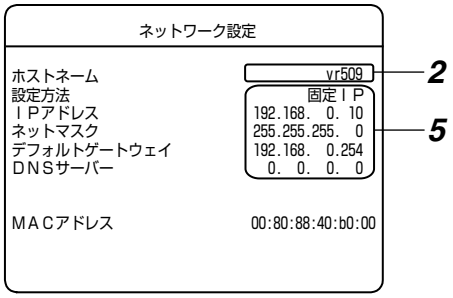
本機は、WAN (Wide Area Network) に対応しています。

本機のネットワーク設定をする

最初の設定は本機につないだモニター画面を見ながら、本機本体で行います。

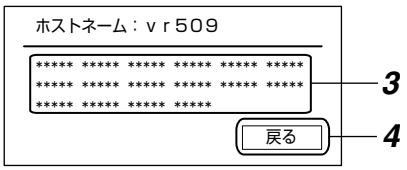
1 [メニュー] を押す

- [メニュー画面の操作] (☞18 ページ) に従い、[メニュー]⇨[運用詳細設定]⇨[ネットワーク設定] の順に開きます。



2 [▲/▼] で [ホストネーム] を選び、[決定] を押す

- ホストネーム入力画面が開きます。



3 [▲/▼/◀/▶] で文字を選び、[決定] を押す

- ホストネームに一文字入力されます。

メモ :

- [－]または[＋]を押すと、ネーム部分のカーソルが前または後ろへ移動します。
- [キャンセル] を押すと、ネーム部分のカーソル位置文字が削除されます。

4 [◀/▶] で [戻る] を選び、[決定] を押す

- [ネットワーク設定] 画面に戻ります。

5 [▲/▼/◀/▶] を押して項目を選び、[－ / ＋] で設定値を変更する

- 工場出荷状態は次のように設定されています。

設定方法	固定 IP アドレス（DHCP サーバーを使用しない）
IP アドレス	192.168.0.10
ネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.0.254

メモ :

- 本機 をつなぐ LAN 環境で、各設定値が規定されているときは、ネットワーク管理者にご相談ください。

6 [決定] を押す

- 設定が保存されます。

メモ :

- 設定方法を [DHCP] に設定した場合、このメニュー画面を抜けて再度表示させると DHCP サーバーから割り振られた IP アドレスが表示されます。IP アドレスが変更されている場合、確認画面が表示されますので更新してください。
- 設定方法を [DHCP] に設定後は、上記手順によって必ず IP アドレスを確認してください。
- 設定方法を [DHCP] に設定した場合、本機は起動時および設定変更時のみ IP アドレスの取得動作を行います。起動後にネットワークが有効になった場合は、IP アドレスの取得のため、設定方法を一旦別のものに変更してから [DHCP] に設定し直してください。
- 設定方法を [DHCP] に設定してある状態で、DHCP サーバーからの設定の取得に失敗した場合は、以前の固定 IP に設定した値が設定されます。

- **[戻る] を押すと、前のメニュー画面に戻ります。**

パソコンのネットワーク設定をする

ここでは、本機の工場出荷設定を利用し、小規模の LAN を構築する場合を設定例として説明します。

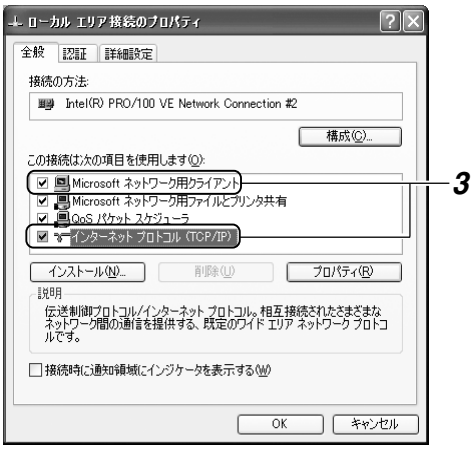
Windows XP の場合

1 [スタート] をクリックする

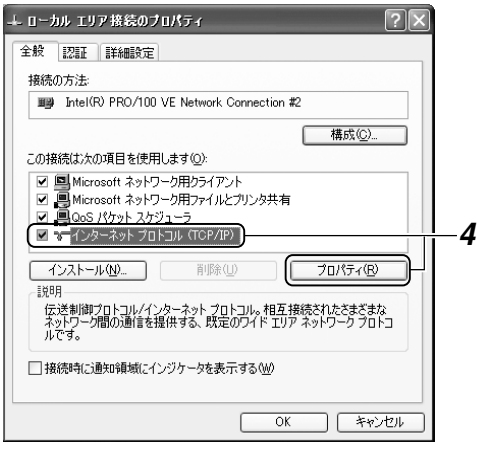
- [マイネットワーク] を右クリックし、[プロパティ] を選びます。

2 Web ブラウザ操作するパソコンがつながれているネットワークを選ぶ

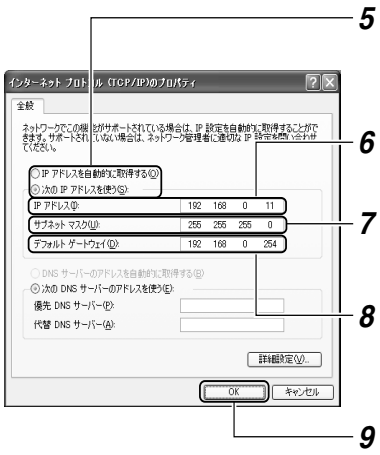
- 右クリックし [プロパティ] を選びます。



3 [Microsoft ネットワーク用クライアント]、[インターネットプロトコル（TCP/IP）] の両方にチェックが付いていることを確認する



4 [インターネットプロトコル（TCP/IP）] を選び、[プロパティ] をクリックする



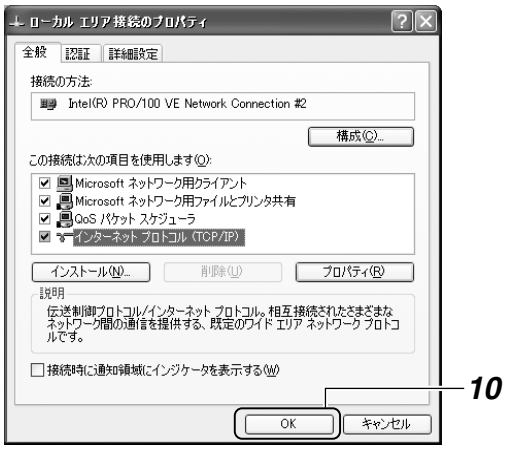
5 [次の IP アドレスを使う] を選ぶ

6 [IP アドレス] を 192.168.0.11 に設定する

7 [サブネットマスク] を 255.255.255.0 に設定する

8 [デフォルトゲートウェイ] を 192.168.0.254 に設定する

9 [OK] をクリックする



10 [ローカルエリア接続のプロパティ] 画面の [OK] をクリックする

ご注意：

- ネットワーク環境内で同じ I P アドレスを使わないように設定してください。
- パソコンのネットワーク設定では、1 つの NIC (Network Interface Card) に対して、複数の IP アドレスを登録しないでください。

パソコンのネットワーク設定をする（つづき）

Windows Vista の場合

1 [スタート] をクリックする

- [ネットワークとインターネット]⇨[ネットワークと共有センター] で、Web ブラウザ操作するパソコンがつながれているネットワークの [状態の表示] をクリックします。
- ネットワーク接続の状態が表示されますので、[プロパティ] をクリックします。
- ユーザーアカウント制御ダイアログが表示されますので、[続行] をクリックします。

2 [Microsoft ネットワーク用クライアント]、[インターネットプロトコル バージョン 4(TCP/IPv4)] の両方にチェックが付いていることを確認する

3 [インターネットプロトコル バージョン 4(TCP/IPv4)] を選び、[プロパティ] をクリックする

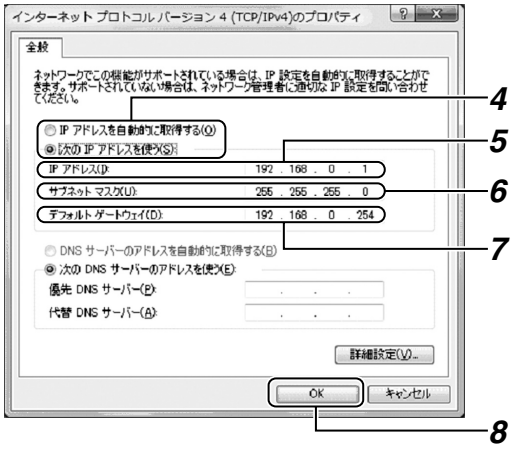
4 [次の IP アドレスを使う] を選ぶ

5 [IP アドレス] を 192.168.0.11 に設定する

6 [サブネットマスク]を255.255.255.0に設定する

7 [デフォルトゲートウェイ] を 192.168.0.254 に設定する

8 [OK] をクリックする



9 [ローカルエリア接続のプロパティ] 画面の [OK] をクリックする

ご注意：

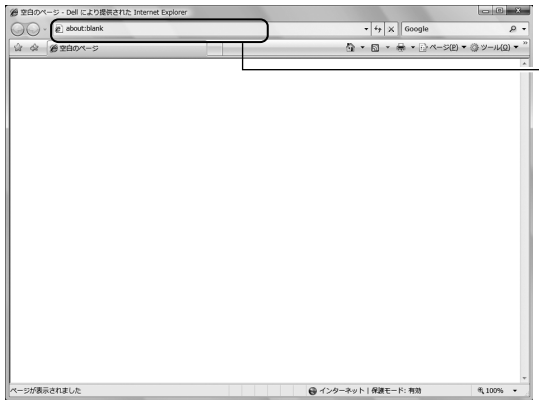
- ネットワーク環境内で同じ IP アドレスを使わないように設定してください。
- パソコンのネットワーク設定では、1 つの NIC (Network Interface Card) に対して、複数の IP アドレスを登録しないでください。

ネットワーク接続（ログイン）する

1 Web ブラウザを起動する

2 about:blank に本機の IP アドレス（工場出荷時設定：http://192.168.0.10）を入力し、パソコンの Enter キーを押す

3



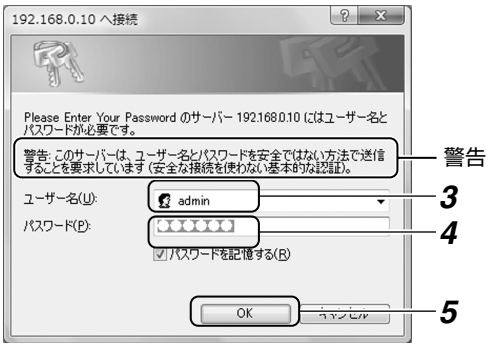
メモ：

- IPアドレスについては、[IPアドレス] (☞72ページ)をご覧ください。
- 本機ではベーシック認証を使用しています。Internet Explorer Ver7.0 を使用した場合、ログイン画面で以下の囲み部分の警告メッセージが表示されます。

4 “admin”（小文字）と入力する

5 “vr-509”（小文字）と入力する

6 [OK] をクリックする



トップページ

1 タイトルが表示されます。

2 選択メニューが表示されます。

3 設定画面が表示されます。

4 選択メニュー項目にカーソルが重なっているときに、選択メニュー項目の内容を表示します。

メモ：

- [ライブ画表示]、[イベント検索]⇨[アラーム検索]または[イベント検索]⇨[日時検索] のいずれかをクリックすると、下図のようなダイアログが表示されますので、“インストールする” をクリックし、インストールを実行してください。（Java Script と ActiveX コントロールは “ 有効 ” とし、ポップアップブロックは “ 無効 ” としてください。）

- 一度インストールすると、次回使用時は表示されません。
- ActiveXコントロールを“有効”にする手順は、[ActiveXコントロールとプラグインを有効にする] (☞117 ページ) をご覧ください。

ライブ画表示画面

1 [ライブ画表示] をクリックする
- ライブ画表示ウィンドウが開きます

項目	内容
① ライブ画表示領域	ライブ画が表示されます。 VR-509DN 本体が記録中の場合は“REC”と表示されます。
② [画面分割]	画面分割数を選択できます。 1 画面（10ips×1 画面）、4 画面（3ips×4 画面）、9 画面（1ips×9 画面） **メモ：** ● 複数のパソコンでライブ画表示中は、表示コマ数が自動的に調整されます（最大で合計 12ips）。また、表示可能画面数（32 画面）を越えた場合は、エラーメッセージを表示し、ブルー画を表示します。
③ [表示カメラ]	表示カメラを選択できます。 1 ～ 9 **メモ：** ● 4/9 分割画面表示時、同じカメラの複数設定はできません。
④ [表示サイズ (%)]	表示サイズを選択できます。 25%、50%、75%、100%、200%、400%、800%
⑤ [画質]	表示画質を選択できます。 High、Normal、Basic、Long
⑥ 表示項目選択	情報を画面に表示するかどうかを選択できます。チェックした項目が画面に表示されます。 カメラ番号、タイトル、本体時刻、アラーム通知

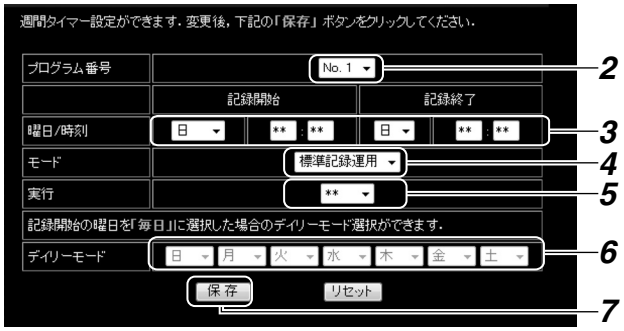
項目	内容
⑦ [設定実行]	2 ～ 6 までの設定内容を実行するときに、クリックします。
⑧ [PC登録/削除]	パソコンにライブ画表示ウィンドウの設定を保存するとき、あるいはパソコンに保存されているライブ画表示ウィンドウの設定を削除するときにクリックします。 [PC 登録／削除ウィンドウ] が開きますので、ウィンドウ内の [PC 登録] または [PC 削除] ボタンをクリックします。 ライブ画表示ウィンドウを開いたときに、保存したデータが読み出されます。
⑨ [本体登録]	VR-509DN 本体にライブ画表示ウィンドウの設定を保存するときに、クリックします。 ライブ画表示ウィンドウを開いたときに、保存したデータが読み出されます。 **メモ：** ● 8.[PC 登録] による PC 登録データがある場合は、PC 登録データが優先されます。
⑩ [静止画保存]	ライブ画のキャプチャーができます。表示されている全ての画面をキャプチャーします。 [JPEG] をクリックすると、ユーザーのドキュメントフォルダーに静止画ファイルを保存します。 [ActiveX コントロールとプラグインを有効にする] (☞117 ページ) の設定を必ず行なってください。 静止画ファイル名は自動で付けられます。(☞ 65 ページ [静止画ファイル名])

ご注意：

● 再生画表示画面のウィンドウが開いている場合は、閉じてください。ライブ画と同時に表示できません。

週間タイマーを追加する

1 [タイマー記録予約]⇨[週間タイマー]の順にクリックする
- 週間タイマー入力画面とプログラムリスト（日付指定タイマー設定）画面が表示されます。



2 記録予約する番号を選ぶ

3 記録開始曜日／時刻と記録終了曜日／時刻を入力する

4 記録モードを選ぶ

5 実行を [入][切][毎週] から選ぶ

※開始曜日に [毎日] を選んだときは、[毎週] は選べません。

6 開始曜日に [毎日] を選んだときは、記録する曜日を設定する

※開始曜日に [毎日] を選ばなかったときは、灰色で表示され、設定できません。

7 [保存] をクリックする
- 内容が保存されます。
- 更新されたプログラムリスト（週間タイマー設定）画面が表示されます。

● [リセット] をクリックすると、入力がクリアされます。

プログラムリスト（週間タイマー設定）画面

プログラムリスト(週間タイマー設定)
リストから変更する場合は「変更」ボタンを, 削除する場合「削除」ボタンをクリックしてください.
No.
開始日時
終了日時
モード
実行
1 日 **:** *** **:** ** ** 変更 削除
2 月 **:** *** **:** ** ** 変更 削除
3 火 **:** *** **:** ** ** 変更 削除
4 水 **:** *** **:** ** ** 変更 削除
5 木 **:** *** **:** ** ** 変更 削除
6 金 **:** *** **:** ** ** 変更 削除
7 土 **:** *** **:** ** ** 変更 削除
8 毎日 **:** *** **:** ** ** 変更 削除
CLOSE

- [CLOSE] をクリックすると、ウィンドウを閉じます。

週間タイマーを変更／削除する

1 [タイマー記録予約]⇨[週間タイマー]の順にクリックする
- 週間タイマー入力画面とプログラムリスト（日付指定タイマー設定）画面が表示されます。

プログラムリスト(週間タイマー設定)
リストから変更する場合は「変更」ボタンを, 削除する場合「削除」ボタンをクリックしてください.
No.
開始日時
終了日時
モード
実行
1 日 **:** *** **:** ** ** 変更 削除
2 月 **:** *** **:** ** ** 変更 削除
3 火 **:** *** **:** ** ** 変更 削除
4 水 **:** *** **:** ** ** 変更 削除
5 木 **:** *** **:** ** ** 変更 削除
6 金 **:** *** **:** ** ** 変更 削除
7 土 **:** *** **:** ** ** 変更 削除
8 毎日 **:** *** **:** ** ** 変更 削除
CLOSE
2

プログラムを変更する

1 [変更] ボタンをクリックする
- 変更内容の確認画面が表示されます。

2 確認画面の [変更] ボタンをクリックする
- プログラムが変更されます。
- 更新されたプログラムリスト（週間タイマー設定）画面が表示されます。

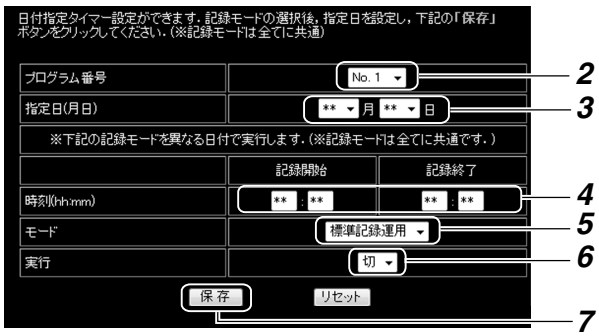
プログラムを削除する

1 [削除] ボタンをクリックする
- 削除内容の確認画面が表示されます。

2 確認画面の [削除] ボタンをクリックする
- プログラムが削除されます。
- 更新されたプログラムリスト（週間タイマー設定）画面が表示されます。

日付指定タイマーを追加する

1 [タイマー記録予約]⇨[日付指定タイマー]の順にクリックする
- 日付指定タイマー入力画面とプログラムリスト（日付指定タイマー設定）画面が表示されます。



2 記録予約する番号を選ぶ

3 記録する日付を選ぶ

4 記録開始時刻と記録終了時刻を入力する

5 記録モードを選ぶ

6 実行を [入][切] から選ぶ

7 [保存] をクリックする
- 内容が保存されます。
- 更新されたプログラムリスト（日付指定タイマー設定）画面が表示されます。

● [リセット] をクリックすると、入力がクリアされます。

プログラムリスト（日付指定タイマー設定）画面

● [CLOSE] をクリックすると、ウィンドウを閉じます。

日付指定タイマーを削除する

1 [タイマー記録予約]⇨[日付指定タイマー]の順にクリックする
- 日付指定タイマー入力画面とプログラムリスト（日付指定タイマー設定）画面が表示されます。

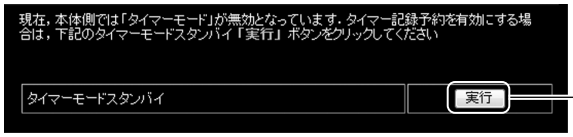
2 [削除] ボタンをクリックする
- 削除内容の確認画面が表示されます。

3 確認画面の [削除] ボタンをクリックする
- プログラムが削除されます。
- 更新されたプログラムリスト（日付指定タイマー設定）画面が表示されます。

タイマーモード

[タイマーモード] が無効のとき

1 [タイマー記録予約]⇨[タイマーモード] の順にクリックする

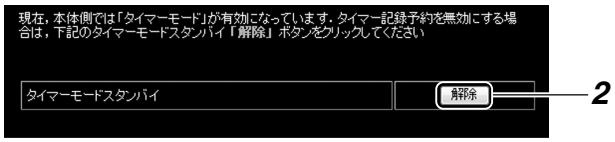


2 [実行] をクリックする

- タイマーモードが有効になります。

[タイマーモード] が有効のとき

1 [タイマー記録予約]⇨[タイマーモード] の順にクリックする

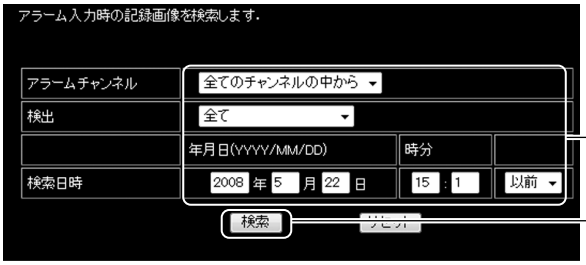


2 [解除] をクリックする

- タイマーモードが解除されます。

アラーム検索

1 [イベント検索]⇨[アラーム検索再生]の順にクリックする



2 検索する条件を選ぶ

■ 設定項目

● アラームチャンネル

設定値	内容
全てのチャンネルの中から	記録をしたチャンネルを限定せずに記録画像を検索します。
ch1 ～ ch9	指定したチャンネルに限定して記録画像を検索します。

● 検出

設定値	内容
全て	アラーム種別を限定せずに記録画像を検索します。
エマージェンシー端子	エマージェンシー端子入力による記録画像とパスコード不適合検出記録画像を検索します。
アラーム端子	アラーム端子入力による記録画像を検索します。
動き検出	動き検出による記録画像を検索します。

● 検索日時

検索する年／月／日／時／分を入力します。

● 以前／以後

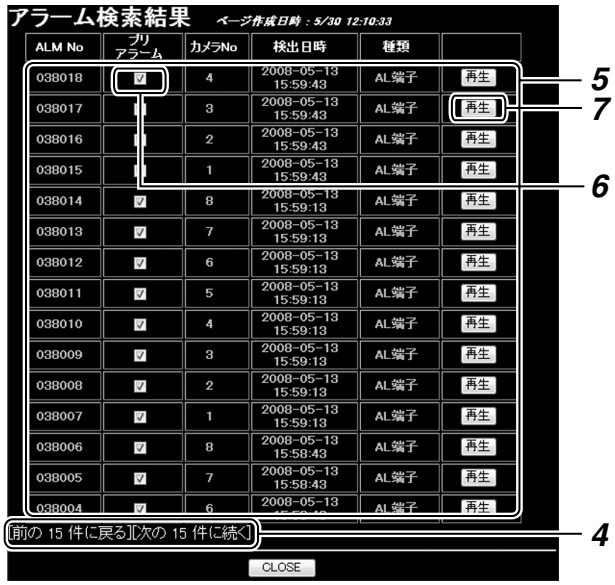
設定値	内容
以前	指定日時以前の記録画像を検索します。
以後	指定日時以降の記録画像を検索します。

3 [検索] をクリックする

- [アラーム検索結果] 画面が表示されます。

● [リセット] をクリックすると入力がクリアされます。

アラーム検索結果 画面



4 再生する記録画像リストを表示させる

- 記録画像のリストは、15 件ずつ表示されます。
  以下のリンクをクリックしてページを更新できます。

[次の 15 件に続く]： 次の画面を表示します。
[前の 15 件に戻る]： 前の画面に戻ります。

5 記録画像リストを選ぶ

- リストの表示項目を見て再生する記録画像を選びます。

■ 表示項目

表示	内容
ALM No	本体のデータベースに登録されているアラーム番号です。
プリアラーム	プリアラーム記録がされた場合、チェックボックスが表示されます。 クリックしてから再生ボタンを押すと、プリアラーム記録から再生を開始します。
カメラ No	記録したカメラ入力を表示します。
検出日時	検出した日時を表示します。
種類	AL 端子　：アラーム入力端子 動き検出　：動き検出 EMG　：エマージェンシー入力端子 P. エラー　：パスコード不適合検出記録

6 プリアラーム記録を再生するかどうかを選ぶ

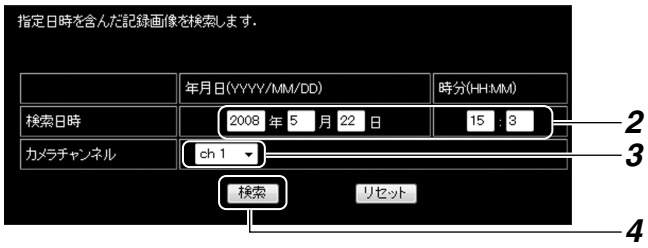
- プリアラーム記録を再生するときは、チェックを付けます。

7 [再生] をクリックする

- 再生を開始します。(☞ 82 ページ)

日時検索

1 [イベント検索]⇨[日時検索再生]の順にクリックする



2 検索する日時を入力する

3 検索するチャンネルを選ぶ

4 [検索] をクリックする

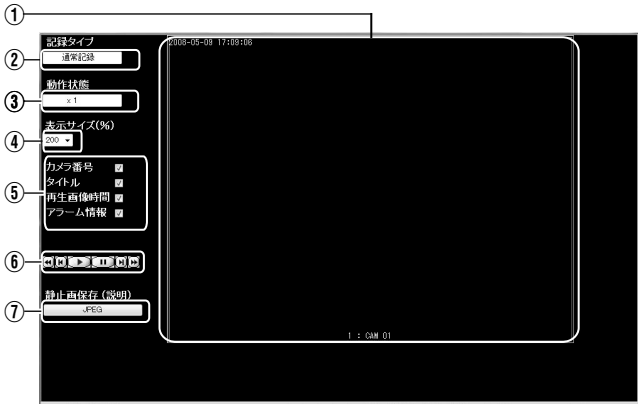
- [再生画表示画面] が表示されます。

● [リセット] をクリックすると入力がクリアされます。

再生画表示画面

■ [アラーム検索再生]または[日時検索再生]を実行する

- 再生画表示画面が開きます。



項目	内容
① 再生画表示領域	再生画が表示されます。(※最大 3ips)
② 記録タイプ	記録したときの記録モードを表示します。 通常記録、タイマー記録、アラーム記録など
③ 動作状態	再生状態を表示します。 画像 TOP、画像 END、-×5、-×3、-×1、PAUSE、 ×1、×3、×5
④ 表示サイズ(%)	表示サイズを選択できます。
⑤ 表示項目選択	情報を画面に表示するかどうかを選択できます。 カメラ番号、タイトル、再生画像時間、アラーム情報
⑥ 操作ボタン	
▶	通常再生します。
⏸	ポーズ状態にします。
►►/◄◄	順方向／逆方向にサーチ再生します。 1 回クリックすると 1 倍速、2 回クリックすると 3 倍速、3 回クリックすると 5 倍速でサーチ再生します。(動作状態表示部に倍速値を表示します。)
▶|/|◀ :	コマ送り／コマ戻し再生をします。

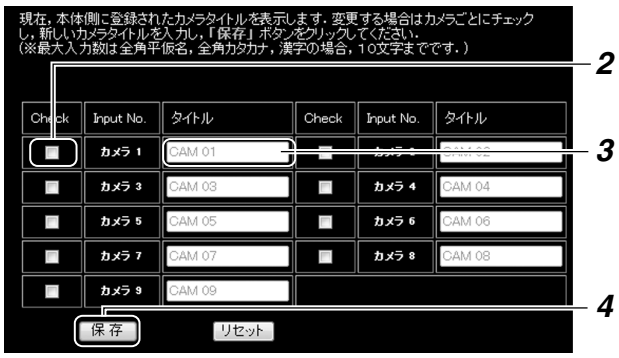
項目	内容
⑦ **静止画保存**	再生画のキャプチャーができます。 [JPEG] をクリックすると、ユーザーのドキュメントフォルダーに静止画ファイルを保存します。 [ActiveX コントロールとプラグインを有効にする] (☞117 ページ) の設定を必ず行なってください。 静止画ファイル名は自動で付けられます。 (☞ 65 ページ [静止画ファイル名])

ご注意 :

- ライブ画表示画面のウィンドウが開いている場合に再生画表示ウィンドウを開くと、[本体の応答がありません] と表示されますが、VR-509DN 本体の故障ではありません。
- ライブ画表示画面のウィンドウが開いている場合は、閉じてください。ライブ画面を閉じて、すぐに再生を行うと、再生に失敗することがあります。ライブ 画 ⇔ 再生画の切り換えは時間をおいてから行なってください。
- 日時検索再生は、検索を行うごとに再生ウィンドウは初期化されます。
- アラーム検索再生は、アラーム検索結果の再生を行うごとに再生ウィンドウは初期化されます。
- 他の設定画面を選択すると再生ウィンドウは閉じます。
- 停電が発生した時刻付近の記録は正常に再生されない場合があります。

カメラタイトルを入力する

1 [本体表示]⇨[カメラタイトル]の順にクリックする



メモ：

- Input No の [カメラ 1 ～ 9] 部分がグレーの場合は、本体メニュー基本設定 -1 のカメラ入力設定が [なし] となっていることを示します。(☞ 20 ページ)

ご注意：

- VR-509DN 本体のメニューのカメラタイトル設定画面で [”] をカメラタイトルに設定した場合は、パソコンでの
  [本体表示]⇨[カメラタイトル] でカメラタイトルが正常に表示されない場合があります。

2 チェックボックスをクリックする

- チェックボックスをクリックしないとカメラタイトル文字を入力することができません。

3 カメラタイトルを入力する

● 入力可能な文字について：

カメラタイトルは、半角英数字、全角英数字、全角ひらがな、全角カタカナ、漢字が使用できます。また、半角文字の場合は、最大 20 文字まで、全角文字の場合は、最大 10 文字まで設定できます。

● 本機で認識できない文字について：

本機で認識できる全角文字は、第 1 水準漢字（2965 文字）、第 2 水準漢字（3390 文字）のみのため、一部の OS に依存する文字は本体ではブランクとして表示します。(例：①、②、Ⅰ、Ⅱ、㈱など)

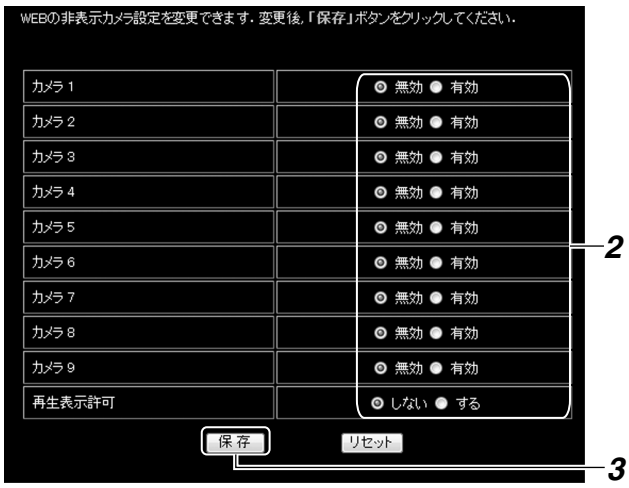
4 [保存] をクリックする

- [保存] は更新したい全てのカメラタイトル設定を行なってからクリックしてください。
- 空白の状態で [保存] をクリックすると、カメラタイトルは（None）になり表示されません。
- [保存] をクリックしたら、修正は行えません。再度入力してください。

● [リセット] をクリックすると、本体の設定値に戻ります。

ライブ画／再生画表示画面の非表示カメラ設定をする

1 [Web 表示]⇨[非表示カメラ] の順にクリックする



2 設定を変更する (☞ 29 ページ)

3 [保存] をクリックする

● [リセット] をクリックすると、本体の設定値に戻ります。

アラーム入力時にメールを発報する

1 [ネットワーク]⇨[メール発報]の順にクリックする

2 設定値を入力／選択する

■ 設定項目

設定値	内容
転送条件	**無効**： アラーム発報を無効にします。 **アラーム**： アラーム入力時にメール発報します。
メールサーバー(SMTP)	メールサーバーのドメイン名を入力します。
最短メール送信間隔	最短メール送信間隔です。 5 分、10 分、15 分、30 分
宛先（To：）	宛先のメールアドレスを入力します。 複数の宛先を入力する場合は、スペースで区切ってください。
差出元(From:)	差出元のメールアドレスを入力します。
件名(Subject:)	件名を入力します。
リスト形式	**通常メール用**： 1 行の文字数が全角 40 文字以内になるようにメールを作成します。 **携帯メール用**： 1 行の文字数が全角 25 文字以内になるようにメールを作成します。
設置場所	設置場所を入力します。

3 現在のネットワーク設定を確認する

- ネットワーク設定のドメインネームと DNS サーバーの設定確認と設定変更が行えます。

メモ：

- 設定変更を行った場合、本体のネットワーク設定も変更されます。(☞ 72 ページ)

4 [保存] をクリックする

- アラーム入力時に、設定した内容でメール発報します。
- [リセット] をクリックすると、本体の設定値に戻ります。

5 メール発報設定確認画面が表示される

- [テストメール発報] をクリックすると、テストメール発報ができますので、指定された宛先でメール受信できることをご確認ください。

ご注意：

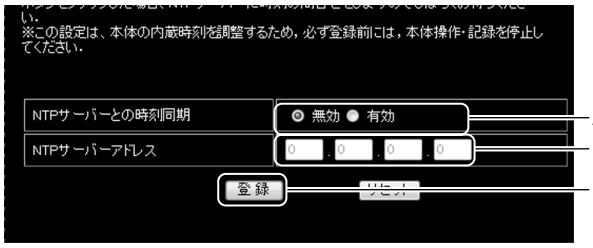
- メールサーバー側での認証方法によっては、メール発報が行えないことがあります。(認証を行うメールサーバーにはアクセスできません。)
- メールサーバーの設定値に関しては、ご利用のネットワーク管理者にご確認ください。
- 携帯電話の受信文字数の設定によっては、全てのアラームリストを受信できないことがあります。
- メール発報間隔の設定によらず、最初のアラーム入力後 10 分以内にメール発報されますが、受信までにはネットワーク環境によっては、さらに時間がかかる場合があります。

NTP サーバーで時刻を合わせる

本機を複数台接続したシステムでアラーム検索などを行う場合、すべての本機の時刻の同期がとれていないと、正確な検索ができません。複数接続のシステムの場合は必ず、NTP サーバーの設定を行い、時刻を合わせてください。

NTP サーバーを登録する

1 [ネットワーク]⇨[NTPサーバー登録]の順にクリックする



2 [有効] をクリックする

3 NTP サーバーアドレスを入力する

4 [登録] をクリックする

- NTP サーバーに時刻の問合せをします。

5 時刻合わせの結果を確認する

- 時刻合わせの結果が表示されます。

■ 時刻問い合わせに成功したとき

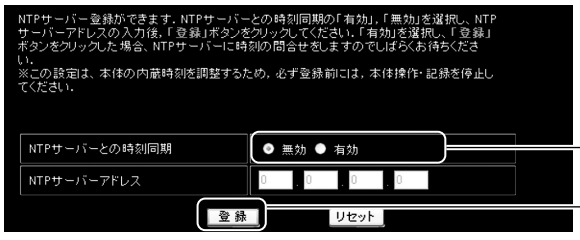
- “ ※現在、NTP サーバーとの時間同期は「有効」です。” と表示されます。

■ 時刻問い合わせに失敗したとき

- “※指定NTPサーバーへの問い合わせは失敗しました。” と表示されます。
- NTP サーバーアドレスが正しく入力されたか確認し、登録をやり直してください。

NTP サーバーの登録を解除する

1 [ネットワーク]⇨[NTPサーバー登録]の順にクリックする



2 [無効] をクリックする

3 [登録] をクリックする

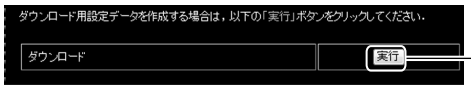
- NTP サーバーの登録が解除されます。
- 確認画面が表示されます。

メモ：

- 記録中、NTP サーバー登録の有効／無効設定はできません。NTP サーバー登録を有効に設定した場合、記録中でも時刻合わせが可能です。
  NTP サーバーとの時刻同期が “ 有効 ” のとき、1 時間ごとに時刻の問い合せを行います。
- NTP サーバー機能を使用する場合のパソコンの設定（Windows Vista、Windows XP、Windows 2000）については、118 ページをご覧ください。

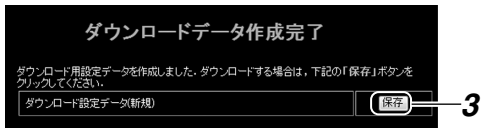
本体の設定値を本機からダウンロードする

1 [ユーティリティー]⇨[ダウンロード]の順にクリックする



2 [実行] をクリックする

- [ダウンロードデータ作成中] 画面が表示されます。
- ダウンロードデータの作成が完了すると、[ダウンロードデータ作成完了] 画面が表示されます。



3 [保存] をクリックする

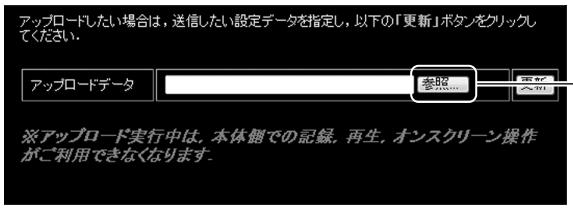
- [ファイルのダウンロード] 画面が表示されます。

4 [保存（S）] をクリックする
- [名前を付けて保存] 画面が表示されます。

5 [保存（S）] をクリックする
- ダウンロードが実行されます。

本体の設定値を本機にアップロードする

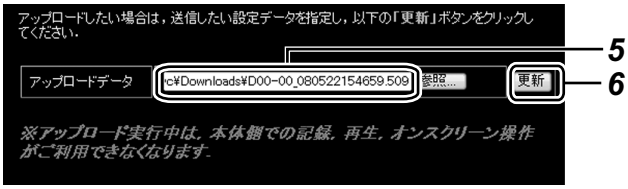
1 [ユーティリティー]⇨[アップロード]の順にクリックする



2 [参照] をクリックする
- [ファイルの選択] 画面が表示されます。

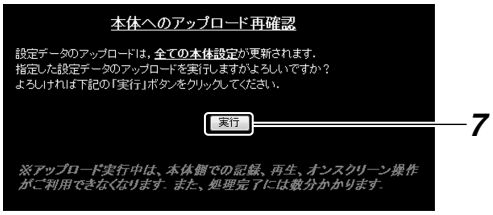
3 アップロードしたいファイルをクリックする

4 [開く（O)] をクリックする
- [アップロード] 画面に戻ります。

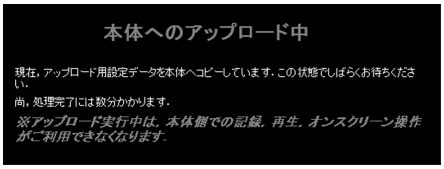


5 アップロードするファイル名を確認する

6 [更新] をクリックする
- [本体へのアップロード再確認] 画面が表示されます。



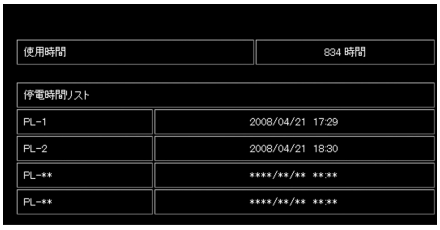
7 [実行] をクリックする
- アップロードが実行されます。
- [本体へのアップロード中] 画面が表示されます。



- アップロード完了まで、しばらく待ちます。
  - アップロードが完了すると、[アップロード完了] 画面が表示されます。VR-509DN は自動的に再起動します。

保守

1 [ユーティリティー]⇨[保守] の順にクリックする



- 使用時間・停電時刻リストが表示されます。

操作ログ

1 [ユーティリティー]⇨[操作ログ]の順にクリックする

- 操作ログが表示されます。
- 操作実行日時、操作内容の順に表示されます。

記録ログ

1 [ユーティリティー]⇨[記録ログ]の順にクリックする

- 記録ログが表示されます。
- 記録実行日時、記録内容の順に表示されます。

オープンソース

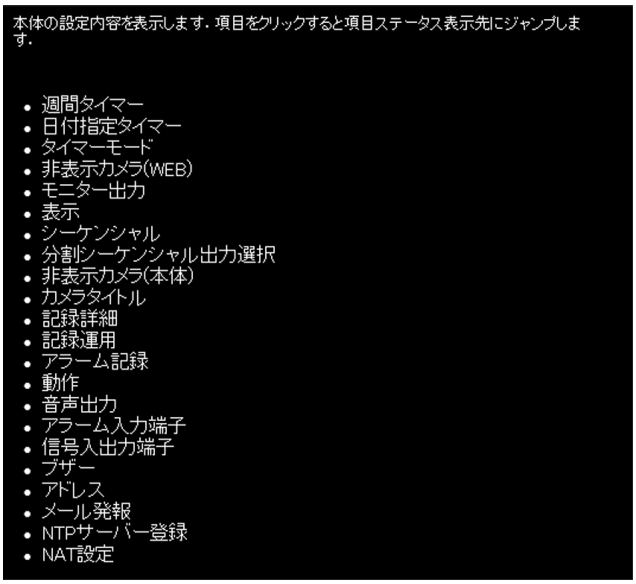
1 [ユーティリティー]⇨[オープンソース] の順にクリックする

- オープンソースに関する情報が表示されます。

ステータス

1 [ステータス] をクリックする

- 設定内容を表にして一覧表示します。確認したい項目をクリックすると、その項目にジャンプします。



■ 表示内容

- 週間タイマー設定
- 日付指定タイマー設定
- タイマーモード
- 非表示カメラ（Web)
- モニター出力
- 表示
- シーケンシャル
- 分割シーケンシャル出力選択
- 非表示カメラ（本体）
- カメラタイトル
- 記録詳細
- 記録運用
- アラーム記録
- 動作
- 音声出力
- アラーム入力端子
- 信号入出力端子
- ブザー
- アドレス
- メール発報
- NTP サーバー登録
- NAT 設定

メモ：

- シーケンシャル、カメラタイトル、記録運用、アラーム記録、アラーム入力端子の表示がグレーの場合は、グレー表示に対応したカメラが本体メニュー基本設定 -1 のカメラ入力設定で [なし] となっていることを示します。(☞ 20 ページ)

ネットワークのアドレス設定をする

1 [ネットワーク]⇨[アドレス] の順にクリックする

2 設定を変更する (☞ 72 ページ)

メモ :

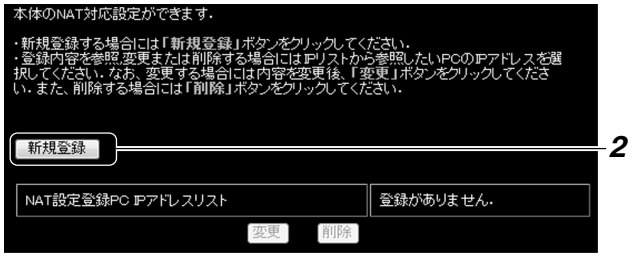
- 本機のネットワーク設定を変えると、パソコンのネットワーク設定変更も必要になります。変更の際はネットワーク管理者にご相談ください。
- 本機のネットワーク設定を変えた場合、パソコンのネットワーク設定も変更し、再度 Web ブラウザを起動してください。

3 [保存] をクリックする

● [リセット] をクリックすると、本体の設定値に戻ります。

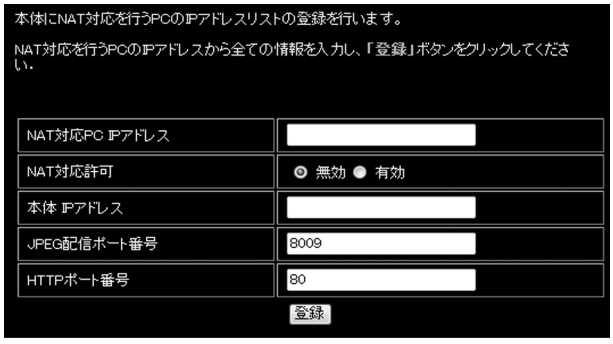
NAT 設定をする

1 [ネットワーク]⇨[NAT 設定] の順にクリックする



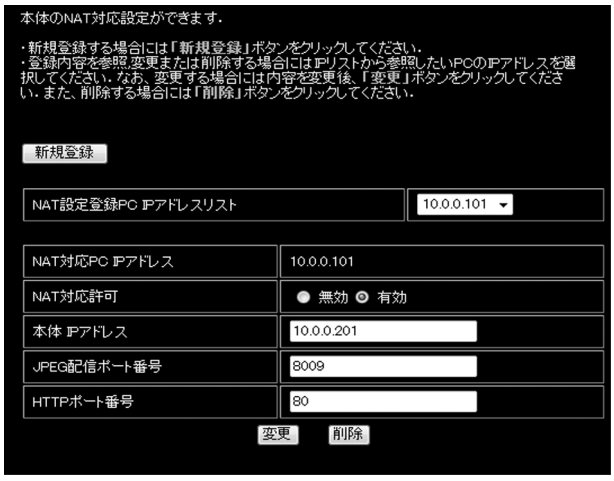
2 新規登録をする場合は、[新規登録] ボタンをクリックする

- NAT 設定画面が表示されます。
- NAT 設定は最大 10 まで可能です。



3 設定を変更する（削除する）

- [NAT設定登録PC IPアドレスリスト]からIPアドレスを選択し、設定変更後、[変更] をクリックします。
- [削除] をクリックすると、選択した IP アドレスを削除できます。

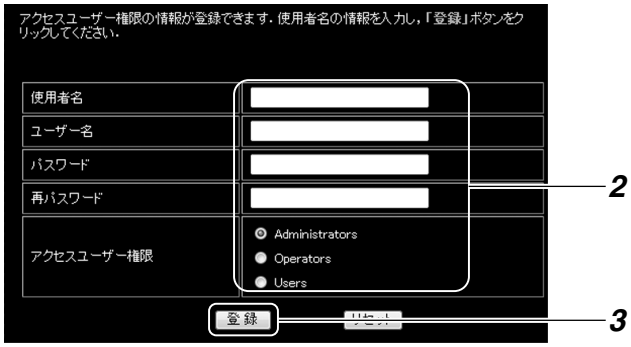


メモ :

- 本体では画像配信にTCPポート8009、その他のWebブラウザによる設定には、TCP ポート 80 を使用しています。
- NAT 設定の詳細は、120 ページをご覧ください。

アクセスユーザーを登録する

1 [ネットワーク]⇨[アクセスユーザー登録]の順にクリックする



2 ユーザー情報を入力／選択する

■ 設定項目

設定値	内容
使用者名	全角 16 文字（半角 32 文字）以内で入力します。
ユーザー名	英数字のみで、32 文字以内で入力します。大文字／小文字は区別されます。
パスワード	英数字のみで、8 文字以内で入力します。大文字／小文字は区別されます。
再パスワード	確認用に、再度パスワードを入力します。
アクセスユーザー権限	Administrators、Operators、Users の中から選択できます。

■ 権限ごとのアクセス可能メニュー

	Administrators	Operators	User
ライブ画表示	○	○	○
イベント検索	○	○	○
タイマー記録予約	○	○	×
Web 表示	○	○	×
本体表示	○	○	×
本体動作	○	○	×
ネットワーク	○	×	×
ユーティリティー	○	×	×
ステータス	○	○	○
カメラ制御	○	×	×

3 [登録] をクリックする

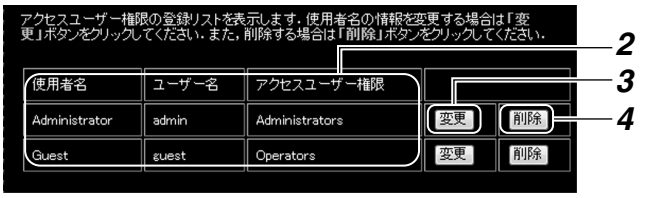
● [リセット] をクリックすると、入力がクリアされます。

メモ：

● 登録できるユーザー数は、最大 99 ユーザーです。

アクセスユーザーを確認する

1 [ネットワーク]⇨[アクセスユーザー表示]の順にクリックする



2 アクセスユーザーの内容を確認できます。

3 [変更] ボタンを押すと、内容の変更ができます。

4 [削除] ボタンを押すと、ユーザーを削除できます。

メモ：

● 工場出荷時は、以下の 2 つのユーザー名が登録されています。

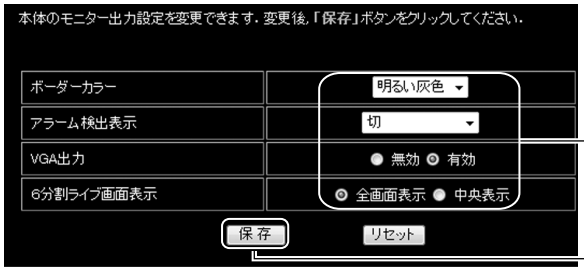
	①	②
ユーザー名	admin	guest
パスワード	vr-509	vr-509
アクセス権限	Administrators	Operators

パソコンで本体の設定を変更する

パソコンから本体の設定を変更できます。
設定内容の詳細については、各設定項目の参照ページをご覧ください。

モニター出力

1 [本体表示]⇨[モニター出力] の順にクリックする



2 設定を変更する (☞ 25 ページ)

3 [保存] をクリックする

● [リセット] をクリックすると、本体の設定値に戻ります。

表示

1 [本体表示]⇨[表示] の順にクリックする

2 設定を変更する (☞ 27 ページ)

3 [保存] をクリックする

● [リセット] をクリックすると、本体の設定値に戻ります。

シーケンシャル

1 [本体表示]⇨[シーケンシャル]の順にクリックする

2 設定を変更する (☞ 26 ページ)

3 [保存] をクリックする

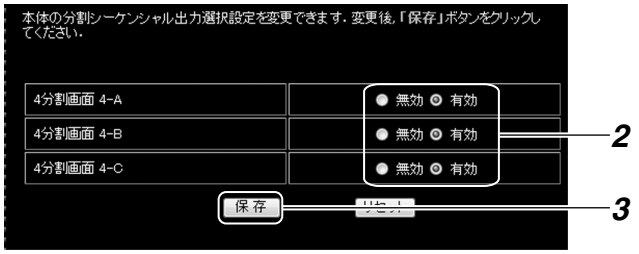
● [リセット] をクリックすると、本体の設定値に戻ります。

メモ :

- 表示がグレーの場合は、対応したカメラが本体メニュー 基本設定 -1 のカメラ入力設定で [なし] となっていることを示します。(☞ 20 ページ)

分割シーケンシャル出力選択

1 [本体表示]⇨[分割シーケンシャル出力選択]の順にクリックする



2 設定を変更する (☞ 26 ページ)

3 [保存] をクリックする

● [リセット] をクリックすると、本体の設定値に戻ります。

非表示カメラ

1 [本体表示]⇨[非表示カメラ] の順にクリックする

2 設定を変更する (☞ 29 ページ)

3 [保存] をクリックする

● [リセット] をクリックすると、本体の設定値に戻ります。

記録詳細

1 [本体表示]⇨[記録詳細] の順にクリックする

2 設定を変更する (☞ 33 ページ)

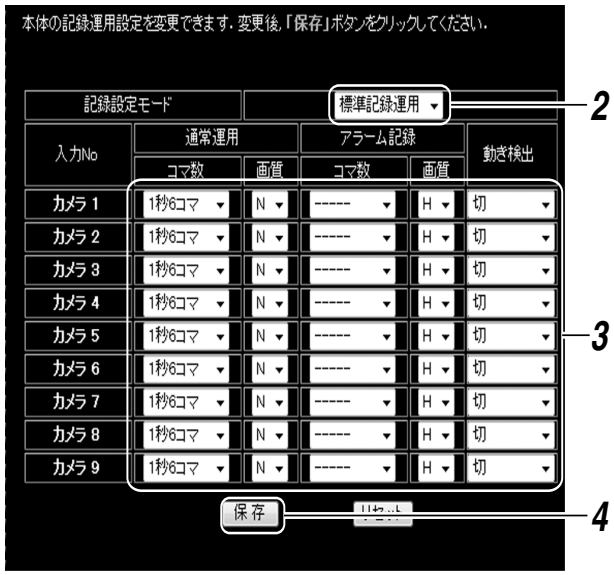
3 [保存] をクリックする

● [リセット] をクリックすると、本体の設定値に戻ります。

記録運用

設定モードの選択と同じ画面で、それぞれのモードの記録運用設定を変更できます。

1 [本体動作]⇨[記録運用] の順にクリックする



2 設定するモードを選ぶ

3 設定を変更する (☞ 34 ページ)

4 [保存] をクリックする

● [リセット] をクリックすると、本体の設定値に戻ります。

メモ :

- 表示がグレーの場合は、対応したカメラが本体メニュー基本設定 -1 のカメラ入力設定で [なし] となっていることを示します。(☞ 20 ページ)

アラーム記録

1 [本体動作]⇨[アラーム記録] の順にクリックする

2 設定するカメラを選ぶ

3 設定を変更する (☞ 39 ページ)

4 [保存] をクリックする

● [リセット] をクリックすると、本体の設定値に戻ります。

メモ :

- 表示がグレーの場合は、対応したカメラが本体メニュー [基本設定- 1] のカメラ入力設定で " なし " となっていることを示します。(☞ 20 ページ)

パソコンで本体の設定を変更する (つづき)

動作

1 [本体動作]⇨[動作] の順にクリックする

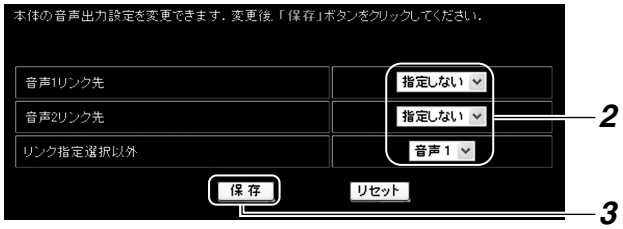
2 設定を変更する (☞ 36 ページ)

3 [保存] をクリックする

● [リセット] をクリックすると、本体の設定値に戻ります。

音声出力

1 [本体動作]⇨[音声出力] の順にクリックする



2 設定を変更する (☞ 52 ページ)

3 [保存] をクリックする

● [リセット] をクリックすると、本体の設定値に戻ります。

アラーム入力端子

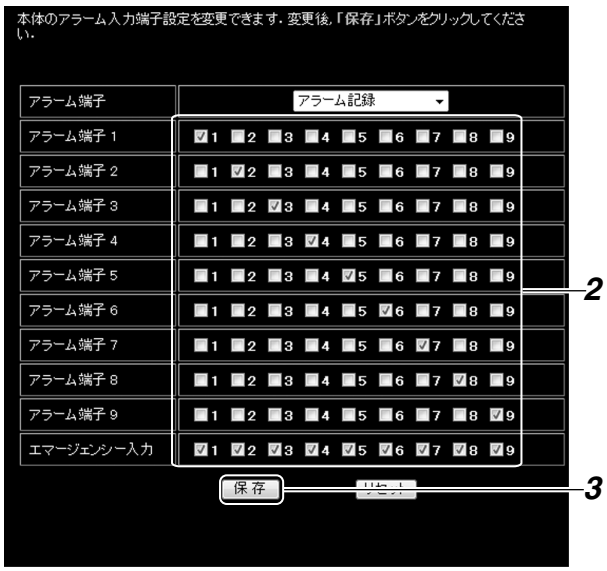
1 [本体動作]⇨[アラーム入力端子] の順にクリックする

2 設定を変更する (☞ 38 ページ)

- [アラーム端子] 項目の設定値を、“ モニター切換 ”、“ スポット切換 ”、“ モニター・スポット切換 ” のどれにするかを選択します。
- 縦軸にアラーム入力端子、横軸にカメラ入力を配列した表になっています。
- それぞれのアラーム端子に信号が入力されたとき、その右のカメラ入力を表す数字にチェックが付いていれば有効、空欄であれば無効であることを示しています。

メモ :

- [アラーム端子] 項目を “ アラーム記録 ” にした場合、下図の [アラーム端子 1 ～ 9] の設定が有効となります。
- [アラーム端子] 項目を “ アラーム記録 ” 以外を選択した場合、下図の [アラーム端子 1 ～ 9] の設定は無効となります。



3 [保存] をクリックする

● [リセット] をクリックすると、本体の設定値に戻ります。

メモ :

- 表示がグレーの場合は、対応したカメラが本体メニュー 基本設定 -1 のカメラ入力設定で [なし] となっていることを示します。(☞ 20 ページ)

信号入出力端子

1 [本体動作]⇨[信号入出力] の順にクリックする

2 設定を変更する (☞ 58 ページ)

3 [保存] をクリックする

● [リセット] をクリックすると、本体の設定値に戻ります。

ブザー

1 [本体動作]⇨[ブザー] の順にクリックする

2 設定を変更する (☞ 57 ページ)

3 [保存] をクリックする

● [リセット] をクリックすると、本体の設定値に戻ります。

メニューの流れ

基本設定
記録詳細設定
運用詳細設定
ライブ映像

ボタン操作説明

■ 設定変更
■ カーソル移動
■ 決定／次の画面へ
■ 前の画面へ戻る
◎ 機能ボタン：補足説明

(☞ 18 ページ)

基本設定ー1

カメラ1	あり
カメラ2	あり
カメラ3	あり
カメラ4	あり
カメラ5	あり
カメラ6	あり
カメラ7	あり
カメラ8	あり
カメラ9	あり
記録画像モード	滑らか

基本設定-3で[設定終了]を選択後、更新処理をしないと設定した値は反映されません。
[決定]ボタンを押して次へ進んでください。

(☞ 20 ページ)

基本設定ー2

記録画像保有期間	1 週間
音声記録	切
ループ記録	全て

基本設定-3で[設定終了]を選択後、更新処理をしないと設定した値は反映されません。
[決定]ボタンを押して次へ進んでください。

(☞ 21 ページ)

記録詳細設定

記録運用設定..	
通常音声記録	切
アラーム音声記録	切
アラーム入力端子設定..	
アラーム記録設定..	
エマージェンシー記録	切
パスコード不適合検出記録	切
運用切換ボタン操作	プログラムタイマー
週間タイマー設定..	
日付指定タイマー設定..	
電子透かし画像	切

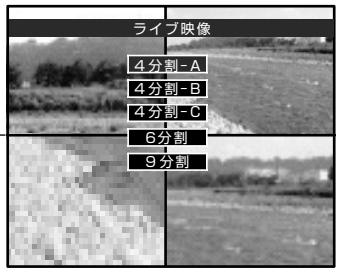
(☞ 33 ページ)

記録運用設定

標準記録運用..
記録運用1..
記録運用2..
記録運用3..
記録運用4..
記録運用5..
記録運用6..
記録運用7..
記録運用8..
記録運用9..

(☞ 34 ページ)

ライブ映像設定



(☞ 24 ページ)

標準記録運用

	通常記録 コマ数	通常記録 画質	アラーム記録 コマ数 (AUTO)	アラーム記録 画質	動き検出
カメラ1	6	N	--	--	--
カメラ2	6	N	--	--	--
カメラ3	6	N	--	--	--
カメラ4	6	N	--	--	--
カメラ5	6	N	--	--	--
カメラ6	6	N	--	--	--
カメラ7	6	N	--	--	--
カメラ8	6	N	--	--	--
カメラ9	6	N	--	--	--
記録可能時間				48h	

基本設定−3

	通常記録 コマ数	画質	アラーム記録 コマ数 (AUTO)	画質	動き検出
カメラ1	6	N	− −	− −	− −
カメラ2	6	N	− −	− −	− −
カメラ3	6	N	− −	− −	− −
カメラ4	6	N	− −	− −	− −
カメラ5	6	N	− −	− −	− −
カメラ6	6	N	− −	− −	− −
カメラ7	6	N	− −	− −	− −
カメラ8	6	N	− −	− −	− −
カメラ9	6	N	− −	− −	− −

詳細に設定する　　設定終了

[設定終了]で設定が更新されます　　音声は<切>になります

(☞ 22 ページ)

アラーム入力端子設定

アラーム端子	モニター切換
端子 1	(1)(−)(−)(−)(−)(−)(−)(−)
端子 2	(−)(2)(−)(−)(−)(−)(−)(−)
端子 3	(−)(−)(3)(−)(−)(−)(−)(−)
端子 4	(−)(−)(−)(4)(−)(−)(−)(−)
端子 5	(−)(−)(−)(−)(5)(−)(−)(−)
端子 6	(−)(−)(−)(−)(−)(6)(−)(−)
端子 7	(−)(−)(−)(−)(−)(−)(7)(−)
端子 8	(−)(−)(−)(−)(−)(−)(−)(8)
端子 9	(−)(−)(−)(−)(−)(−)(−)(−)(9)
エマージェンシー端子	(1)(2)(3)(4)(5)(6)(7)(8)(9)

(☞ 38 ページ)

アラーム記録設定

カメラNo.	カメラ1
記録時間	3分
プリアラーム設定	切
動き検出設定	
動作感度レベル （標準8）	8
停止レベル （標準）	2
有効エリアレベル最小サイズ（標準2）	2
最大サイズ（標準10）	10
連続検出レベル （標準 切）	切
動き検出エリア設定..	

(☞ 39 ページ)

週間タイマー設定

	開始	終了	モード	実行
日曜	＊＊：＊＊	＊＊ ＊＊：＊＊	＊＊＊＊	＊＊
月曜	＊＊：＊＊	＊＊ ＊＊：＊＊	＊＊＊＊	＊＊
火曜	＊＊：＊＊	＊＊ ＊＊：＊＊	＊＊＊＊	＊＊
水曜	＊＊：＊＊	＊＊ ＊＊：＊＊	＊＊＊＊	＊＊
木曜	＊＊：＊＊	＊＊ ＊＊：＊＊	＊＊＊＊	＊＊
金曜	＊＊：＊＊	＊＊ ＊＊：＊＊	＊＊＊＊	＊＊
土曜	＊＊：＊＊	＊＊ ＊＊：＊＊	＊＊＊＊	＊＊
毎日	＊＊：＊＊	−− ＊＊：＊＊	＊＊＊＊	＊＊

記録曜日設定

日曜　月曜　火曜　水曜　木曜　金曜　土曜

(☞ 43 ページ)

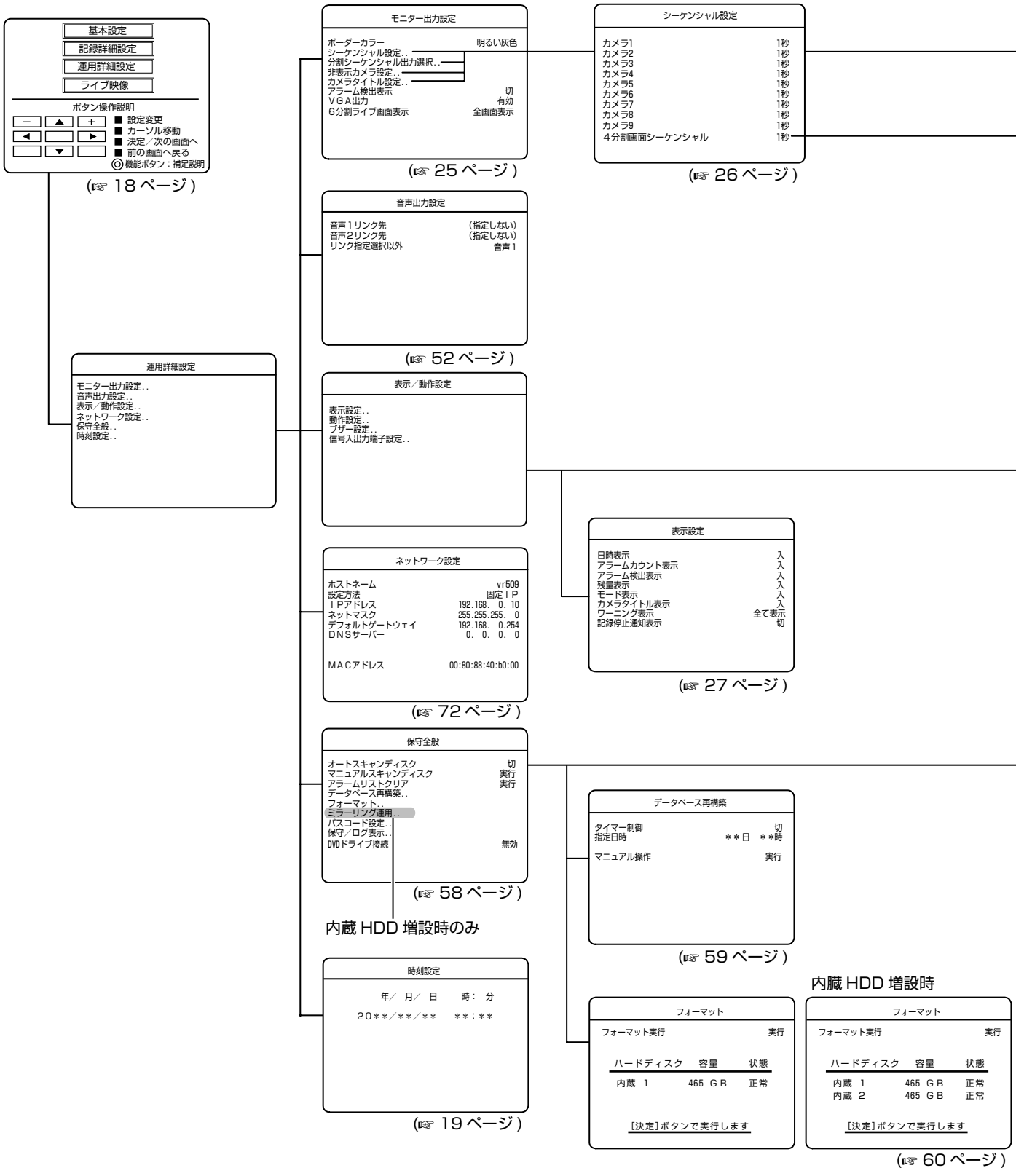
日付指定タイマー設定

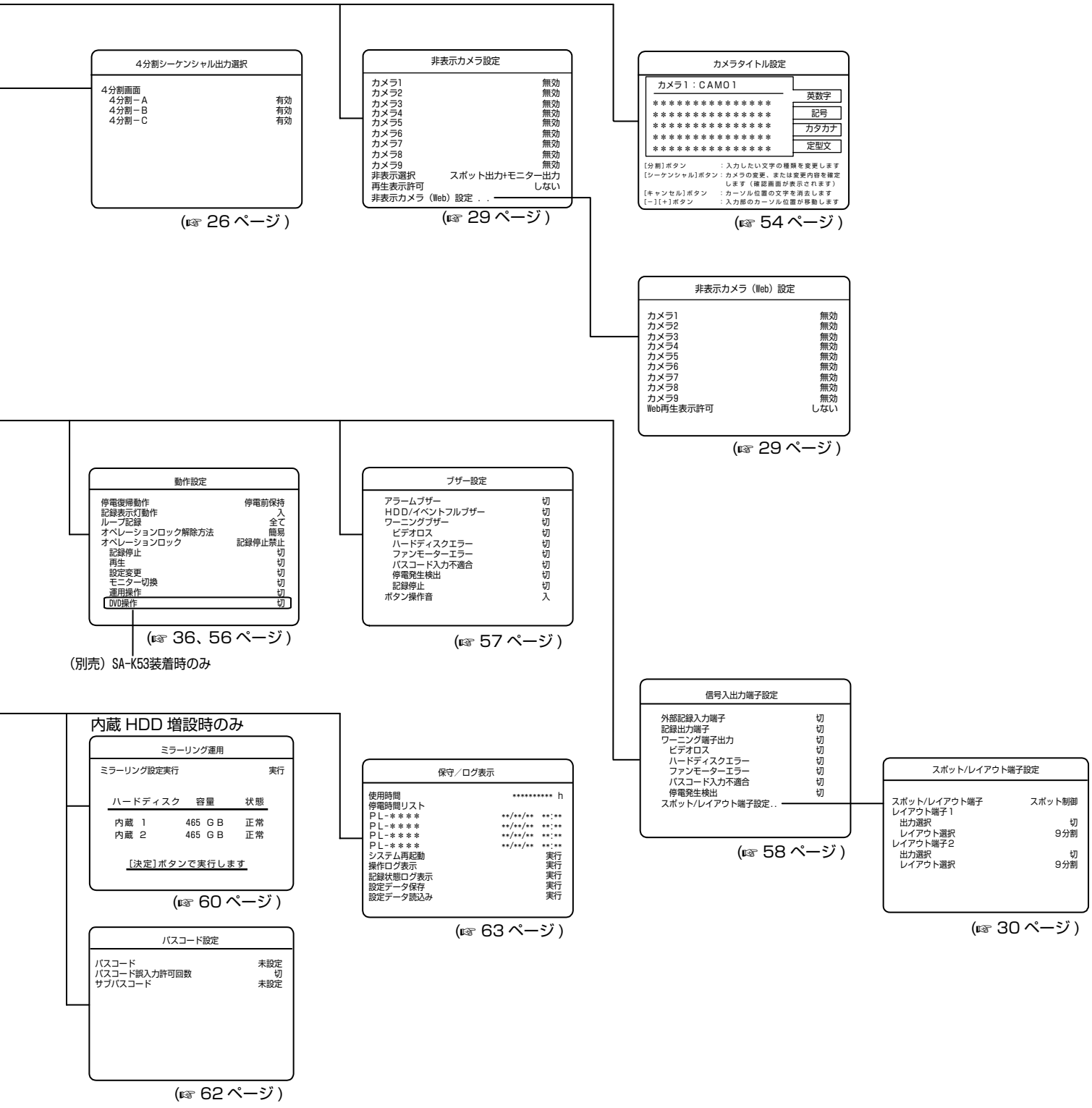
開始	終了	モード	実行
＊＊：＊＊	＊＊：＊＊	＊＊＊＊	＊＊

1.＊＊月＊＊日	9.＊＊月＊＊日
2.＊＊月＊＊日	10.＊＊月＊＊日
3.＊＊月＊＊日	11.＊＊月＊＊日
4.＊＊月＊＊日	12.＊＊月＊＊日
5.＊＊月＊＊日	13.＊＊月＊＊日
6.＊＊月＊＊日	14.＊＊月＊＊日
7.＊＊月＊＊日	15.＊＊月＊＊日
8.＊＊月＊＊日	16.＊＊月＊＊日

(☞ 44 ページ)

メニューの流れ（つづき）


基本設定
記録詳細設定
運用詳細設定
ライブ映像
ボタン操作説明
■ 設定変更
■ カーソル移動
■ 決定／次の画面へ
■ 前の画面へ戻る
◎機能ボタン：補足説明
(☞ 18 ページ)
運用詳細設定
モニター出力設定..
音声出力設定..
表示／動作設定..
ネットワーク設定..
保守全般..
時刻設定..
モニター出力設定
ボーダーカラー 明るい灰色
シーケンシャル設定..
分割シーケンシャル出力選択..
非表示カメラ設定..
カメラタイトル設定..
アラーム検出表示 切
ＶＧＡ出力 有効
６分割ライブ画面表示 全画面表示
(☞ 25 ページ)
シーケンシャル設定
カメラ1 1秒
カメラ2 1秒
カメラ3 1秒
カメラ4 1秒
カメラ5 1秒
カメラ6 1秒
カメラ7 1秒
カメラ8 1秒
カメラ9 1秒
４分割画面シーケンシャル 1秒
(☞ 26 ページ)
音声出力設定
音声１リンク先 (指定しない)
音声２リンク先 (指定しない)
リンク指定選択以外 音声１
(☞ 52 ページ)
表示／動作設定
表示設定..
動作設定..
ブザー設定..
信号入出力端子設定..
表示設定
日時表示 入
アラームカウント表示 入
アラーム検出表示 入
残量表示 入
モード表示 入
カメラタイトル表示 入
ワーニング表示 全て表示
記録停止通知表示 切
(☞ 27 ページ)
ネットワーク設定
ホストネーム vr509
設定方法 固定ＩＰ
ＩＰアドレス 192.168. 0. 10
ネットマスク 255.255.255. 0
デフォルトゲートウェイ 192.168. 0.254
ＤＮＳサーバー 0. 0. 0. 0
ＭＡＣアドレス 00:80:88:40:b0:00
(☞ 72 ページ)
保守全般
オートスキャンディスク 切
マニュアルスキャンディスク 実行
アラームリストクリア 実行
データベース再構築..
フォーマット..
ミラーリング運用..
パスコード設定..
保守／ログ表示..
DVDドライブ接続 無効
(☞ 58 ページ)
内蔵 HDD 増設時のみ
データベース再構築
タイマー制御 切
指定日時 **日 **時
マニュアル操作 実行
(☞ 59 ページ)
時刻設定
年／ 月／ 日 時： 分
20**／**／** **：**
(☞ 19 ページ)
内臓 HDD 増設時
フォーマット
フォーマット実行 実行
ハードディスク 容量 状態
内蔵 1 465 ＧＢ 正常
[決定]ボタンで実行します
フォーマット
フォーマット実行 実行
ハードディスク 容量 状態
内蔵 1 465 ＧＢ 正常
内蔵 2 465 ＧＢ 正常
[決定]ボタンで実行します
(☞ 60 ページ)


4分割シーケンシャル出力選択
4分割画面
4分割－A 有効
4分割－B 有効
4分割－C 有効
(☞ 26 ページ)
非表示カメラ設定
カメラ1 無効
カメラ2 無効
カメラ3 無効
カメラ4 無効
カメラ5 無効
カメラ6 無効
カメラ7 無効
カメラ8 無効
カメラ9 無効
非表示選択 スポット出力+モニター出力
再生表示許可 しない
非表示カメラ（Web）設定 . .
(☞ 29 ページ)
カメラタイトル設定
カメラ１：CAMO１
英数字
記号
カタカナ
定型文
[分割]ボタン ：入力したい文字の種類を変更します
[シーケンシャル]ボタン：カメラの変更、または変更内容を確定します（確認画面が表示されます）
[キャンセル]ボタン ：カーソル位置の文字を消去します
[－][＋]ボタン ：入力部のカーソル位置が移動します
(☞ 54 ページ)
非表示カメラ（Web）設定
カメラ1 無効
カメラ2 無効
カメラ3 無効
カメラ4 無効
カメラ5 無効
カメラ6 無効
カメラ7 無効
カメラ8 無効
カメラ9 無効
Web再生表示許可 しない
(☞ 29 ページ)
動作設定
停電復帰動作 停電前保持
記録表示灯動作 入
ループ記録 全て
オペレーションロック解除方法 簡易
オペレーションロック 記録停止禁止
記録停止 切
再生 切
設定変更 切
モニター切換 切
運用操作 切
DVD操作 切
(☞ 36、56 ページ)
(別売）SA-K53装着時のみ
ブザー設定
アラームブザー 切
HDD/イベントフルブザー 切
ワーニングブザー 切
ビデオロス 切
ハードディスクエラー 切
ファンモーターエラー 切
パスコード入力不適合 切
停電発生検出 切
記録停止 切
ボタン操作音 入
(☞ 57 ページ)
信号入出力端子設定
外部記録入力端子 切
記録出力端子 切
ワーニング端子出力 切
ビデオロス 切
ハードディスクエラー 切
ファンモーターエラー 切
パスコード入力不適合 切
停電発生検出 切
スポット/レイアウト端子設定. .
(☞ 58 ページ)
スポット/レイアウト端子設定
スポット/レイアウト端子 スポット制御
レイアウト端子１
出力選択 切
レイアウト選択 9分割
レイアウト端子２
出力選択 切
レイアウト選択 9分割
(☞ 30 ページ)
内蔵 HDD 増設時のみ
ミラーリング運用
ミラーリング設定実行 実行
ハードディスク 容量 状態
内蔵 1 465 GB 正常
内蔵 2 465 GB 正常
[決定]ボタンで実行します
(☞ 60 ページ)
保守／ログ表示
使用時間 ********** h
停電時間リスト
PL-**** **/**/** **:**
PL-**** **/**/** **:**
PL-**** **/**/** **:**
PL-**** **/**/** **:**
システム再起動 実行
操作ログ表示 実行
記録状態ログ表示 実行
設定データ保存 実行
設定データ読込み 実行
(☞ 63 ページ)
パスコード設定
パスコード 未設定
パスコード誤入力許可回数 切
サブパスコード 未設定
(☞ 62 ページ)

メニュー設定値一覧

●は工場出荷時設定です。

基本設定－ 1 （☞ 20 ページ）	
項目	設定値
カメラ 1 ～ 9	●あり、なし
記録画像モード	●滑らか、高精細

基本設定 - 2 （☞ 21 ページ）	
項目	設定値
記録画像保有期間	1 日、3 日、5 日、● 1 週間、2 週間、3 週間、1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月
音声記録	入、●切
ループ記録設定	切、アラームロック、●全て、1 週間、2 週間、1ヶ月

記録詳細設定 （☞ 33 ページ）	
項目	設定値
通常音声記録	入、●切
アラーム音声記録	入、●切
エマージェンシー記録	●切、30 秒、1 分、5 分、10 分、20 分、継続、マニュアル
パスコード不適合検出記録	●切、10 秒、20 秒、30 秒
運用切換ボタン操作	●プログラムタイマー、記録運用 1 ～ 9
電子透かし画像	入、●切

記録運用設定 （☞ 34 ページ）	
項目	設定値
コマ数（通常記録）	－、1/10、1/5、1/2、1、2、3、6、● 10、15、30 (コマ／秒)
画質（通常記録）	H(High)、● N(Normal)、B(Basic)、L(Long)
コマ数（アラーム記録）	1、2、3、6、10、15、30(コマ／秒)、●---、AUTO
画質（アラーム記録）	● H（High）、N（Normal）、B（Basic）、L（Long）
動き検出	●切、標準、ユーザー、出入口 高、出入口 低、通路 高、通路 低、レジ 高、レジ 低、ATM 高、ATM 低、ロビー 高、ロビー 低、通用門 高、通用門 低、駐車場 高、駐車場 低、低照度 高、低照度 低、エレベータ、カウンタ

アラーム入力端子設定 （☞ 38 ページ）	
項目	設定値
アラーム端子	●アラーム記録 、モニター切換、スポット切換、モニター・スポット切換
アラーム端子 1 ～ 9	無効（－）、●有効 (1) ～ (9)
エマージェンシー入力	無効（－）、●有効 (1) ～ (9)

●は工場出荷時設定です。

アラーム記録設定 （☞ 39 ページ）		
項目		設定値
カメラ No		●カメラ 1、カメラ 2、カメラ 3、カメラ 4、カメラ 5、カメラ 6、カメラ 7、カメラ 8、カメラ 9
記録時間		10 秒、15 秒、30 秒、1 分、●3 分、5 分、マニュアル
プリアラーム設定		●切、10 秒、30 秒、60 秒
動き検出設定		
	動作感度レベル	1 ～ 10（工場出荷時設定：8）
	停止感度レベル	1 ～ 3（工場出荷時設定：2）
	検出最小エリア	1 ～ 10（工場出荷時設定：2）
	検出最大エリア	1 ～ 10（工場出荷時設定：10）
	連続検出レベル	●切、0.5 秒、1 秒、2 秒、3 秒、5 秒、10 秒、30 秒

週間タイマー設定 （☞ 43 ページ）	
項目	設定値
開始曜日	日曜、月曜、火曜、水曜、木曜、金曜、土曜、毎日
開始時刻	00：00 ～ 23：59
終了曜日	日曜、月曜、火曜、水曜、木曜、金曜、土曜
終了時刻	00:00 ～ 23:59
モード（運用設定選択）	標準、記録運用 1 ～ 9
実行設定	切、入、毎週
記録曜日設定	日曜、月曜、火曜、水曜、木曜、金曜、土曜

日付指定タイマー設定 （☞ 44 ページ）	
項目	設定値
開始時刻	00:00 ～ 23:59
終了時刻	00:00 ～ 23:59
モード（運用設定選択）	標準、記録運用 1 ～ 9
実行設定	切、入
日付設定	1 月 1 日～ 12 月 31 日

モニター出力設定 （☞ 25 ページ）	
項目	設定値
ボーダーカラー	黒色、暗い灰色、灰色、●明るい灰色
アラーム検出表示	●切、固定、シーケンシャル
VGA 出力	●有効、無効
6 分割ライブ画面表示	●全画面表示、中央表示

シーケンシャル設定 （☞ 26 ページ）	
項目	設定値
カメラ 1 ～ 9	切、●1 秒、2 秒、3 秒、5 秒 10 秒
分割画面シーケンシャル	1 秒、2 秒、●3 秒、5 秒、10 秒

メニュー設定値一覧（つづき）

●は工場出荷時設定です。

4 分割シーケンシャル出力選択 （☞ 26 ページ）		
項目		設定値
4 分割画面		
	4 分割- A	●有効、無効
	4 分割- B	●有効、無効
	4 分割- C	●有効、無効

非表示カメラ設定 （☞ 29 ページ）	
項目	設定値
カメラ 1 ～ 9	有効、●無効
非表示出力選択	切、スポット出力、モニター出力、●スポット出力＋モニター出力
再生表示許可	する、●しない

非表示カメラ（Web）設定 （☞ 29 ページ）	
項目	設定値
カメラ 1 ～ 9	有効、●無効
Web 再生表示許可	する、●しない

カメラタイトル設定 （☞ 54 ページ）	
項目	設定値
カメラ 1 ～ 9	（半角 20 文字、全角 10 文字まで） （工場出荷時設定　CAM 01 ～ CAM 9）

音声出力設定 （☞ 52 ページ）	
項目	設定値
音声 1 リンク先	●（指定しない）、カメラ 1、カメラ 2、カメラ 3、カメラ 4、カメラ 5、カメラ 6、カメラ 7、カメラ 8、カメラ 9
音声 2 リンク先	●（指定しない）、カメラ 1、カメラ 2、カメラ 3、カメラ 4、カメラ 5、カメラ 6、カメラ 7、カメラ 8、カメラ 9
リンク指定選択以外	切、●音声 1、音声 2

●は工場出荷時設定です。

表示設定 （☞ 27 ページ）	
項目	設定値
日付表示	●入、切
アラームカウント表示	●入、切
アラーム検出表示	●入、切
残量表示	●入、切
モード表示	●入、切
カメラタイトル表示	●入、切
ワーニング表示	●全て表示、レベル 1、レベル 2、レベル 3、レベル 4、切
記録停止通知表示	入、●切

動作設定 （36, 56 ページ）		
項目		設定値
停電復帰動作 (☞ 36 ページ)		切、強制記録、●停電前保存
記録表示灯動作 (☞ 36 ページ)		●入、切
ループ記録 (☞ 36 ページ)		切、アラームロック、●全て、1 週間、2 週間、1ヶ月
オペレーションロック解除方法 (☞ 56 ページ)		●簡易、パスコード、サブパスコード
オペレーションロック (☞ 56 ページ)		切、●記録停止禁止、全て禁止、ユーザー設定
	記録停止	入、●切
	再生	入、●切
	設定変更	入、●切
	モニター切換	入、●切
	運用操作	入、●切
	カメラ操作	入、●切
	DVD 操作 (別売 SA-K53 装着時のみ)	入、●切

ブザー設定 （☞ 57 ページ）		
項目		設定値
アラームブザー		入、●切
HDD/ イベントフルブザー		入、●切
ワーニングブザー		●切、ユーザー設定、全て
	ビデオロス	入、●切
	ハードディスクエラー	入、●切
	ファンモーターエラー	入、●切
	パスコード入力不適合	入、●切
	停電発生検出	入、●切
	記録停止	入、●切
ボタン操作音		●入、切

メニュー設定値一覧（つづき）

●は工場出荷時設定です。

信号入出力端子設定 （☞ 58 ページ）		
項目		設定値
外部記録入力端子		●切、トリガ、マニュアル
記録出力端子		●切、全て、アラーム記録、記録停止
ワーニング端子出力		●切、ユーザー設定、全て
	ビデオロス	入、●切
	ハードディスクエラー	入、●切
	ファンモーターエラー	入、●切
	パスコード入力不適合	入、●切
	停電発生検出	入、●切

スポット / レイアウト端子設定 （☞ 30 ページ）		
項目		設定値
スポット / レイアウト端子		●スポット制御、レイアウト制御
レイアウト端子 1		
	出力選択	●切、モニター出力、スポット出力
	レイアウト選択	カメラ 1、カメラ 2、カメラ 3、カメラ 4、カメラ 5、カメラ 6、カメラ 7、カメラ 8、カメラ 9、4 分割 A、4 分割 B、4 分割 C、6 分割、●9 分割、単画面シーケンシャル、4 分割画面シーケンシャル
レイアウト端子 2		
	出力選択	●切、モニター出力、スポット出力
	レイアウト選択	カメラ 1、カメラ 2、カメラ 3、カメラ 4、カメラ 5、カメラ 6、カメラ 7、カメラ 8、カメラ 9、4 分割 A、4 分割 B、4 分割 C、6 分割、●9 分割、単画面シーケンシャル、4 分割画面シーケンシャル

ネットワーク設定 （☞ 72 ページ）	
項目	設定値
ホストネーム	● vr-509
取得方法	切、●固定 IP、DHCP
IP アドレス	● 192.168.0.10
ネットマスク	● 255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	● 192.168.0.254
DNS サーバー	● 0.0.0.0
MAC アドレス	設定できません。

●は工場出荷時設定です。

保守全般 （58, 62 ページ）	
項目	設定値
オートスキャンディスク (☞ 58 ページ)	入、●切
マニュアルスキャンディスク (☞ 58 ページ)	実行
アラームリストクリア (☞ 62 ページ)	実行

データベース再構築 （☞ 59 ページ ）		
項目		設定値
タイマー制御		入、●切
指定日時	日付	1 ～ 31(指定日)、日、月、火、水、木、金、土 (指定曜日)
	時刻	0 ～ 23
マニュアル操作		実行

フォーマット （☞ 60 ページ ）	
項目	設定値
フォーマット実行	実行

ミラーリング運用 （☞ 60 ページ ）		
項目		設定値
ミラーリング設定（内蔵 HDD 増設時のみ）		
	(ミラーリング OFF のとき)	する
	(ミラーリング ON のとき)	しない

パスコード設定 （☞ 62 ページ ）	
項目	設定値
パスコード	●未設定、設定済み
パスコード誤入力許可回数	●切、1 回、2 回、3 回
サブパスコード設定	●未設定、設定済み

DVD 接続設定 （☞ 125 ページ ）	
項目	設定値
DVD ドライブ接続	●無効、有効

メニュー設定値一覧 (つづき)

●は工場出荷時設定です。

保守／ログ表示 （63, 68 ページ）	
項目	設定値
システム再起動 (☞ 64 ページ)	実行
操作ログ表示 (☞ 63 ページ)	実行
記録状態ログ表示 (☞ 63 ページ)	実行
設定データ保存 (☞ 68 ページ)	実行
設定データ読込み (☞ 68 ページ)	実行

時刻設定 （☞ 19 ページ ）	
項目	設定値
年	2005 ～ 2037
月	1 ～ 12
日	1 ～ 31
時	0 ～ 23
分	0 ～ 59

トラブル時の対応

エラーコードまたはオンスクリーン表示の出るトラブル

ワーニング情報は重要度に応じて 5 種類のレベルにランク分けされています。レベルの数値が大きいほど重要な障害となるワーニング情報です。

レベル 0：原因として軽微な状況が考えられるレベル

レベル 1：システムの運用状況によっては発生し得るレベル

レベル 2：運用上のメンテナンス要求、実施中の通知のため本機の機能としての障害ではないレベル

レベル 3：本機の機能としての障害を検出したが、正常な運用状況に復帰したレベル

レベル 4：重要な障害検出、または重要な障害が発生してしまう可能性があるレベル

—　　：ワーニング表示設定に関係なく表示されます。

ワーニング情報をオンスクリーン表示するかどうかや表示するレベルは、[表示設定] メニューの [ワーニング表示] 設定で選択します。“ 全て表示 ” を選択した場合、レベル 0 ～ 4 まで全てのワーニングを表示します。
“ 切 ” を選択した場合、ワーニング表示しません。(☞ 27 ページ)

オンスクリーン表示 （SPOT 側には表示されません）	原因と対処方法	レベル	参照 ページ
“E-01 ハードディスクエラーを検出しました ” ※ 1 ※ 2	● ハードディスクの動作異常により、再起動しました。 ● そのまま残ったハードディスクで運転を継続します。 ⇨ 電源を入れ直してください。 ⇨ 最寄のビクターサービス窓口にご相談ください。	レベル 4	—
“E-02 NO HDD” “E-02 IDE 1 FORMAT NG” “E-02 MIRRORING NG” “E-02 DB START NG” ※ 1、※ 2	● ハードディスクの動作異常です。（起動できません。） ⇨ 電源を入れ直してください。 ⇨ 最寄のビクターサービス窓口にご相談ください。	—	—
“VIDEO IN ＊＊入力なし（E-03）” ※ 1 ※ 2	● 映像信号の入力がありません。 ⇨ 停止状態にして接続を確認してください。 ⇨ メニュー [基本設定- 1] を見直してください。 **ご注意：** ● この表示がされた状態で記録を続けると、正しく記録できない場合があります。メニュー [基本設定- 1] 画面の [カメラ] を “ なし ” にするか、すみやかに異常の原因を取り除いてください。	レベル 1	P16 P20
“E-05 検出　ビクターサービスにご連絡ください ” ※ 1 ※ 2	● ファンモーターの動作異常です。 ⇨ 最寄のビクターサービス窓口にご相談ください。	レベル 4	—
“E-06 検出　ビクターサービスにご連絡ください ” ※ 1 ※ 2	● EEPROM の異常です。 ⇨ メニュー内容変更にてこのエラーが発生した場合、一度オペレート OFF し、再度オペレート ON して内容をご確認ください。 ⇨ メニュー内容変更時や、運用中に何度もこのエラーが発生する場合は、最寄のビクターサービス窓口にご相談ください。	レベル 4	—
“E-07 検出　ビクターサービスにご連絡ください ” ※ 1 ※ 2	● コーディック 1 の異常です。（主に記録、本体再生用） ⇨ 最寄のビクターサービス窓口にご相談ください。 **ご注意：** ● この表示がされた場合、HDD 再生、HDD への記録が正しくできなくなります。	レベル 4	—
“E-08 検出　ビクターサービスにご連絡ください ” ※ 1 ※ 2	● コーディック 2 の異常です。（主に配信用） ⇨ 最寄のビクターサービス窓口にご相談ください。 **ご注意：** ● この表示がされた場合、USB 静止画キャプチャ、ネットワークへのライブ／再生配信が正しくできなくなります。	レベル 4	—

※ 1 ～ 3：(☞ 108 ページ) をご覧ください。

トラブル時の対応（つづき）

エラーコードまたはオンスクリーン表示の出るトラブル (つづき)

オンスクリーン表示 （SPOT 側には表示されません）	原因と対処方法	レベル	参照 ページ
“E-09 検出　ビクターサービスにご連絡ください ” ※ 1 ※ 2	● 内蔵ハードディスクの片方が動作異常です。（ミラーリング設定時のみ検出されます。） ⇨ 最寄のビクターサービス窓口にご相談ください。	レベル 4	—
“E-10 検出　ビクターサービスにご連絡ください ”	● 別売 SA-K53 DVD ドライブキットを装着している場合 ⇨ DVD ドライブの異常です。最寄のビクターサービス窓口にご相談ください。 ● 別売 SA-K53 DVD ドライブキットを装着していない場合 ⇨ [保守全般] メニューの [DVD ドライブ接続] を “ 無効 ” に設定してください。	レベル 4	— P125
“ 停電履歴を更新しました ” ※ 1 ※ 2	● 停電が起きた時に表示されます。 ⇨ 故障ではありません。［キャンセル］ボタンで解除してください。	レベル 0	P63
“UPS による停電復帰を実行しました ”		レベル 0	P69
“ ハードディスクの残量が少量になっています ”	● ハードディスクに記録できるスペースがわずかになっています。 ⇨ 必要に応じて、ハードディスクのフォーマットやループ記録設定の変更を行なってください。［キャンセル］ボタンで解除できます。 **ご注意：** ● フォーマットを実施するとイベント記録データはすべて削除されます。	レベル 2	P60 P36
“ ハードディスクの残量がありません ” ※ 1 ※ 3	● ハードディスクに記録をするスペースがありません。 ⇨ ハードディスクのフォーマットを実施し、記録スペースを確保するか、ループ記録を “ 切 ” 以外に設定してください。 ［キャンセル］ボタンで解除できます。 **ご注意：** ● フォーマットを実施するとイベント記録データはすべて削除されます。	レベル 2	P60 P36
“ イベント残量が少量になっています（＊＊ %）”	● 記録運用設定が適切でないためにハードディスクの全ての容量を使いきる前に古いイベントが削除もしくは記録が停止する可能性があります。 ⇨ アラームの検出や回数をへらす設定変更をしてください。 ［キャンセル］ボタンで解除できます。	レベル 2	P34
“ イベント残量がありません（0%）” ※ 1 ※ 3	● 記録運用設定が適切でないためにハードディスクの全ての容量を使いきる前に古いイベントの削除もしくは記録停止が発生します。 ⇨ アラームの検出や回数をへらす設定変更をしてください。 ［キャンセル］ボタンで解除できます。	レベル 2	P34
“NTP サーバー接続エラー ”	● NTP サーバー登録が有効になっているのに、NTP サーバーに接続できませんでした。 ⇨ NTP サーバー登録をやり直すか、NTP サーバー機能を無効にしてください。［キャンセル］ボタンで解除できます。	レベル 2	P86
“HDD 確認のために再起動しました ”	● HDD の一時的な不安定動作（増設ハードディスクの一時的な電源ダウンなど）を検出したため、本機を自動的に再起動しました。 HDD の代替セクタ処理中にも表示されます。 ⇨ 再起動時に、正常な状態に戻っているので、運用上問題はありません。頻繁に起こる場合は最寄のビクターサービス窓口にご相談ください。［キャンセル］ボタンで解除できます。	レベル 3	P64

※ 1：エラー発生時にブザーが鳴ります。
※ 2：エラー発生時に WARNING OUT に信号が出力されます。
※ 3：ハードディスクに残容量が無いときに、[記録／停止] ボタンを押したり、アラーム入力などで記録開始が指示されると、再生中であっても優先して表示されます。（5 秒間の点滅）

オンスクリーン表示 （SPOT 側には表示されません）	原因と対処方法	レベル	参照 ページ
“ ハードディスクをメンテナンスしてください ”	● HDD の代替セクタ数が増加した場合に表示されます。 ⇨ HDD には不良セクタを代替セクタに置き換える機能があり、本機ではこの代替セクタ数を監視しています。 本メッセージが表示されても、運用に対して直ちに影響するわけではありません。ただし将来 HDD に障害が発生する可能性がありますので、HDD のメンテナンスについてご検討ください。 運用中に頻繁に表示される場合には、HDD の障害発生リスクが高まっています。HDD のメンテナンスに関しては、最寄りのビクターサービス窓口にご相談ください。 ［キャンセル］ボタンで解除できます。	レベル 3	—

フラッシュメモリに関するトラブル

オンスクリーン表示	原因と対処方法	参照 ページ
“ 静止画保存失敗 ” “ 設定データ保存失敗 ”	● 書き込み動作中、フラッシュメモリを抜いた。 ● フラッシュメモリが読み出し専用になっている。 ⇨ 読み出し専用を解除してください。 ● フラッシュメモリの容量が少ない。 ⇨ 空き容量を増やすか、または新しいフラッシュメモリを接続してください。 ● 空き容量があるのに書き込めない。（USB フラッシュメモリのルートディレクトリにおけるファイル数には限りがあります。） ⇨ ファイルをサブディレクトリに入れるか、またはファイルを削除してください。	P65 P68
“USB フラッシュメモリの設定データが認識されません ”	● 読み込み動作中、フラッシュメモリを抜いた。 ● フラッシュメモリ内にメニュー設定データが存在しない。 ● VR-509DN 本体のバージョンとメニュー設定データのバージョンが違う。 ● メニュー設定データのファイルが壊れている。	P68

その他のトラブル

症状	原因と対処方法	参照 ページ
電源が入らない。	⇨ 電源ケーブルが正しく差し込まれているか確認してください。	—
[記録][再生 / 一時停止] を押しても操作できない。	⇨ オペレーションロックになっていないか確認してください。 ⇨ タイマースタンバイになっていないか確認してください。	P56 P43, P44
再生画像がモニターに表示されない。	⇨ モニターの接続を確認してください。 ⇨ 記録画像のあるカメラを選んでください。	P16 P46
プログラムタイマーで記録予約ができない。	⇨ 日付・時刻設定を確認してください。 ⇨ タイマースタンバイになっているか確認してください。 ⇨ タイマープログラムを確認してください。	P19 P43, P44
メニュー画面が表示されない。	⇨ オペレーションロックになっていないか確認してください。 ⇨ タイマースタンバイになっていないか確認してください。 ⇨ スレーブ側リモコンからは表示できません。	P56 P43, P44
日付・時刻および、タイトルが オンスクリーンに表示されない。	⇨ [表示設定] メニューの設定項目が “ 入 ” になっているか確認してください。	P27
タイムデートが記録されない。	⇨ 日付・時刻設定を確認してください。	P19

トラブル時の対応（つづき）

エラーコードまたはオンスクリーン表示の出るトラブル（つづき）

症状	原因と対処方法	参照ページ
タイマー表示灯が点滅する。	● プログラムタイマーが予約されていないか実行できる記録予約がありません。 ⇨ プログラムタイマーを確認してください。 ● ハードディスクの残容量がありません。 ⇨ ハードディスクのフォーマットをして記録スペースを確保するか、ループ記録を“切”以外に設定してください。 ● 夜間モードへの移行中は設定された時間点滅します。 ⇨ 点滅が点灯に変わるまでお待ちください。	P43, P44 P60, P36
音声が再生できない。	⇨ [記録詳細設定] メニューの [音声記録] が “ 入 ” で記録してください。 ⇨ [音声出力設定] メニューを確認してください。	P33 P52
スキップジャンプ、ダイレクトジャンプができない。	⇨ 日付・時刻設定を確認してください。 ⇨ [スキップ設定] を確認してください。	P19 P49
[スキップ] を押すとどんどん進んでしまう。	⇨ [スキップ設定] の [連続スキップ再生] が “ 切 ” 以外になっていないか確認してください。	P49
背面の [ALARM IN] 端子入力でアラーム記録しない。	⇨ [アラーム入力端子設定] メニューの [アラーム入力端子] が “ アラーム記録 ” になっているか確認してください。	P38
背面の [EXT REC/MODE IN] 端子入力で記録を開始しない。	⇨ [外部入出力端子設定] メニューの [外部記録入力端子] が “ トリガ ” または “ マニュアル ” になっているか確認してください。	P58
ラックマウントできない。	⇨ 取り付け可能なラックなど詳しくはご購入の販売店にご相談ください。	—

トラブル時の対応（Web ブラウザ）

エラーメッセージの出るトラブル

エラーメッセージ	原因と対処方法
“ 利用制限（5 ×× 2）：通常記録中 ”	本機の各本体動作を停止、終了させてから Web ブラウザ操作を行なってください。
“ 利用制限（5 ×× 3）：タイマー記録中 ”	
“ 利用制限（5 ×× 5）：アラーム記録中 ”	
“ 利用制限（5 ×× 6）：エマージェンシー記録中 ”	
“ 利用制限（5 ×× 7）：オンスクリーン／メニュー操作中 ”	
“ 利用制限（5 ×× 8）：タイマーモードスタンバイ中 ”	

エラーメッセージ	原因と対処方法
“ 警告：Java Script 使用許可が無効 ”	ご使用の Web ブラウザでは、JavaScript が禁止されています。 ⇨ Web ブラウザの [インターネットオプション] でセキュリティーのレベルを変更してください。
“Authorization Required”	本機へのアクセス時のユーザー名、パスワード認証が失敗しています。 ⇨ 本機に再度アクセスし、ユーザー名、パスワードを正確に入力してください。
“ 全ての「実行モード」無効 ”	週間タイマー設定、日付タイマー設定の中で 1 つも実行されるプログラムタイマーがありません。 ⇨ 週間タイマー設定、日付タイマー設定を見直してください。 (☞ 43、44 ページ)
“ERROR（4xxx）：＊＊＊ ” “ 警告（xxxx）：＊＊＊ ”	Web ブラウザからの設定要求に対する動作処理が失敗しました。 ⇨ 再度メニューボタンから設定項目を選んで要求するか、URL を更新して、もう一度 Web ブラウザ操作を行なってください。
“ 本体エラー発生（E_xx）：＊＊＊ ”	本体側のシステムエラーを検出しました。この場合、ライブ画／再生画は見れません。また、本体の設定変更はできません。 ⇨ 本体側の動作状況を確認してください。

エラーメッセージの出ないトラブル

症状	原因と対処方法
Web ブラウザに指定の URL を入力してもアクセスできない。	⇨ Web ブラウザの [インターネットオプション] でプロキシーサーバーを使用しないように設定してください。
“ 本体表示 ”、“ 本体動作 ”、“ ネットワーク ”、“ ユーティリティー ”、“ タイマー記録予約 ” などを選択するとユーザー名とパスワードが要求された。	⇨ 登録したアクセス権限の高いユーザー名、パスワードを入力し、ログインしてください。
Administrators 権限のパスワードを忘れたため、Web ブラウザ操作のメニュー画面が表示できない。	パスワードは忘れないようにしてください。 ⇨ パスワードの解除作業は、機密保護も含めて修理扱いとなります。お手数ですがその場合は、お近くのサービスセンターにお問い合わせください。
週間タイマー設定のデイリーモードが選択できない。	⇨ タイマー記録予約（週間）の中から開始曜日が [毎日] で登録された部分の [変更] ボタンをクリックし、デイリーモードのみ再設定してください。
週間タイマー設定／日付指定タイマー設定で新しいプログラムを追加できない。	別のタイマー記録予約を行いたい場合は、タイマー記録予約リストの中から [変更] [削除] ボタンを使って変更してください。
本体 WEB ページには正常にアクセスできるのに、ライブがおよび再生画が表示されず、“ 本体からの応答がありません ” と表示される	NAT が正しく設定されていない可能性があります。 ⇨NAT 設定を見直してください。(☞ 90、120 ページ)

Web ブラウザ用語解説

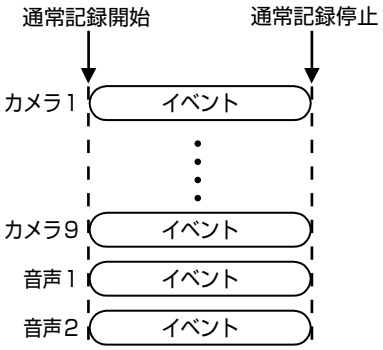
ドメイン名	ネットワークに接続されたパソコンの所属するネットワーク名。
ホスト名	ネットワーク上でのパソコン（または本機）の名前。 ネットワークに接続されたパソコンの名前は、DNS（Domain Name System）と呼ばれるデータベースによって管理されます。
DNS(Domain Name System)	ネットワーク上のホスト名と IP アドレスを対応させるシステム。 DNS は各パソコンに割り当てられた IP アドレスとドメイン名を関連付け、ユーザーがホスト名によりアクセスしたいパソコンを指定できるようにします。
IP アドレス	ネットワークに接続されたパソコン 1 台ずつに割り振られた識別番号。 ネットワーク機器がお互いに通信するために使用します。 IP アドレスには、「グローバル IP アドレス」と「ローカル IP アドレス」（プライベート IP アドレス）があります。 IP アドレス ◀⟷▶ ホスト名 ドメイン名 192.168.0.10 変換 .vr509 jvc-victor.co.jp パソコンに割り当てられた IP アドレスは、DNS サーバーによってホスト名・ドメイン名に変換されます。
グローバル IP アドレス :	ネットワーク上で別々の IP アドレスが必要であるように、インターネットを利用する世界中のすべてのパソコンがそれぞれ別々の IP アドレスを使用する必要があります。この IP アドレスがグローバル IP アドレスです。通常、プロバイダより割り当てられます。
ローカル IP アドレス :	インターネットに接続されていない環境（家庭内のみ、会社内のみ等）では、ネットワーク内で別々の自由な IP アドレスを使用することができます。この IP アドレスがローカル IP アドレスです。
DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）	ネットワーク上の IP アドレスを自動割り当てする方法のこと。 パソコンがネットワークに接続されると、DHCP サーバーが IP アドレスを自動割り当てします。
サブネットマスク	1 つのネットワーク内で仮想的に複数のネットワーク（サブネット）に分けて管理するしくみ。 サブネットマスクは、IP アドレスのうち何ビットをサブネット識別に使用するのかを定義した 32 ビットの数値の事です。
LAN（Local Area Network）	1 つの建物や企業のオフィス内など比較的に狭い範囲で構築するネットワークのことです。
デフォルトゲートウェイ	コンピュータが属するネットワーク外のコンピュータと通信をする際に、互いに異なるプロトコルの翻訳作業を行うハードウェアとソフトウェアのことです。 Windows では、IP アドレスを設定するときにデフォルトゲートウェイの IP アドレス設定も必要です。
プロトコル	ネットワーク等を使ってパソコンや機器が通信を行うための取り決めのことです。
TCP ／ IP	Transmission Control Protocol/Internet Protocol の略で、ネットワークで使われるプロトコルの 1 つです。
ログイン	パソコンなどの端末を、オンラインデータベースやサーバーに接続し利用を開始することです。
ピアツーピア	パソコン同士を対等（1 対 1）に接続する小規模ネットワークのことです。
NTP（Network Time Protocol）	ネットワークに接続されている機器の時刻を自動的に同期させるしくみです。 WindowsXP Windows 2000 には標準で NTP サーバーの機能が備わっています。また、インターネット上の NTP サーバーを利用することも可能です。
NAT(Network Address Translation)	LAN 内のローカル IP アドレスとインターネットのグローバル IP アドレスを 1 対 1 で相互交換する機能。
IP マスカレード	NAPT(Network Address Port Translation) の別名。 NAT による IP アドレス交換時にポート番号を使うことで、一つのグローバル IP アドレスと複数のローカル IP アドレスを相互交換する機能。

イベントについて

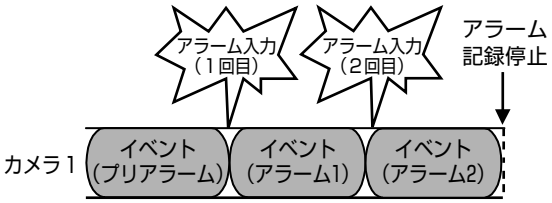
記録は何らかの " きっかけ "（記録開始ボタンが押された、動き検出アラームを検出した、など）によって開始されます。この " きっかけ " による記録開始から記録停止までをイベント、その数をイベント数と呼びます。
イベント数は、基本的に以下のようにカウントされます。

- " きっかけ " ごとにカウント
- カメラ ch ごとにカウント
- プリアラーム記録は別にカウント
- 映像と音声は別々にカウント

例 1: 音声記録が " 有効 " で、カメラ 1~9 について通常記録をした場合、イベント数は 11 件（映像イベント数が 9 で音声イベント数が 2）になります。



例 2: 音声記録が " 無効 "、プリアラーム記録が " 有効 " に設定されているカメラ 1 にアラームが入力され、記録が終了する前に、再度アラームが入力された場合、イベント数は 3 件となります。



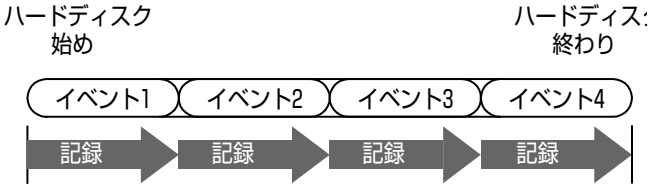
メモ：

- 上記説明は、イベント数のカウントについての基本的な考え方です。他に、通常記録中にアラーム記録が開始された場合や、長時間通常記録している場合などでイベント数が増えます。

イベント数の制限について

本機では、保存可能なイベント数を標準で 10 万件に制限しています。イベント数が 5 万件を超えると、イベント残量が少なくなったことを示す警告メッセージがオンスクリーンに表示されます。(☞ 108 ページ)
イベント数が制限を超えると、[ループ記録] (☞21 ページ) の設定が " 切 " 以外の場合、ハードディスクに空き容量があっても、古いイベントを削除しながら記録するループ記録になります。この場合、ハードディスク容量から計算した記録可能時間より短い運用となります。
ループ記録の詳細につきましては、[ループ記録のしくみ] (☞115 ページ) をご覧ください。

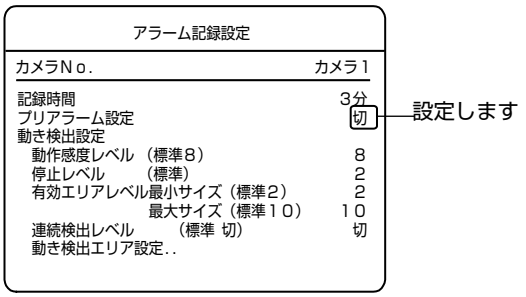
通常記録のしくみ



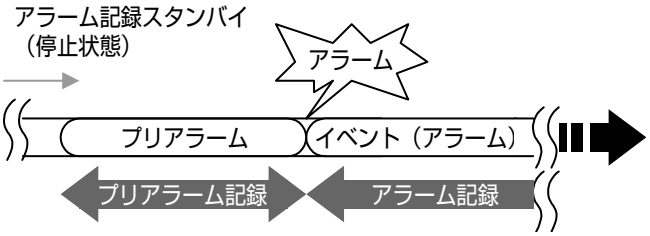
- 通常記録では、ハードディスクの始めから終わりまで順に記録していきます。
- ひとつの記録開始から停止までがイベントとなります。
- ハードディスクの終わりまで記録すると停止し、それ以上の記録はできなくなります。
- 上図の様に記録されたイベントの再生を行うと、各イベントが切り換わるさかい目で、再生（画像と音声）が一瞬とまります。

プリアラーム記録のしくみ

プリアラーム記録は、アラーム記録に連動し、アラームが入る前にさかのぼって自動記録する機能です。
設定は 39 ページ [アラーム記録設定] 画面の [プリアラーム設定] 項目で行います。



■ アラーム信号が入ると、同時にアラーム記録が始まります。
- アラーム記録が始まると、設定した時間のプリアラーム記録を自動で記録します。



プリアラーム記録の設定値と実際の記録時間

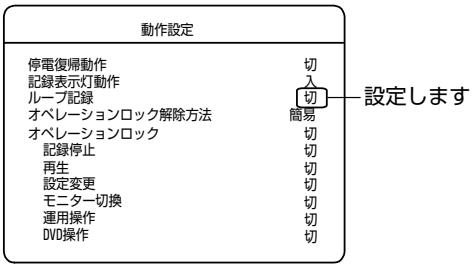
設定値	実際の記録時間
10 秒	10 秒～ 20 秒
30 秒	30 秒～ 40 秒
60 秒	60 秒～ 70 秒

プリアラーム記録についてのご注意

- アラーム検索でプリアラームのあるアラーム記録を選択した場合、プリアラーム記録の開始位置にジャンプします。(☞ 47 ページ)
- プリアラーム記録を開始してすぐにアラーム信号が入った場合、設定された時間のプリアラーム記録ができないことがあります。
- アラーム記録の記録時間をプリアラーム記録の設定値より短く設定した場合、アラームの記録時間が設定より長くなることがあります。
- プリアラーム記録は、アラーム記録設定をしていて、記録停止状態のときのみ有効となります。
- プリアラーム記録はエマージェンシー記録（パスコード不適合検出記録）にも連動します。この場合、プリアラーム記録の [コマ数]、[画質] は、[記録運用設定] にて設定されたコマ数、画質となります。(エマージェンシー記録のコマ数、画質とは異なります。(☞ 37 ページ [エマージェンシー記録])
- [アラーム記録]の[コマ数]設定を“(AUTO)”に設定した状態で、複数のアラームが同時に発生すると、正常にプリアラーム記録できない場合があります。プリアラーム記録を確実に動作させるためには、カメラ入力のアラーム記録コマ数設定を “(AUTO)” 以外の固定コマ数に設定してください。

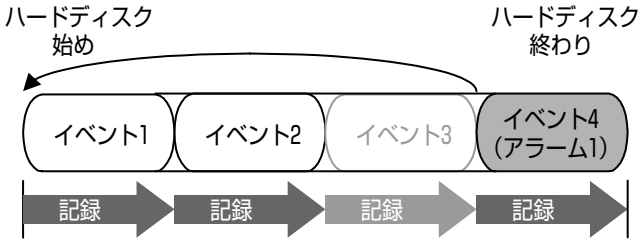
ループ記録のしくみ

ハードディスクの終わりまで記録し、記録残容量がなくなると、ハードディスクの始めに戻りオーバーライトをしていく動作をループ記録といいます。また、イベント数が約10万件になると古いイベントから削除されます。設定は、36ページ[動作設定]画面の、[ループ記録]項目で行います。

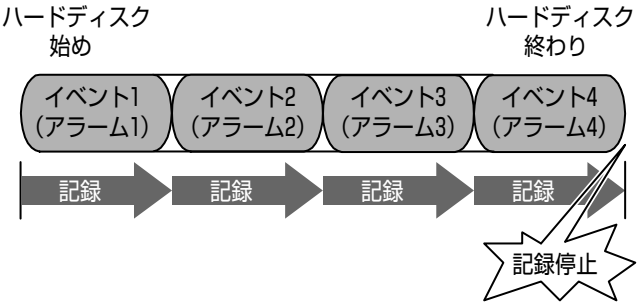


■ アラームロックを選んだとき

- アラーム記録データ以外の通常記録エリア（空き領域）でループ記録を行います。

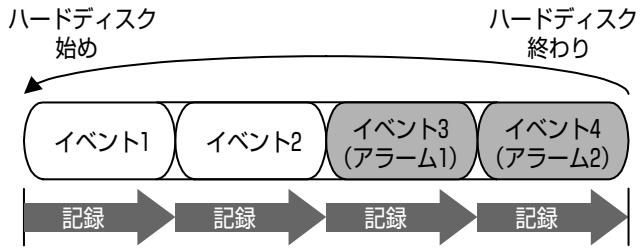


- アラーム記録が多くなり、通常記録エリアがなくなると停止します。



■ 全てを選んだとき

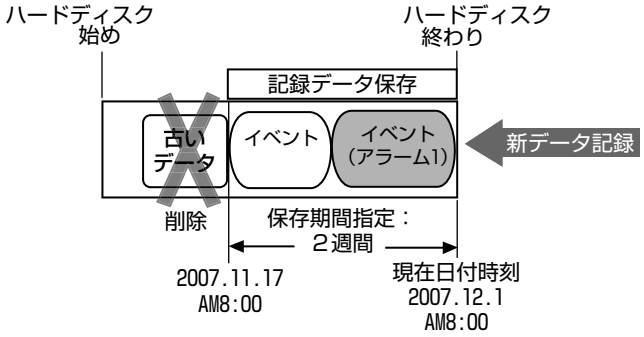
- アラーム記録 / 通常記録エリアに関係なくループ記録を行います。
- 記録を停止させるまで、エンドレスに記録をつづけます。



■ 保存期間指定ループ記録を選んだとき〔1 週間、2 週間または 1ヶ月 (31 日間)

- 指定した保存期間の記録がハードディスクに保存されます。
  指定した保存期間よりも古い記録は、アラーム記録、通常記録の区別なく自動的に削除されます。(例 1)
  指定した保存期間に達する前にハードディスクが一杯になった場合、アラーム記録、通常記録の区別なく古い記録から削除されます。(例 2)

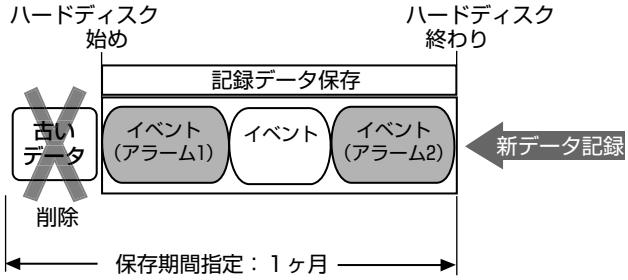
(例 1) 保存期間を 2 週間に設定した場合



メモ：

- 保存期間指定ループ記録の動作時間は、保存期間に対して最大 7 時間の誤差があります。上記例の場合、2007.11.17 AM1;00 から 11.17AM8:00 までの記録が削除されるかどうか不定です。

(例 2) 保存期間を 1ヶ月に設定した場合

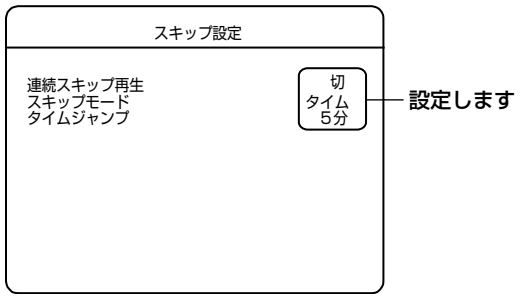


ループ記録についてのご注意

- 記録モデルのイラストはイメージ図です。実際の記録方式とは異なります。
- ループ記録は古いイベントからオーバーライトしていきます。オーバーライトされると、元の記録データは消去されます。
- チャンネルごとに消去される時間がずれる場合があります。
- ループ記録の設定を保存期間指定ループ記録以外（切／アラームロック／全て）から保存期間指定ループ記録（1 週間／ 2 週間／ 1ヶ月）に変更した場合、保存期間よりも古い記録削除に時間を要する場合があります。記録削除実行中は、モニター画面のモード表示に (DB/) が表示されます。再生中の画像が削除対象になった場合、黒画面になり再生が停止します。このような時はモニター画面のモード表示 (DB/) が消えてから、再度再生してください。
- 保存期間を超えて、長期間電源を切る場合、電源を入れたときに、すべての記録が削除されてしまいます。

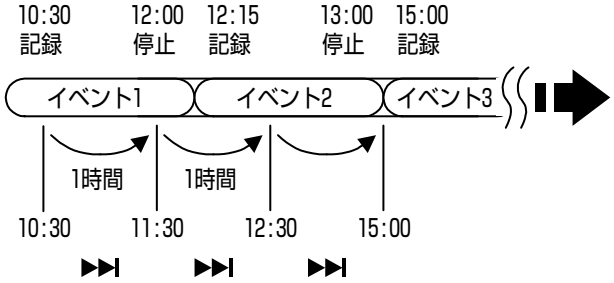
スキップジャンプについて

スキップジャンプは、検索メニューの設定でタイム、アラーム、イベントの 3 種類が選べます。
設定は 49 ページ [記録画像をスキップして見る] の手順にしたがい、[スキップ設定] 画面で行います。



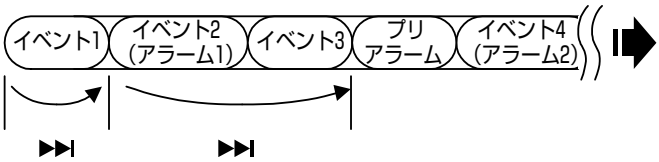
■ タイムを選んだとき

- タイムジャンプ設定を“ 1 時間 ” にしたとき、[スキップ] を押すたびに “ 1 時間 ” ずつジャンプします。ジャンプ先の時間が記録されていないときは、指定時間の一番近い位置へジャンプします。



■ アラームを選んだとき

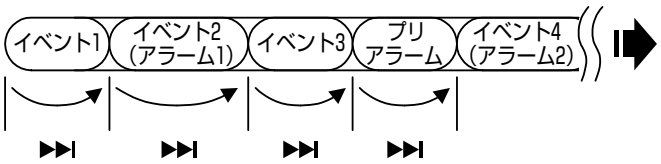
- [スキップ] を押すたびにアラーム記録の始まりを探しながらジャンプしていきます。



- プリアラーム記録がある場合は、プリアラームの開始位置にジャンプします。ただし、[連続スキップ再生] 設定を “ 切 ” 以外に設定している場合は、アラームの先頭を再生します。

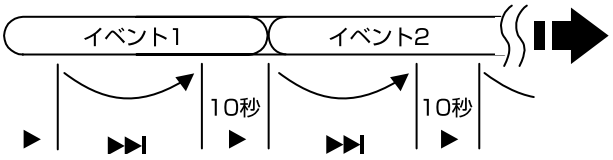
■ イベントを選んだとき

- [スキップ] を押すたびに記録を始めた位置（イベントの先頭）を探しながらジャンプしていきます。



連続スキップ再生とは

[スキップ設定] メニューの [連続スキップ再生] 設定を仮に “ 10 秒 ” に設定した状態で、再生中に [スキップ] を押した場合、対象となる記録画像が見つからなくなるまで、10 秒間再生とスキップ動作を繰り返します。

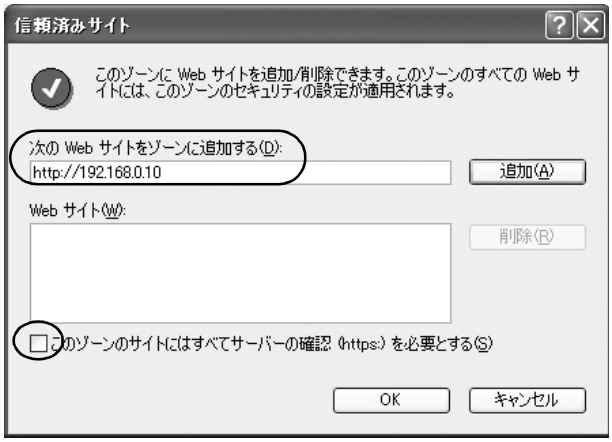


ActiveX コントロールとプラグインを有効にする

Internet Explorer で ActiveX コントロールとプラグインが有効になっていない場合には、次の手順で有効にしてください。

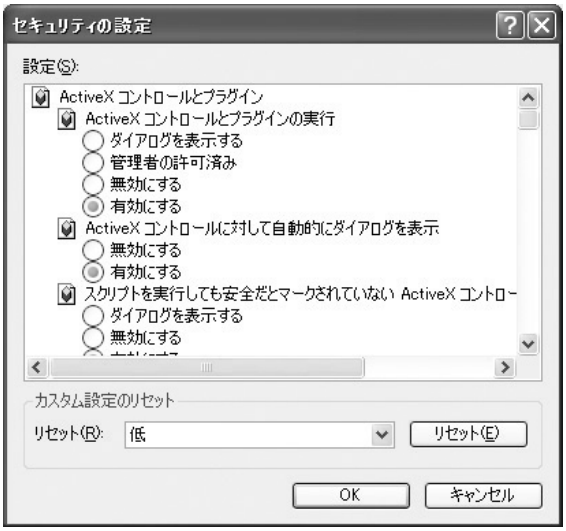
1 Internet Explorer を起動します。

[ツール] ⇨ [インターネットオプション] ⇨ [セキュリティ] で、[信頼済みサイト] をクリックします。
その後、[信頼済みサイト [サイト ...]] ボタンが押せるようになりますので、それをクリックし [信頼済みサイト] ウィンドウを開きます。
[次の Web サイトをゾーンに追加する] に VR-509DN[ネットワーク設定] で設定した IP アドレスを入力し、[追加] ボタンを押します。(図に記載されている IP アドレス、http://192.168.0.10 は例ですのでご注意ください。)
[このゾーンのサイトにはすべてのサーバーの確認 (https) を必要とする] のチェックボックスをはずします。



2 [ツール] ⇨ [インターネットオプション]⇨ [セキュリティ] で、[信頼済みサイト] をクリックします。

[レベルのカスタマイズ] ボタンを選択し、[セキュリティ設定] ウィンドウを開きます。
開いたウィンドウから [ActiveX コントロールとプラグイン] の全項目を [有効にする] にします。



NTP サーバー機能を利用する場合

Windows Vista の場合

Windows Vista では、以下の設定で NTP Server 機能が有効になります。

1 [スタート] ボタンクリックして、[検索の開始] に regedit をコマンド入力し、パソコンの [Enter] キーを押す

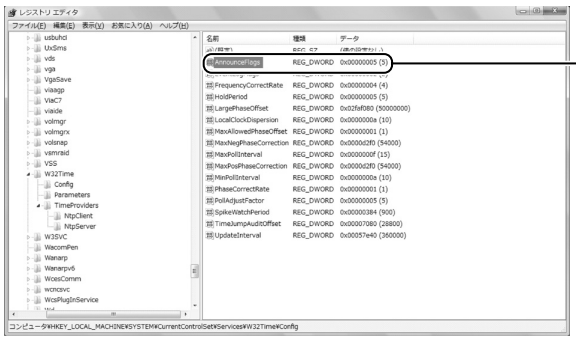
1

2 ユーザーアカウント制御ダイアログが表示されますので、[続行] をクリックする

レジストリエディタが開きます。

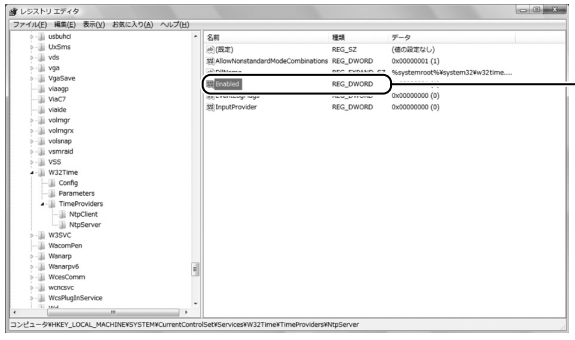
3 以下のレジストリ値を、5 にする

HKEY_LOCAL_MACHINE￥SYSTEM￥CurrentControl Set￥Services￥W32Time￥Config￥AnnounceFlags


3

4 以下のレジストリ値を、1 にする

HKEY_LOCAL_MACHINE￥SYSTEM￥CurrentControl Set￥Services￥W32Time￥TimeProviders￥NtpServer￥Enabled


4

5 変更後、regedit を終了する

6 コマンドプロンプトを管理者権限で実行させる

- コマンドプロンプトを右クリックし、[管理者として実行 (A)...] をクリックすると、ユーザーアカウント制御ダイアログが表示されます。
- [続行] をクリックすると管理者としてコマンドプロンプトが実行されます。

6

7 コマンドプロンプトで次のコマンドを入力し、Enter キーを押して、Windows Time Service を再起動する

net stop w32time && net start w32time

■ ファイアーウォール設定が有効な場合

Windows Vista では、ファイアーウォール設定が有効な場合、NTP が使用する UDP ポート：123 を [有効] に設定する必要があります。以下の手順で設定してください。

1 コントロールパネルから [ネットワークとインターネット]⇨[Windows ファイアウォールの有効化または無効化] を選択する

2 ユーザーアカウント制御ダイアログが表示されますので、[続行] をクリックする

Windows ファイアウォールの設定ダイアログが開きます。

3 [例外] タブを開く

4 [ポートの追加 (O)...] をクリックする

[ポートの追加] ダイアログが開きます。ここに NTP を通す設定をします。

3
4

5 名前：例）“NTP”、ポート番号：“123”、プロトコル：“UDP” に設定する

6 [OK] をクリックする

Windows XP の場合

Windows XP では、以下の設定で NTP Server 機能が有効になります。

1 [スタート] ボタンクリックして、[ファイル名を指定して実行] をクリックする
regedit をコマンド入力し、[OK] をクリックする。

2 以下のレジストリ値を、5 にする
HKEY_LOCAL_MACHINE￥SYSTEM￥CurrentControl Set￥Services￥W32Time￥Config￥AnnounceFlags

3 以下のレジストリ値を、1 にする
HKEY_LOCAL_MACHINE￥SYSTEM￥CurrentControl Set￥Services￥W32Time￥TimeProviders￥NtpServer￥Enabled

4 変更後、regedit を終了する

5 コマンドプロンプトで次のコマンドを入力し、Enter キーを押して、Windows Time Service を再起動する

net stop w32time && net start w32time

■ ファイアーウォール設定が有効な場合

Windows XP では、ファイアーウォール設定が有効な場合、NTP が使用する UDP ポート：123 を [有効] に設定する必要があります。以下の手順で設定してください。

メモ：
- Windows XP SP1 の場合（ファイアーウォール設定が無効になっている場合）は不要です。

1 [ローカルエリア接続のプロパティ] を開いて [詳細設定] タブを開きます。

2 この中の[インターネット接続ファイアーウォール]の[設定] ボタンを押すと、[詳細設定] が開きます。

3 [詳細設定] の下の方の [追加(D)...] を押すと、[サービス設定] 画面が出ます。

4 ここに NTP を通す設定をします。

5 サービスの説明：NTP
名前またはアドレス：パソコンの IP または名前
外部、内部ポート番号：123
に設定します。

■ Windows XP SP2 の場合（ファイアーウォールは初期状態で有効に設定されています。）

1 [ローカルエリア接続のプロパティ] を開いて [詳細設定] タブを開きます。

2 この中の[Windowsファイヤーウォール]の[設定]ボタンを押し、[例外] タブを開きます。

3 下の方の [ポートの追加 (O)...] を押すと、[ポートの追加] 画面が出ます。

4 ここに NTP を通す設定をします。

5 名前：例）“NTP”、ポート番号：“123”、プロトコル：“UDP” に設定します。

Windows 2000 の場合

Windows 2000 では、以下の設定で NTP Server 機能が有効になります。

1 コマンドプロンプトを起動し（Dos 画面です。）以下のコマンドを入力する
net time /setsntp: サーバーの IP アドレス
例：net time /setsntp:192.168.0.1

2 [コントロールパネル]⇨[管理ツール]⇨[サービス] を開く

3 [Windows Time] をダブルクリックして、[スタートアップの種類] を [自動] に設定し [開始] をクリックする

4 以下のレジストリ値を、1 にする（デォルトは 0）
HKEY_LOCAL_MACHINE￥SYSTEM￥CurrentControl Set￥Services￥W32Time￥parameters￥LocalNTP

> レジストリ編集作業は大変危険を伴う作業です。
> 安全のためレジストリのバックアップを保存するなど、ご自分の責任において編集してください。
> 当社では万一の事故に対する責任は一切負いません。

5 Windows Time Service を再起動（＝停止から開始）する
- [管理ツール] の [サービス] から Windows Time Service のプロパティを開いて行います。

NAT 設定について

VR 本体または接続するパソコン（もしくは両方）がプライベートアドレスで設定されておりインターネットに接続している環境で、ライブ画表示・再生画表示をする為には、IP アドレス変換（NAT）及びポート変換（IP マスカレード）の機能を持ったルーターを経由するため NAT 設定を行う必要があります。

メモ：

- 本体及びパソコン側のグローバルアドレスは固定アドレスを対象としています。（DHCP には対応しておりません）
- ルーターの NAT/IP マスカレード設定は使用するルーターの［取扱説明書］をご覧ください。
- VR本体のNAT設定として接続パソコン側のグローバルIPアドレスを設定しますが､これはインターネット経由でVR本体のライブ画及び再生画を閲覧するパソコンを制限するためです (最大 10 件のアドレスを登録可能)。

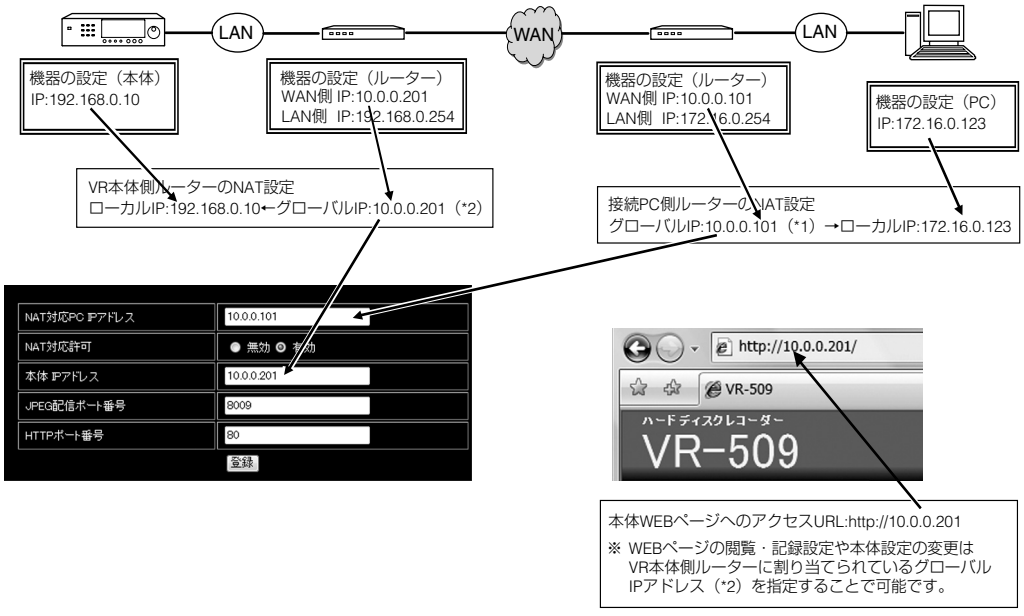
ルーター設定項目

接続パソコン側ルーターの NAT 設定	NAT WAN 側グローバル IP アドレス	接続パソコン側ルーターに割り当てられているグローバル IP アドレス（*1）
	NAT LAN 側ローカル IP アドレス	パソコンに設定したローカル IP アドレス
VR 本体側ルーターの NAT 設定	NAT WAN 側グローバル IP アドレス	VR 本体側ルーターに割り当てられているグローバル IP アドレス（*2）
	NAT LAN 側ローカル IP アドレス	VR 本体に設定したローカル IP アドレス

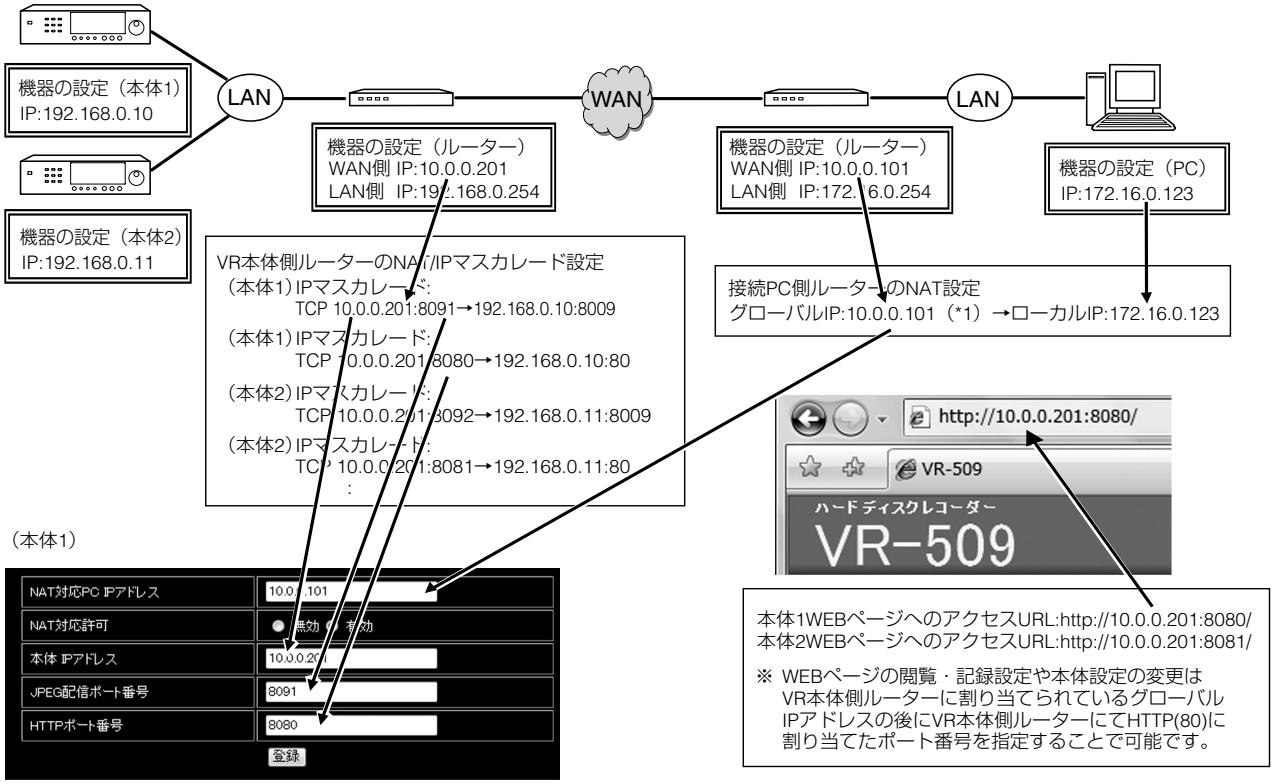
本体設定項目

VR 本体 NAT 設定	接続パソコン側のグローバル IP アドレス	接続パソコン側ルーターに割り当てられているグローバル IP アドレス（*1）
	NAT 接続許可	パソコンの NAT 変換接続の有効 / 無効を指定
	本体側のグローバル IP アドレス	VR 本体側ルーターに割り当てられているグローバル IP アドレス（*2）
	JPEG 配信用のポート番号	8009（本体の設定） IP マスカレード使用時は VR 本体側ルーターにて 8009 に割り当てたポート番号
	HTTP 配信用のポート番号	80（本体の設定） IP マスカレード使用時は VR 本体側ルーターにて 80 に割り当てたポート番号

設定例 1　接続パソコン 1 台−本体 1 台の場合（NAT 設定）



設定例２ 接続パソコン１台−本体複数台の場合（NAT/IP マスカレード設定）



HDD 記録時間について

実際の記録時間は、入力映像の内容や、ハードディスクの条件により異なります。下表は、記録画質の各モードによる記録時間を知るための対応表で、細かい映像（ビルの出入り口の映像など）を記録した一例です。細かい映像を記録する場合は、下表を参照してください。

条件：内蔵 HDD　500GB×1

● ループ記録 “ 切 ”/ 音声記録 “ 切 ”

● 1CH 記録の場合

フレームレート	滑らか				高精細			
	High	Normal	Basic	Long	High	Normal	Basic	Long
30x1 ips	291	423	613	889	159	271	462	785
15x1 ips	472	685	993	1440	259	440	748	1272
10x1 ips	708	1027	1489	2160	388	660	1122	1908
6x1 ips	992	1438	2085	3024	543	924	1571	2672
3x1 ips	1102	1598	2317	3360	604	1027	1746	2969
2x1 ips	1653	2397	3476	5041	906	1541	2619	4453
1x1 ips	3307	4795	6953	10082	1813	3082	5239	8907
0.5x1 ips	6614	9590	13907	20165	3626	6164	10479	17816
0.2x1 ips	16535	23977	34766	50413	9065	15410	26200	44540
0.1x1 ips	33071	47947	69551	100827	18131	30821	52390	89081

● 4CH 記録の場合　[時間]

フレームレート	滑らか				高精細			
	High	Normal	Basic	Long	High	Normal	Basic	Long
30x4 ips	72	105	153	222				
15x4 ips	118	171	248	360	64	110	187	318
10x4 ips	177	256	372	540	97	165	280	477
6x4 ips	248	359	521	756	135	231	392	668
3x4 ips	275	399	579	840	151	256	436	742
2x4 ips	413	599	869	1260	226	385	654	1113
1x4 ips	826	1198	1738	2520	453	770	1309	2226
0.5x4 ips	1653	2397	3476	5041	906	1541	2619	4454
0.2x4 ips	4133	5994	8691	12603	2266	3852	6550	11135
0.1x4 ips	8267	11986	17387	25206	4532	7705	13097	22270

● 6CH 記録の場合

フレームレート	滑らか				高精細			
	High	Normal	Basic	Long	High	Normal	Basic	Long
30x6 ips								
15x6 ips	78	114	165	240				
10x6 ips	118	171	248	360	64	110	187	318
6x6 ips	165	239	347	504	90	154	261	445
3x6 ips	183	266	386	560	100	171	291	494
2x6 ips	275	399	579	840	151	256	436	742
1x6 ips	551	799	1158	1680	302	513	873	1484
0.5x6 ips	1102	1598	2317	3360	604	1027	1746	2969
0.2x6 ips	2755	3996	5794	8402	1510	2568	4366	7423
0.1x6 ips	5511	7991	11591	16804	3021	5136	8731	14846

● 9CH 記録の場合

フレームレート	滑らか				高精細			
	High	Normal	Basic	Long	High	Normal	Basic	Long
30x9 ips								
15x9 ips								
10x9 ips	78	114	165	240				
6x9 ips	110	159	231	336	60	102	174	296
3x9 ips	122	177	257	373	67	114	194	329
2x9 ips	183	266	386	560	100	171	291	494
1x9 ips	367	532	772	1120	201	342	582	989
0.5x9 ips	734	1065	1545	2240	402	684	1164	1979
0.2x9 ips	1837	2664	3862	5601	1007	1712	2911	4948
0.1x9 ips	3674	5327	7727	11203	2014	3424	5821	9897

● ループ記録 “ 切 ”/ 音声記録 “ 入 ”

● 1CH 記録の場合

フレームレート	滑らか				高精細			
	High	Normal	Basic	Long	High	Normal	Basic	Long
30x1 ips	276	392	550	762	155	258	425	685
15x1 ips	434	607	837	1134	247	406	656	1027
10x1 ips	625	861	1165	1538	362	587	927	1406
6x1 ips	836	1133	1500	1931	493	788	1214	1781
3x1 ips	913	1230	1616	2063	542	861	1316	1908
2x1 ips	1262	1655	2106	2594	775	1196	1758	2429
1x1 ips	2042	2527	3021	3492	1353	1954	2645	3340
0.5x1 ips	2955	3431	3860	4224	2160	2862	3539	4111
0.2x1 ips	—	—	—	—	—	—	—	—
0.1x1 ips	—	—	—	—	—	—	—	—

● 4CH 記録の場合　[時間]

フレームレート	滑らか				高精細			
	High	Normal	Basic	Long	High	Normal	Basic	Long
30x4 ips	71	103	149	213				
15x4 ips	115	165	237	337	63	107	180	300
10x4 ips	171	245	348	490	95	160	266	438
6x4 ips	237	336	475	662	132	221	366	593
3x4 ips	262	371	522	726	146	245	403	651
2x4 ips	383	538	747	1019	217	359	583	921
1x4 ips	716	979	1311	1712	417	673	1052	1571
0.5x4 ips	1262	1655	2106	2594	775	1196	1758	2429
0.2x4 ips	—	—	—	—	—	—	—	—
0.1x4 ips	—	—	—	—	—	—	—	—

● 6CH 記録の場合

フレームレート	滑らか				高精細			
	High	Normal	Basic	Long	High	Normal	Basic	Long
30x6 ips								
15x6 ips	77	111	160	229				
10x6 ips	115	165	237	337	63	107	180	300
6x6 ips	160	229	326	460	89	149	249	411
3x6 ips	177	253	360	506	98	165	276	452
2x6 ips	262	371	522	726	146	245	403	651
1x6 ips	499	695	952	1278	286	468	750	1161
0.5x6 ips	913	1230	1616	2063	542	861	1316	1908
0.2x6 ips	—	—	—	—	—	—	—	—
0.1x6 ips	—	—	—	—	—	—	—	—

● 9CH 記録の場合

フレームレート	滑らか				高精細			
	High	Normal	Basic	Long	High	Normal	Basic	Long
30x9 ips								
15x9 ips								
10x9 ips	77	111	160	229				
6x9 ips	108	155	222	316	59	100	169	281
3x9 ips	119	171	245	349	66	111	187	310
2x9 ips	177	253	360	506	98	165	276	452
1x9 ips	343	484	675	926	194	321	524	835
0.5x9 ips	646	888	1198	1578	374	607	956	1444
0.2x9 ips	—	—	—	—	—	—	—	—
0.1x9 ips	—	—	—	—	—	—	—	—

24~168	169~720	721~2160	2161~
1 日 ~1 週間	1 週間 ~1 か月	1 か月 ~3 か月	3 か月以上

● ループ記録 “ 全て ”/ 音声記録 “ 切 ”

● 1CH 記録の場合

フレームレート	滑らか				高精細			
	High	Normal	Basic	Long	High	Normal	Basic	Long
30x1 ips	281	407	591	857	154	262	445	757
15x1 ips	455	660	957	1388	249	424	721	1226
10x1 ips	683	990	1436	2082	374	636	1082	1839
6x1 ips	956	1386	2010	2915	524	891	1515	2575
3x1 ips	1062	1540	2234	3239	582	990	1683	2862
2x1 ips	1593	2311	3351	4859	873	1485	2525	4293
1x1 ips	3187	4622	6702	9718	1747	2971	5050	8586
0.5x1 ips	6375	9245	13406	19438	3495	5942	10102	17174
0.2x1 ips	15939	23113	33513	48597	8738	14855	25256	42935
0.1x1 ips	31879	46219	67044	97194	17477	29710	50502	85871

● 4CH 記録の場合 [時間]

フレームレート	滑らか				高精細			
	High	Normal	Basic	Long	High	Normal	Basic	Long
30x4 ips	70	101	147	214				
15x4 ips	113	165	239	347	62	106	180	306
10x4 ips	170	247	359	520	93	159	270	459
6x4 ips	239	346	502	728	131	222	378	643
3x4 ips	265	385	558	809	145	247	420	715
2x4 ips	398	577	837	1214	218	371	631	1073
1x4 ips	796	1155	1675	2429	436	742	1262	2146
0.5x4 ips	1593	2311	3351	4859	873	1485	2525	4293
0.2x4 ips	3984	5778	8378	12149	2184	3713	6314	10733
0.1x4 ips	7969	11554	16761	24298	4369	7427	12625	21467

● 6CH 記録の場合

フレームレート	滑らか				高精細			
	High	Normal	Basic	Long	High	Normal	Basic	Long
30x6 ips								
15x6 ips	75	110	159	231				
10x6 ips	113	165	239	347	62	106	180	306
6x6 ips	159	231	335	485	87	148	252	429
3x6 ips	177	256	372	539	97	165	280	477
2x6 ips	265	385	558	809	145	247	420	715
1x6 ips	531	770	1117	1619	291	495	841	1431
0.5x6 ips	1062	1540	2234	3239	582	990	1683	2862
0.2x6 ips	2656	3852	5585	8099	1456	2475	4209	7155
0.1x6 ips	5313	7703	11174	16199	2912	4951	8417	14311

● 9CH 記録の場合

フレームレート	滑らか				高精細			
	High	Normal	Basic	Long	High	Normal	Basic	Long
30x9 ips								
15x9 ips								
10x9 ips	75	110	159	231				
6x9 ips	106	154	223	323	58	99	168	286
3x9 ips	118	171	248	359	64	110	187	318
2x9 ips	177	256	372	539	97	165	280	477
1x9 ips	354	513	744	1079	194	330	561	954
0.5x9 ips	708	1027	1489	2159	388	660	1122	1908
0.2x9 ips	1771	2568	3723	5399	970	1650	2806	4770
0.1x9 ips	3542	5135	7449	10799	1941	3301	5611	9541

● ループ記録 “ 全て ”/ 音声記録 “ 入 ”

● 1CH 記録の場合

フレームレート	滑らか				高精細			
	High	Normal	Basic	Long	High	Normal	Basic	Long
30x1 ips	266	377	530	735	149	249	410	660
15x1 ips	418	585	807	1093	238	392	632	990
10x1 ips	603	830	1123	1483	349	566	894	1355
6x1 ips	806	1092	1446	1861	475	759	1170	1717
3x1 ips	880	1186	1558	1988	523	830	1268	1839
2x1 ips	1217	1595	2030	2500	747	1153	1694	2341
1x1 ips	1969	2436	2912	3367	1305	1884	2550	3219
0.5x1 ips	2849	3308	3721	4072	2082	2759	3411	3963
0.2x1 ips	—	—	—	—	—	—	—	—
0.1x1 ips	—	—	—	—	—	—	—	—

● 4CH 記録の場合 [時間]

フレームレート	滑らか				高精細			
	High	Normal	Basic	Long	High	Normal	Basic	Long
30x4 ips	69	99	143	205				
15x4 ips	111	159	228	325	61	103	174	289
10x4 ips	165	236	335	472	91	154	257	422
6x4 ips	228	324	458	638	127	213	352	572
3x4 ips	252	358	503	699	141	236	389	628
2x4 ips	369	519	720	983	209	346	562	888
1x4 ips	690	943	1264	1651	402	649	1014	1515
0.5x4 ips	1217	1595	2030	2500	747	1153	1694	2341
0.2x4 ips	—	—	—	—	—	—	—	—
0.1x4 ips	—	—	—	—	—	—	—	—

● 6CH 記録の場合

フレームレート	滑らか				高精細			
	High	Normal	Basic	Long	High	Normal	Basic	Long
30x6 ips								
15x6 ips	74	107	154	221				
10x6 ips	111	159	228	325	61	103	174	289
6x6 ips	154	221	314	444	85	144	240	396
3x6 ips	171	244	347	488	95	159	266	436
2x6 ips	252	358	503	699	141	236	389	628
1x6 ips	481	670	918	1232	275	451	723	1119
0.5x6 ips	880	1186	1558	1988	523	830	1268	1840
0.2x6 ips	—	—	—	—	—	—	—	—
0.1x6 ips	—	—	—	—	—	—	—	—

● 9CH 記録の場合

フレームレート	滑らか				高精細			
	High	Normal	Basic	Long	High	Normal	Basic	Long
30x9 ips								
15x9 ips								
10x9 ips	74	107	154	221				
6x9 ips	104	149	214	304	57	97	163	271
3x9 ips	115	165	236	336	63	107	180	299
2x9 ips	171	244	347	488	95	159	266	436
1x9 ips	331	467	650	892	187	310	506	804
0.5x9 ips	622	856	1155	1521	361	585	921	1392
0.2x9 ips	—	—	—	—	—	—	—	—
0.1x9 ips	—	—	—	—	—	—	—	—

24~168	169~720	721~2160	2161~
1日 ~1 週間	1 週間 ~1 か月	1 か月 ~3 か月	3 か月以上

※ ハードディスクの状態および映像により、記録時間が 10% 程度短くなります。

※ ループ記録が設定されているときに、ハードディスクおよびイベントの記録残量がなくなると、記録容量を確保するため古い記録から順次消去されます。

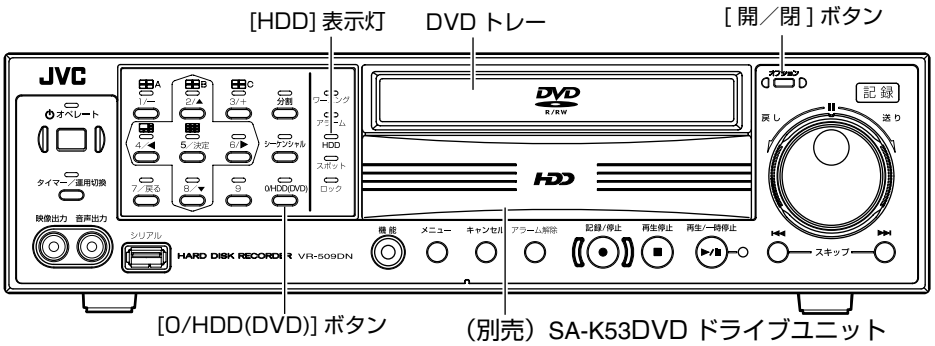
※ ハードディスクの経年変化により、記録時間が短くなることがあります。

※ ハードディスク増設時は、増設した容量に比例して記録時間が延びます。

※ 内蔵ハードディスク（オプション）増設時は、上記表の約２倍の記録時間となります。ただし、内蔵ハードディスク（オプション）増設時でも、ミラーリングの設定をしている場合は、上記表とほぼ同じ記録時間となります。

DVD ドライブを装着する

DVD ドライブキット SA-K53（別売）を本機に装着することにより、HDD に記録されている映像や音声を DVD にエクスポートすることができます。
本機への装着方法などについては、お買い上げ販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。

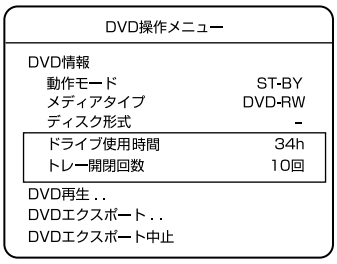


本機の DVD エクスポート形式について

- 本機により自己再生形式で作成された DVD-R/RW ディスクは本機でのみ再生することができます。
- 本機により DVD-Video 形式で作成された DVD-R/RW ディスクは DVD-R/RW 対応の DVD プレーヤーで再生可能となりますが、すべての再生を保証するものではありません。本機では再生できません。
  再生可能なプレーヤーはお買い上げ販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。
  （☞ 126 ページ [エクスポート形式]）

※ 本機では市販の DVD ビデオディスクは再生できません。

DVD ドライブユニットは消耗品です。お客様の使用環境によって異なりますが、約 1000 時間を目安にメンテナンスをお勧めします。
「ＤＶＤ 操作メニュー」画面にドライブ使用時間（ＤＶＤエクスポートしたトータル時間）とトレー開閉回数（トレーを開いた回数）が表示されます。



内容の補償について

- 万一、本機や DVD-R、DVD-RW ディスクの不具合により、正常に録画・録音や再生できなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。
- 大切な録画をしたディスクは定期的な（数年おき）バックアップをおすすめします。デジタル信号の劣化はありませんが、保存環境によりディスクの経年変化の影響で再生や録画ができなくなる場合があります。
- ディスクが破損した時、録画されていたデータの修復はできません。
- 本機で録画したディスクは、すべての機器での再生を保証するものではありません。

記録／再生できる DVD

本機で記録と再生できるディスクと表示マーク（ロゴ）は、次のディスクです。

DVD-R ディスク	12 cm: 4.7 GB General Ver.2.0 (ビデオモード)
DVD-RW ディスク	12 cm: 4.7 GB Ver.1.1 以上 (ビデオモード)

※ DVD-R/-RW はディスクの特性や状態によって記録または再生できない場合があります。

推奨メディア :
DVD-R　: 太陽誘電 (三菱化学) 8x
DVD-RW : Victor VD-W120H(HG シリーズ) 2x

DVD-R/RW ディスクについて

DVD-R	DVD-R 規格 2.0（ビデオモード）に適応したディスクのみ使用できます。
DVD-RW	Version 1.1 以上のディスクが使用できます。DVD-RW の Version 1.1 は、記録方式としてビデオモードまたは VR モードを選択できますが、本機はビデオモードでのみ記録します。 ※ DVD-RW の Version 1.0 はビデオモードに対応していないため使用できません。

● DVD-R と DVD-RW（ビデオモード）では記録方式において次の様な特長があります。

- DVD-R
  1 枚のディスクに 1 回記録します。記録したディスクを保存版にしたいときにおすすめします。
- DVD-RW（ビデオモード）
  一度見たあとに全面消去して新しく記録できます。

HDD/DVD 操作モードを切り換える

DVD 操作モードで使用する場合は、[0/HDD(DVD)] ボタンを押して [HDD] 表示灯を点灯させます。
もう一度、[0/HDD(DVD)] を押すと、[HDD] 表示灯が消灯し HDD 操作モードになります。

HDD 表示灯	操作モード
点灯	DVD 操作モード
消灯	HDD 操作モード

■ DVD ドライブ接続を有効にする

1 [メニュー] を押し、[保守全般] を開く
- [メニュー画面の操作] (☞18 ページ) に従い、[メニュー]⇨[運用詳細設定]⇨[保守全般] の順に開きます。

2 [▲/▼] ボタンで [DVD ドライブ接続] 項目を選び、[－ / ＋] ボタンで " 有効 " に設定する

メモ :
- [DVD ドライブ接続] を " 無効 " に設定した場合は DVD 操作モードに移行できません。
- DVD ドライブを装着していない場合は、" 有効 " に設定しないでください。" 有効 " に設定すると、オンスクリーンに "E-10 検出　ビクターサービスにご連絡ください " と表示されます。(☞ 108 ページ)

■ DVD 操作モードにする場合

ライブ画面表示または HDD 記録モード時、[0/HDD(DVD)] を押します。
- [HDD] 表示灯が点灯し、DVD 操作モードになります。HDD 記録モード時は、HDD に記録しながら DVD 操作モードになります。

メモ :
- HDD 再生モード時は、DVD 操作モードに切り換わりません。

■ HDD 操作モードにする場合

ライブ画面表示時、[0/HDD(DVD)] を押します。
- [HDD] 表示灯が消灯し、HDD 操作モードになります。

※下記の場合は、HDD 操作モードに切り換わりません。
DVD 操作メニュー画面表示時
DVD エクスポート操作モード時
DVD 再生操作モード時

DVD を入れる／取り出す

DVD ディスクを入れる

1 [開 / 閉] を押します。
- 自動的に DVD トレーが開きます。

2 ディスクを DVD トレーの上に置きます。
ラベル面を上にして、DVD トレーの溝に沿って正確に置いてください。

3 [開 / 閉] を押します。
- 自動的に DVD トレーが閉じ、"DVD 読込中 " と表示されます。

DVD を取り出す

1 [開 / 閉] を押します。
- 自動的に DVD トレーが開きます。

2 DVD トレーからディスクを取り出します。
DVD トレーが完全に開いてからディスクを出してください。

3 [開 / 閉] を押します。
- 自動的に DVD トレーが閉じます。

DVD トレーに関するご注意
- DVD 作成中、[開／閉] を押しても DVD トレーは開きません。
- 開閉中の DVD トレーを手で押さえたりしないでください。
- ディスク以外のものを DVD トレーの上に乗せないでください。

DVD トレーを上から強く押したり、上にものを置かないでください。

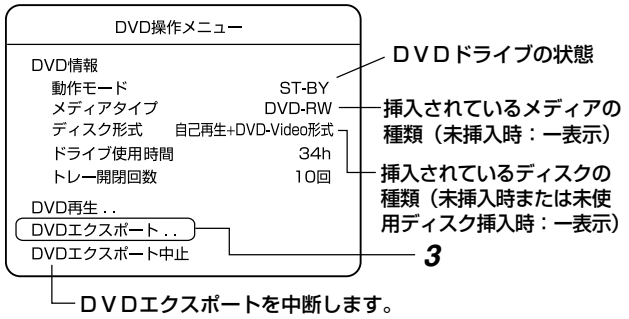
DVD に記録画像を書き込む（エクスポート）

ハードディスクに記録した画像を DVD に書き込む（エクスポートする）ことができます。
HDD に記録しながら、DVD にエクスポートできます。

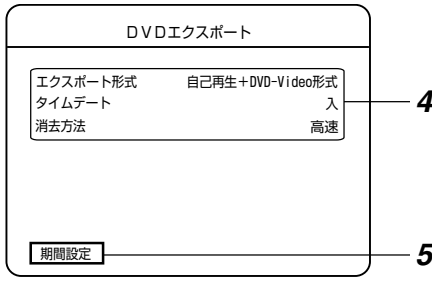
1 [O/HDD(DVD)] を押す
- [HDD] 表示灯が点灯し、DVD 操作モードになります。

メモ：
- HDD 再生中は、DVD 操作モードには切り換わりません。

2 [メニュー] を長押しする
- [DVD 操作メニュー] 画面が開きます。



3 [▲/▼] で [DVD エクスポート] を選び、[決定] を押す
- [DVD エクスポート] 画面が開きます。



4 [▲/▼] で項目を選び、[－ / ＋] で設定値を変更する

設定項目

エクスポート形式

自己再生＋ DVD-Video 形式（間欠補間）：
　自己再生形式と DVD-Video（間欠補間）形式の両方の形式で書込みます。

自己再生＋ DVD-Video 形式（補間なし) :
　自己再生形式と DVD-Video 形式の両方の形式で書込みます。

DVD-Video 形式（間欠補間）：
　DVD-Video 形式で書込みます。DVD プレーヤーで再生が可能です。秒間の記録コマ数が小さいものには映像の補完を行い、×1 倍速で再生できるように加工します。本機では再生できません。

DVD-Video 形式（補間なし）：
　DVD-Video 形式で書込みます。DVD プレーヤーで再生が可能です。ただし、秒間の記録コマ数が小さいものは、早送り再生になることがあります。本機では再生できません。

自己再生のみ：
　本機でのみ再生できる形式で書込みます。

メモ：
- DVD-Video 形式でリンクされた音声を出力したい場合は、[間欠補間] を指定するか、もしくは [補間なし] でコマ数を 30 に指定してください。
　また、[間欠補間] を指定したとしても 1 秒間のコマ数が 1/5、1/10 の場合は音声出力されません。

タイムデート

DVD-Video 形式で書き込み時、記録画像のタイムデートを記録するかどうかを選択します。

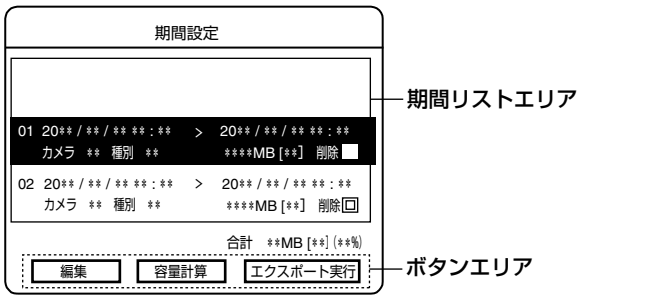
消去方法

DVD-RW ディスクはエクスポート時、前のデータを消去してからエクスポートが実行されます。その消去方法を指定します。

完全：データを完全に消去します。4x ディスクで約 30 分～ 1 時間かかります。

高速：高速で消去します。（約 2 分）
　ただし、データ消去は完全ではありません。

5 [▲/▼] で [期間設定] を選び、[決定] を押す
- [期間設定] 画面が開きます。



■ 期間リストエリア

期間設定は、99 期間までのリストを設定できます。1 つの画面には、3 期間分のリストが表示されます。1 つの期間リストの設定を終了し、[▼] ボタンを押すと、次の期間リストの設定ができます。また、期間リストエリアに表示されるリスト番号も繰り上がります。

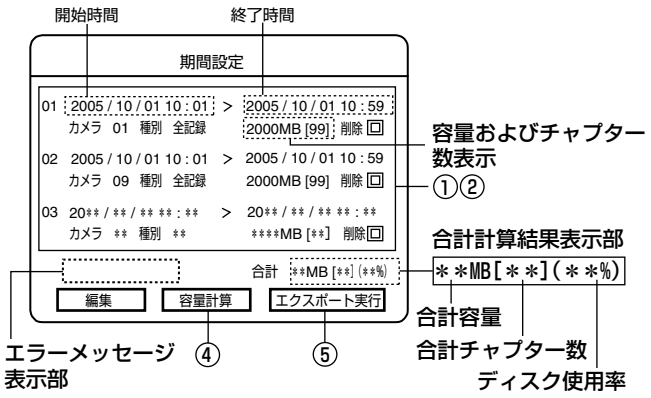
■ ボタンエリア

[編集]：　期間リストの設定を変更する時、使用します。

[容量計算]：　設定したリストの容量を計算する時、使用します。チャプター数も表示されます。

[エクスポート実行]：
　DVD にエクスポートする時、使用します。

6 [期間設定] 画面を設定する


開始時間
終了時間
期間設定
01 2005 / 10 / 01 10 : 01 > 2005 / 10 / 01 10 : 59
カメラ 01 種別 全記録 2000MB [99] 削除
02 2005 / 10 / 01 10 : 01 > 2005 / 10 / 01 10 : 59
カメラ 09 種別 全記録 2000MB [99] 削除
03 20** / ** / ** ** : ** > 20** / ** / ** ** : **
カメラ ** 種別 ** ****MB [**] 削除
合計 **MB [**] (**%)
編集
容量計算
エクスポート実行
容量およびチャプター数表示
①②
合計計算結果表示部
＊＊MB[＊＊](＊＊%)
合計容量
合計チャプター数
ディスク使用率
エラーメッセージ表示部
④
⑤

① [▲/▼/◀/▶] で期間リストの項目を選び、[－/＋] で設定値を変更する

開始時間：エクスポートしたい画像データの開始日時（年／月／日　時：分）を指定します。

終了時間：エクスポートしたい画像データの終了日時（年／月／日　時：分）を指定します。

[カメラ] :エクスポートしたいカメラ番号を指定します。

[種別] :　エクスポートしたい記録画像データの種類を指定します。

- 全記録 ..... 全ての映像
- アラーム端子 ..... アラーム入力によるアラーム記録画像
- 動き検出 ..... 動き検出によるアラーム記録画像
- EMG..... エマージェンシー記録画像とパスコード不適合検出記録画像

容量：　この項目は設定できません。
容量計算の結果が表示されます。また、[ ] 内には、期間内のチャプター数が表示されます。
容量が大きかった場合、OVER MB と表示されます。期間内にデータが無い場合は、0 MB と表示されます。

[削除] :　この期間リストの設定を削除するかどうかを設定します。（容量計算の結果、容量オーバーした場合に使用します。）

- □ ..... 削除しません。
- ■ ..... 削除します。(チェック部分は赤で表示します。）

② 次の期間リストを設定する場合は、[▼] ボタンを押す

- カーソルが次のリストに移動します。

上記 ① の操作を繰り返してください。

③ 設定が終了したら、[決定] を押す

- [期間設定] 画面のボタンエリアの操作が有効となります。

④ [◀/▶] で [容量計算] を選び、[決定] を押す

- 設定したリストの容量計算を始めます。
  計算実行中を示す画面が表示されます。
- 計算が完了すると、各期間リストと期間リスト合計の容量およびチャプター数が表示されます。また、ディスク使用率が表示されます。

メモ：

- [削除] 項目が有効になっているリストはクリアして容量計算します。
- 計算実行中、画面の [中止] を選び、[決定] を押すと計算を中止します。
- 不適正な入力には、赤いアンダーラインが付きます。
- 対象となるチャプター数が多い場合、容量計算に時間がかかることがあります。

■ DVD に対し、容量がオーバーすると、[期間設定] 画面に“容量オーバー”の表示がでます。（下記エラーメッセージ表示参照）
この場合は、[期間設定] 画面の [編集] を選び、[決定] を押して、期間リスト設定の修正や削除を行なってください。

⑤ “◀/▶” で [エクスポート実行] を選び、[決定] を押す

- ライブ画面に戻り、エクスポートが開始されます。
- エクスポート実行状況がオンスクリーンに表示されます。

■ エラーメッセージ表示

期間設定画面の設定でエラーがあった場合、期間設定画面のエラーメッセージ表示エリアに下記のようなエラーメッセージが表示されます。

“ 期間指定エラー ”	：1 つ以上の期間設定に誤りがある時
“ 容量オーバー ”	：1 つ以上の期間で容量オーバー時
“ 該当なし期間あり ”	：1 つ以上の期間で該当映像が無い時
“ エラー期間あり ”	：1 つ以上の期間で上記以外のエラーがあった時
“ 合計容量オーバー ”	：期間ごとには容量オーバーしないが、合計容量が 4.5GB 以上の時
“ 実行エラー ”	：エクスポート実行を行なったときに内部エラーがあった時
“ チャプターオーバー ”	：1 つ以上の期間でチャプター数がオーバーした時
“ 合計チャプターオーバー ”	：エクスポート形式が自己再生形式を含む場合、合計チャプター数に制限があります。 各期間ごとにはオーバーしないが合計チャプター数がオーバーした時 音声なし時：最大 498 個 音声あり時：最大 249 個 （最大チャプター数は音声の有無により変動します。）

メモ：

- DVD エクスポート画面表示時や期間設定画面のボタンエリア操作 [編集]、[容量計算] または [エクスポート実行] が有効時、[戻る] ボタンを押すと、前の画面に戻ります。
- [キャンセル] または [メニュー] ボタンを長押しすると、ライブ画面に戻ります。
- 停電等により記録データに修復不可能な破損が発生している部分をエクスポートした時、エクスポートが正常にできない場合があります。

DVD に記録画像を書き込む（エクスポート）(つづき)

DVD エクスポート中の表示について

DVD エクスポート中は、ライブ画面上に実行状況が表示されます。
DVD 検索中 :該当するファイルを検索しています。
DVD 消去中 :DVD ディスクの書込み済みデータを消去しています。
DVD 変換中 :DVD-Video フォーマットに準拠する形式に変換しています。
DVD 書込中 :変換したファイルを DVD に書込んでいます。
DVD 仕上中 :ファイナライズ処理をしています。

メモ :

- DVD に関するエラーメッセージについては、(☞ 131 ページ [DVD に関するトラブル時の対応]) をご覧ください。

完成 DVD の構成

- エクスポート時に指定した期間ごとにタイトル分けされます。タイトルは最大 99 タイトルまで作成されます。
- タイトル内のチャプターは記録種別ごとに作成されます。1 つのタイトルは、最大 99 個までのチャプターで分けられます。(ただし、内部的にアラームのファイルが連結されている場合はチャプターは分割されません。)
  また、チャプターは、記録ファイルの情報 (記録レートや記録時間）により自動的に 6 時間以内のファイルに分割されます。
- タイトルの名称には、通し番号、チャンネル (カメラ番号)、開始時間、終了時間および記録種別が付けられています。
- 再生モードはタイトルループになります。
- タイトル内のチャプター開始時間は、設定された開始時間よりも最大で 10 秒手前になる場合があります。

DVD エクスポートに関する留意事項

- DVD 記録中、ハードディスクの再生はできません。
- DVD エクスポートを実行すると、DVD-R ディスクの場合、エクスポート後の消去ができません。
  DVD-RW ディスクの場合、現在記録されているデータを消去して新たにエクスポートします。
- DVD エクスポート中、ディスクローディング中は DVD トレーを開くことはできません。
- 1 枚の DVD に記録できるタイトルは 99 個までです。また、1 つのタイトルに作成できるチャプターは 99 個までです。
- エクスポート形式が自己再生形式に設定されている場合、エクスポートできる合計チャプター数は 498 個 (音声あり時は 249 個）に制限されます。
- DVD エクスポート中、ネットワークへの画像配信は停止します。
- ハードディスクの動作異常が発生した場合、DVD エクスポート操作が使用できないことがあります。
- DVD-R に合計 1GB 以下のデータをエクスポートする場合、DVD-R の規格により約 1GB 分のデータに拡張してエクスポートします。そのため、エクスポートに時間がかかります。
- アラーム記録時の [コマ数] 設定が [AUTO] で運用されている際、アラーム記録部分を DVD エクスポートすると、容量計算をするときに“CHAPTER OVER”が表示される場合があります。これは本機の DVD 変換仕様（※ 1）によるものであり、このような現象が発生する場合は、お手数ですが DVD エクスポート期間を短くした上で、再度 [容量計算]（または [エクスポート実行]）を実行してください。
  ※ 1 :本機では 1 つのアラーム記録の中で [AUTO] 設定にて記録コマ数が変化している箇所を DVD エクスポートする場合、記録コマ数が変化している部分を別のチャプターとしてエクスポートするため、本来のチャプター数よりも多くなります。
- ループ記録設定 (☞ 36 ページ) が [全て]、[アラームロック]、[1 週間]、[2 週間] あるいは [1ヶ月] の場合、古い記録をエクスポートすると、エクスポート対象期間が削除され、[容量計算] あるいは [エクスポート実行] がエラーとなることがあります。
  この場合は、お手数ですが再度 [容量計算] から実行をやり直してください。
- 1 枚の DVD に記録できる時間の目安については、132 ページをご覧ください。
  エクスポート形式と DVD 記録可能時間の関係は次のようになります。

記録可能時間	エクスポート形式
短い ↓	自己再生+ DVD-Video 形式（間欠補間） ↓ 自己再生+ DVD-Video 形式（補間なし ） ↓ DVD-Video 形式（間欠補間） ↓ DVD-Video 形式（補間なし）
↓ 長い	↓ 自己再生

- DVD エクスポートに要する時間の目安は、133 ページをご覧ください。

DVD にエクスポートした画像を再生する

ハードディスクから DVD にエクスポートした画像を再生することができます。エクスポートのとき、エクスポート形式を [自己再生] を含むものに設定してください。
HDD に記録しながら、DVD の画像を再生できます。

1 [0/HDD(DVD)] を押す

- [HDD] 表示灯が点灯し、DVD 操作モードになります。

メモ :

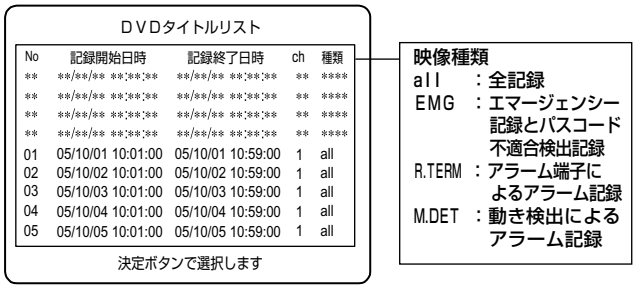
- HDD 再生中は、DVD 操作モードに切り換えられません。

2 [メニュー] を押す
- [DVD 操作メニュー] 画面が開きます。

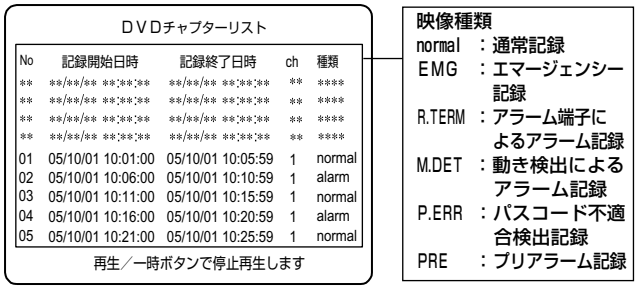
メモ :
- DVD 再生中に [メニュー] を押すと、再生を停止して、[DVD 操作メニュー] が開きます。

3 [▲/▼] で [DVD 再生] を選び、[決定] を押す
- 本機は DVD 再生の準備を開始します。再生準備中を示す画面が表示されます。
- 準備が完了すると DVD タイトルリストが表示されます。タイトルはエクスポート時に指定した期間ごとに作成されています。(最大 99 タイトルまで)

メモ :
- 再生準備中、画面の [キャンセル] を選び [決定] を押すと、再生準備を中止し DVD 操作メニューに戻ります。



4 [▲/▼] で再生したいタイトルを選び、[決定] を押す
- 選択したタイトルのチャプターリストが表示されます。チャプターは、アラーム記録ごとに分割されています。(最大 99 チャプターまで)



5 [▲/▼] で再生したいチャプターを選び、[再生/一時停止] を押す
- 選択したチャプターから順番に連続再生します。最後のチャプターを再生終了すると、再び最初のチャプターから再生を始めます。(1 タイトルのループ再生)

6 再生を止める場合は、[再生停止] を押す
- チャプターリスト画面に戻ります。

チャプターリスト画面表示時の操作

7 他のタイトルを再生する場合は、[戻る] を押す
- タイトルリスト画面に戻ります。
  前記 4 ～ 6 の操作で再生を行なってください。

8 ライブ画面に戻る場合は、[再生停止] を押す
- ライブ画面に戻ります。

メモ :
- タイトルリスト画面表示時、[戻る] を押すと DVD 操作メニュー画面に戻ります。
- チャプターリスト、タイトルリスト、DVD 操作メニュー画面表示時、[メニュー] を長押しするとライブ画面に戻ります。

DVD 再生モードで可能な操作
- 一時停止できます。
- シャトルダイヤルで再生スピードを変更できます。
- ジョグダイヤルでコマ送り再生ができます。
- [スキップ] ボタンで前後のチャプターにジャンプできます。
- 再生動き検出機能を使用することができます。
- 再生感度アップ機能により、再生画像を明るくすることができます。
- 記録画像を拡大して見ることができます。

HDD 操作モードに戻るときは
■ ライブ画面表示時 [O/HDD(DVD)] を押す
- 表示灯が消灯し、HDD 操作モードになります。

※DVD リスト、DVD 操作メニュー画面表示時や DVD 再生中は、HDD 操作モードに切り換わりません。

- 市販の DVD-Video (DVD-ROM) は、再生できません。本機により DVD-Video 形式で作成されたディスクは再生できません。自己再生形式で作成されたディスクのみが再生可能です。
- “DB/” 表示中は、再生音が途切れたり、画像が遅れることがあります。このような時は、“DB/” 表示が消えてから、再度再生してください。

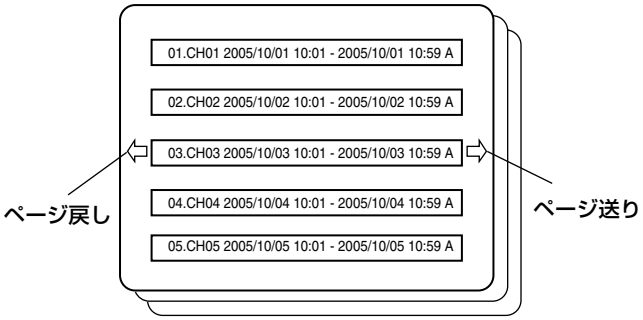
メモ :
- 専用のビューワーソフトウェア (別売 : VR-TS500) を使うことで、自己再生形式で DVD にエクスポートされた画像をパソコンで再生することができます。
  ビューワーソフトウェア (別売) の詳細や入手方法につきましては、お買い上げの販売店または、お客様相談センターにお問い合わせください。

DVD-Video 形式メニューと再生について

エクスポート形式を DVD-Video または DVD-Video(間欠補間）形式で作成された DVD は、下記のようなタイトルメニューやチャプターメニューが作成されます。

※ DVD-Video または DVD-Video (間欠補間）形式で作成された DVD は、本機で再生できません。
DVD-R/RW 対応の DVD プレーヤーで再生可能です。

タイトルメニュー



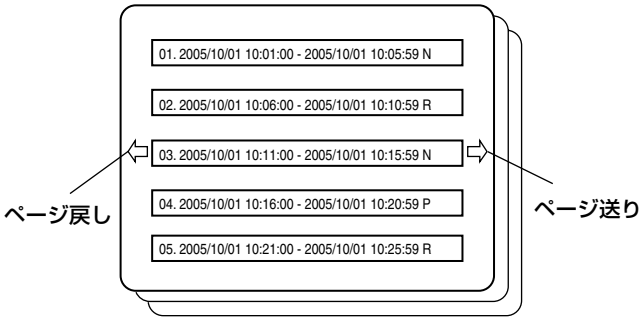
- DVD プレーヤーにディスクを挿入すると、タイトルメニューが表示されます。また、リモコンのトップメニューキー等でタイトルメニューを表示させることができます。
- タイトル数は最大 99 個までです。1 ページに 5 タイトル表示します。（最大 20 ページ）
  画面の左右位置にある矢印でページ送りまたはページ戻しが可能です。
- タイトル名は、“通し番号、カメラ番号、開始時間、終了時間、検索記録種別”となります。

  検索記録種別の記号は下記の通りです。

  A：全記録
  R：アラーム端子によるアラーム記録
  M：動き検出によるアラーム記録
  E：エマージェンシー記録

  タイトルを選択すると、タイトル内の最初のチャプターから順番に連続再生します。
  1 つのタイトル内の最後のチャプターを再生終了すると、再び最初のチャプターから再生を始めます。（1 タイトルのループ再生）

チャプターメニュー



- タイトルを再生中、リモコンのメニューキー等にてチャプターメニューを表示させることができます。
- チャプターは記録種別ごとに分割されています。
  （ただし、内部的にアラームのファイルが連結されている場合はチャプターは分割されません。）
- チャプター数は 1 タイトルにつき最大 99 個までです。1 ページに 5 チャプター表示します。（最大 20 ページ）
  画面の左右位置にある矢印でページ送りまたはページ戻しが可能です。
- チャプター名は、“通し番号、開始時間、終了時間、記録種別”となります。記録種別の記号は下記の通りです。

  N：通常記録
  E：エマージェンシー記録
  R：アラーム端子によるアラーム記録
  M：動き検出によるアラーム記録
  C：パスコード不適合検出記録
  P：プリアラーム記録
- チャプターを選択すると、選択されたチャプターから順番に連続再生します。
- 1 つのタイトル内の最後のチャプターを再生終了すると、再び最初のチャプターから再生を始めます。（1 タイトルのループ再生）

DVD-Video の再生について

- 再生時、チャプターのチャンネル番号（カメラ番号）やアラームなどの記録種別（アラームマーク）は表示されません。
- DVDエクスポート画面の[タイムデート]項目を“入”に設定してエクスポーした場合、ハードディスクに記録時の時刻情報が表示されます。
- 再生時、連続したチャプターでも切り換わり場面で音声が途切れます。

DVD に関するトラブル時の対応

DVD エクスポートや DVD 再生操作時、以下のメッセージが表示された場合は、[キャンセル] ボタンを押してメッセージを消し、原因を確認してください。

オンスクリーン表示	原因と対処方法	参照ページ
“DVD 検索を中止しました (D-01)” “DVD 検索を中止しました (D-02)” “DVD 検索を中止しました (D-03)”	● 検索対象のデータがない。 ● 検索の結果ディスク容量を超えている。 ● 検索処理エラー	P126
“DVD 変換を中止しました (D-01)” “DVD 変換を中止しました (D-02)” “DVD 変換を中止しました (D-03)”	● 変換対象のデータがない。 ● 変換の結果ディスク容量を超えている。 ● 変換処理エラー	P126
“DVD 作成を中止しました (D-01)” “DVD 作成を中止しました (D-02)” “DVD 作成を中止しました (D-03)”	● ディスク作成に失敗した。 ⇨ 対象ディスクにエラーがある可能性があります。 ● 挿入ディスクが未対応のディスクです。 ● ディスク消去に失敗した。 ⇨ 対象ディスクにエラーがある可能性があります。	P126
“DVD に再生可能なファイルがありません (D-01)” “DVD に再生可能なファイルがありません (D-02)” “DVD に再生可能なファイルがありません (D-03)”	● リスト作成するディレクトリがない。 ● リスト作成するファイルがない。 ● リスト作成に失敗した。	P128

DVD 記録時間

下記の表は、1 枚の DVD の容量に記録できる 1 チャンネル分の記録時間の目安を示しています。
エクスポート形式別の表になっています。
いずれも、条件は次の通りです。

タイムデート記録：あり

音声　　：あり（ただし、0.2 ips および 0.1 ips 時には音声は記録されません）

下記の表はあくまでも 1 チャンネルのみを想定しています。また、Framerate および画質が異なる複数のチャンネルが選択された場合は、この限りではありません。

■エクスポート形式：DVD-Video（間欠補間）

	滑らか				高精細			
Framerate	High	Normal	Basic	Long	High	Normal	Basic	Long
30 ips	1時間50分	2時間30分	3時間20分	4時間10分	50分	1時間10分	1時間40分	2時間10分
15 ips	2時間30分	3時間20分	4時間	4時間40分	1時間20分	2時間	2時間10分	2時間50分
10 ips	3時間	4時間	4時間30分	5時間10分	1時間40分	2時間30分	2時間50分	3時間30分
6 ips	3時間40分	4時間30分	5時間	5時間20分	2時間30分	3時間20分	3時間40分	4時間20分
3 ips	3時間50分	4時間30分	5時間	5時間20分	3時間	3時間50分	4時間40分	5時間10分
2 ips	4時間30分	5時間	5時間30分	5時間50分	3時間40分	4時間20分	5時間10分	5時間40分
1 ips	4時間30分	5時間	5時間30分	5時間50分	3時間40分	4時間20分	5時間10分	5時間40分
0.5 ips	4時間30分	5時間	5時間30分	5時間50分	3時間40分	4時間20分	5時間10分	5時間40分
0.2 ips	7時間30分	9時間10分	10時間50分	12時間	5時間30分	7時間10分	9時間50分	11時間
0.1 ips	7時間30分	9時間10分	10時間50分	12時間	5時間50分	7時間10分	9時間50分	11時間

■エクスポート形式：自己再生

	滑らか				高精細			
Framerate	High	Normal	Basic	Long	High	Normal	Basic	Long
30 ips	2時間20分	3時間40分	5時間20分	7時間40分	1時間20分	2時間20分	4時間10分	6時間50分
15 ips	3時間50分	6時間	8時間30分	11時間50分	2時間10分	3時間50分	6時間30分	10時間40分
10 ips	6時間	8時間40分	12時間10分	16時間50分	3時間20分	5時間50分	9時間30分	15時間10分
6 ips	8時間20分	11時間50分	16時間20分	22時間10分	4時間40分	7時間50分	12時間50分	20時間10分
3 ips	9時間20分	13時間	17時間50分	24時間	5時間20分	8時間40分	14時間	21時間50分
2 ips	13時間20分	18時間20分	24時間40分	32時間10分	7時間50分	12時間30分	19時間40分	29時間30分
1 ips	23時間40分	31時間	39時間40分	49時間	14時間30分	22時間30分	33時間10分	45時間50分
0.5 ips	38時間30分	47時間40分	57時間	66時間	25時間30分	36時間50分	49時間50分	63時間
0.2 ips	160時間	230時間	340時間	480時間	85時間	150時間	250時間	430時間
0.1 ips	320時間	460時間	680時間	960時間	170時間	300時間	500時間	860時間

■エクスポート形式：自己再生 + DVD-Video（間欠補間）

	滑らか				高精細			
Framerate	High	Normal	Basic	Long	High	Normal	Basic	Long
30 ips	1時間	1時間30分	2時間10分	2時間50分	30分	50分	1時間10分	1時間40分
15 ips	1時間30分	2時間10分	2時間50分	3時間30分	50分	1時間20分	1時間40分	2時間10分
10 ips	2時間10分	2時間50分	3時間20分	4時間	1時間10分	1時間50分	2時間10分	2時間50分
6 ips	2時間40分	3時間10分	3時間50分	4時間30分	1時間40分	2時間20分	2時間50分	3時間30分
3 ips	2時間50分	3時間20分	4時間	4時間30分	2時間	2時間40分	3時間30分	4時間10分
2 ips	3時間20分	4時間	4時間30分	5時間	2時間30分	3時間20分	4時間10分	4時間40分
1 ips	3時間50分	4時間20分	4時間50分	5時間20分	3時間	3時間40分	4時間30分	5時間
0.5 ips	4時間10分	4時間40分	5時間	5時間30分	3時間20分	4時間	4時間40分	5時間10分
0.2 ips	6時間50分	8時間10分	9時間40分	10時間40分	5時間	6時間30分	8時間30分	9時間50分
0.1 ips	7時間	8時間20分	9時間50分	10時間50分	5時間20分	6時間40分	8時間40分	10時間

DVD エクスポートに要する時間

下記の表は、1 チャンネルあたりの 1 時間分の記録データを自己再生 + DVD-Video (間欠補間) 形式でエクスポートした時にかかる時間の目安です。また、エクスポートにかかる時間はあくまで目安であり、使用する DVD メディアや VR-509DN 本体の状態により大幅に変わる場合があります。

	滑らか				高精細			
Framerate	High	Normal	Basic	Long	High	Normal	Basic	Long
30 ips	1時間10分	45分	40分	30分	1時間45分*	1時間40分**	1時間55分	1時間45分
15 ips	45分	35分	30分	25分	1時間40分**	1時間30分	1時間35分	1時間20分
10 ips	40分	30分	25分	25分	1時間40分	1時間20分	1時間15分	1時間10分
6 ips	30分	25分	25分	20分	1時間10分	1時間	55分	50分
3 ips	30分	25分	25分	20分	55分	50分	35分	35分
2 ips	25分	20分	20分	20分	45分	40分	30分	30分
1 ips	25分	20分	20分	20分	40分	35分	30分	30分
0.5 ips	25分	20分	20分	20分	40分	35分	30分	30分
0.2 ips	20分	15分	15分	15分	30分	25分	20分	20分
0.1 ips	20分	15分	15分	15分	30分	25分	20分	20分

注*） 高精細モードにおけるHighの30 ipsでは30分間のデータになります。
注**）高精細モードにおけるHighの15 ipsおよびNormalの30 ipsでは50分間のデータになります。

ハードディスクを増設する

本機では、内蔵ハードディスクの他に、下記の外付けハードディスクを増設することができます。

- 500GB、1TB、2TB のいずれか 1 台

メモ :

- 使用可能な外付けハードディスクについては、お買い上げ販売店にお問い合わせください。
- システムの安定動作のため、UPS のご使用をおすすめします。[UPS を接続する] (☞69 ページ)

- 外付けハードディスクを使用するにはハードディスクの接続構成を変更する必要があります。接続構成は HDD 再構成の確認画面で変更します。確認画面は、本機起動時にハードディスクの接続構成が変更されていることを検出した場合に自動的に表示されます。
- 接続構成の種別は、以下のように新規、変更、切断の 3 つがあります。
  新規 ：外付けハードディスクを新規に接続する場合
  変更 ：既に接続されていた外付けハードディスクを外し、別のものを接続する場合
  切断 ：外付けハードディスクを外す場合、または今まで接続されていた外付けハードディスクが認識できない場合

外付けハードディスクを新規に増設する場合

1 電源を切る

- [オペレート]を約2秒間長押ししてオペレートOFFにします。しばらく待つと、オペレート表示灯が消灯します。
- 背面の電源スイッチを切ります。

ご注意 :

- オペレートオフの状態で作業を行なっても、外付けのハードディスクは確認されません。作業の前に電源スイッチを切ってください。

---

2 背面の[SERIAL]端子または前面の[シリアル]端子に外付けのハードディスクを接続し、電源を入れる

ご注意 :

- 本機本体の電源を入れる前に必ず外付けハードディスクの電源を入れます。先に外付けハードディスクの電源を入れないと、外付けハードディスクが認識されませんのでご注意ください。

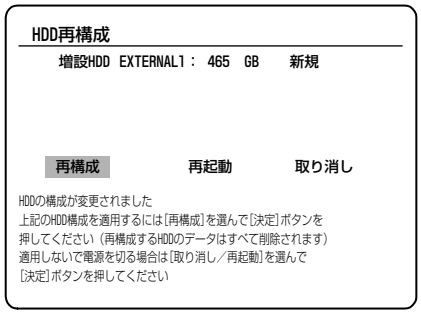
---

3 本機の電源を入れる

- HDD 再構成の確認画面が表示されます。

メモ :

- HDD 再構成画面上は、RM-P1000 から操作できません。本体フロントボタンのみメニュー操作可能です。

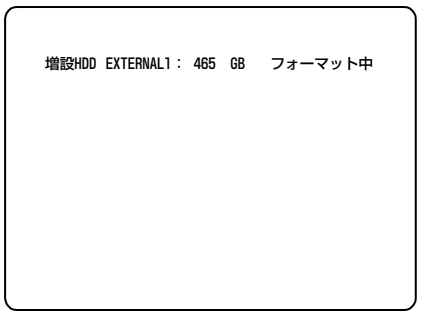


4 [再構成] を選び、[決定] を押す

- 確認画面が表示されます。

5 [はい] を選び、[決定] を再度押す

- 外付けハードディスクのフォーマットがはじまります。



- フォーマット終了後、自動で運用可能状態になります。（オペレート表示灯が、点灯状態に戻ります）

メモ :

- この時フォーマットが行われるのは、変更したハードディスクのみです。

別の外付けハードディスクに変更する場合

1 電源を切る

- [オペレート]を約2秒間長押ししてオペレートOFFにします。しばらく待つと、オペレート表示灯が消灯します。
- 背面の電源スイッチを切ります。

ご注意 :

- オペレートオフの状態で作業を行うとハードディスクの異常と判断されシステムが再起動します。作業の前に電源スイッチを切ってください。

---

2 背面の[SERIAL]端子または前面の[シリアル]端子に別の外付けのハードディスクを接続し、電源を入れる

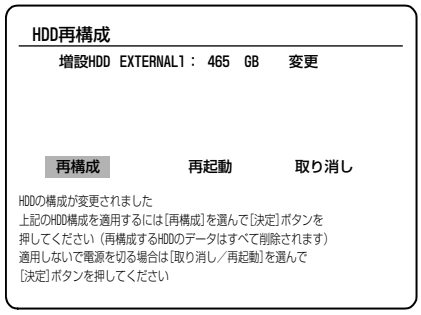
ご注意 :

- 本機本体の電源を入れる前に必ず外付けハードディスクの電源を入れます。先に外付けハードディスクの電源を入れないと、外付けハードディスクが認識されませんのでご注意ください。

別の外付けハードディスクに変更する場合（つづき）

3 本機の電源を入れる

- HDD 再構成の確認画面が表示されます。

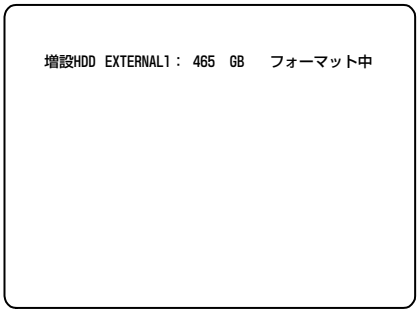


4 [再構成] を選び、[決定] を押す

- 確認画面が表示されます。

5 [はい] を選び、[決定] を再度押す

- 外したハードディスクに関連する情報の消去および接続したハードディスクのフォーマットがはじまります。



- フォーマット終了後、自動で運用可能状態になります。（オペレート表示灯が、点灯状態に戻ります）

メモ：

- この時フォーマットが行われるのは、変更したハードディスクのみです。

外付けハードディスクを切断する場合

1 電源を切る

- [オペレート]を約2秒間長押ししてオペレートOFFにします。しばらく待つと、オペレート表示灯が消灯します。
- 背面の電源スイッチを切ります。

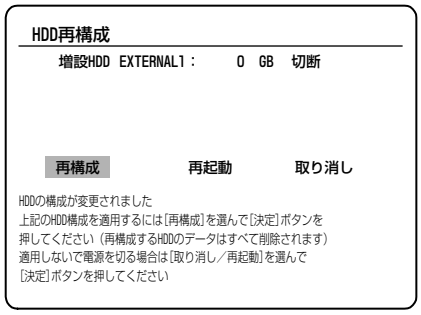
ご注意：

- オペレートオフの状態で作業を行うとハードディスクの異常と判断されシステムが再起動します。作業の前に電源スイッチを切ってください。

2 外付けのハードディスクを外す

3 本機の電源を入れる

- HDD 再構成の確認画面が表示されます。

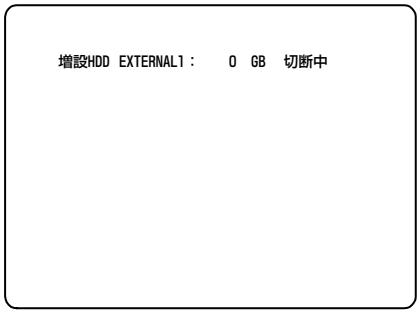


4 [再構成] を選び、[決定] を押す

- 確認画面が表示されます。

5 [はい] を選び、[決定] を再度押す

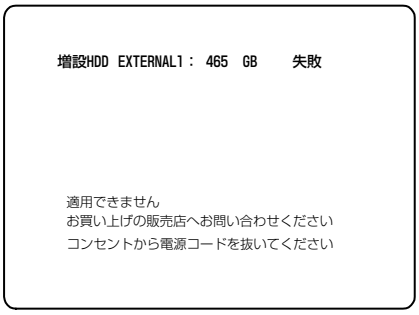
- 外した HDD に関連する情報の消去がはじまります。



- 情報の消去後、自動で運用可能状態になります。（オペレート表示灯が、点灯状態に戻ります）

ご注意：

- 新規、変更のフォーマットに失敗した際は、手順 *1* から再度行なってください。



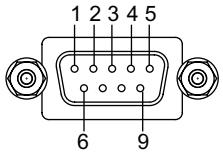
- 何度も失敗する場合は、最寄りのビクターサービス窓口にご相談ください。
- 運用中に外付けハードディスクの電源を切ったり、接続を外さないでください。
- 外付けハードディスクが正しく接続されているにも関わらず、ハードディスク再構成画面で切断表示が出る場合や、E-01 表示が出る場合は、本機の電源を切った状態で、外付けハードディスクのスイッチを切るだけではなく電源コードを抜き挿しして再度お試しください。
- 外付けハードディスクを外して、パソコンに接続し、パソコンで映像を見ることはできません。

電気仕様

D-Sub 9 ピン コネクタ仕様

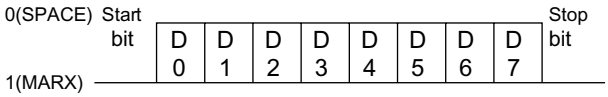
ピンNO	信号	動　作	信号の方向
3	TXD	送信データ	HDR → CPU
2	RXD	受信データ	HDR ← CPU
6	DSR	データセット・レディ	HDR ← CPU
5	GND	信号接地	
4	DTR	データ端末レディ	HDR → CPU

出力レベル　OFF：−5V以下
　　ON　：＋5V以上



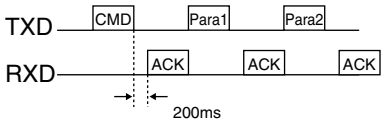
データフォーマット

モード　：非同期
キャラクタ長　：8bit
バリティチェック　：なし
ストップ bit　：1bit
データ速度　：9600bps



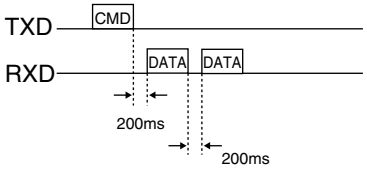
コマンドフォーマットと ACK/NAK

制御：無手順



- CPUからの送信コマンド 1Byteに対し、200ms以内にACK(NAK) を応答する。
- 未定義コマンド受信時にのみ、NAK を応答する。
- （ただし、状態によっては NAK 応答するコマンドあり。）
- 前回受信した DATA から 5 秒以上経過した DATA は、そのパラメータと見なさない。
- タイムアウト発生時のリトライは、1 回のみ。その場合、該当コマンドの第一バイトから再送を行うこととする。

SENSE コマンド



RS-232C コマンド一覧

BASIC　TABLE

上位→ / 下位↓	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				Data0	ENTER/ SET							ALARM FWD				DISC MODE SET
1				Data1	CLEAR ERROR							ALARM REV				
2	ERROR			Data2												
3				Data3												
4				Data4											DISC MODE SENSE	
5				Data5								SHUTTLE FWD				
6				Data6		CLEAR						SHUTTLE REV				JCV-1 TABLE
7				Data7										STATUS SENSE		BASIC TABLE
8				Data8												
9				Data9												
A	ACK			PLAY	REV PLAY								REC			REC REQUEST
B	NAK			FWD x3	REV x3						FF					VTR/HDR INQ
C				FWD SLOW	REV SLOW						REW					
D				FWD STILL	REV STILL						FWD STEP					
E				FWD x15	REV x15				DATE SET		REV STEP	DATE SENSE				
F				STOP	STILL				TIME SET			TIME SENSE				

JVC-1 TABLE

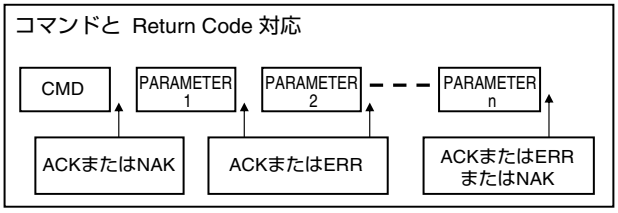
上位→ / 下位↓	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				Data0	ENTER/ SET		TIMER ON			TD SKIP FWD		ALARM FWD	OPE LOCK ON			DISC MODE SET
1				Data1	CLEAR ERROR		TIMER OFF			TD SKIP REV		ALARM REV	OPE LOCK OFF	DEVICE TYPE		
2	ERROR			Data2				ROM VER		TD SEARCH				HOUR METER SENSE		
3				Data3			DOWN			EVENT SKIP FWD				NETOWORK SENSE	PB MOTION DETECT SENSE	
4				Data4			RIGHT	ON SCREEN SELECT		EVENT SKIP REV					DISC MODE SENSE	
5				Data5			Vol+					SHUTTLE FWD			DISC STATUS SENSE	
6				Data6		CLEAR	Vol-	CANCEL	HDR PB CAMERA SET			SHUTTLE REV		VR STATUS SENSE		JCV-1 TABLE ON
7				Data7										STATUS SENSE		BASIC TABLE
8				Data8			LEFT							RECMODE SENSE		
9				Data9			UP							ALARM MODE SENSE		
A	ACK			PLAY			SEQ						REC	VR MODE SENSE		REC REQUEST
B	NAK						MENU ON				FF			MONITOR MODE SENSE		VTR/HDR INQ
C							MENU OFF	REC STOP			REW			MOTION DETECT SENSE		MAC SENSE
D							MENU ON/OFF	ALARM CANCEL			FWD STEP					
E						DISC TRAY OPEN/CLOSE		MENU BACK	DATE SET		REV STEP	DATE SENSE		MONITOR OUT STATUS SENSE		
F				STOP	STILL	PB STOP			TIME SET			TIME SENSE		ACTIVE SENSE		

コマンド詳細

[ ] 内は対応するテーブルを示す。

RETURN CODE

- ERROR (02H) [BASIC/JVC-1]
  本機が一連のコマンドの前後関係から受け付け不可能なコマンドを受け取ると ERROR を返します。このときコマンドを送っても受け付けなくなり、ステータスセンスのみがリターンされます。(ステータスセンスコマンドはエラーモード時も有効とし、応答します。) ERROR 返信から約 5 秒後、再度 ERROR を返信しエラーモードを解除します。エラーモードを即座に解除するには、CLEAR ERROR (41H) または、CLEAR (56H) コマンドを入力します。
  TD SEARCH など数字をエントリーするコマンドの最後に入力した (転送した) 数字コマンドを取り消すには、CLEAR ERROR(41H) を入力し、コマンド全体をクリアするときには、CLEAR(56H) コマンドを入力します。
  エラー中にさらにパラメータを受信した場合はそのパラメータのバッファリングは行いません。
- ACK (0AH) [BASIC/JVC-1]
  動作に関わらず、指定されたテーブル上に定義されたコマンドを受け取った時に返すリターンコードです。
- NAK (0BH) [BASIC/JVC-1]
  未定義のコマンド、または、本機としてその機能を有しないコマンドを受け取った時に返すリターンコードです。
  パラメータの受信間隔が 5 秒以上あいた場合、NAK を返信し、次のコマンドを受信可能とします。



動作コマンド

- PLAY (3AH) [BASIC/JVC-1]
  PLAY モードにします。
  ※EE 時 : 再生メニュー表示
  再生メニュー表示時 : 再生 (継続再生選択時)
  PB 時 (一時停止、シャトル再生時) : 再生
  PB 時 (その他) : 一時停止
- SHUTTLE FWD ×3 (3BH) [BASIC]
- SHUTTLE FWD SLOW (3CH) [BASIC]
- SHUTTLE FWD STILL (3DH) [BASIC]
- SHUTTLE FWD ×15 (3EH) [BASIC]
  シャトルフォワードモードにします。
- STOP (3FH) [BASIC/JVC-1]
  STOP モードにします。REC+PLAY モード時は REC モードにします。(再生のみ停止)
  記録停止は行いません。
  ※再生時 : 再生メニュー表示
  再生メニュー表示時: EE 画面へ
- REV PLAY (4AH) [BASIC]
  : − ×1 PLAY モードにします。
- SHUTTLE REV ×3 (4BH) [BASIC]
- SHUTTLE REV SLOW (4CH) [BASIC]
- SHUTTLE REV STILL (4DH) [BASIC]
- SHUTTLE REV ×15 (4EH) [BASIC]
  シャトルリバースモードにします。
- STILL (4FH) [BASIC/JVC-1]
  再生中に STILL モードにします。
- DISC TRAY OPEN/CLOSE(5EH)[JVC-1]
  DVD トレーのオープン / クローズを切り換えます。
- PB STOP (5FH) [JVC-1]
  再生側専用の STOP コマンドです。REC+PLAY モード時は REC モードにします。
  ※PB 時 : 再生メニュー表示
  再生メニュー表示時: EE 画面へ
- TIMER/MODE ON (60H) [JVC-1]
  タイマー / 運用切換: ON にします。
- TIMER/MODE OFF (61H) [JVC-1]
  タイマー / 運用切換: OFF にします。
- REC STOP (7CH) [JVC-1]
  記録を停止します。ただし、アラーム記録は停止しません。
- ALARM CANCEL (7DH) [JVC-1]
  アラームを解除し、アラーム記録を停止します。
- MENU BACK (7EH) [JVC-1]
  1 つ前のメニュー画面に戻します。トップメニュー画面表示時はメニュー画面が消えます。メニュー画面が非表示時は ERROR (02H) を返します。
- TD SKIP FWD (90H) [JVC-1]
  正方向に MENU 設定時間 × 回数分ジャンプするコマンドです。ジャンプ回数は、数字コマンド、2 桁で指定します。PB 時のみ有効。(最大 99 回)
  TXD [90H] [3□H] [3□H]
  RXD [0AH] [0AH] [0AH]

動作コマンド (つづき)

- TD SKIP REV(91H) [JVC-1]
  逆方向に MENU 設定時間 × 回数分ジャンプするコマンドです。ジャンプ回数は、数字コマンド、2 桁で指定します。PB 時のみ有効。(最大 99 回)

- TD SEARCH(92H) [JVC-1]
  指定日付位置にキューアップさせるコマンドです。日付は月日年時分を、数字コマンド、10 桁で指定します。

  月　　日　　年

  TXD [92H] [3□H] [3□H] [3□H] [3□H] [3□H] [3□H] ……
  RXD [0AH] [0AH] [0AH] [0AH] [0AH] [0AH] [0AH]

  時　　分

  TXD [3□H] [3□H] [3□H] [3□H]
  RXD [0AH] [0AH] [0AH] [0AH]

- EVENT SKIP FWD (93H) [JVC-1]
  正方向に × 回数分イベント (一つの記録開始から終わりまでを 1 イベントとする) ジャンプするコマンドです。ジャンプ回数は、数字コマンド、2 桁で指定します。PB 時のみ有効。(最大 10 回)

  TXD [93H] [3□H] [3□H]
  RXD [0AH] [0AH] [0AH]

- EVENT SKIP REV(94H) [JVC-1]
  逆方向に × 回数分イベントジャンプするコマンドです。ジャンプ回数は、数字コマンド、2 桁で指定します。PB 時のみ有効。(最大 10 回)

- FF (ABH) [BASIC/JVC-1]
  本機が再生メニュー表示時：最新画へ行き、STILL になります。
  本機が PB 時：スキップ設定に従い、正方向にアラーム / 日時 / イベントジャンプします。

- REW (ACH) [BASIC/JVC-1]
  本機が再生メニュー表示時：最古画へ行き、STILL になります。
  本機が PB 時：スキップ設定に従い、逆方向にアラーム / 日時 / イベントジャンプします。

- FWD STEP (ADH) [BASIC/JVC-1]
  STILL モードの時、正方向に約 1 コマ進み STILL モードになります。
  他の再生モードからは STILL モードになります。

- REV STEP (AEH) [BASIC/JVC-1]
  STILL モードの時、逆方向に約 1 コマ進み STILL モードになります。
  他の再生モードからは STILL モードになります。

- ALARM FWD(BOH) [BASIC/JVC-1]
  正方向に指定回数分先のアラームジャンプするコマンドです。ジャンプ回数は、数字コマンド、2 桁で指定します。本機が PB 時のみ使用可です。(最大 10 回)

  TXD [BOH] [3□H] [3□H]
  RXD [0AH] [0AH] [0AH]

- ALARM REV(B1H) [BASIC/JVC-1] (最大 10 回)
  逆方向に指定回数分先のアラームジャンプするコマンドです。ジャンプ回数は、数字コマンド、2 桁で指定します。本機が PB 時のみ使用可です。(最大 10 回)

- SHUTTLE FWD(B5H) [BASIC/JVC-1]
- SHUTTLE REV(B6H) [BASIC/JVC-1]
  シャトル FWD/REV モードになります。速度は (30-3AH)1 桁で指定します。

  TXD [B5H] [3□H]
  RXD [0AH] [0AH]

Data	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A
Speed	Still	ｽﾛｰ	—	—	—	1	3	5	15	60	360

- OPE LOCK ON (COH) [JVC-1]
  本機全てのオペレーション Key 動作をロック状態とします。
  ロックレベルはメニュー設定に従います。

- OPE LOCK OFF (C1H) [JVC-1]
  オペレーションロック状態を解除します。
  ※パスコード設定時はパスコード入力画面を表示します。RS-232C からはパスコードの入力は行えません。

- REC (FAH CAH) [BASIC/JVC-1]
  REC/DUB REQUEST(FAH) コマンドに続いてこのコマンドを送ることにより記録モードになります。ただし、ループ記録 OFF で残量が 0 の時は NAK(OBH) がリターンされます。
  注意> REC/DUB REQUEST(FAH) コマンドは旧機種との互換性に必須です。

  TXD [FAH] [CAH]
  RXD [0AH] [0AH]

コマンド詳細 (つづき)

設定コマンド

- SET(決定)(40H) [BASIC/JVC-1] : 146 ページ「ENTER」参照
- DOWN(63H) [JVC-1]
- RIGHT(64H) [JVC-1]
- LEFT(68H) [JVC-1]
- UP(69H) [JVC-1]
  タイマープログラム設定、アラーム検索設定時に設定項目を移動させます。
  メニュー表示時は、「UP」「DOWN」により選択項目を移動させます。
- Vol ＋、－ (65H、66H) [JVC-1]
  設定値を＋（順方向）、－（逆方向）で変化させます。
- SEQ（6AH）[JVC-1]
  モニター出力画面モードを変更します。
- MENU ON（6BH）[JVC-1]
  メニュー表示を行います。
- MENU OFF（6CH）[JVC-1]
  メニュー表示を消します。
- MENU ON/OFF（6DH）[JVC-1]
  メニューの表示／非表示を切り換えます。
- ON SCREEN SELECT (74H) [JVC-1]
  オンスクリーン表示内容を切り換えます。(ループ記録 ON 時は REMAIN 表示しない)

	第1BYTE	第2BYTE
TXD	74H	□□H
RXD	0AH	0AH

第2 BYTE		
bit	ステータス	内容
7	1 / 0	記録停止通知 : 1(ON) / 0(OFF)
6	1 / 0	ワーニング表示 : 1(ON) / 0(OFF)
5	1 / 0	カメラタイトル表示 : 1(ON) / 0(OFF)
4	1 / 0	モード表示 : 1(ON) / 0(OFF)
3	1 / 0	残量表示 : 1(ON) / 0(OFF)
2	1 / 0	アラーム検出表示 : 1(ON) / 0(OFF)
1	1 / 0	アラームカウント表示 : 1(ON) / 0(OFF)
0	1 / 0	日付/時間表示 : 1(ON) / 0(OFF)

- CANCEL (76H)[JVC-1]
  プログラムタイマー設定画面ではプログラムデータをキャンセルします。
- HDR PB CAMERA SET (86H) [JVC-1]
  再生カメラを指定します。記録時はモニター出力カメラを指定します。
  スポット出力モード時はスポット出力側の出力カメラを指定します。

	第1BYTE	第2BYTE	第3BYTE
TXD	86H	□□H	□□H
RXD	0AH	0AH	0AH

第2 BYTE		
bit	ステータス	内容
7～4	“3”固定	
3～0	0 / 1 / 2 / 3 / 4 / 5/ 6	0 : FULL サイズ指定 / 1 : FULL サイズシーケンシャル表示 2 : 4分割画面指定 / 3 : 4分割シーケンシャル表示 5：6分割画面指定 / 6：9分割画面指定

※再生モード（記録同時再生も含む）時の、FULL サイズシーケンシャル表示、４分割シーケンシャル表示は無効です。

※シーケンシャル表示動作中は、他のシーケンシャル表示指定は無効です。

第3 BYTE		
bit	ステータス	内容
7～4	“3”固定	
3～0	0～F	第2BYTE : FULLサイズ指定時 8 : カメラ 9 指定 ～ 0: カメラ 1 指定 第2BYTE : 4分割画面指定時 0 : パターンA 1 : パターンB 2 : パターンC 各設定に応じた数値以外は無効

※第 2BYTE が FULL サイズシーケンシャル表示、4 分割シーケンシャル表示、6 分割画面、9 分割画面指定では第 3BYTE は無効です。

- DATE SET(8EH) [BASIC/JVC-1]
  月、日、年を本機に設定します。
  (NTP クライアント機能が有効な場合、および本機が REC 状態の時は設定不可)

		月	日	年				
TXD	8EH	3□H	3□H	3□H	3□H	3□H	3□H	
RXD	0AH	0AH	0AH	0AH	0AH	0AH	0AH	

- TIME SET(8FH) [BASIC/JVC-1]
  時、分、秒を本機に設定します。
  (NTP クライアント機能が有効な場合、および本機が REC 状態の時は設定不可)

		時	分	秒				
TXD	8FH	3□H	3□H	3□H	3□H	3□H	3□H	
RXD	0AH	0AH	0AH	0AH	0AH	0AH	0AH	

- DISC MODE SET (F0H) [BASIC/JVC-1]
  指定されたディスクモードに切り換えます。

	第1BYTE	第2BYTE
TXD	F0H	3□H
RXD	0AH	0AH

第 2BYTE		
bit	ステータス	内容
7～4	“3” 固定	
3～0	4/8	4 : HDD モード 8 : DVD モード

SENSE コマンド

● ROM VER (72H) [JVC-1]
本機のファームウェアバージョンを返します。

TXD [72H]

RXD [21H] [01H] [0AH]
↓ ↓ ↓
(固定) バージョンを表示
上記の例は Ver1-10

● DVD HOUR METER SENSE (7BH) [JVC-1]
DVD ドライブの HOUR METER（時間）とトレーオープン回数を返します。

TXD [7BH]

RXD [3□H] …… [3□H] [3□H] …… [3□H]
6桁目 1桁目 6桁目 1桁目
DVD HOUR METER DVD TRAY OPEN

● STATUS SENSE (D7H) [BASIC/JVC-1]
本機のステータスを 17 バイトで送り返します。

TXD [D7H]

RXD [□□H] [□□H] [□□H] [□□H] …… [□□H]
第1バイト 第2バイト 第3バイト …… 第10バイト

STATUS SENSE リターンデータ内容

byte No.	bit No.	
		PB STATUS
1	bit 7	
	bit 6	
	bit 5	実行モード：
	bit 4	00H：PB STOP　01H：PLAY　02H：STILL
	bit 3	0BH：SHUTTLE FWD　0CH：SHUTTLE REV
	bit 2	0DH：JOG FWD　0EH：JOG REV
	bit 1	
	bit 0	
2		REC STATUS（カメラ1）
	bit 7	パスコードエラーRec中、‘1’を出力
	bit 6	Emergency Rec中、‘1’ を出力
	bit 5	Motion Rec中、‘1’を出力
	bit 4	Normal Rec中、‘1’を出力
	bit 3	Alarm Rec中、‘1’を出力
	bit 2	未定義（ ‘0’ 固定）
	bit 1	PreAlarm Rec中、‘1’を出力 ※
	bit 0	Time Rec中、‘1’を出力
		REC STATUS（カメラ2～9）
3～10	bit7～0	2BYTE目と同じ内容(カメラ2～9)

※ PreAlarm Rec が設定されている場合は常に ‘1’ を出力

● DATE SENSE (BEH) [BASIC/JVC-1]
現在設定されている本機内の月、日、年を返します。

TXD [BEH]

RXD [3□H] [3□H] [3□H] [3□H] [3□H] [3□H]
月 日 年

● TIME SENSE (BFH) [BASIC/JVC-1]
現在設定されている本機内の時、分、秒を返します。

TXD [BFH]

RXD [3□H] [3□H] [3□H] [3□H] [3□H] [3□H]
時 分 秒

● DEVICE TYPE (D1H) [JVC-1]
接続されている機器が何かをアスキーコードで返します。

TXD [D1H]

RXD [35H] [30H] [39H] [49H]
5 0 9 I

● HOUR METER SENSE (D2H) [JVC-1]
HOUR METER(時間) を返します。

TXD [D2H]

RXD [3□H] [3□H] [3□H] [3□H] [3□H] [3□H]
6桁目 5桁目 4桁目 3桁目 2桁目 1桁目

● NETWORK SENSE (D3H) [JVC-1]
ネットワーク設定データを返します。

TXD [D3H]

RXD [□□H] [□□H] [□□H] [□□H] …… [□□H]
第1バイト 第2バイト 第3バイト …… 第33バイト

NETWORK SENSE リターンデータ内容

byte No.	bit No.	
		ホスト名
1～16	bit 7～0	ホスト名（1BYTE目～16BYTE目）
17	bit 7	未定義（ ‘0’ 固定）
	bit 6	未定義（ ‘0’ 固定）
	bit 5	未定義（ ‘0’ 固定）
	bit 4	未定義（ ‘0’ 固定）
	bit 3	未定義（ ‘0’ 固定）
	bit 2	未定義（ ‘0’ 固定）
	bit 1	設定方法： 00：切 01：固定 10：DHCP
	bit 0	
		IPアドレス
18～21	bit 7～0	IPアドレス値（00H～FFH：4BYTE）
		ネットマスク
22～25	bit 7～0	ネットマスクアドレス値（00H～FFH：4BYTE）
		ゲートウェイ
26～29	bit 7～0	ゲートウェイアドレス値（00H～FFH：4BYTE）
		ネームサーバー
30～33	bit 7～0	ネームサーバーアドレス値（00H～FFH：4BYTE）

コマンド詳細 (つづき)

SENSE コマンド (つづき)

● VR STATUS SENSE (D6H) [JVC-1]
本機関連ステータスデータを返します。

TXD D6H

RXD □□H □□H □□H □□H ····· □□H

第1バイト 第2バイト 第3バイト ····· 第8バイト

VR STATUS SENSE リターンデータ内容

byte No.	bit No.	
		オンスクリーン設定
1	bit 7	記録停止通知表示［入］で '1' を出力
	bit 6	ワーニング表示［入］で '1' を出力
	bit 5	カメラタイトル表示［入］で '1' を出力
	bit 4	モード表示［入］で '1' を出力
	bit 3	残量表示［入］で '1' を出力
	bit 2	アラーム検出表示［入］で '1' を出力
	bit 1	アラームカウント表示［入］で '1' を出力
	bit 0	日時表示［入］で '1' を出力
		ブザー設定
2	bit 7	(未定義) '0' を出力
	bit 6	(未定義) '0' を出力
	bit 5	(未定義) '0' を出力
	bit 4	ボタン操作音［入］で '1' を出力
	bit 3	(未定義) '0' を出力
	bit 2	(未定義) '0' を出力
	bit 1	HDDフルブザー設定［入］で '1' を出力
	bit 0	アラームブザー設定［入］で '1' を出力
		ワーニングブザー設定
3	bit 7	記録停止［入］で '1' を出力
	bit 6	停電発生検出［入］で '1' を出力
	bit 5	パスコード入力不適合［入］で '1' を出力
	bit 4	ファンモーターエラー［入］で '1' を出力
	bit 3	ハードディスクエラー［入］で '1' を出力
	bit 2	ビデオロス［入］で '1' を出力
	bit 1	ワーニングブザー設定： 00：切 01：ユーザ 10：全て
	bit 0	
		ブザー動作
4	bit 7	記録停止ブザーON時、'1' を出力
	bit 6	停電発生検出ブザーON時、'1' を出力
	bit 5	パスコード入力不適合ブザーON時、'1' を出力
	bit 4	ファンモーターエラーブザーON時、'1' を出力
	bit 3	ハードディスクエラーブザーON時、'1' を出力
	bit 2	ビデオロスブザーON時、'1' を出力
	bit 1	HDDフルブザーON時、'1' を出力
	bit 0	アラームブザーON時、'1' を出力
		ワーニング1/4
5	bit 7	Codec1異常で '1' を出力
	bit 6	ファンモーター異常で '1' を出力
	bit 5	初期化動作異常で '1' を出力
	bit 4	eeprom異常で '1' を出力
	bit 3	ミラーリング異常で '1' を出力
	bit 2	HDD残り僅かで '1' を出力
	bit 1	HDD FULLで '1' を出力
	bit 0	HDD異常で '1' を出力
		ワーニング2/4
6	bit 7	Ethernetアクセス不可で '1' を出力
	bit 6	ファームウェア更新異常で '1' を出力
	bit 5	Flashメモリ異常で '1' を出力
	bit 4	イベント件数残り僅かで '1' を出力
	bit 3	イベント件数ＦＵＬＬで '1' を出力
	bit 2	DVD接続異常で '1' を出力（別売SA-K53装着時）
	bit 1	USB接続異常で '1' を出力
	bit 0	Codec2異常で '1' を出力
		ワーニング3/4
7	bit 7	カメラ 1：入力異常で '1' を出力
	bit 6	カメラ 2：入力異常で '1' を出力
	bit 5	カメラ 3：入力異常で '1' を出力
	bit 4	カメラ 4：入力異常で '1' を出力
	bit 3	カメラ 5：入力異常で '1' を出力
	bit 2	カメラ 6：入力異常で '1' を出力
	bit 1	カメラ 7：入力異常で '1' を出力
	bit 0	カメラ 8：入力異常で '1' を出力
		ワーニング4/4
8	bit 7	カメラ 9：入力異常で '1' を出力
	bit 6	(未定義) '0' を出力
	bit 5	(未定義) '0' を出力
	bit 4	(未定義) '0' を出力
	bit 3	(未定義) '0' を出力
	bit 2	(未定義) '0' を出力
	bit 1	(未定義) '0' を出力
	bit 0	(未定義) '0' を出力

● REC MODE SENSE (D8H) [JVC-1]
入力記録設定ステータスデータを返します。
(現在の運用モードのステータス。タイマー時は通常モード時のステータス。)

TXD D8H

RXD □□H □□H □□H □□H ····· □□H

第1バイト 第2バイト 第3バイト ····· 第10バイト

REC MODE SENSE リターンデータ内容

byte No.	bit No.	
		入力記録設定（音声）
1	bit 7	(未定義) '0' を出力
	bit 6	(未定義) '0' を出力
	bit 5	(未定義) '0' を出力
	bit 4	(未定義) '0' を出力
	bit 3	(未定義) '0' を出力
	bit 2	通常記録時の音声記録［有効］で '1' を出力
	bit 1	音声記録［有効］で '1' を出力
	bit 0	記録画像モード：滑らか：'0' 高精細：'1'
		入力記録設定（カメラ 1）
2	bit 7	(未定義) '0' を出力
	bit 6	通常記録：記録コマ数：
	bit 5	0000：1/10 0001：1/5 0010：1/2 0011：1 0100：2
	bit 4	0101：3 0110：6 0111：10 1000：15 1001：30
	bit 3	1111：NotRec
	bit 2	通常記録：記録画質： 00：L 01:B 10：N 11：H
	bit 1	
	bit 0	カメラ 1［接続あり］で '1' を出力
		入力記録設定（カメラ 2～9）
3～10	bit 7～0	内容は2BYTE目と同じ

● ALARM MODE SENSE (D9H) [JVC-1]
アラーム記録設定ステータスデータを返します。
(現在の運用モードのステータス。タイマー時は通常モード時のステータス。)

TXD [D9H]

RXD [□□H] [□□H] [□□H] [□□H] ····· [□□H]
第1バイト 第2バイト 第3バイト ····· 第19バイト

ALARM MODE SENSE リターンデータ内容

byte No.	bit No.	
		アラーム記録設定（全般）
1	bit 7	パスコード入力エラー時の記録時間： 00 : NotRec 01 : 10秒 10 : 20秒 11 : 30秒
	bit 6	
	bit 5	エマージェンシー検出時の記録時間： 000 : NotRec 001 : 30秒 010 : 1分 011 : 5分 100 : 10分 101 : 20分 110 : 継続 111 : マニュアル
	bit 4	
	bit 3	
	bit 2	アラーム記録時の音声記録［有効］で '1' を出力
	bit 1	音声記録［有効］で '1' を出力
	bit 0	記録画像モード : 滑らか : '0' 高精細 : '1'
2		アラーム記録 設定1／2（カメラ1）
	bit 7	未定義 '0' を出力
	bit 6	アラーム記録：記録コマ数： 0011 : 1 0100 : 2 0101 : 3 0110 : 6 0111 : 10 1000 : 15 1001 : 30 1110 : Auto 1111 : NotRec
	bit 5	
	bit 4	
	bit 3	
	bit 2	記録画質： 00：L 01：B 10：N 11：H
	bit 1	
	bit 0	未定義 '0' を出力
3		アラーム記録 設定2／2（カメラ1）
	bit 7	未定義 '0' を出力
	bit 6	未定義 '0' を出力
	bit 5	記録時間： 000 : 10 001 : 15 010 : 30 011 : 60 100 : 180 101 : 300 110 : マニュアル
	bit 4	
	bit 3	
	bit 2	プリセンサ記録時間： 00：10 01：30 10：60(秒) 11：[切]
	bit 1	
	bit 0	プリアラーム記録［有効］で '1' を出力
		アラーム記録設定 1/2（カメラ2〜9）
4/6/,,,/18	bit 7〜0	内容は2BYTE目と同じ
		アラーム記録設定 2/2（カメラ2〜9）
5/7/,,,/19	bit 7〜0	内容は3BYTE目と同じ

● VR MODE SENSE (DAH) [JVC-1]
動作設定ステータスデータを返します。

TXD [DAH]

RXD [□□H] [□□H] [□□H] [□□H] ····· [□□H]
第1バイト 第2バイト 第3バイト ····· 第6バイト

VR MODE SENSE リターンデータ内容

byte No.	bit No.	
		スキップ設定
1	bit 7	未定義 '0' を出力
	bit 6	連続スキップ再生： 00：切 01：1秒 10：5秒 11：10秒
	bit 5	
	bit 4	タイムジャンプ設定： 000：1分 001：5分 010：10分 011：30分 100：1時間 101：4時間 110：1日 111：1週間
	bit 3	
	bit 2	
	bit 1	スキップボタン設定： 00：タイム 01：アラーム 10：イベント
	bit 0	
2		動作設定1/5
	bit 7	ループ記録：（※） 00：切 01：アラームロック 10：全て 11：その他
	bit 6	
	bit 5	オペレーションロック解除方法［パスコード］で '1' を出力
	bit 4	オペレーションロック有効範囲： 00：切 01：記録停止禁止 10：全て禁止 11：ユーザ設定
	bit 3	
	bit 2	記録表示灯［入］で '1' を出力
	bit 1	停電復帰動作： 00：切 01：停電前保持 10：強制記録
	bit 0	
3		動作設定2/5
	bit 7	未定義 '0' を出力
	bit 6	未定義 '0' を出力
	bit 5	記録画像保存期間： 0000：1日 0001：3日 0010：5日 0011：1週間 0100：2週間 0101：3週間 0110：1ヶ月 0111：2ヶ月 1000：3ヶ月
	bit 4	
	bit 3	
	bit 2	
	bit 1	ループ記録：（※） 00：切 01：アラームロック 10：全て 11：その他
	bit 0	
4		動作設定3/5(オペレーションロック時の禁止項目)
	bit 7	未定義 '0' を出力
	bit 6	未定義 '0' を出力
	bit 5	DVD操作［入］で '1' を出力
	bit 4	運用操作［入］で '1' を出力
	bit 3	モニター切換［入］で '1' を出力
	bit 2	設定変更［入］で '1' を出力
	bit 1	再生［入］で '1' を出力
	bit 0	記録停止［入］で '1' を出力
5		動作設定4/5-1
	bit 7	音声2リンク先： 0000：指定なし 0001：カメラ1 0010：カメラ2 0011：カメラ3 0100：カメラ4 0101：カメラ5 0110：カメラ6 0111：カメラ7 1000：カメラ8 1001：カメラ9
	bit 6	
	bit 5	
	bit 4	
	bit 3	音声1リンク先： 0000：指定なし 0001：カメラ1 0010：カメラ2 0011：カメラ3 0100：カメラ4 0101：カメラ5 0110：カメラ6 0111：カメラ7 1000：カメラ8 1001：カメラ9
	bit 2	
	bit 1	
	bit 0	
6		動作設定5/5
	bit 7	未定義 '0' を出力
	bit 6	未定義 '0' を出力
	bit 5	ループ記録：（※） 00：その他 01：1週間 10：2週間 11：1ヶ月
	bit 4	
	bit 3	ミラーリング運用［入］で '1' を出力
	bit 2	オートスキャンディスク［入］で '1' を出力
	bit 1	音声出力リンク指定選択以外： 00：切 01：音声1 10：音声2
	bit 0	

※ ループ記録は「2byte 目 bit7、6」または「3byte 目 bit1、0」と「7byte 目 bit5、4」の組み合わせで設定値（切／アラームロック / 全て /1 週間 /2 週間 /1ヶ月）を表現しています。

コマンド詳細 (つづき)

SENSE コマンド (つづき)

● MONITOR MODE SENSE (DBH) [JVC-1]
モニター表示設定ステータスデータを返します。

TXD DBH
RXD □□H □□H □□H □□H ····· □□H
第1バイト 第2バイト 第3バイト ····· 第7バイト

MONITOR MODE SENSE リターンデータ内容

byte No.	bit No.	
1		モニター表示設定1／11
	bit 7	未定義 (‘0’固定)
	bit 6	未定義 (‘0’固定)
	bit 5	ボーダーカラー :
	bit 4	00 : 黒 01 : 暗い灰色 10 : 灰色 11 : 明るい灰色
	bit 3	VGA出力[有効]で ‘1’ を出力
	bit 2	未定義 (‘0’固定)
	bit 1	アラーム検出表示 :
	bit 0	00 : 切 01 : 固定 10 : シーケンシャル
		モニター表示設定2／7
2	bit 7	未定義 (‘0’固定)
	bit 6	未定義 (‘0’固定)
	bit 5	未定義 (‘0’固定)
	bit 4	未定義 (‘0’固定)
	bit 3	４分割画面自動切換設定 :
	bit 2	0001 : 1 0010 : 2 0011 : 3 0100 : 5 0101 : 10(秒)
	bit 1	
	bit 0	
		モニター表示設定3／7
3	bit 7	自動切換設定 (カメラ2) :
	bit 6	0000 : 切 0001 : 1 0010 : 2 0011 : 3
	bit 5	0100 : 5 0101 : 10(秒)
	bit 4	
	bit 3	自動切換設定 (カメラ1) :
	bit 2	0000 : 切 0001 : 1 0010 : 2 0011 : 3
	bit 1	0100 : 5 0101 : 10(秒)
	bit 0	
		モニター表示設定4／7～6／7
4～6	bit7～0	3BYTE目と同じ内容 (カメラ3～8)
		モニター表示設定7／7
7	bit 7	未定義 (‘0’固定)
	bit 6	未定義 (‘0’固定)
	bit 5	未定義 (‘0’固定)
	bit 4	未定義 (‘0’固定)
	bit 3	自動切換設定 : (カメラ9)
	bit 2	0000 : 切 0001 : 1 0010 : 2 0011 : 3
	bit 1	0100 : 5 0101 : 10(秒)
	bit 0	

● MOTION DETECT SENSE (DCH) [JVC-1]
動き検出設定ステータスデータを返します。
(現在の運用モードのステータス。タイマー時は通常モード時のステータス。)

TXD DCH
RXD □□H □□H □□H □□H ····· □□H
第1バイト 第2バイト 第3バイト ····· 第9バイト

MOTION DETECT SENSE リターンデータ内容

byte No.	bit No.	
1		モーションディテクト設定1／9
	bit 7	動作設定 (カメラ1) :
	bit 6	00 : 切 01 : 入
	bit 5	検出感度 (カメラ1) :
	bit 4	00H : 標準 01H : ユーザー 02H : 出入口(高) 03H : 出入口
	bit 3	(低) 04H : 通路(高) 05H : 通路(低) 06H : レジ(高) 07H :
	bit 2	レジ(低) 08H : ATM(高) 09H : ATM(低) 0AH : ロビー(高)
	bit 1	0BH : ロビー(低) 0CH : 通用門(高) 0DH : 通用門(低)
	bit 0	0EH : 駐車場(高) 0FH : 駐車場(低) 10H : 低照度(高)
		11H : 低照度(低) 12H : エレベータ 13H : カウンタ
		モーションディテクト2／9～9／9
2～9	bit7～0	1BYTE目と同じ内容(カメラ2～9)

● MONITOR OUT STATUS SENSE (DEH) [JVC-1]
モニター出力ステータスデータを返します。

TXD DEH
RXD □□H

7	6	5	4	3	2	1	0
0:Live 1:PLAY	分割モード ※			カメラ番号 ※			

※ 分割モード
000 : 9分割、001 : 4分割 -A、010 : 4分割 -B、
011 : 4分割 -C、101 : 6分割、110 : 単画面

※ カメラ番号
単画面モニター中は、該当のカメラ番号を表す。
(1 ～ 9)
分割モニター中は、画面左上のカメラ番号を表す。

● MAC SENSE (FCH) [JVC-1]
MAC アドレス (6byte) を取得します。

TXD FCH
RXD □□H □□H □□H □□H □□H □□H
第1バイト 第2バイト 第3バイト 第4バイト 第5バイト 第6バイト

● PB MOTION DETECT SENSE (E3H) [JVC-1]
再生動き検出設定ステータスデータを返します。

TXD [E3H]
RXD [□□H] [□□H] [□□H] [□□H] ····· [□□H]
第1バイト 第2バイト 第3バイト ····· 第10バイト

byte No.	bit No.	
1		再生動き検出モード
	bit 7	(未定義) "0" を出力
	bit 6	(未定義) "0" を出力
	bit 5	(未定義) "0" を出力
	bit 4	(未定義) "0" を出力
	bit 3	(未定義) "0" を出力
	bit 2	(未定義) "0" を出力
	bit 1	(未定義) "0" を出力
	bit 0	再生動き検出モード : OFF : "0" ON : "1"
2		再生動き検出モード (カメラ 1)
	bit 7	(未定義) "0" を出力
	bit 6	(未定義) "0" を出力
	bit 5	(未定義) "0" を出力
	bit 4	(未定義) "0" を出力
	bit 3	検出感度レベル : 01H~0AH
	bit 2	
	bit 1	
	bit 0	
3~10		再生動き検出設定 (カメラ 2~9)
	bit 7~10	内容は 2BYTE と同じ

● DISC MODE SENSE (E4H) [BASIC/JVC-1]
現在のディスクモードを返します。

TXD [E4H]
RXD [3□H]

第 1BYTE		
bit	ステータス	内容
7~4	"3" 固定	
3~0	4/8	4 : HDD モード 8 : DVD モード

● DISC STATUS SENSE (E5H) [JVC-1]
ディスクステータスデータを返します。

TXD [E5H]
RXD [□□H] [□□H] [□□H] [□□H]
第1バイト 第2バイト 第3バイト 第4バイト

DISC STATUS SENSE リターンデータ内容

byte No.	bit No.	
1		DISC STATUS (全般)
	bit 7	(未定義) "0" を出力
	bit 6	(未定義) "0" を出力
	bit 5	DVD エクスポート中、"1" を出力
	bit 4	容量計算中、"1" を出力
	bit 3	(未定義) "0" を出力
	bit 2	DVD エクスポートキャンセル中、"1" を出力
	bit 1	ローディング中または DVD トレー開閉動作中、"1" を出力
	bit 0	DVD トレーオープン状態、"1" を出力
2		DISC STATUS (メディアタイプ)
	bit 7	メディアタイプ : 00H : なし 03H : DVD-RW 05H : DVD-R
	bit 6	
	bit 5	
	bit 4	
	bit 3	
	bit 2	
	bit 1	
	bit 0	
3		DISC STATUS (各種結果)
	bit 7	(未定義) "0" を出力
	bit 6	(未定義) "0" を出力
	bit 5	(未定義) "0" を出力
	bit 4	(未定義) "0" を出力
	bit 3	DVD エクスポート結果 (※)
	bit 2	0 : idle 1 : OK 2 : NG
	bit 1	容量計算結果 (※)
	bit 0	0 : idle 1 : OK 2 : NG
4		DISC STATUS (その他)
	bit 7	(未定義) "0" を出力
	bit 6	(未定義) "0" を出力
	bit 5	(未定義) "0" を出力
	bit 4	(未定義) "0" を出力
	bit 3	(未定義) "0" を出力
	bit 2	(未定義) "0" を出力
	bit 1	(未定義) "0" を出力
	bit 0	DVD ドライブ接続が無効の場合 "1" を出力

※ :[エクスポート結果] および [容量計算結果] は、本体電源 ON、DVD トレーオープン、または DVD エクスポート開始で "0" となります。

コマンド詳細 (つづき)

その他

- Data"0" ～ "9" (30H ～ 39H) [BASIC/JVC-1]
  数字入力に使用します。
- ENTER (40H) [BASIC/JVC-1]
  数字コマンドを全て送り終えた後に入力エンドマークとしてこのコマンドを使います。また、フロントパネルの [決定] ボタンと同じ動作を行います。
- CLEAR ERROR (41H) [BASIC/JVC-1]
  最後に入力した（転送した）数字コマンドを 1 コマンド分だけ取り消します。または、エラー状態を解除します。
- CLEAR (56H) [BASIC/JVC-1]
  現在のモードを解除し、また、エラー状態も解除します。このコマンドを受信後は、再び新たなコマンドを受信可能とします。
- ACTIVE SENSE (DFH) [JVC-1]
  ACK を返します。（接続されている機器が、正常動作中であることを調べるためのコマンドです。）
- JVC TABLE 1 ON (F6H) [BASIC/JVC-1]
  JVC TABLE 1 を有効にする為のコマンドです。一度設定すると、F7H を出力するまでは JVC TABLE 1 を持続します。
- BASIC TABLE ON (F7H) [BASIC/JVC-1]
  BASIC TABLE を ON する為のコマンドです。
- REC/DUB REQUEST (FAH) [BASIC/JVC-1]
  REC コマンドを送るとき、このコマンドを前もって送る必要があります。
- VTR/HDR INQ (FBH) [BASIC/JVC-1]
  ACK を返します。（接続されている機器が、本機であることを調べるためのコマンドです。

ご注意 :

- 本機にエラーが発生して、ワーニングモードになったときのワーニング解除は、電源 OFF-ON でのみ可能です。

保証とアフターサービスについて

保証書の記載内容ご確認と保存について

この商品には保証書を別途添付しております。
保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間について

保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。その他詳細は保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

アフターサービスについてのお問い合わせ先

アフターサービスについてのご不明な点はお買い上げ販売店、または別紙サービス窓口案内をご覧のうえ、最寄のサービス窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは

お買い上げ販売店に次のことをお知らせください。

品名	：ハードディスクレコーダー
品番	：VR-509DN
お買い上げ日	：
故障の状況	：故障の状態をできるだけ具体的に
ご住所	：
お名前	：
電話番号	：

消耗部品について

下表は消耗部品の一覧です。これらの部品交換にともなう部品代、および技術料、出張料を含む修理費用は、保証期間内でも有償となります。

部品名	備考
ハードディスクドライブ	18,000 時間のご使用を目安にメンテナンスしてください。
DVD ドライブ （別売 SA-K53 装着時）	1,000 時間のご使用を目安にメンテナンスしてください。
ファンユニット	30,000 時間のご使用を目安にメンテナンスしてください。

- メンテナンス時間は、25 ℃環境で使用した時の目安であり、使用環境により異なります。
- メンテナンスの計画、費用などのご相談は、ご購入先の販売店、または別紙のサービス窓口案内をご覧になり、最寄りのサービス窓口へお願いします。

廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例にしたがって適切に処理してください。

仕様

■ 一般

画像圧縮	: MPEG-2（準拠）
記録容量	: 500 GB ×1
インターフェース	: RS-232C　SERIAL LAN
電源	: AC 100 V 50 Hz/60 Hz
消費電力	: 45 W（オプション接続時 60 W）
許容動作温度範囲	: 5 ℃～ 40 ℃
許容保存温度範囲	: － 20 ℃～ 60 ℃
許容動作湿度範囲	: 30 %～ 80 %
質量	: 約 5.6 kg （オプション HDD およびオプション DVD ドライブ搭載時、約 7.0 kg）

■ 映像信号系

映像入力	: 1.0 V（p-p）、 75 Ω（BNC 不平衡） 9 系統（非同期入力対応）
映像出力	: 1.0 V（p-p）、 75 Ω（BNC 不平衡） スルー 9 系統 ビデオ出力 ×2 系統 （前面 ×1、背面 ×1）
	: スポット出力 ×1 系統 VGA 出力 ×1 系統（analog RGB、640×480、Dsub 15pin メス）
有効画素数：	: 720×240（高精細モード）
	: 352×240（滑らかモード）

■ 音声信号系

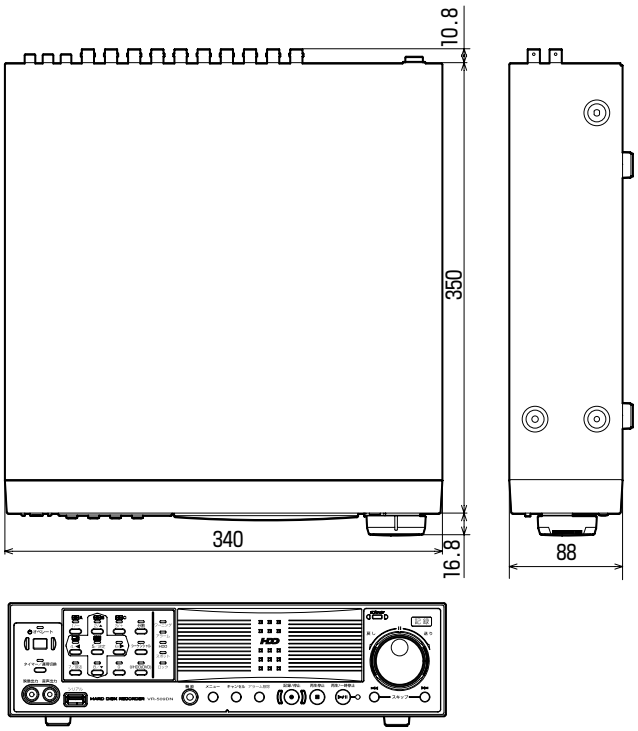
音声入力	: 2 系統
音声出力	: 2 系統（前面 ×1、背面 ×1）
ライン入力レベル	: － 8 dBs、50 kΩ（不平衡）
ライン出力レベル	: － 8 dBs、1 kΩ（不平衡）
周波数特性	: 100 Hz ～ 6 kHz
音声記録方式	: PCM 方式 （8 bit　12 kHz サンプリング）

■ 付属品・添付物

保証書 1
ビクターサービス窓口案内 1
安全上のご注意 1
取扱説明書 1
簡単ガイド 1
使用上のご注意 1
電源ケーブル（2 m） 1
スタンド 2

■ 外観図

[単位：mm]



※ 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

索引

あ

アラーム
　アラーム記録設定 39
　アラーム検索 47
　アラーム端子設定 38
　アラームリストを消去する 62
イベント残量 .....32，37，108，113
動き検出 40
エマージェンシー記録 .....33，37
エラーコード 107
オペレーションロック .....5，56
オンスクリーン表示 .....53，107

か

改ざん検出 66
拡大再生 52
カメラ台数の変更 35
カメラタイトル 54
記録 .....31，113
　アラーム記録 37
　音声記録 .....21，33
　記録画像保有期間 .....21，100
　記録画像モード 20
　記録時間表 122
　記録の優先順位 31
　通常記録 .....32，113，114
　プリアラーム記録 .....39，114
　ループ記録 .....21，36，115

さ

再生 45
　動き検出機能 40
　記録同時再生 45
　ジョグ・シャトル 48
　スキップ再生 .....49，116
　分割画面 46
時刻 .....19，53
　NTP サーバーで時刻を合わせる .....86，118
消耗部品 147
信号入出力端子 .....12，14，58，104
スポット出力 28
操作ログ 63

た

タイマー
　週間タイマー設定 43
　日付指定タイマー設定 44
端子 .....14，58
停電 .....63，69
電子透かし（改ざん検出）.....33，66，100
トラブル時の対応 107

な

日時検索 48

は

ハードディスク 8
　オートスキャンディスク 58
　データベースの再構築 59
　ハードディスク異常 .....64，107，108，109
　ハードディスクの初期化 60
　ハードディスクの増設 134
　マニュアルスキャンディスク 58
　ミラーリング 60
パソコン 70
　設定のアップロード 87
　設定のダウンロード 86
　パソコンで記録予約する 78
　パソコンで再生画を見る 81
　パソコンでライブ画を見る 76
　メール発報 85
ファンユニット 147
ブザー 57
フラッシュメモリ 65
　設定データをフラッシュメモリから読み込む 68
　設定データをフラッシュメモリに保存する 68
プリアラーム設定 39
分割画面 46
保存期間指定ループ記録 .....36，115

ま

メニュー 96
　メニュー一覧 100
メンテナンス時間 147
モニター出力 25

アルファベット

DB/（表示） .....27， 45， 115， 129
DVD の記録形式 ..... 126， 128
DVD の記録時間 132
DVD のトラブル ..... 107， 131
DVD を使う / 対応メディア 124
JPEG 閲覧ツール 66
LAN .....71， 112， 120
NTP サーバーで時刻を合わせる ..... 86， 118
NTP サーバーで時刻を合わせる ..... 86， 118
RS-232C 136
Web ブラウザ用語解説 112

VR-509DN　ハードディスクレコーダー

お客様ご相談センター

0120－2828－17

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は

電話 (045)450-8950［代表］

FAX (045)450-2275

〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ビクターホームページ http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

〒192-8620　東京都八王子市石川町2969-2　　電話（042）660-7245

© 2009 Victor Company of Japan, Limited

LST0729-001C